

杉並区子育て家庭実態調査
報 告 書

平成30年3月
杉 並 区

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4

第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢	7
(2) 宛名の子ども家族	8
(3) 居住地	9
(4) 記入者	10
(4-1) 記入者の年齢	10
(5) 保護者の状況	11
(6) 家族全員の収入合計額	12

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人	13
(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無	14
(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況	15
(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況	16
(3) 子育てをする上での心配や悩み	17
(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	18
(4-1) 子育てに関しての相談先	19
(5) 子育てに関する区の情報の入手先	20
(6) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート	21

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況	23
(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間	25
(1-2) 働いている曜日	26
(1-3) 出勤時間と帰宅時間	27
(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向	30
(3) 未就労者の今後の就労意向	32

目 次

4. 平日の保育園・幼稚園などの利用状況

- (1) 平日の保育園・幼稚園などの利用状況 34
 - (1-1) 平日に利用している施設・事業 35
 - (1-2) 施設・事業の現在の利用頻度と希望する利用頻度 37
 - (1-3) 利用している施設・事業の実施場所 39
 - (1-4) 平日に定期的に施設・事業を利用している理由 40
 - (1-5) 施設・事業を利用していない理由 41
- (2) 平日の施設・事業の今後の利用意向 43
 - (2-1) 利用したい施設・事業の実施場所 45

5. 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向

- (1) 土曜日、休日の施設・事業の利用希望 46
 - (1-1) 施設・事業をたまに利用したい理由 48
- (2) 幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望 49
 - (2-1) 長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由 51

6. 子どもの病気の際の対応

- (1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無 52
 - (1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応 53
 - (1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望 55
 - (1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由 56

7. 地域での親子の集まりの利用状況

- (1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況 57
- (2) 乳幼児親子の集まりの場の今後の利用意向 59
- (3) 乳幼児親子の集まりを利用する際に大事なこと 61

8. 一時預かり等の利用状況

- (1) 不定期に利用している預かり事業 62
- (2) 不定期の預かり事業の利用希望 63
- (3) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無 65
 - (3-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度 67

9. 公的・社会的サービスの利用状況

- (1) 公的・社会的サービスの利用状況 68

10. 子育て応援券	
(1) 無償の子育て応援券の利用状況	71
(1-1) 無償の子育て応援券を全て利用していない理由	72
(2) 子育て応援券を必要とする年齢	73
(3) 充実したほうが良いと思うサービス	74
(4) 有償の子育て応援券の必要性	75
(4-1) 有償の子育て応援券の自己負担額	76
11. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方	
(1) 希望する放課後の過ごし方	77
(1-1) 学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望	80
12. 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況	
(1) 育児休業の取得状況	82
(1-1) 育児休業を取得しなかった理由	84
(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の有無	85
(1-3) 育児休業取得後の職場復帰の時期	87
(1-4) 実際の職場復帰した時期と希望していた職場復帰の時期	88
(1-5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	89
(1-6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する 職場復帰の時期	90
(1-7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無	91
(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	92
(1-9) 子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の 職場復帰の時期	93
13. 杉並区の子育てについて	
(1) 杉並区の子育てのしやすさ	94
(2) 杉並区での子育ての継続意向	96
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見	98

第3章 小学生調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの学年	103
(2) 宛名の子ども家族	104
(3) 居住地	105
(4) 記入者	106
(4-1) 記入者の年齢	106
(5) 保護者の状況	107
(6) 家族全員の収入合計額	108

目 次

2. 子育ての環境

- (1) 子育てを主に行っている人 109
- (2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無 110
 - (2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況 111
 - (2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況 112
- (3) 子育てをする上での心配や悩み 113
- (4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無 114
 - (4-1) 子育てに関しての相談先 115
- (5) 子育てに関する区の情報の入手先 116
- (6) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート 117

3. 保護者の就労状況

- (1) 保護者の就労状況 119
 - (1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間 121
 - (1-2) 働いている曜日 122
 - (1-3) 出勤時間と帰宅時間 123
- (2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向 126
- (3) 未就労者の今後の就労意向 128

4. 公的・社会的サービスの利用状況

- (1) 公的・社会的サービスの利用状況 130

5. 子どもの放課後の過ごし方

- (1) 現在の放課後の過ごし方 134
- (2) 希望する放課後の過ごし方 136
- (3) 学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望 139
- (4) 学童クラブを利用しない理由 140

6. 一時預かり等の利用状況

- (1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無 141
- (2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無 143
 - (2-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度 145

7. 杉並区の子育てについて

- (1) 杉並区の子育てのしやすさ 146
- (2) 杉並区での子育ての継続意向 148
- (3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見 150

第4章 中学生調査の結果

1. 家族の状況

- (1) 宛名の子ども家族 155
- (2) 居住地 156
- (3) 記入者 157
 - (3-1) 記入者の年齢 157
- (4) 保護者の状況 158
- (5) 家族全員の収入合計額 159

2. 子育ての環境

- (1) 子育てを主に行っている人 160
- (2) 子育てをする上での心配や悩み 161
- (3) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無 162
 - (3-1) 子育てに関しての相談先 163
- (4) 子育てに関する区の情報の入手先 164
- (5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート 165

3. 保護者の就労状況

- (1) 保護者の就労状況 167
 - (1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間 168
 - (1-2) 働いている曜日 169
 - (1-3) 出勤時間と帰宅時間 170
- (2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向 173
- (3) 未就労者の今後の就労意向 174

4. 公的・社会的サービスの利用状況

- (1) 公的・社会的サービスの利用状況 176

5. 杉並区の子育てについて

- (1) 杉並区の子育てのしやすさ 180
- (2) 杉並区での子育ての継続意向 181
- (3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見 182

第5章 調査票

- 就学前児調査票 185
- 小学生調査票 213
- 中学生調査票 230

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に規定されている子ども・子育て支援事業計画の見直し及び子どもの貧困対策の検討に当たって必要とする、地域の子育てに関するニーズ及び子どもの生活実態の調査、現状の分析及び課題の整理並びに必要となる資料の作成を行うことを目的に実施する。

2. 調査の方法

- | | | |
|-----------|------------------------|-----------------|
| (1) 調査区域 | 杉並区全域 | |
| (2) 調査対象者 | ① 就学前の児童が属する世帯 | 4,800票（各歳児800票） |
| 及び標本数 | ② 小学生の児童が属する世帯 | 4,800票（各学年800票） |
| | ③ 中学2年生の児童が属する世帯 | 800票 |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 | |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 | |
| (5) 調査期間 | 平成29年9月19日（火）～10月5日（木） | |
| (6) 調査機関 | 株式会社エスピー研 | |

3. 調査の内容

① 就学前児調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 平日の保育園・幼稚園などの利用状況
- (5) 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向
- (6) 子どもの病気の際の対応
- (7) 地域での親子の集まりの利用状況
- (8) 一時預かり等の利用状況
- (9) 公的・社会的サービスの利用状況
- (10) 子育て応援券
- (11) 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方
- (12) 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況
- (13) 杉並区の子育てについて

② 小学生調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 公的・社会的サービスの利用状況
- (5) 子どもの放課後の過ごし方
- (6) 一時預かり等の利用状況
- (7) 杉並区の子育てについて

③ 中学生調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 公的・社会的サービスの利用状況
- (5) 杉並区の子育てについて

4. 回収結果

調査票種別	調査票発送数	有効回収数	有効回収率
① 就学前児調査票	4,800	2,791	58.15%
② 小学生調査票	4,800	2,855	59.48%
③ 中学生調査票	800	446	55.75%

5. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。
したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。
- (4) 実数値の記入を求めた質問では回答の平均値を表示しているが、この平均値は、nから無回答の人数を差し引いた数を母数として算出した。
- (5) クロス集計による分析では、居住地域などの属性となる質問に無回答であっても、各質問の全体の回答には含まれるが、属性となる質問に無回答である集団の比率は割愛して示した。したがって、属性の各項目の該当者数を合計しても、全体の回答者数と一致しない場合がある。
- (6) 回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。

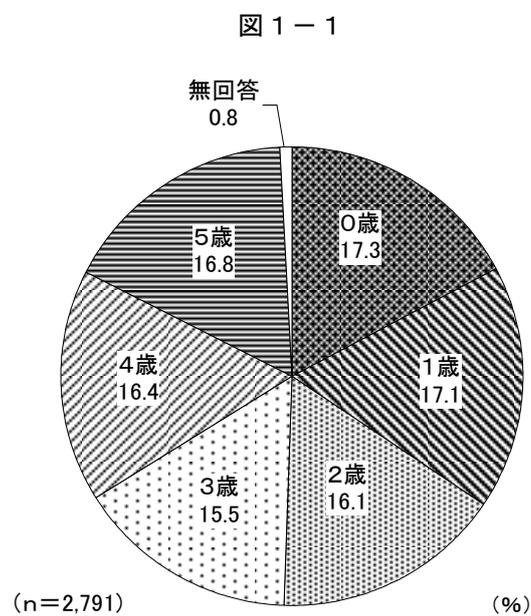
第2章 就学前児調査の結果

第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



子どもの年齢は、「0歳」が17.3%、「1歳」が17.1%、「2歳」が16.1%、「3歳」が15.5%、「4歳」が16.4%、「5歳」が16.8%となっている。(図1-1)

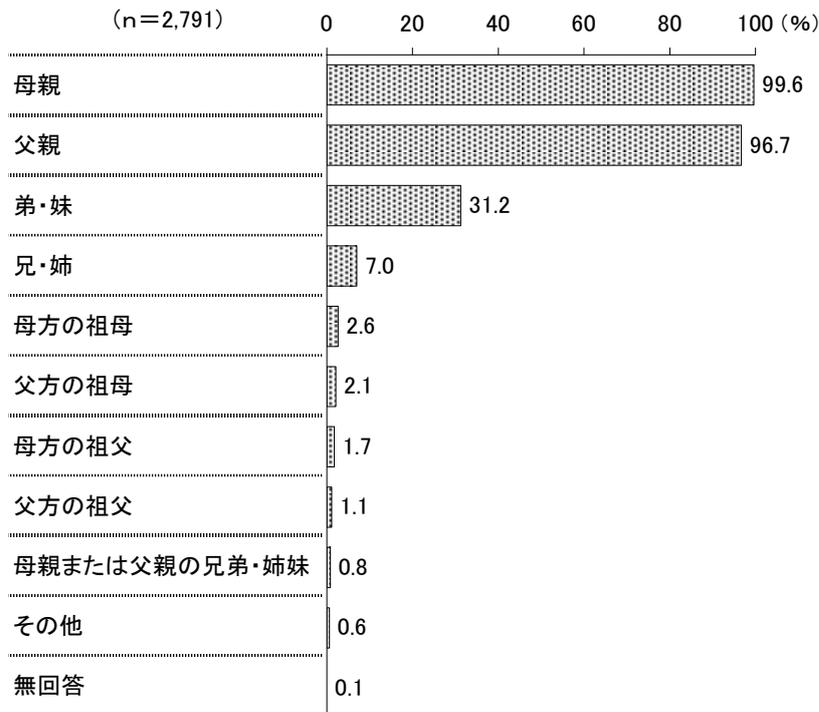
(2) 宛名の子どもの家族

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

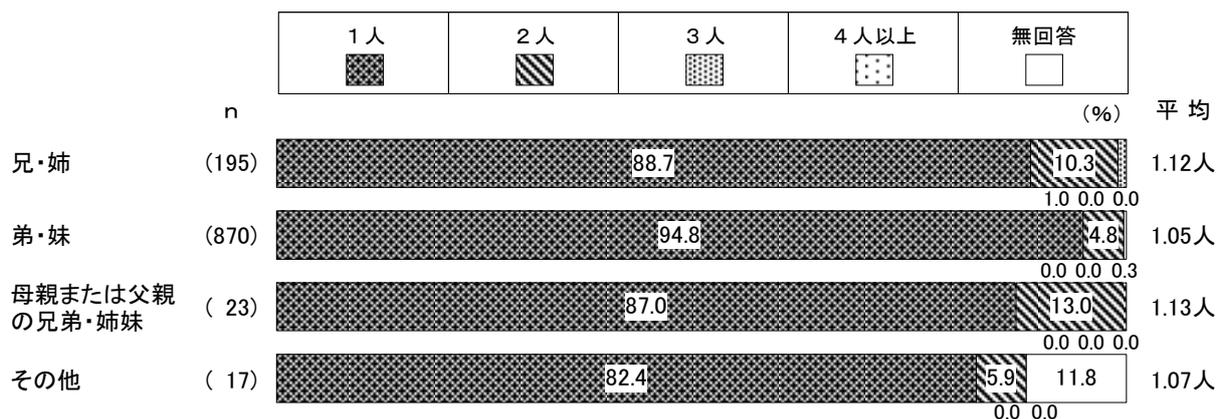
図 1-2



宛名の子どもの家族は、「母親」が 99.6%、「父親」が 96.7%で多く、次いで「弟・妹」が 31.2%、「兄・姉」が 7.0%と続いている。(図 1-2)

「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数は、それぞれ「1人」が最も多くなっている。(図 1-3)

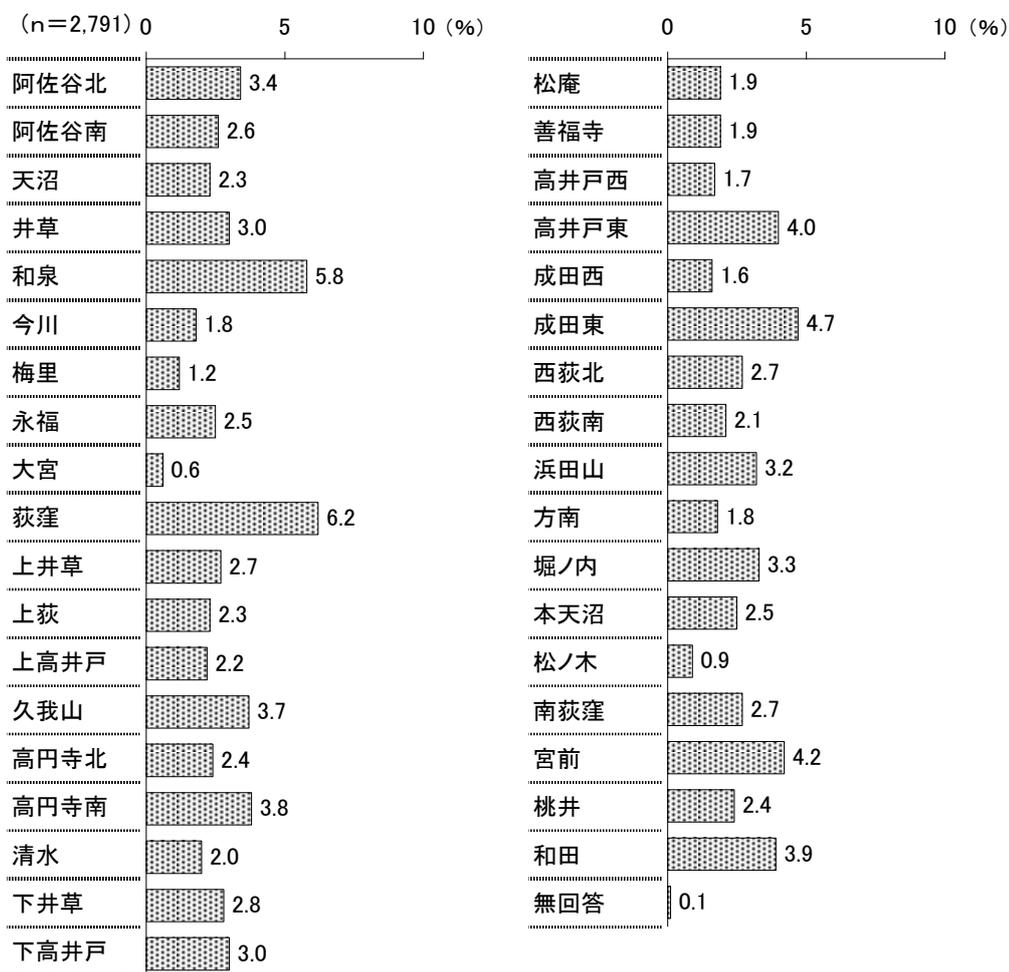
図 1-3 「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数



(3) 居住地域

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

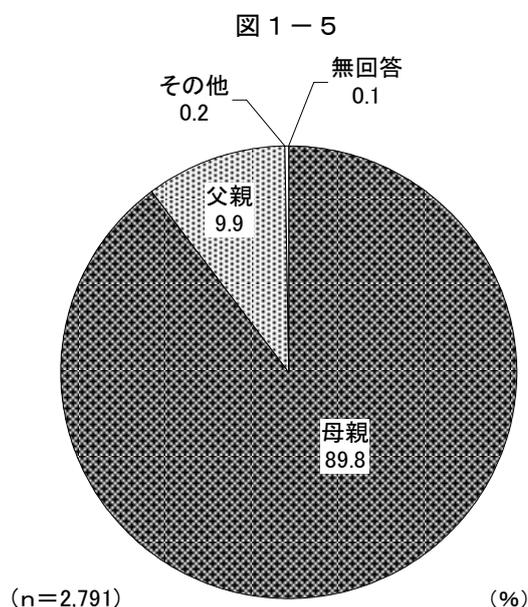
図1-4



居住地域は、「荻窪」が6.2%で最も多く、次いで「和泉」が5.8%、「成田東」が4.7%と続いている。(図1-4)

(4) 記入者

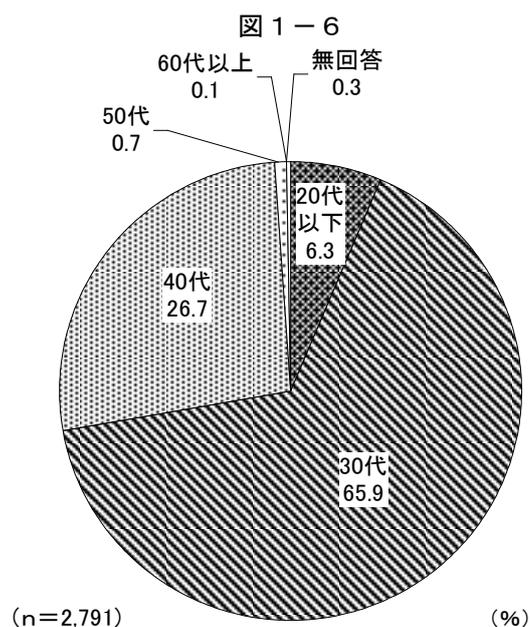
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。



記入者は、「母親」が89.8%、「父親」は9.9%となっている。(図1-5)

(4-1) 記入者の年齢

問4-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

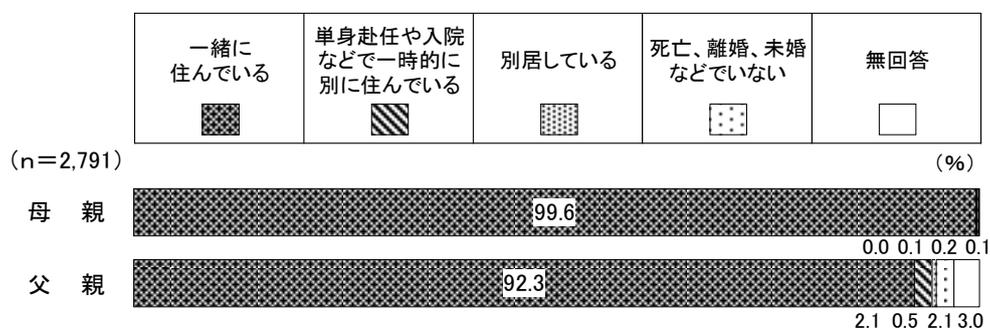


記入者の年齢は、「30代」が65.9%で最も多く、次いで「40代」が26.7%、「20代以下」が6.3%と続いている。(図1-6)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

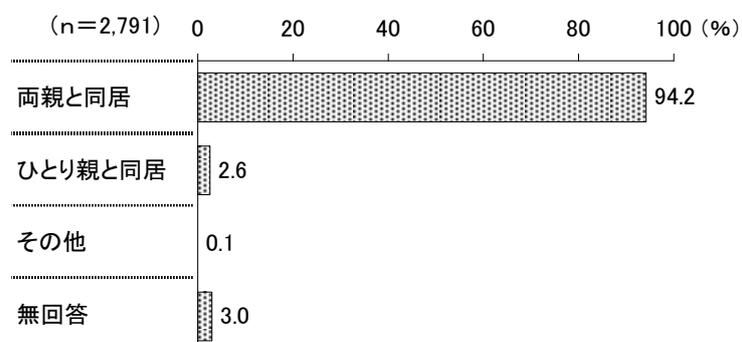
図1-7



保護者の状況については、「一緒に住んでいる」が母親で99.6%、父親で92.3%となっている。(図1-7)

保護者との同居状況をみると、「両親と同居」が94.2%、「ひとり親と同居」は2.6%となっている。(図1-8)

図1-8 保護者との同居状況

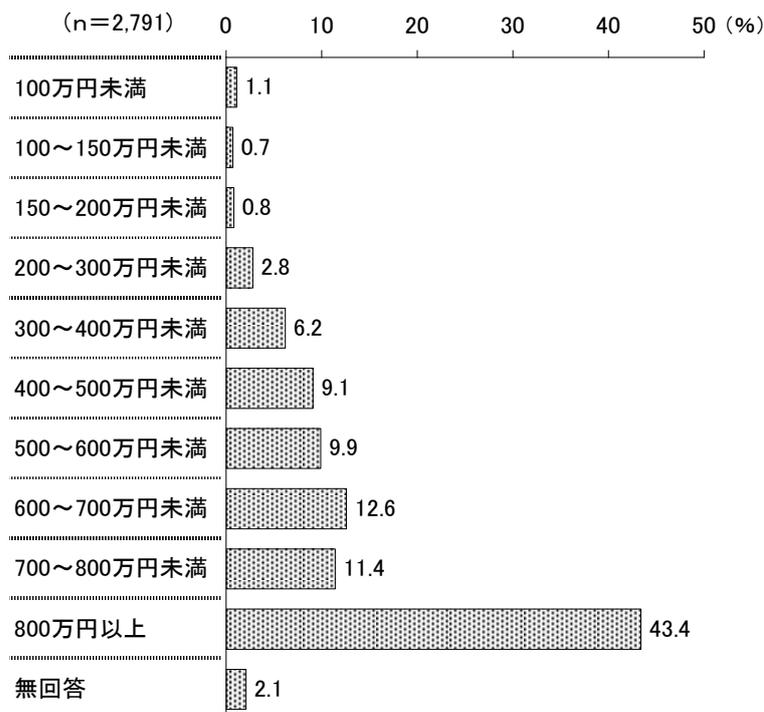


(6) 家族全員の収入合計額

問6 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。前年、平成28年(2016年)のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるものの1つに○をつけてください。

※家族とは、問2でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

図1-9



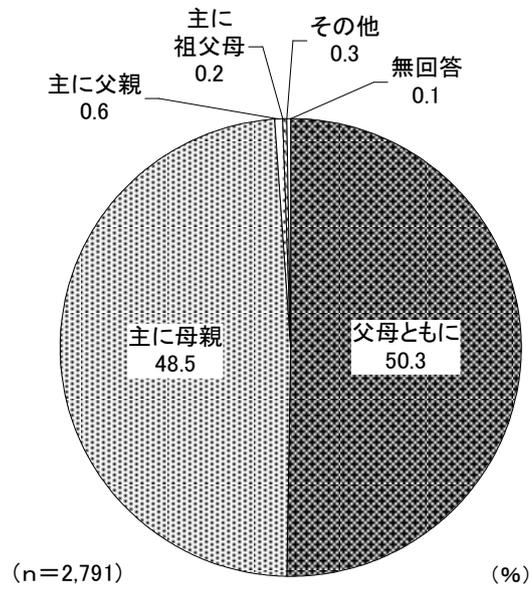
家族全員の収入合計額は、「800万円以上」が43.4%で最も多く、次いで「600～700万円未満」が12.6%、「700～800万円未満」が11.4%と続いている。(図1-9)

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図2-1

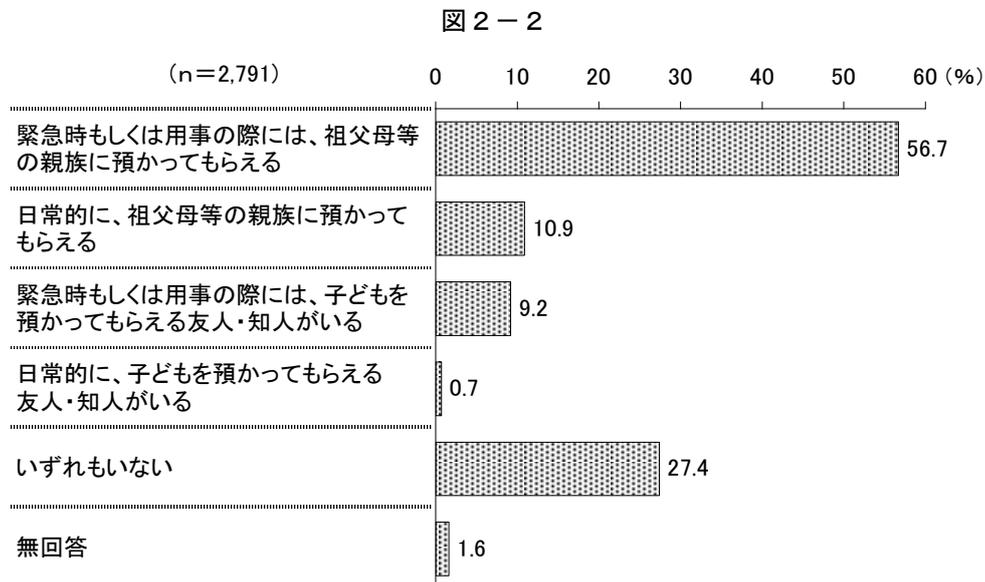


子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が50.3%、「主に母親」は48.5%となっている。

(図2-1)

(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

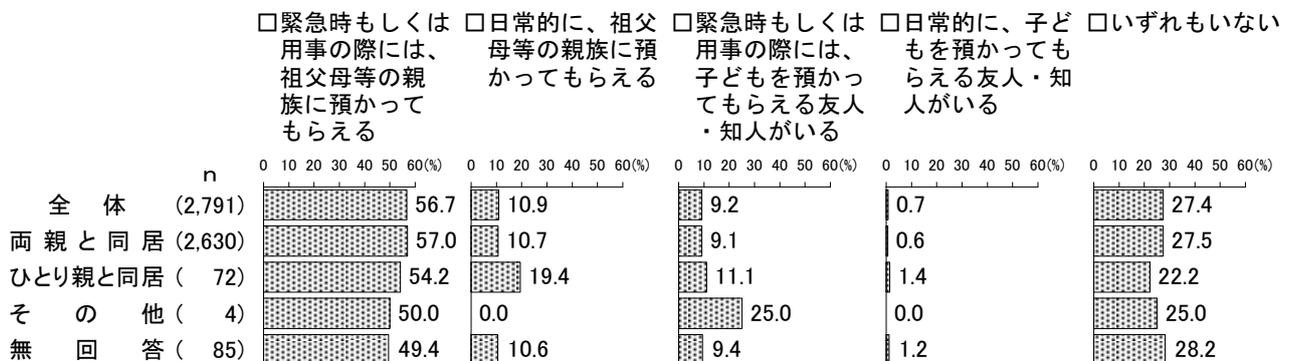
問8 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.7%で最も多く、次いで「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」が10.9%と続いている。一方、「いずれもない」は27.4%となっている。(図2-2)

保護者の状況別にみると、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」はひとり親と同居で19.4%と多くなっている。(図2-3)

図2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無(保護者の状況別)

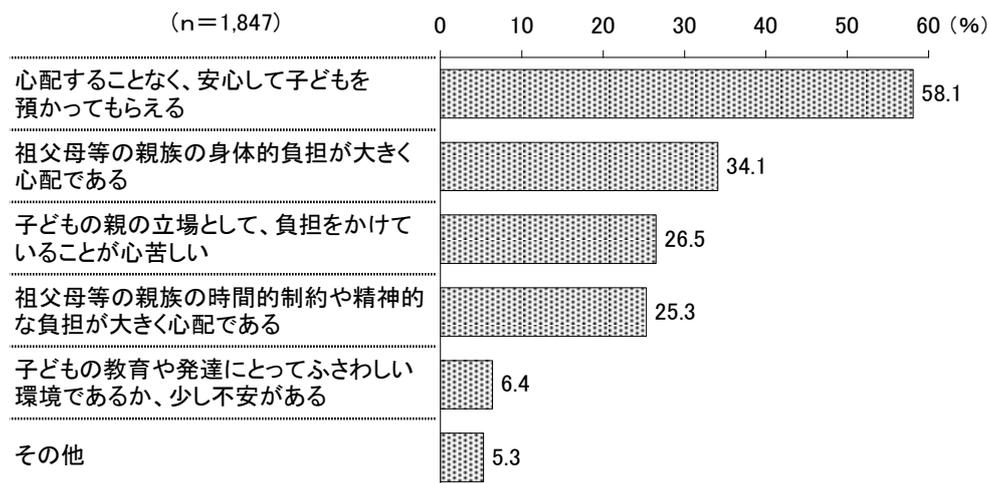


(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況

(問8で、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図2-4

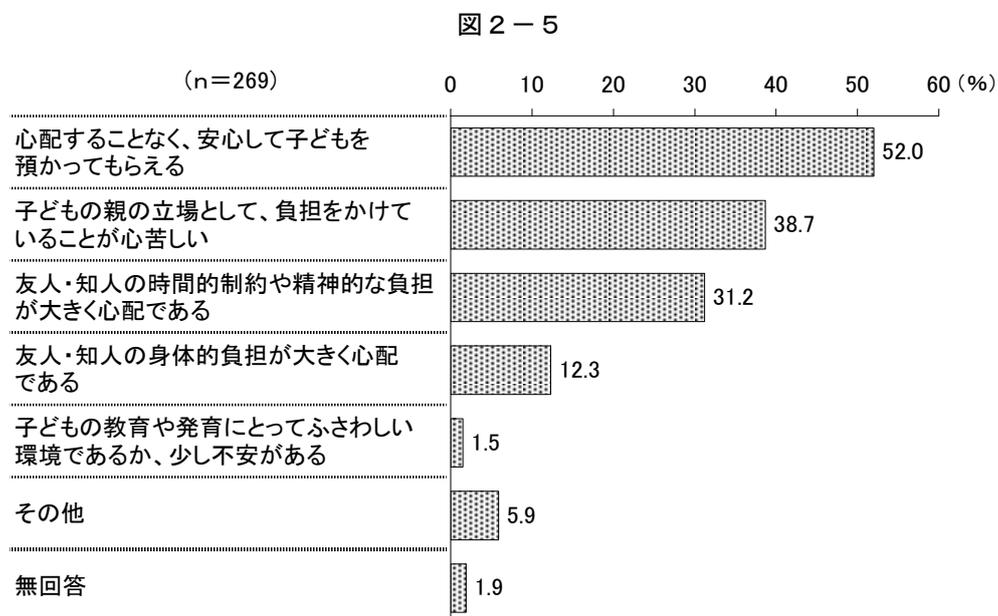


子どもを親族に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が58.1%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が34.1%、「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.5%と続いている。(図2-4)

(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況

(問8で、「日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-2 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

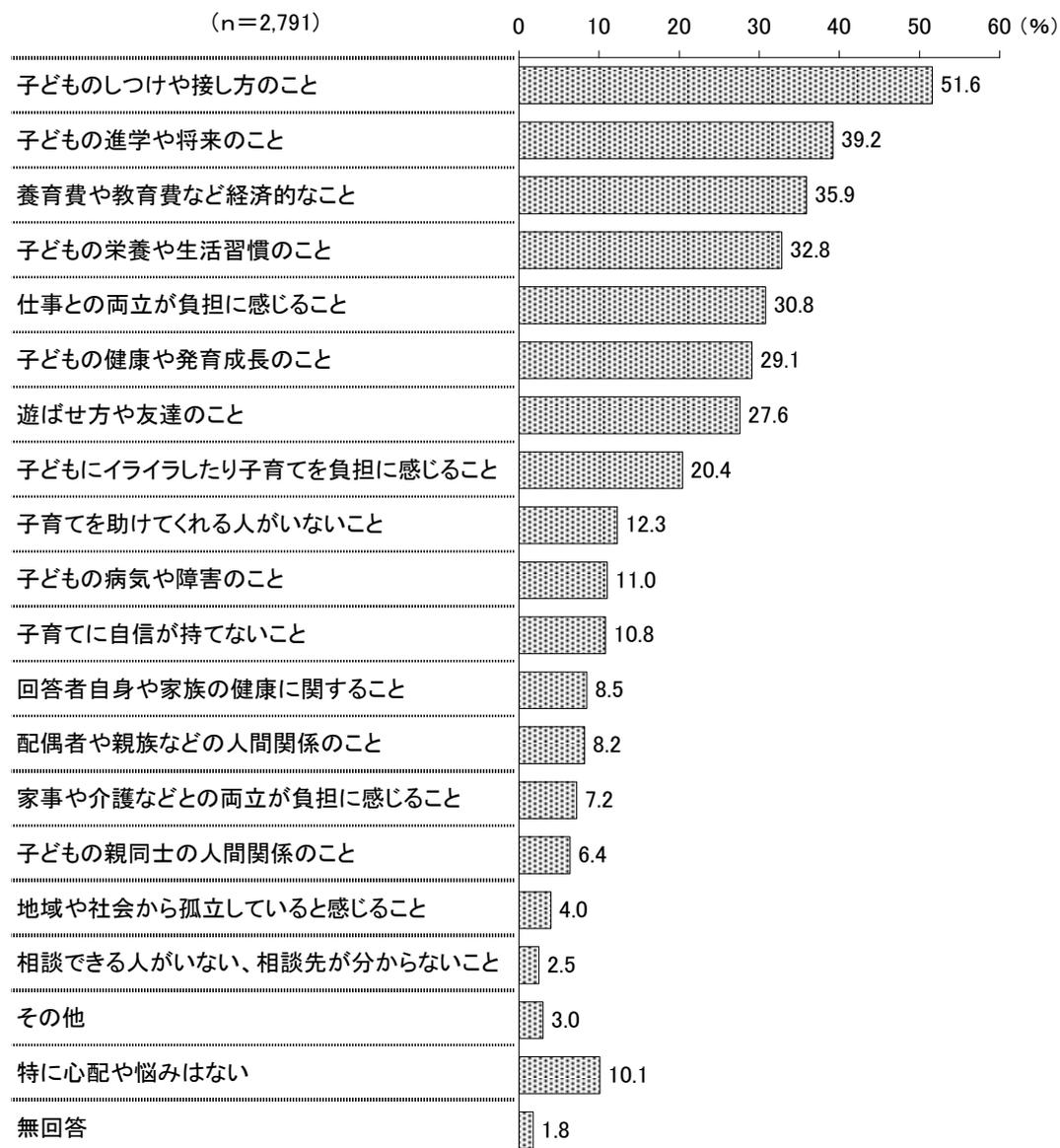


子どもを友人・知人に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が52.0%で最も多く、次いで「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が38.7%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が31.2%と続いている。(図2-5)

(3) 子育てをする上での心配や悩み

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図2-6

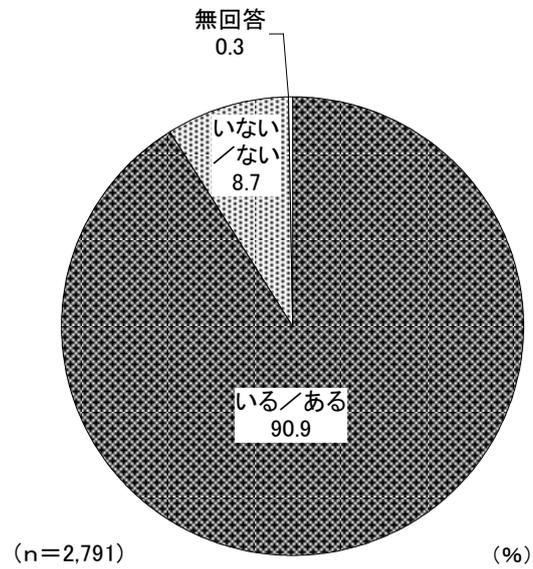


子育てをする上での心配や悩みは、「子どものしつけや接し方のこと」が51.6%で最も多く、次いで「子どもの進学や将来のこと」が39.2%、「養育費や教育費など経済的なこと」が35.9%と続いている。一方、「特に心配や悩みはない」は10.1%となっている。(図2-6)

(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいですか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図2-7

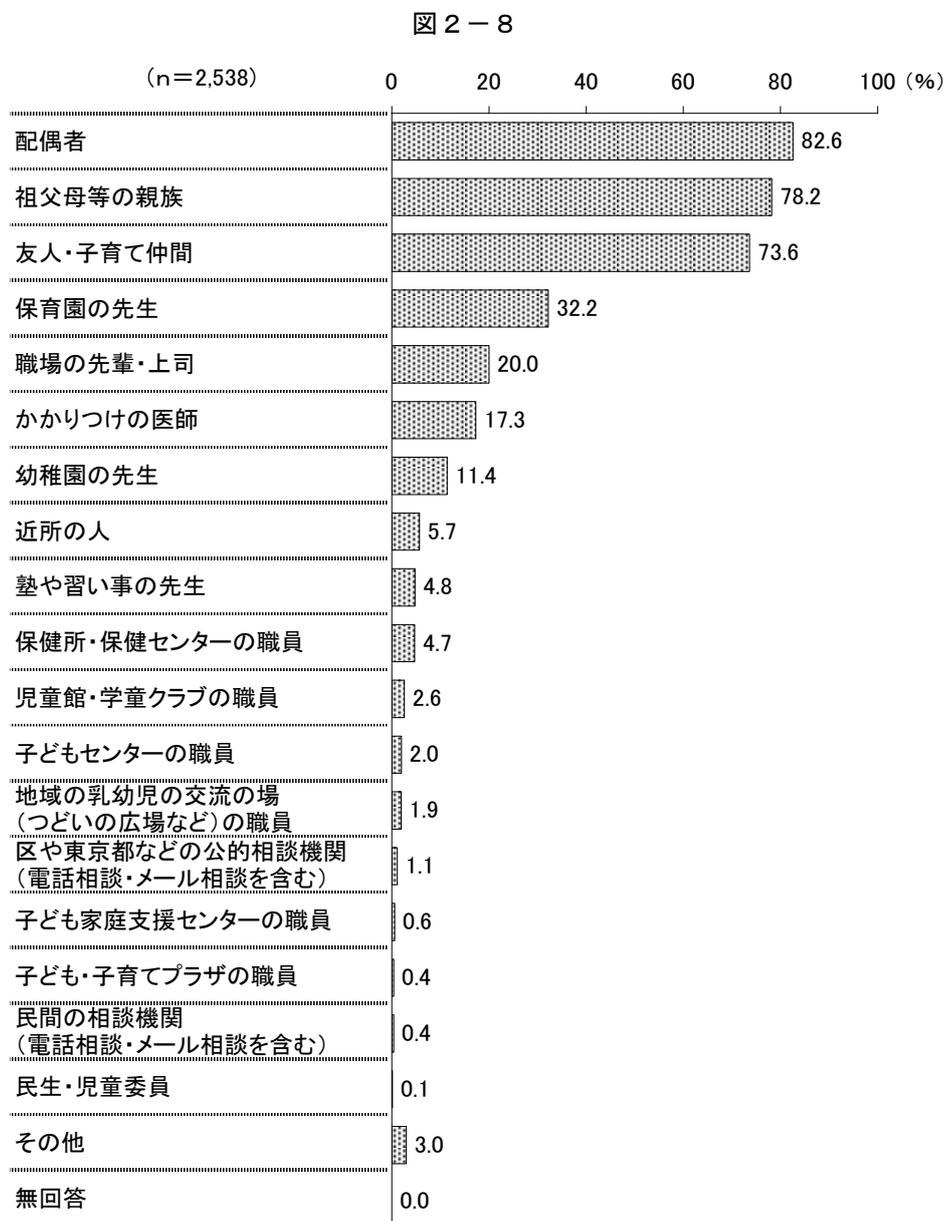


子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる／ある」が 90.9%、「いない／ない」は 8.7%となっている。(図2-7)

(4-1) 子育てに関する相談先

(問10で、「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。)

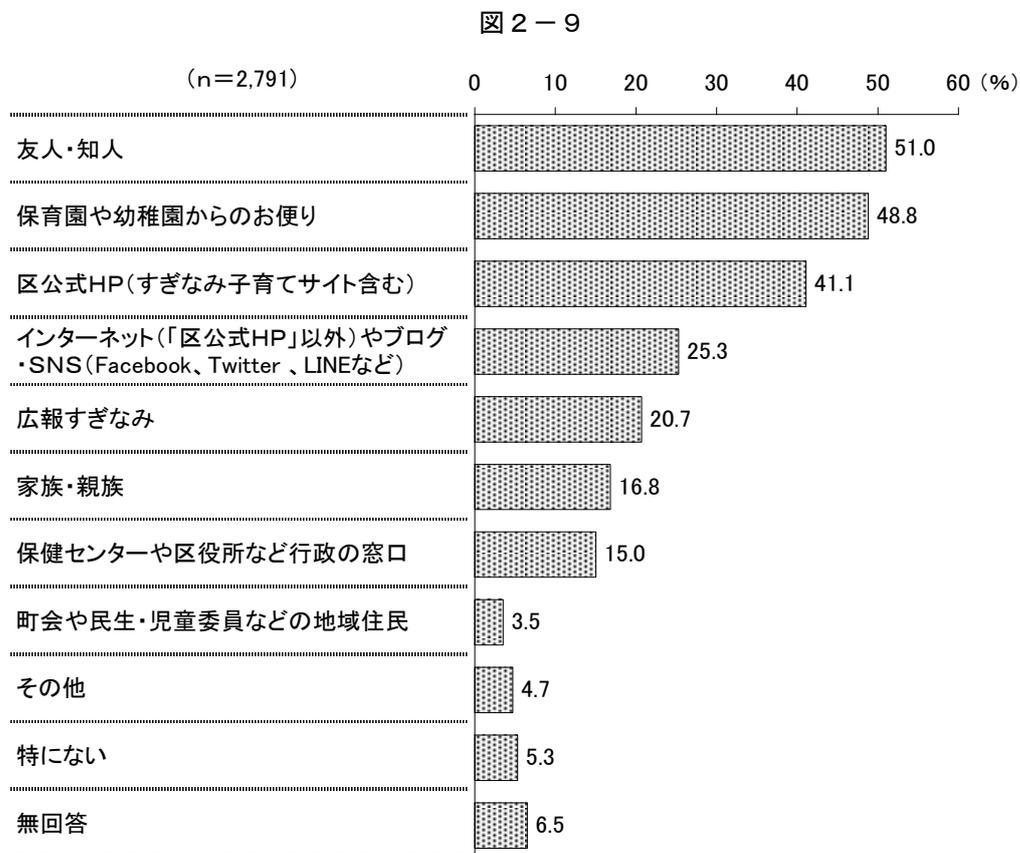
問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



子育てに関する相談先は、「配偶者」が82.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が78.2%、「友人・子育て仲間」が73.6%と続いている。(図2-8)

(5) 子育てに関する区の情報の入手先

問11 お子さんの子育てに関する区の情報を、現在、どこから（誰から）得ていますか。以下の項目から情報を多く得ている順に、回答欄に番号を記入してください。



※情報を多く得ている順の1番目から3番目までを累計した値

子育てに関する区の情報の入手先は、「友人・知人」が51.0%で最も多く、次いで「保育園や幼稚園からのお便り」が48.8%、「区公式HP(すぎなみ子育てサイト含む)」が41.1%と続いている。(図2-9)

(6) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート

問 12 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要な周囲からのサポートを自由に記述していただいたところ、1,311人から1,433件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス、教育環境の充実（700件）

- ・ 保育園が休みの日や自分（母親）が病気をしたときに子どもを見てくれる場所（料金安めの）が近くにあったらよいと思う。
- ・ 急な発熱等の際に、病児保育が迅速に身近で受けられるとよいと思う。

2 子どものことを気軽に相談できる専門家・窓口によるサポートの充実（212件）

- ・ 家庭の生活スタイルや考え方、収入や支出に合わせたサービスや援助の提案を気軽に相談できて、サービスが遂行されるような窓口があればうれしい。
- ・ 保健所からの訪問を増やして欲しい。その時にいろいろな手続きや情報を教えてもらえたり、相談できればうれしいです。

3 子育てに関する情報提供によるサポートの充実（193件）

- ・ 区に登録をしたら月齢ごとに必要な情報をメールなどで配信していただけたらうれしい。（毎日の生活に追われて自分から情報を集めることが難しくなっている。広報紙がマンションに配られない。）
- ・ 区の情報などは、自分から探さないとわからないことばかりなので、お便りなどで送っていただけるようになるとういなと思います。仕事を始めると探しに行く時間もないので。

4 同世代の子どもを持つ方と交流できる場の提供によるサポート（112件）

- ・ 初めての育児で知り合いもおらず心細いので、初めてでも交流の場に参加しやすいようなサポートがほしい。（すでに知り合い同士でグループができていると入りづらい。）
- ・ 家族構成や仕事の環境等が同じ様な状況の方との情報交換会。（育休の人とそうでない方が一緒にいると話の内容が限定されるので。）

5 行政による金銭面のサポートの充実（87件）

- ・ 子育て応援券をインフルエンザ以外の任意の予防接種にも適用できるようにしてほしい。
- ・ 金銭的にこういう免除があるよとか、こういう風にすると税金が返ってくるよとか教えて欲しい。

6 地域の方からの理解、安全面に関するサポートの充実 (33件)

- ・ 公園や危ない道、細いけど交通量の多い道に見守りの人がいたら良い。
- ・ 私が住んでいるところはたまたまご近所の方がとても親切で、会うと声をかけてくださったり、子どもが自宅で大号泣したりしていても「大丈夫よ」と言って下さります。そういったちょっとした声をかけてくれるだけで気持ちが安心します。そのような環境が増えていけばいいなと感じます。

7 企業の子育てに対する理解によるサポート (12件)

- ・ 職場復帰後、子どもの保育園などの送り迎え、仕事、家事、病気になった時のお迎えを一人でやらなければならないと思うととても負担です。男性の職場の長時間勤務が減ったり、子育てのために早く帰りやすくなれば、女性も子育てと仕事の両立ができるのにとおもいます。
- ・ 職場にもっと理解があればもっと子育てしやすいと思います。例えば正社員でなくても全員が育休を取得できる。子どもが小さいうちは自宅勤務も認める。子どもの看病のための有給休暇がある。母親だけでなく、父親も必要に応じて時短制度を利用できるなど。

8 個別に支援を必要とする子どもへのサポートの充実 (7件)

- ・ 気軽に預けられる施設をたくさん作ってほしい。療育施設を作ってほしい。小学校も支援学級ではなく、アスペルガーなどの発達クラスを普通の小学校に作ってほしい。週1回の1時間の支援学級では足りないし、知的障害の支援学級では物足りない子どもの行き場がない。
- ・ 娘は自閉症ですが、一般の保育園での一時預かりを断られる場合があり、日帰りショートステイを利用するのですが、これも枠が少なく予約が取れない。ファミサポに登録しましたが、マッチングする方がいません。現状、誰にも頼ることができない状況です。日帰りショートステイをもっと増やしてほしいです。

9 その他 (77件)

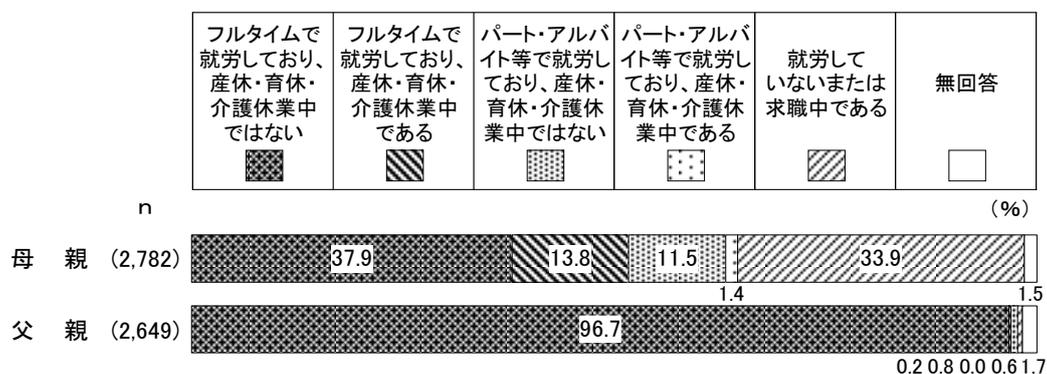
- ・ 子ども食堂の普及。夕食を家族以外の人と食べる、大勢で食べる楽しさを今の子どもたちに味わう機会をたくさん作ってほしい。大人が考える以上に今の子どもたちは食に対する考えや感じ方が乏しい。
- ・ 0歳児の時期、料理や家事などのサポートがもしあったら、だいぶ楽だったかもしれません。

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問13 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図3-1



保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.9%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が13.8%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて51.7%となっている。また、「就労していないまたは求職中である」は33.9%となっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.7%で最も多くなっている。(図3-1)

子どもの年齢別にみると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は1歳で44.7%と多くなっている。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」は0歳で36.0%と多くなっている。また、「就労していないまたは求職中である」は5歳で39.0%、2歳で37.8%と多くなっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がすべての年齢で9割台となっている。(図3-2・3)

図3-2 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【母親】

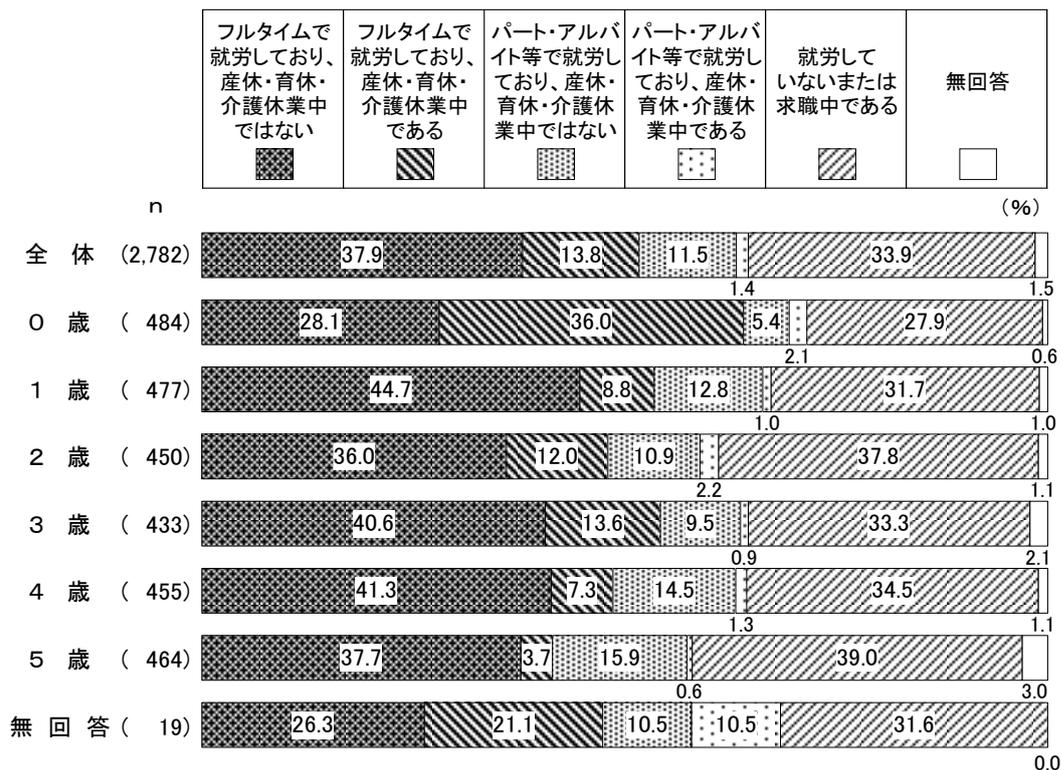
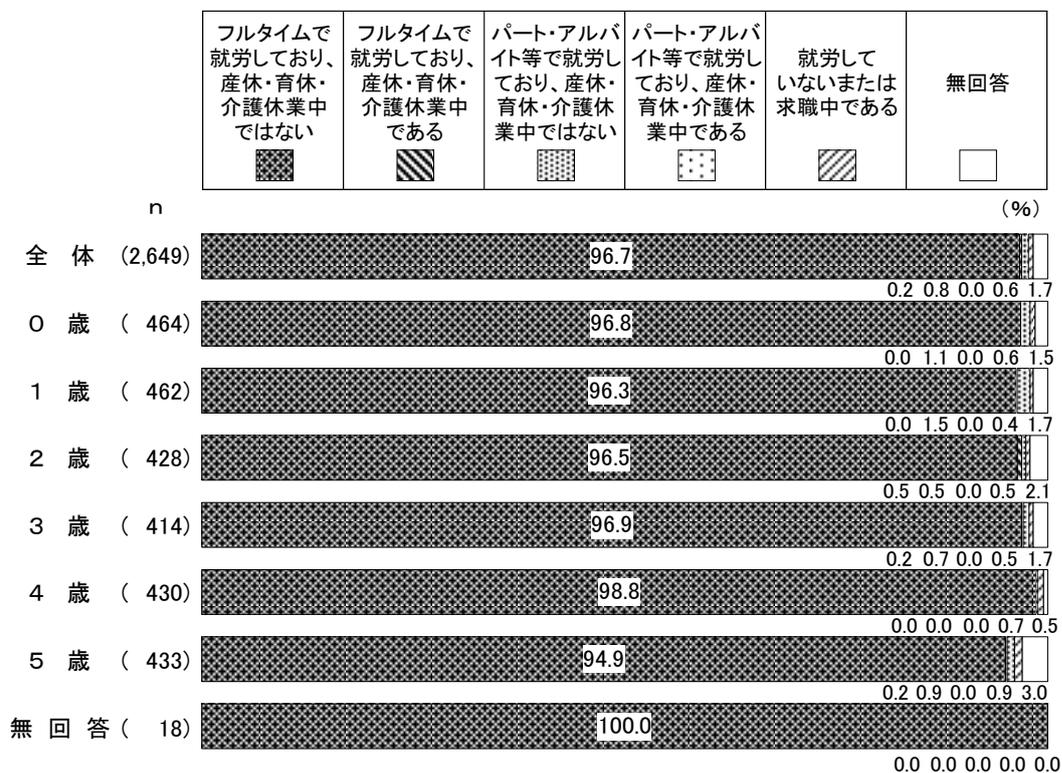


図3-3 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【父親】



(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-4 就労日数

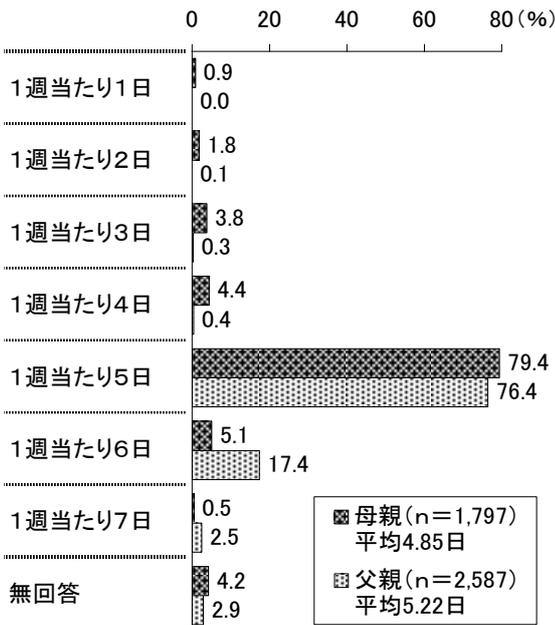
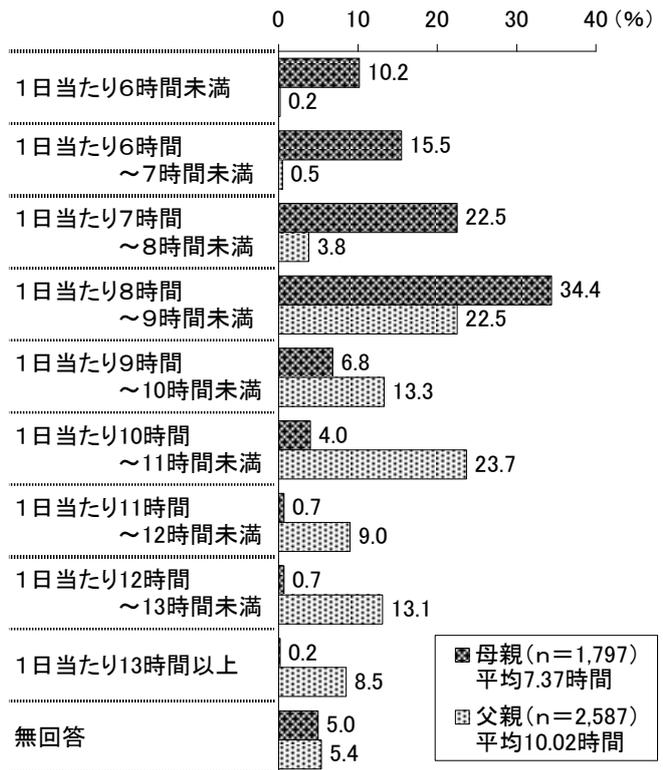


図3-5 就労時間



1週当たりの就労日数は、「5日」が母親で79.4%、父親で76.4%と最も多く、次いで「6日」が母親で5.1%、父親で17.4%と続いている。(図3-4)

1日当たりの就労時間は、母親では「8時間～9時間未満」が34.4%で最も多く、次いで「7時間～8時間未満」が22.5%と続いている。

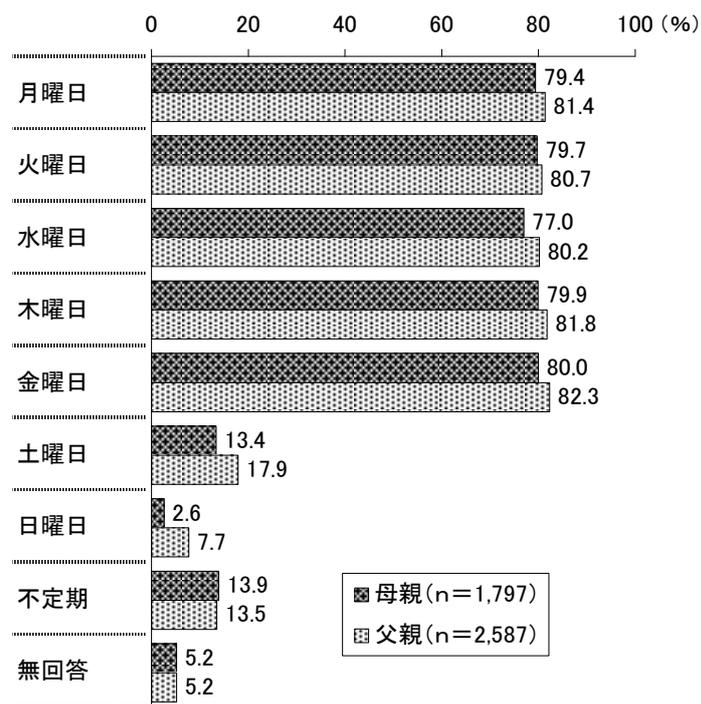
父親では「10時間～11時間未満」が23.7%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が22.5%と続いている。(図3-5)

(1-2) 働いている曜日

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-6 働いている曜日



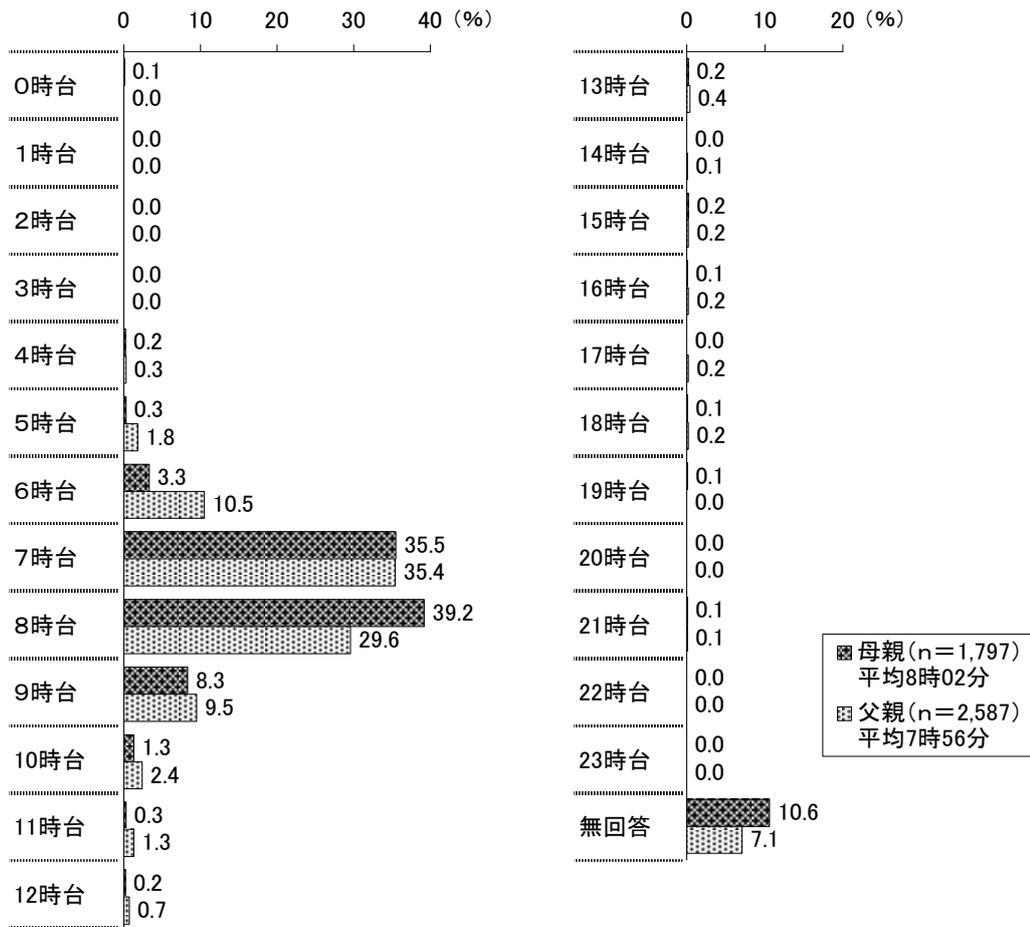
働いている曜日は、母親・父親ともに「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」が8割前後となっている。(図3-6)

(1-3) 出勤時間と帰宅時間

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

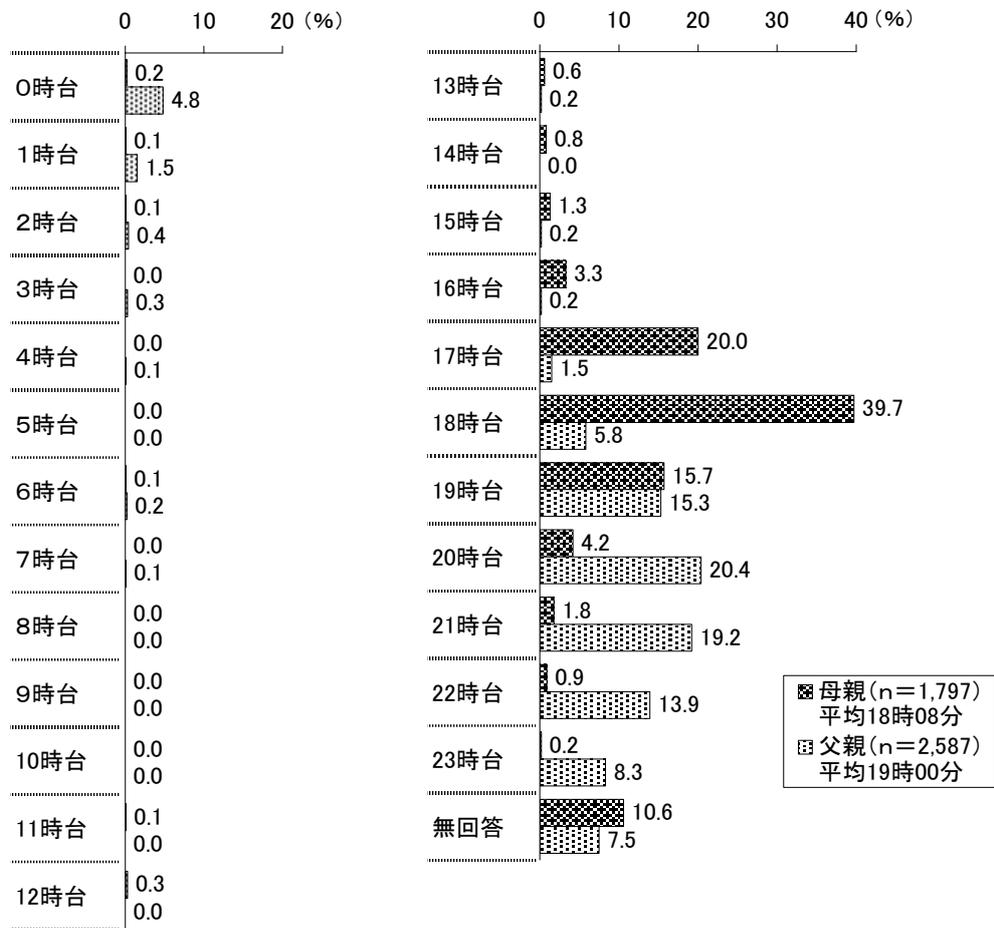
図3-7 出勤時間



出勤時間は、母親では「8時台」が39.2%で最も多く、次いで「7時台」が35.5%と続いている。

父親では「7時台」が35.4%で最も多く、次いで「8時台」が29.6%、「6時台」が10.5%と続いている。(図3-7)

図3-8 帰宅時間



帰宅時間は、母親では「18時台」が39.7%で最も多く、次いで「17時台」が20.0%、「19時台」が15.7%と続いている。

父親では「20時台」が20.4%で最も多く、次いで「21時台」が19.2%、「19時台」が15.3%と続いている。(図3-8)

在宅勤務の方の仕事開始時間は、母親では「9時台」が9.1%で最も多く、次いで「10時台」が3.5%と続いている。

父親では「9時台」が6.6%で最も多く、次いで「8時台」が3.8%と続いている。(図3-9)

在宅勤務の方の仕事終了時間は、母親では「17時台」が6.3%で最も多く、父親では「18時台」が3.3%で最も多くなっている。(図3-10)

図3-9 在宅勤務の方の仕事開始時間

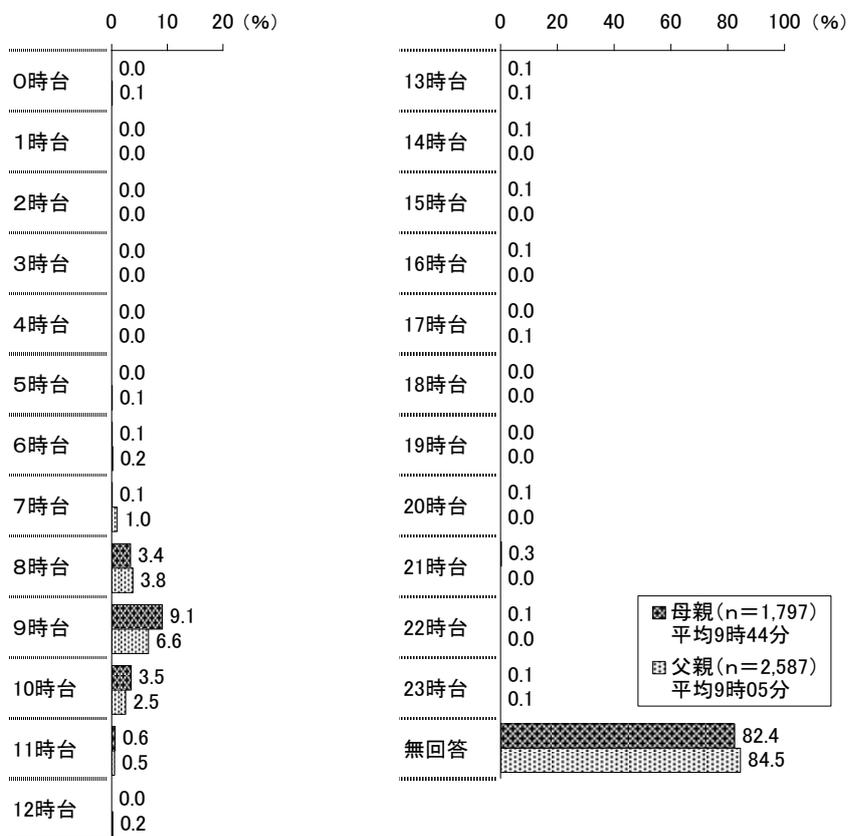
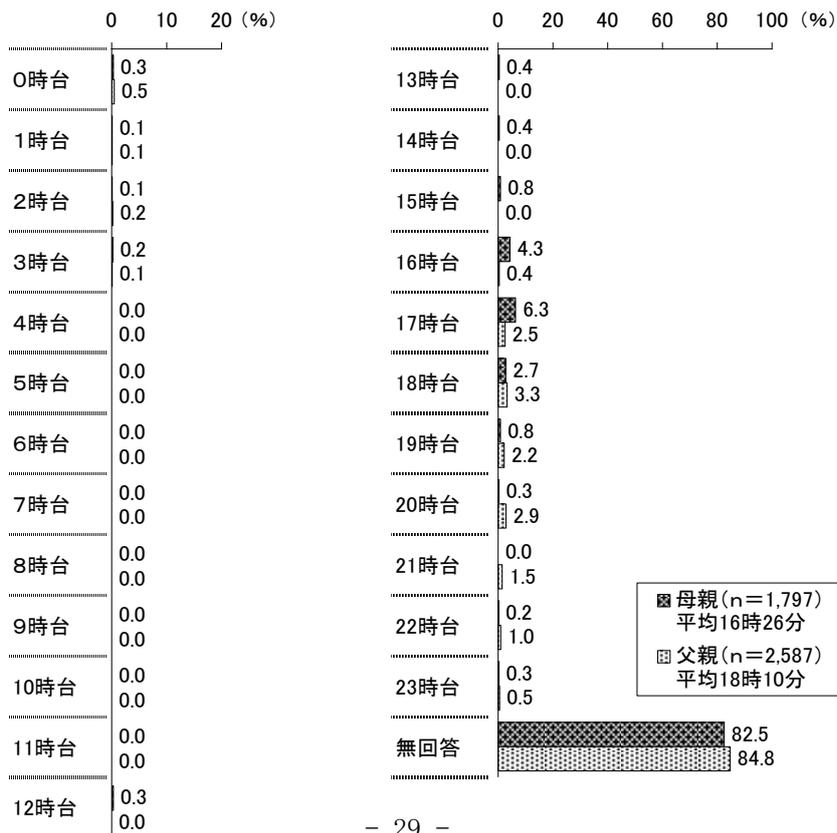


図3-10 在宅勤務の方の仕事終了時間

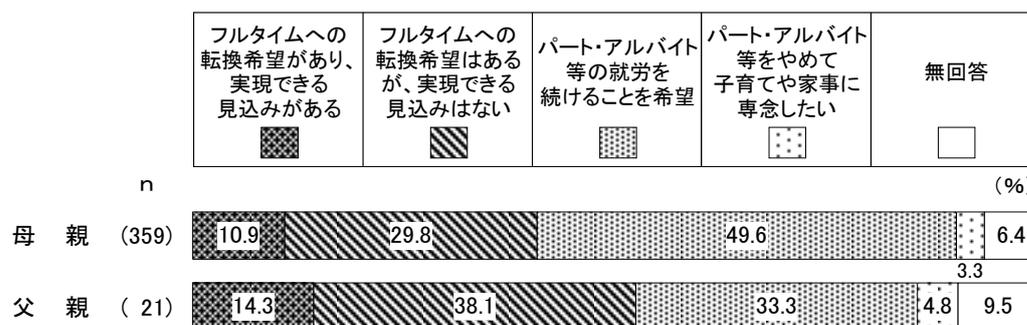


(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

図3-11



パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が49.6%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は29.8%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて40.7%となっている。

父親では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が14.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は38.1%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて52.4%となっている。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は33.3%となっている。(図3-11)

子どもの年齢別にみると、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は3歳で53.3%、4歳で50.0%、5歳で55.8%と、低い年齢層と比べて多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は2歳で37.3%と多くなっている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-12・13)

図3-12 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの年齢別）【母親】

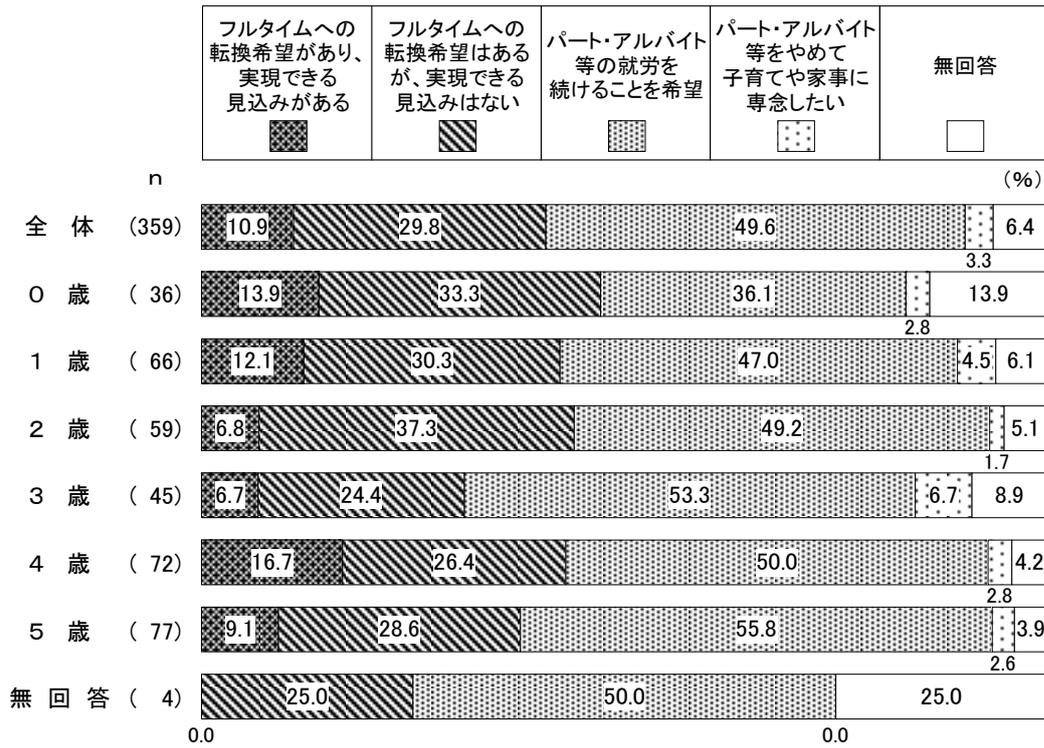
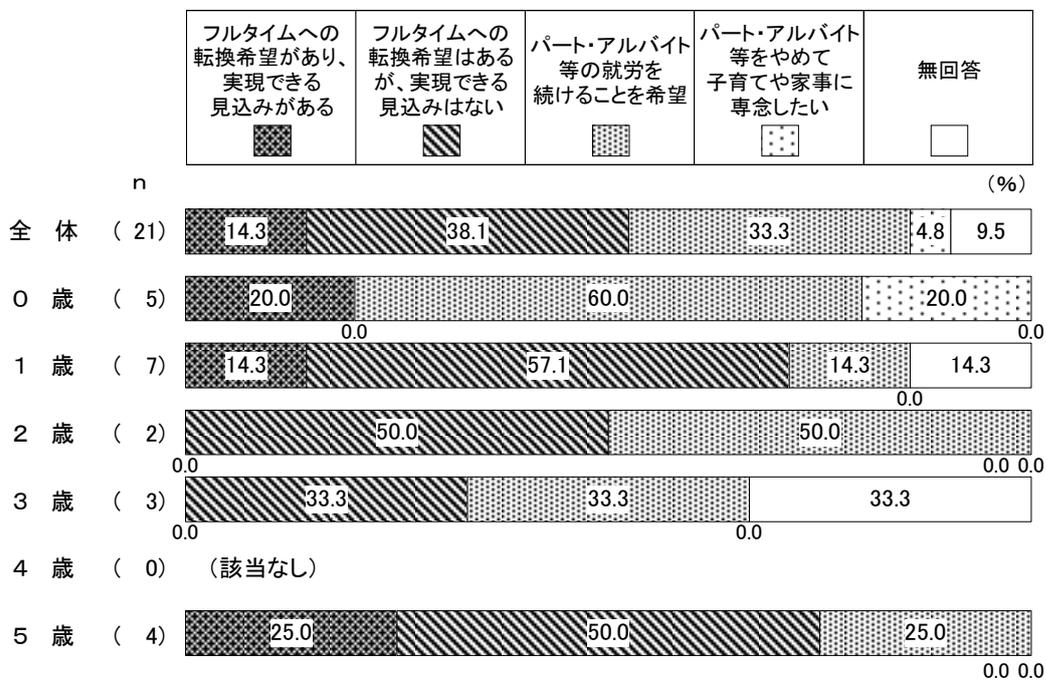


図3-13 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの年齢別）【父親】

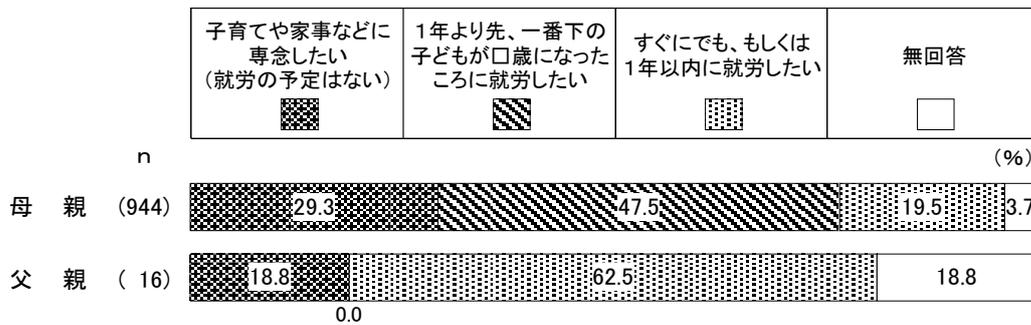


(3) 未就労者の今後の就労意向

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方
にうかがいます。)

問13-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する
□内には数字をご記入ください。

図3-14



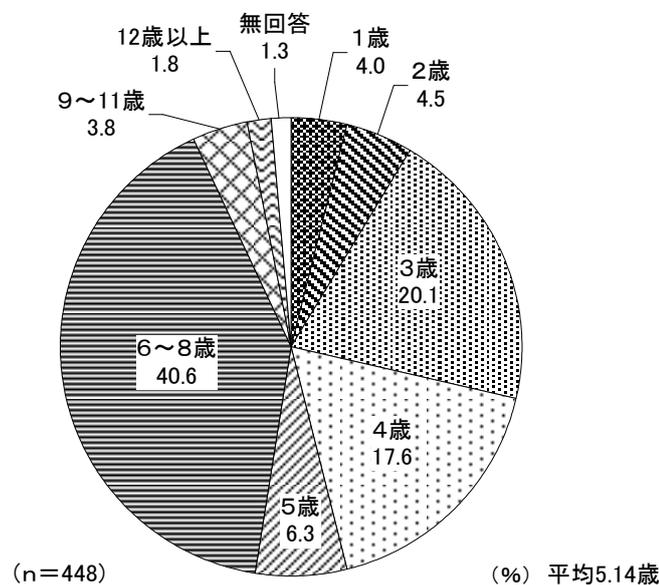
未就労者の今後の就労意向は、母親では「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就
労したい」が47.5%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」
が29.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.5%と続いている。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%で最も多く、次いで「子育て
や家事などに専念したい（就労の予定はない）」が18.8%と続いている。(図3-14)

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」と答えた人が、子どもが何歳
になったころに就労したいかは、母親では「6～8歳」が40.6%で最も多く、次いで「3歳」が
20.1%、「4歳」が17.6%と続いている。

父親については対象がいなかった。(図3-15)

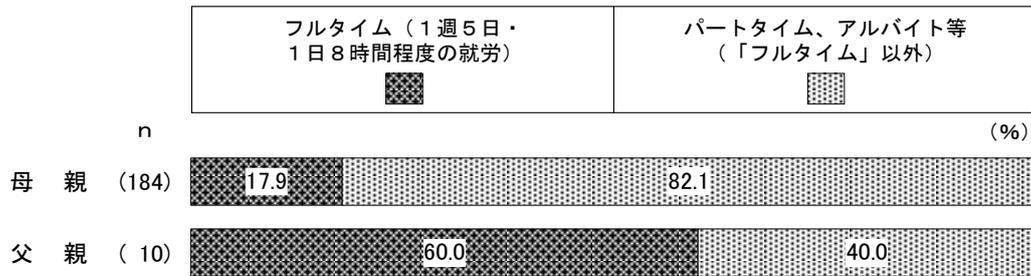
図3-15 子どもが何歳になったころに就労したいか【母親】



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の希望する就労形態は、母親では「フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）」が17.9%、「パートタイム、アルバイト等」は82.1%となっている。

父親では「フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）」が60.0%、「パートタイム、アルバイト等」が40.0%となっている。（図3-16）

図3-16 希望する就労形態



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、1週当たりの希望就労日数は、母親では「3日」が47.0%で最も多く、次いで「4日」が27.2%、「2日」が13.2%と続いている。

父親については、対象が4名と少ないため割愛する。（図3-17）

1日当たりの希望就労時間は、母親では「5時間未満」が34.4%で最も多く、次いで「5時間～6時間未満」が33.1%、「6時間～7時間未満」が24.5%と続いている。

父親については、対象が4名と少ないため割愛する。（図3-18）

図3-17 希望就労日数【母親】

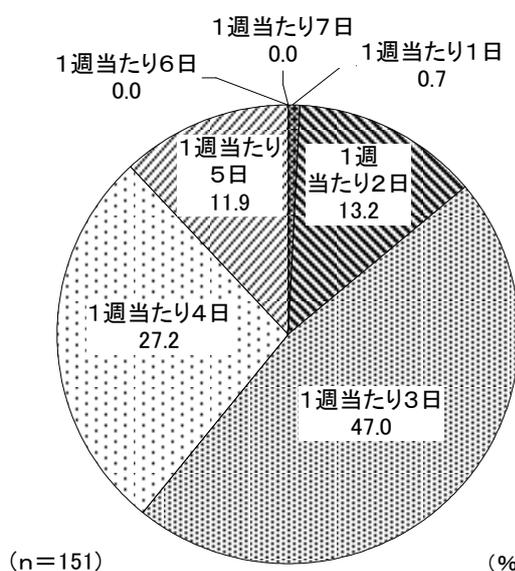
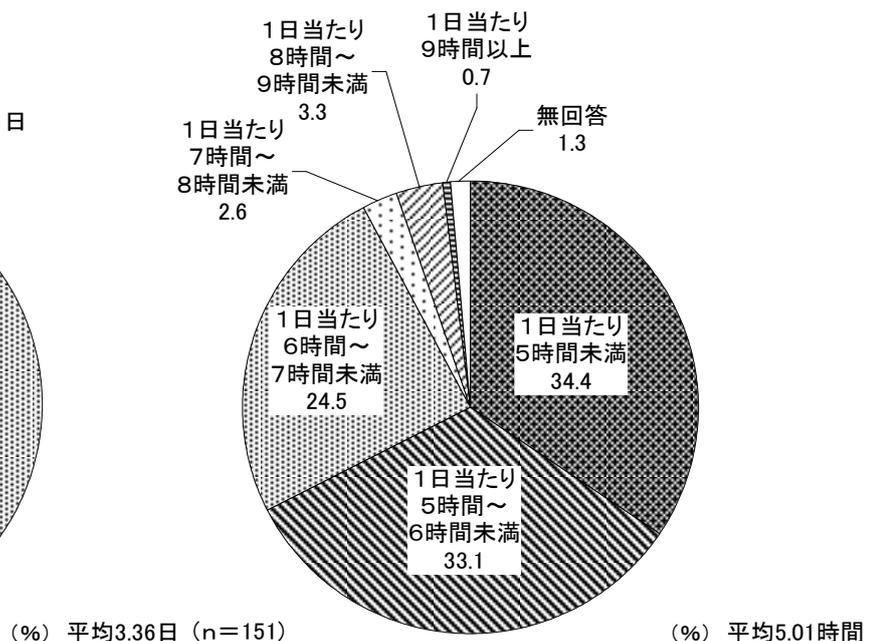


図3-18 希望就労時間【母親】



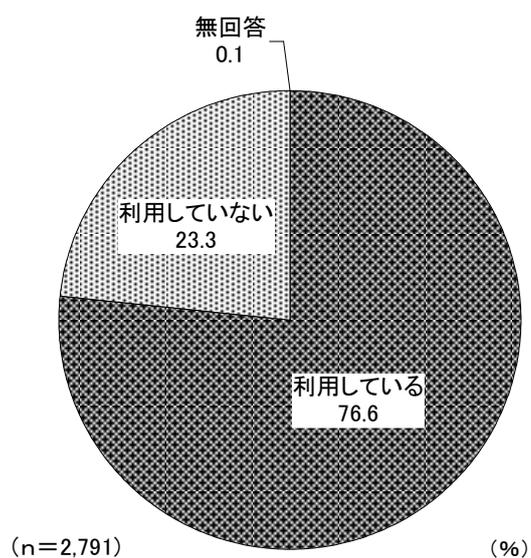
4. 平日の保育園・幼稚園などの利用状況

(1) 平日の保育園・幼稚園などの利用状況

問 14 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問 14-1 に示した施設・事業を、平日定期的に利用されていますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

※ここでいう「定期的」とは、月単位で定期的に利用している場合をさします。

図 4-1



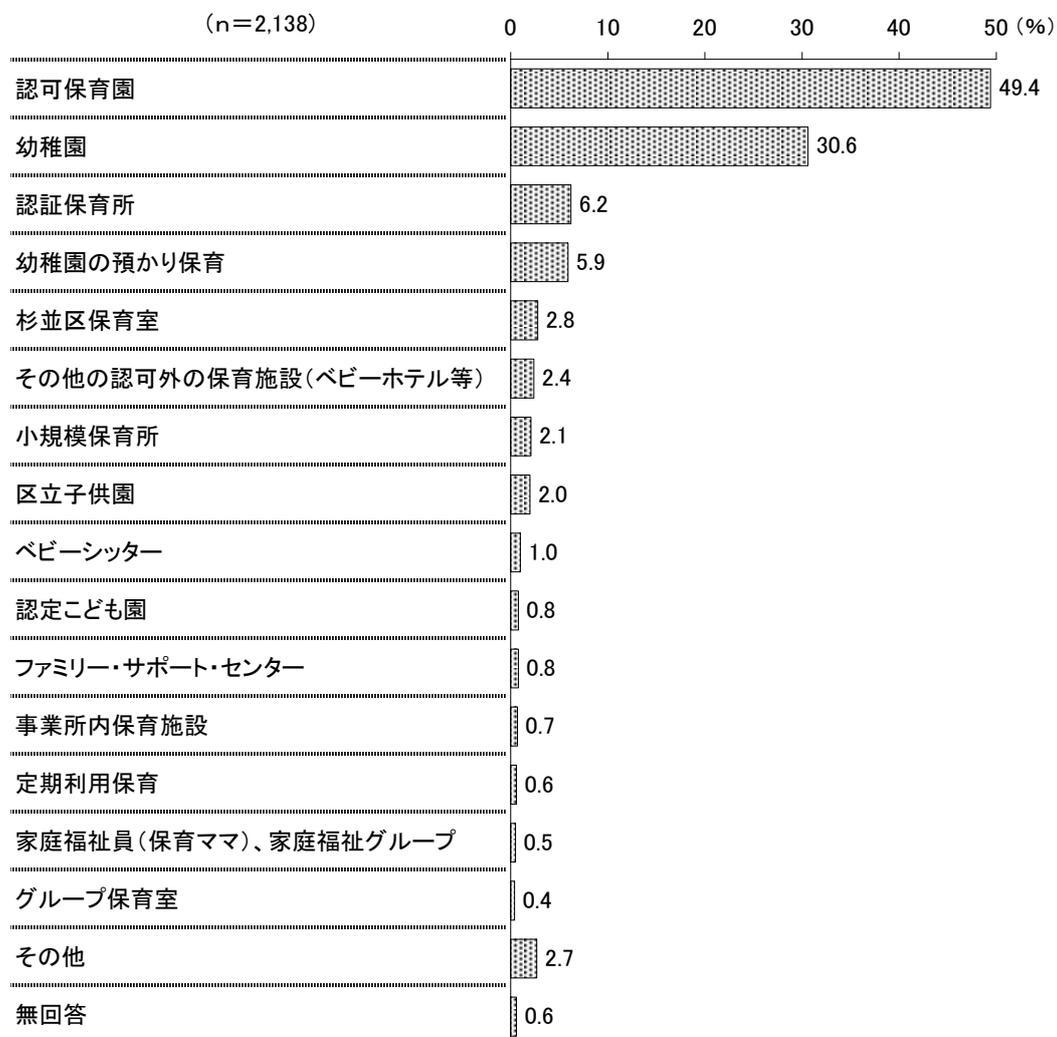
平日の保育園・幼稚園などの利用状況は、「利用している」が 76.6%、「利用していない」は 23.3% となっている。(図 4-1)

(1-1) 平日に利用している施設・事業

(問14で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-1 宛名のお子さんは、平日どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに○をつけてください。

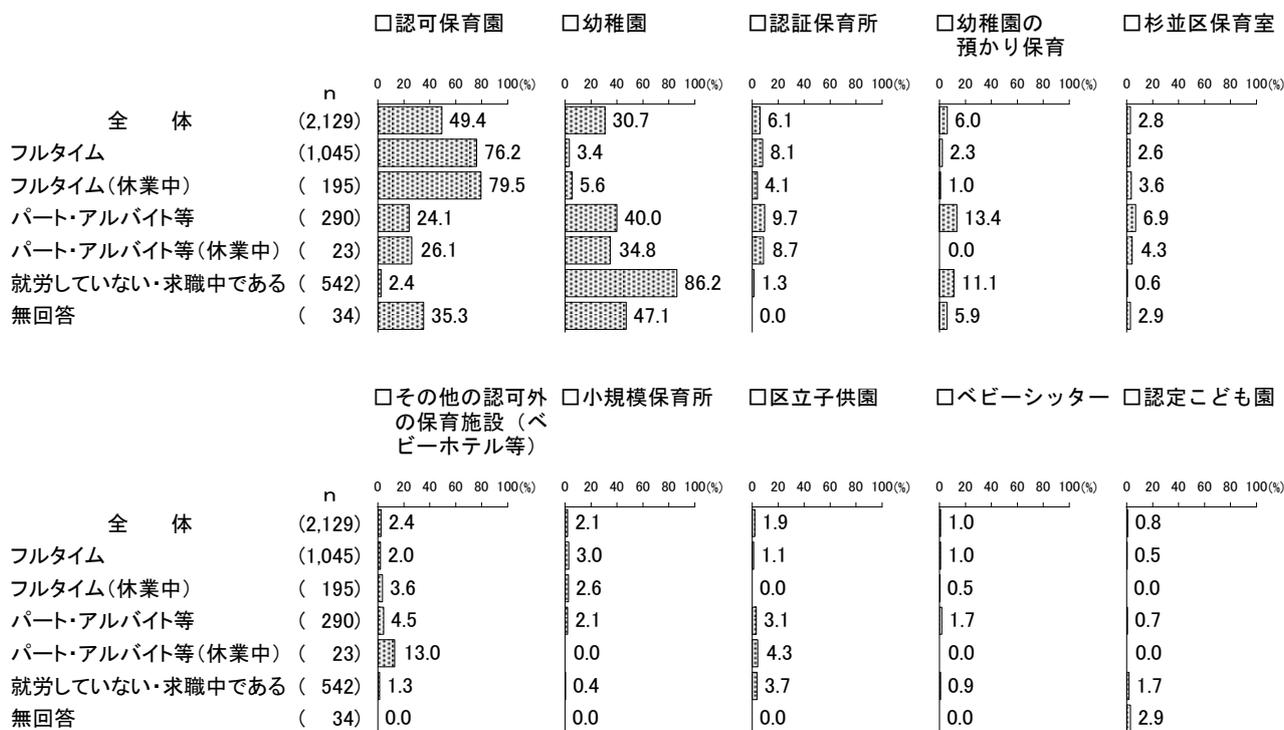
図4-2



平日に利用している施設・事業は、「認可保育園」が49.4%で最も多く、次いで「幼稚園」が30.6%、「認証保育所」が6.2%、「幼稚園の預かり保育」が5.9%と続いている。(図4-2)

母親の就労状況別にみると、「認可保育園」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で79.5%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で76.2%と多くなっている。また、「幼稚園」は“就労していないまたは求職中である”で86.2%と多くなっている。(図4-3)

図4-3 平日に利用している施設・事業（母親の就労状況別）（上位10項目）



(1-2) 施設・事業の現在の利用頻度と希望する利用頻度

(問14で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-2 問14-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□に数字(24時間制)でご記入ください。複数の施設・事業を利用または希望している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

図4-4 利用日数

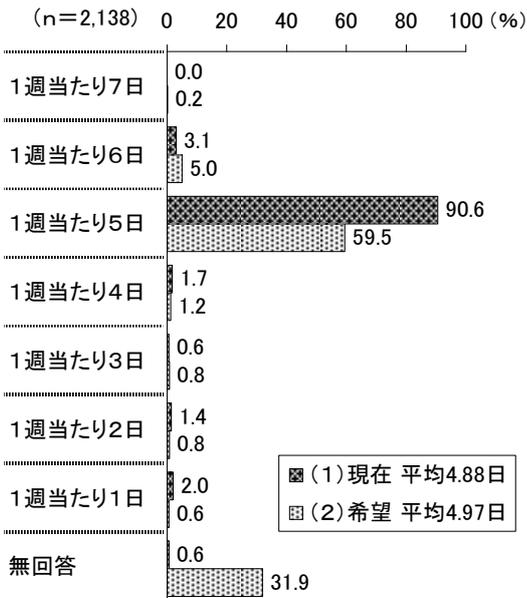
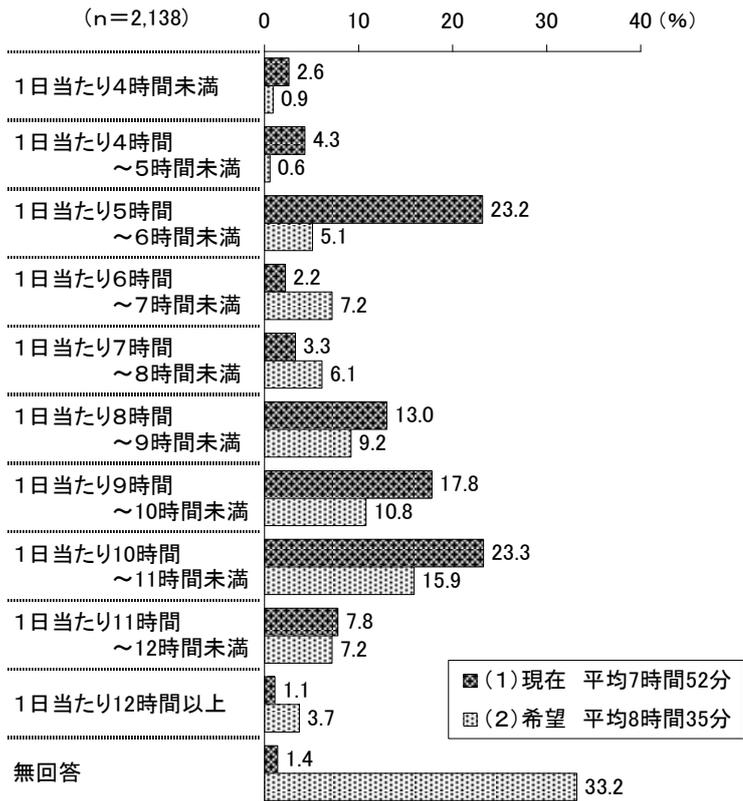


図4-5 利用時間



1週当たりの利用日数は、「5日」が現在で90.6%、希望で59.5%と最も多くなっている。

(図4-4)

1日当たりの利用時間は、現在では「10時間～11時間未満」が23.3%で最も多く、次いで「5時間～6時間未満」が23.2%、「9時間～10時間未満」が17.8%と続いている。

希望では「10時間～11時間未満」が15.9%で最も多く、次いで「9時間～10時間未満」が10.8%、「8時間～9時間未満」が9.2%と続いている。(図4-5)

利用開始時間は、「9時台」が現在で48.7%、希望で30.8%と最も多く、次いで「8時台」が現在で35.5%、希望で24.9%と続いている。(図4-6)

利用終了時間は、現在では「18時台」が32.6%で最も多く、次いで「14時台」が24.7%、「17時台」が22.0%と続いている。

希望では「18時台」が20.2%で最も多く、次いで「17時台」が13.6%、「19時台」が8.4%と続いている。(図4-7)

図4-6 利用開始時間

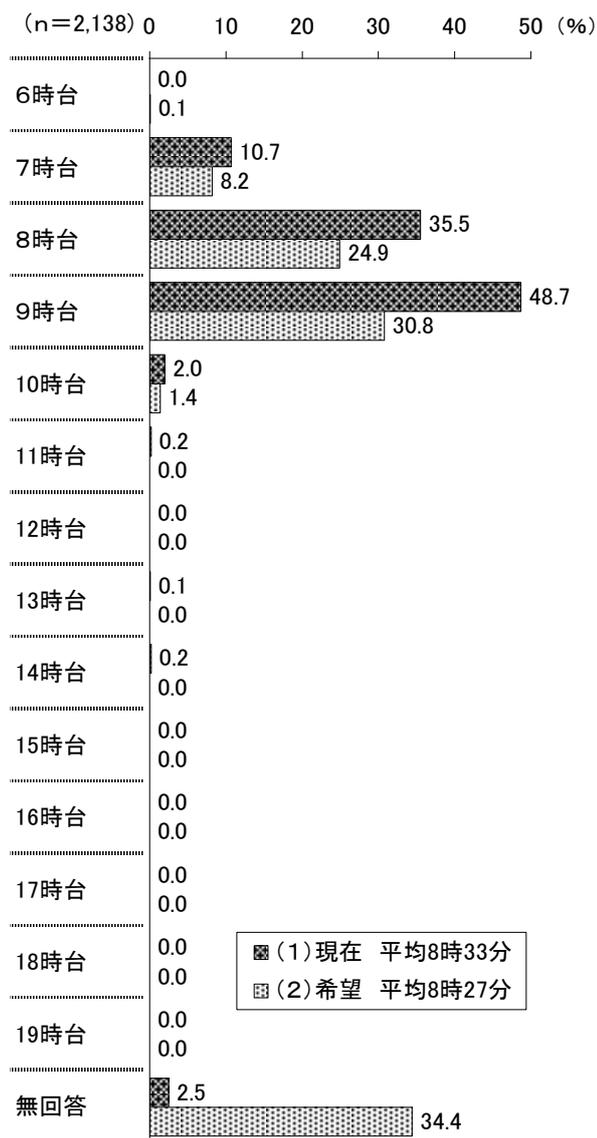
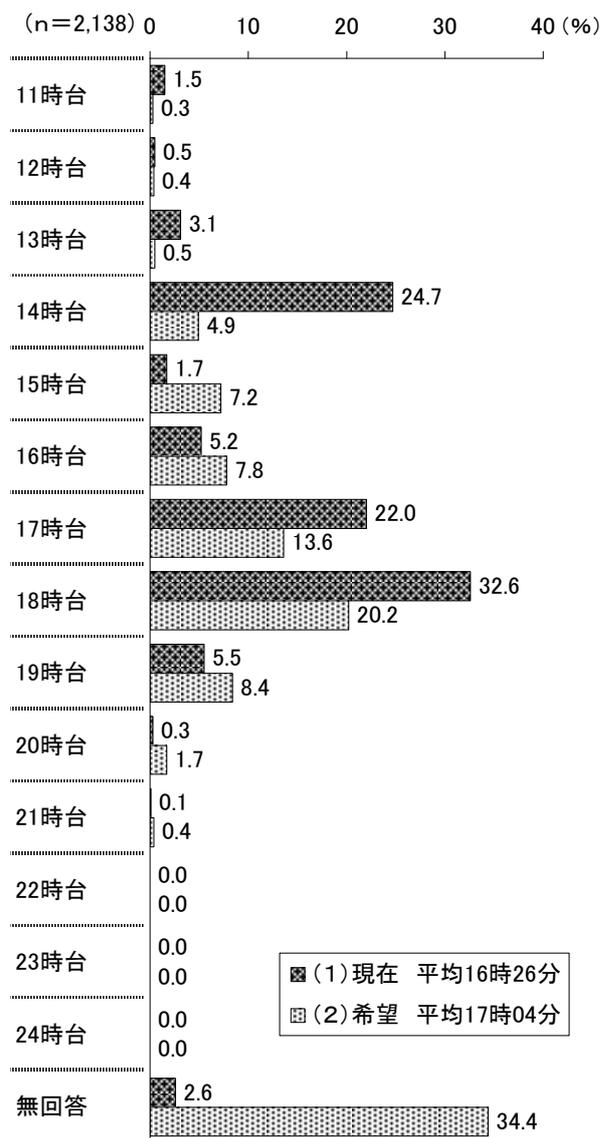


図4-7 利用終了時間

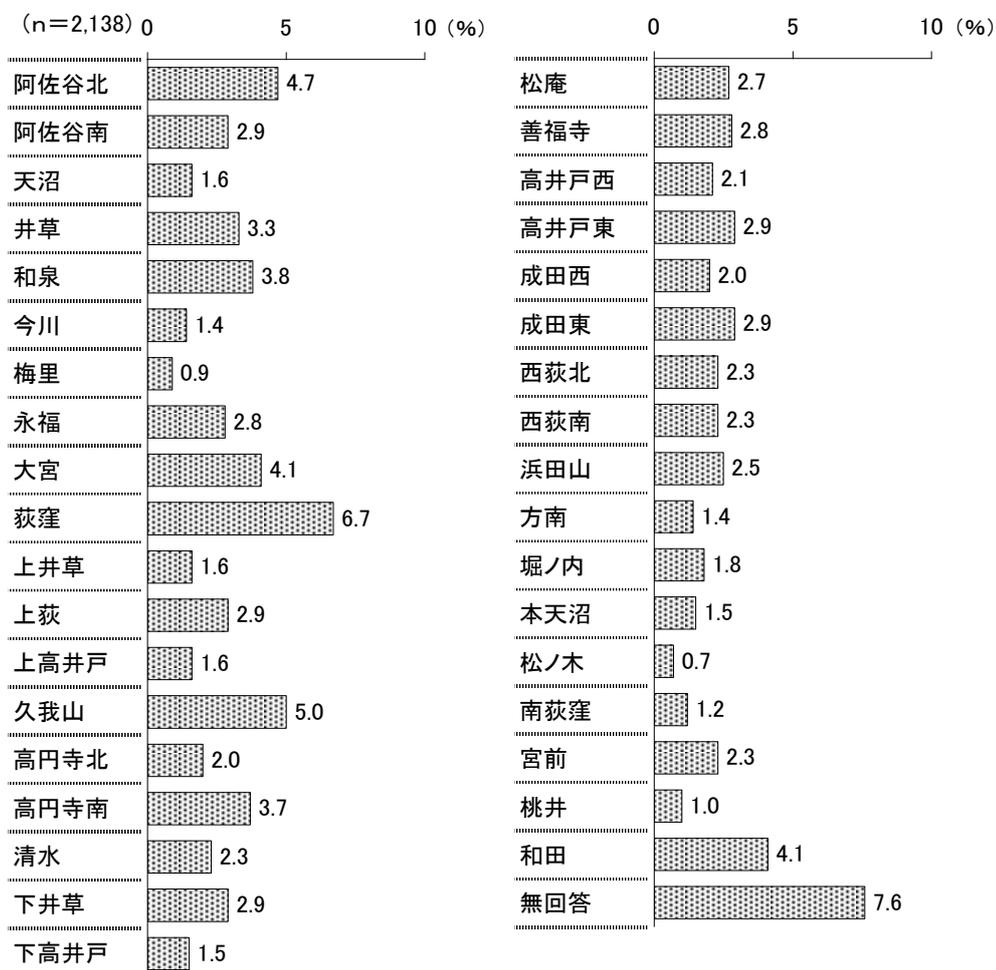


(1-3) 利用している施設・事業の実施場所

(問14で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-3 現在、利用している施設・事業の実施場所(町名)すべてに○をつけてください。

図4-8



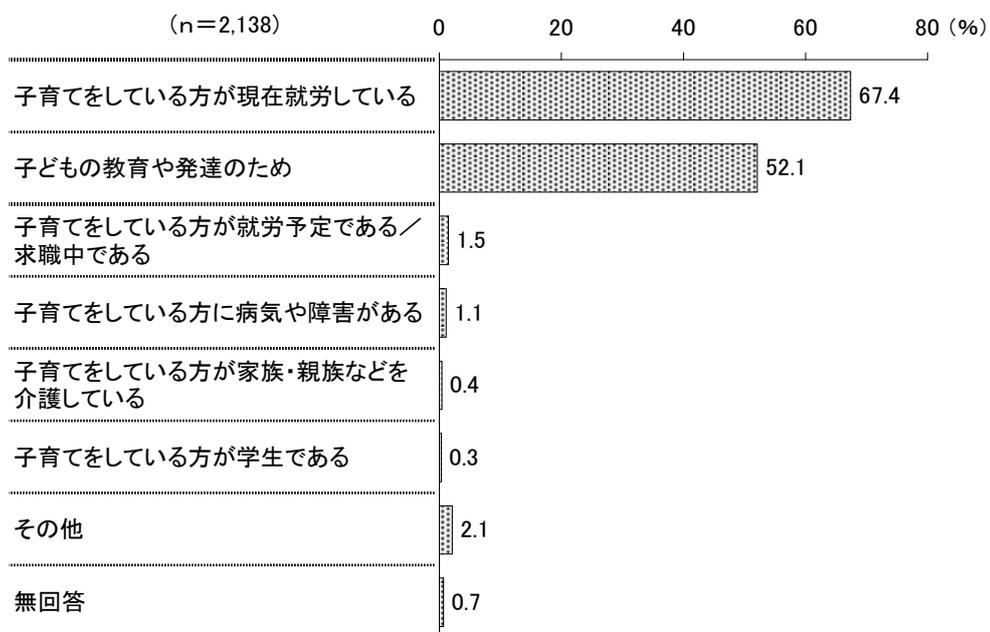
利用している施設・事業の実施場所は、「荻窪」が6.7%で最も多く、次いで「久我山」が5.0%、「阿佐谷北」が4.7%と続いている。(図4-8)

(1-4) 平日に定期的に施設・事業を利用している理由

(問14で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-4 平日に定期的に施設・事業を利用されている理由についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図4-9

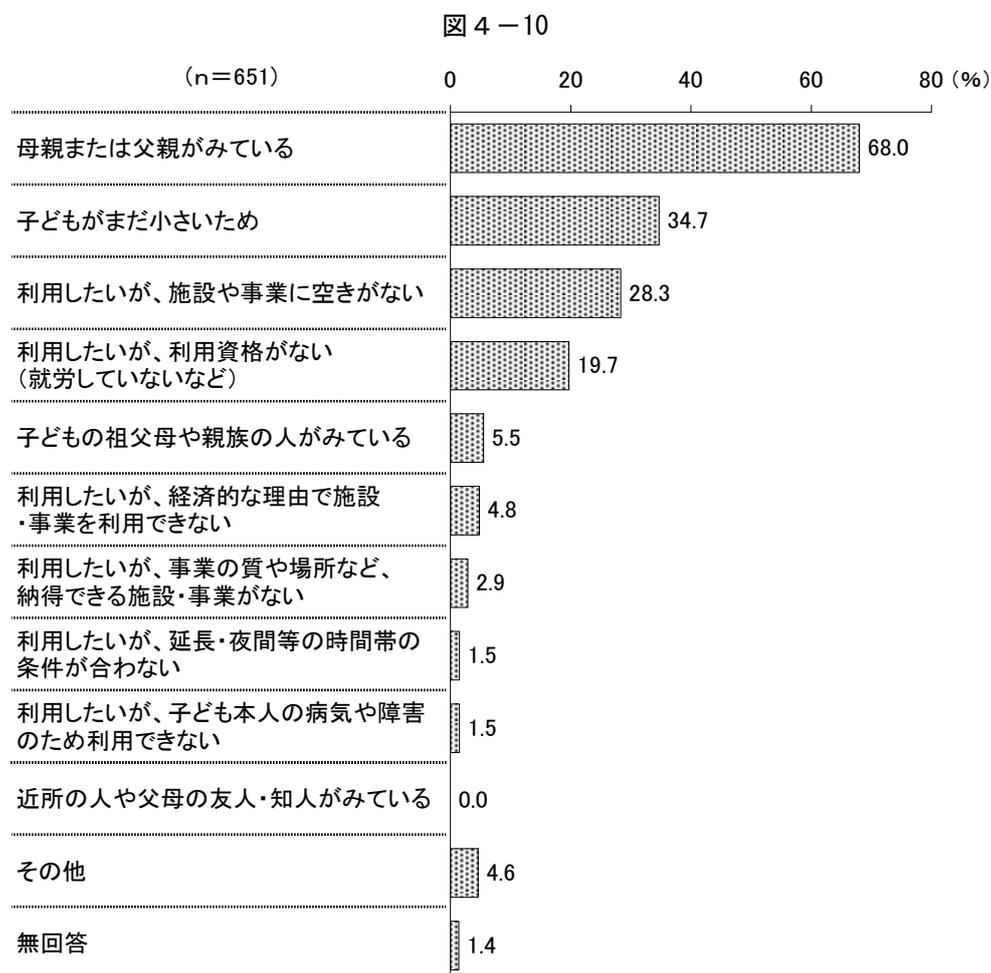


平日に定期的に施設・事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が67.4%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が52.1%と続いている。(図4-9)

(1-5) 施設・事業を利用していない理由

(問 14 で、「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

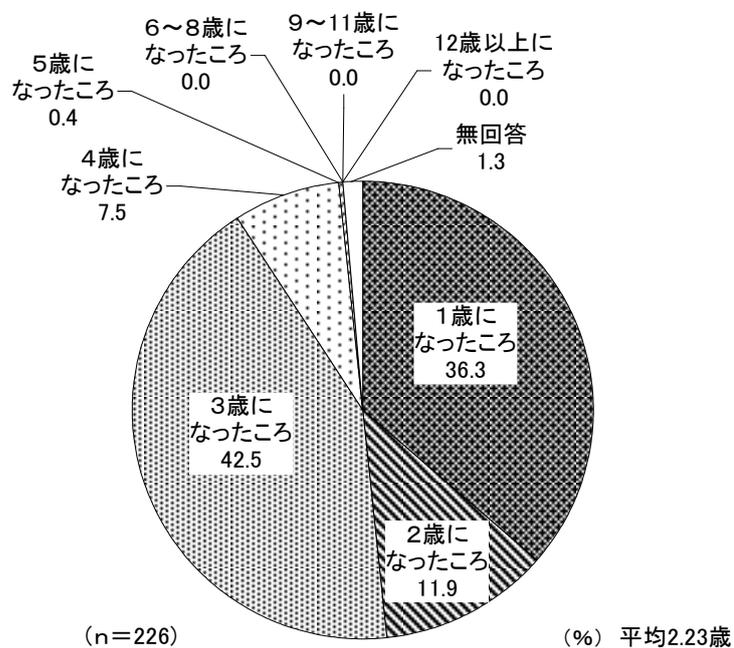
問 14-5 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



施設・事業を利用していない理由は、「母親または父親がみている」が 68.0%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 34.7%、「利用したいが、施設や事業に空きがない」が 28.3%と続いている。(図 4-10)

「子どもがまだ小さいため」と答えた人が、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているかは、「3歳」が42.5%で最も多く、次いで「1歳」が36.3%、「2歳」が11.9%と続いている。(図4-11)

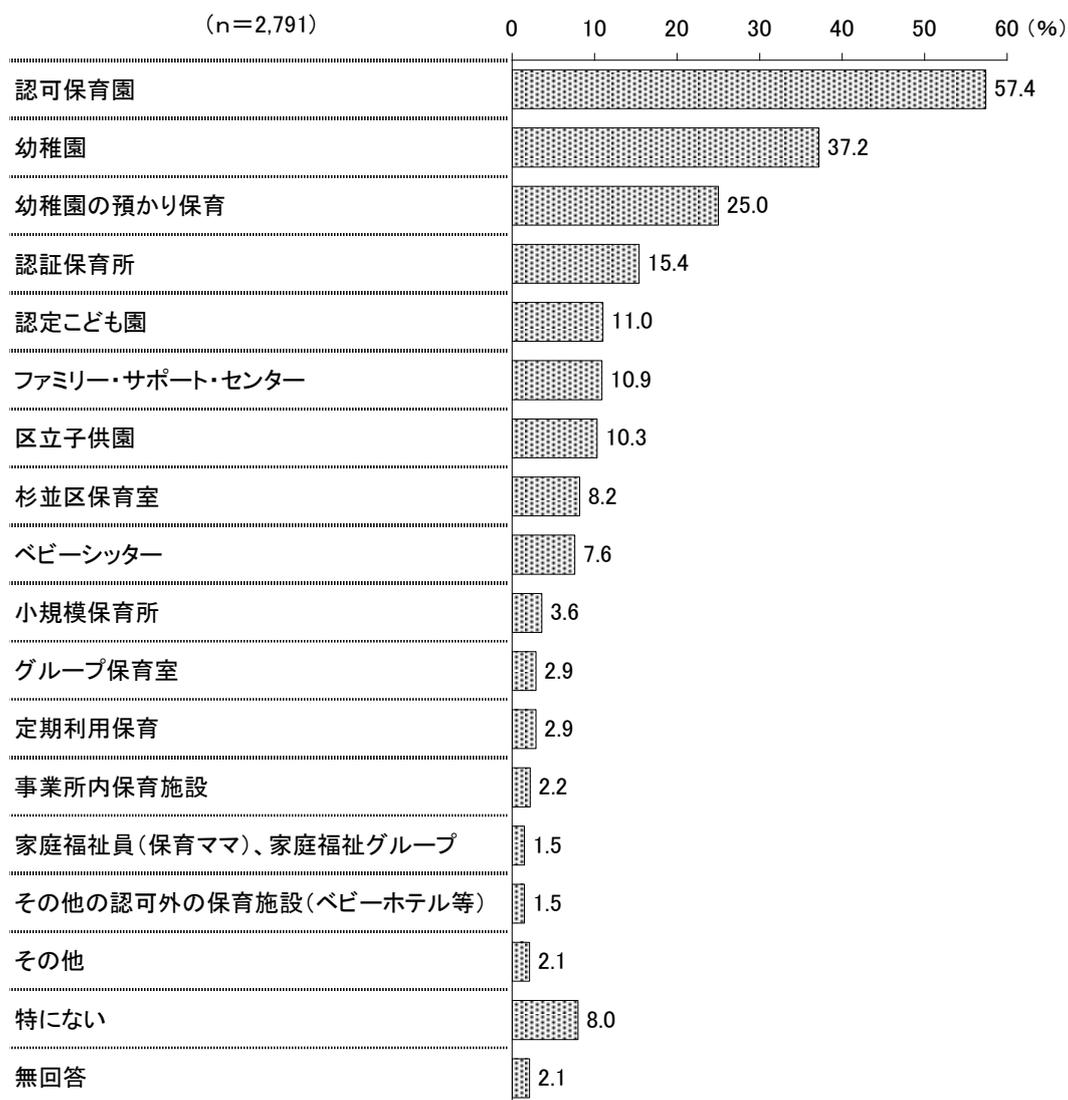
図4-11 子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか



(2) 平日の施設・事業の今後の利用意向

問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、今後平日に、「定期的に」利用したいと考える施設・事業をお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

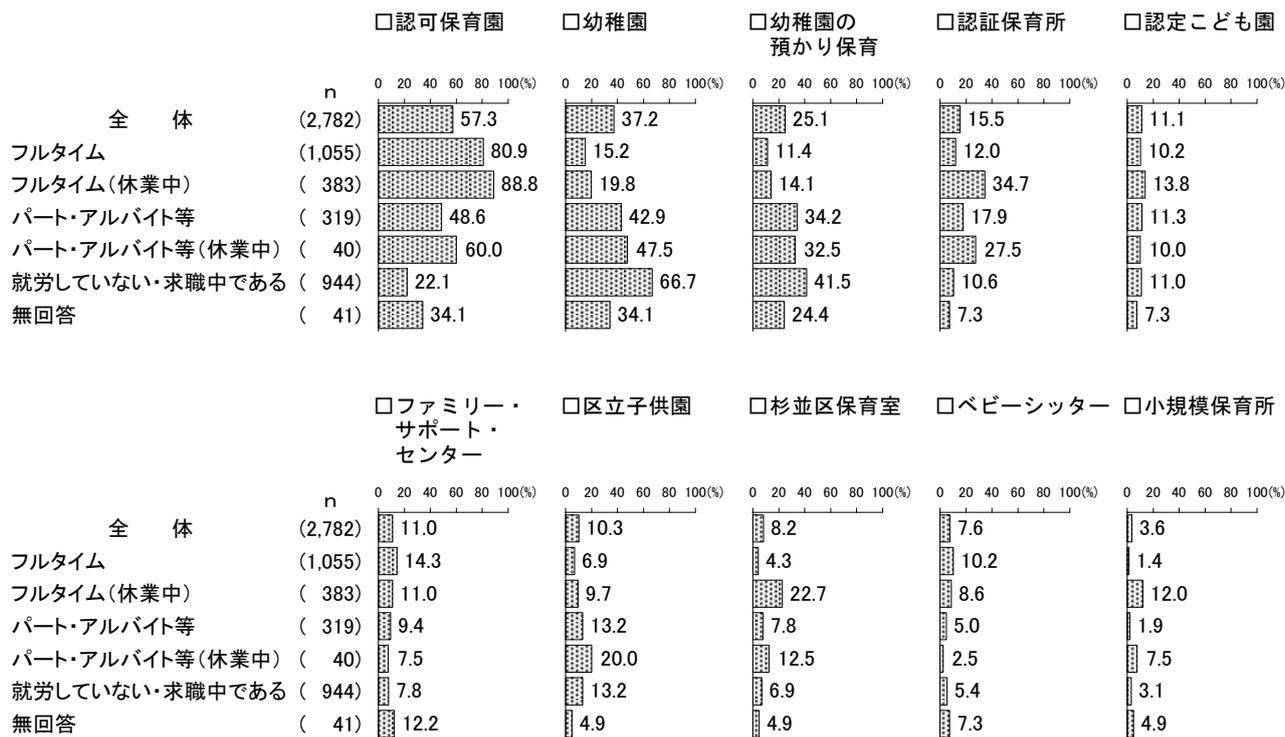
図 4-12



平日の施設・事業の今後の利用意向は、「認可保育園」が 57.4%で最も多く、次いで「幼稚園」が 37.2%、「幼稚園の預かり保育」が 25.0%と続いている。(図 4-12)

母親の就労状況別にみると、「認可保育園」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で88.8%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で80.9%と多くなっている。「幼稚園」は“就労していないまたは求職中である”で66.7%と多くなっている。「幼稚園の預かり保育」は“就労していないまたは求職中である”で41.5%と多くなっている。また、「認証保育所」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で34.7%と多くなっている。(図4-13)

図4-13 平日の施設・事業の今後の利用意向(母親の就労状況別)(上位10項目)

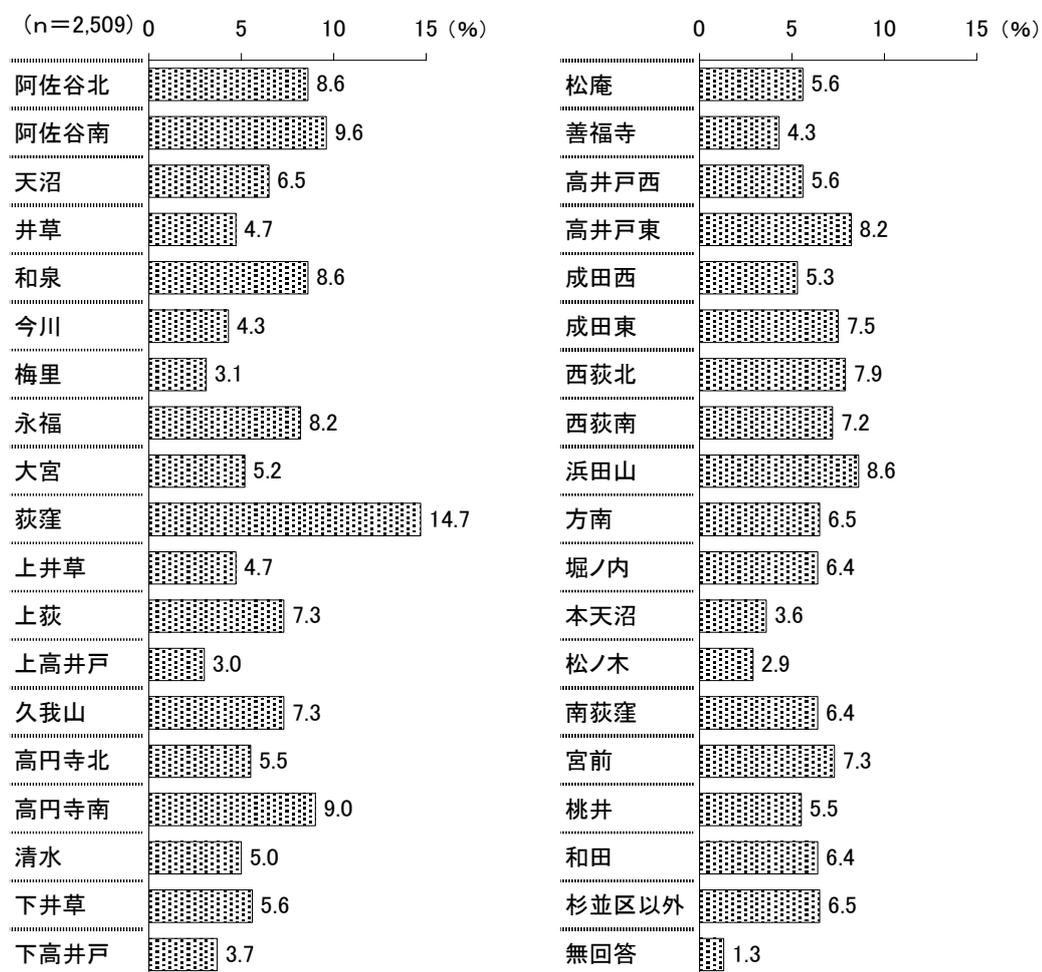


(2-1) 利用したい施設・事業の実施場所

(問15で、「特になし」以外に○をつけた方にうかがいます。)

問15-1 利用したい施設・事業の場所についてうかがいます。希望の町名すべてに○をつけてください。

図4-14



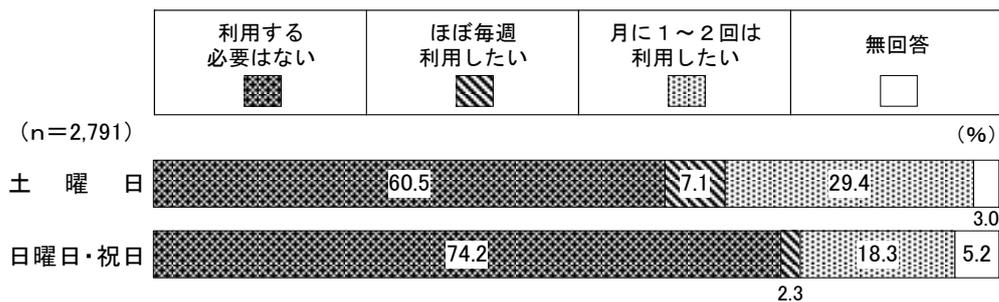
利用したい施設・事業の実施場所は、「荻窪」が14.7%で最も多く、次いで「阿佐谷南」が9.6%、「高円寺南」が9.0%と続いている。(図4-14)

5. 土曜日、休日や長期休暇中の定期的な施設・事業等の利用意向

(1) 土曜日、休日の施設・事業の利用希望

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に利用したい施設・事業の希望はありますか（一時的な利用は除きます）。土曜日と日曜日・祝日それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を□に24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

図 5 - 1



土曜日、休日の施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が土曜日で7.1%、日曜日・祝日で2.3%、「月に1~2回は利用したい」が土曜日で29.4%、日曜日・祝日で18.3%となっており、利用希望は合わせて、土曜日で36.5%、日曜日・祝日で20.6%となっている。一方、「利用する必要はない」は土曜日で60.5%、日曜日・祝日で74.2%となっている。(図5-1)

「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、「9時台」が土曜日で46.8%、日曜日・祝日で45.4%と最も多く、次いで「8時台」が土曜日で23.9%、日曜日・祝日で20.2%と続いている。(図5-2)

希望する利用終了時間は、「18時台」が土曜日で29.1%、日曜日・祝日で28.7%と最も多く、次いで「17時台」が土曜日で27.5%、日曜日・祝日で27.7%と続いている。(図5-3)

図5-2 希望する利用開始時間

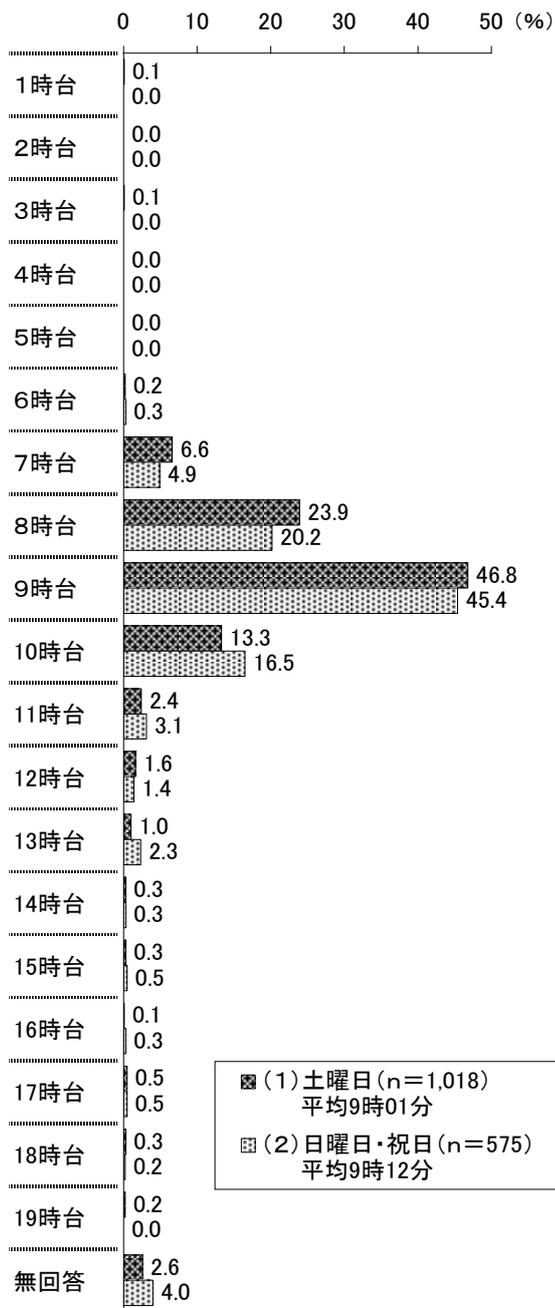
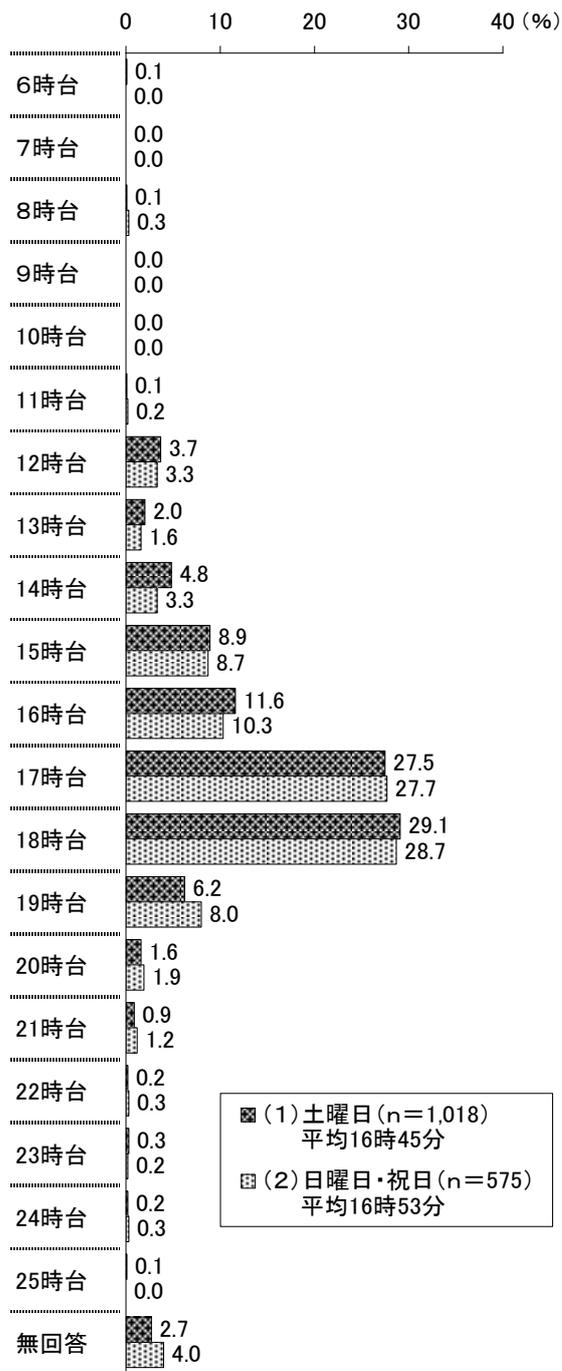


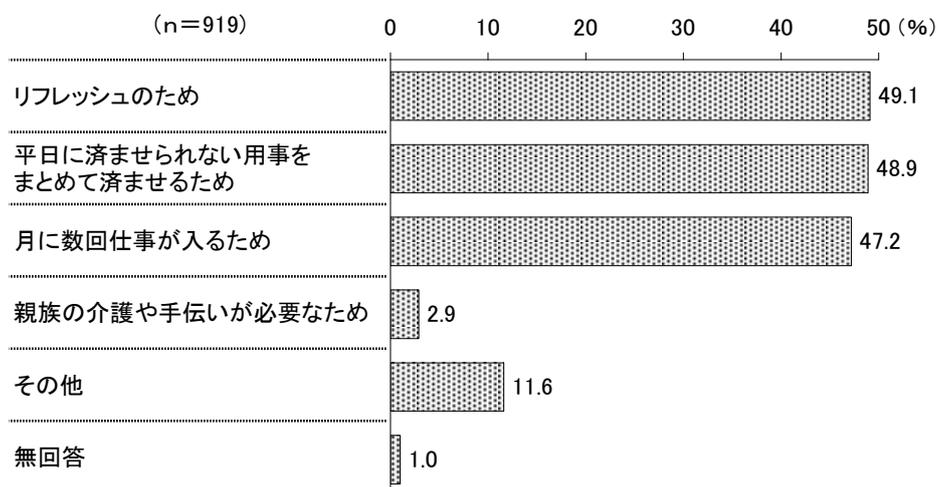
図5-3 希望する利用終了時間



(1-1) 施設・事業をたまに利用したい理由

(問16の(1)または(2)で、「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。)
問16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図5-4



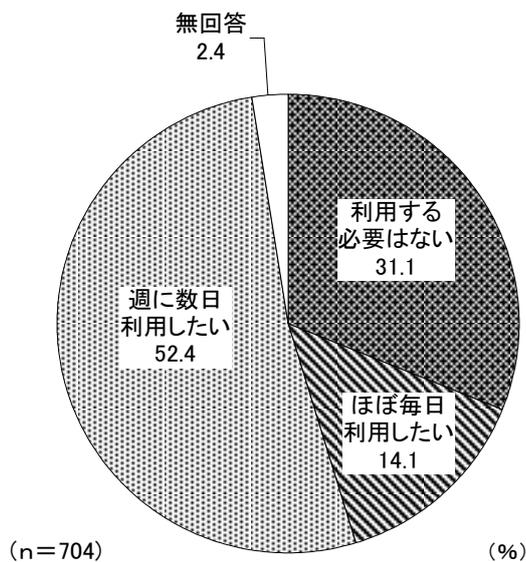
施設・事業をたまに利用したい理由は、「リフレッシュのため」が49.1%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が48.9%、「月に数回仕事が入るため」が47.2%と続いている。(図5-4)

(2) 幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望

(問 14-1 で、「幼稚園」「区立子供園」を利用されている方にうかがいます。)

問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の施設・事業の利用を希望しますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を口に 24 時間制でご記入ください。

図 5-5



幼稚園・区立子供園が長期休暇期間中の際の施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」が 14.1%、「週に数日利用したい」は 52.4%となっており、利用希望は合わせて 66.5%となっている。一方、「利用する必要はない」は 31.1%となっている。(図 5-5)

「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、「9時台」が69.4%で最も多く、次いで「10時台」が12.8%、「8時台」が11.5%と続いている。

(図5-6)

希望する利用終了時間は、「15時台」が23.9%で最も多く、次いで「14時台」が20.7%、「17時台」が20.1%と続いている。(図5-7)

図5-6 希望する利用開始時間

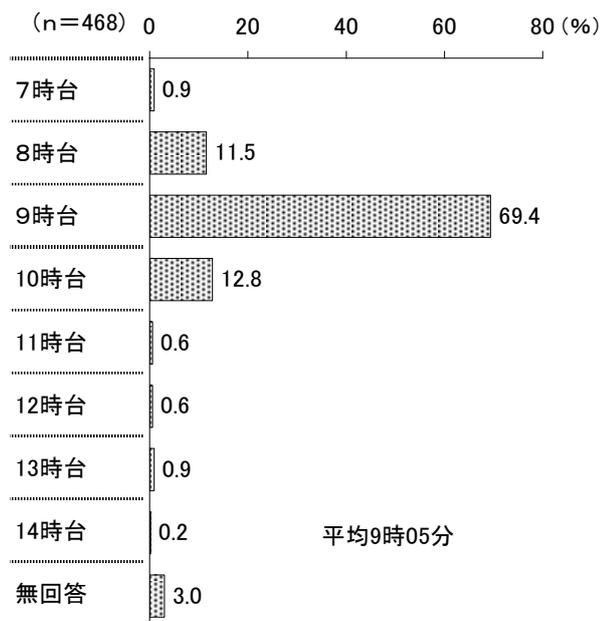
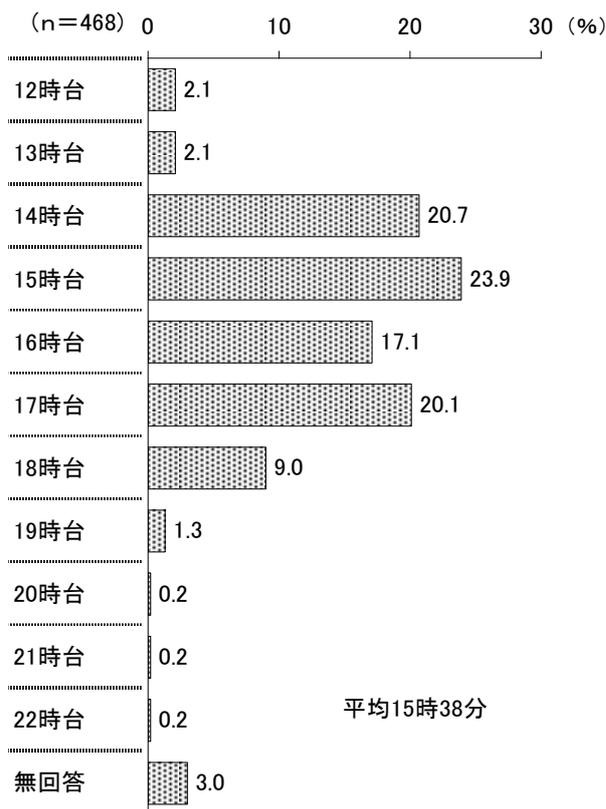


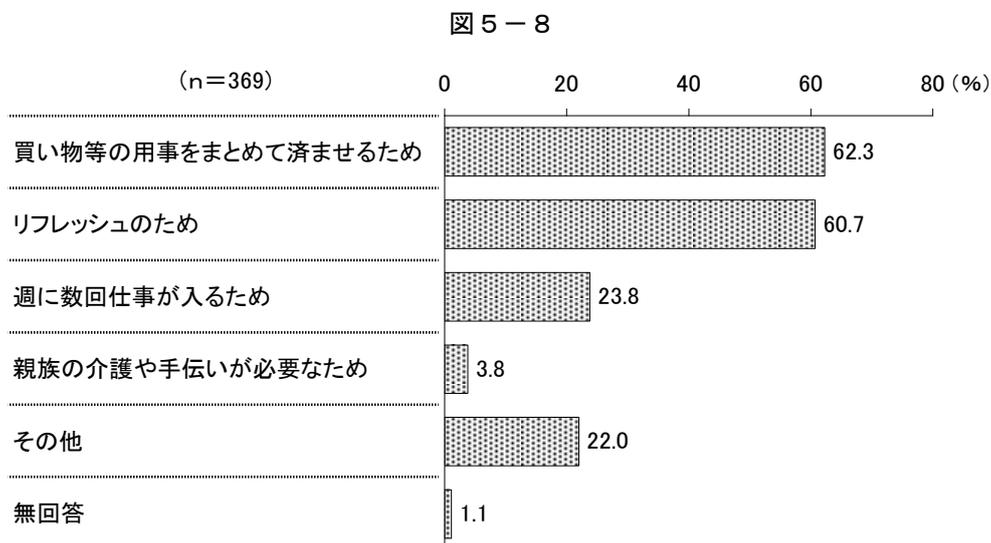
図5-7 希望する利用終了時間



(2-1) 長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由

(問17で、「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。)

問17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



長期休暇期間中に施設・事業をたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が62.3%で最も多く、次いで「リフレッシュのため」が60.7%、「週に数回仕事が入るため」が23.8%と続いている。(図5-8)

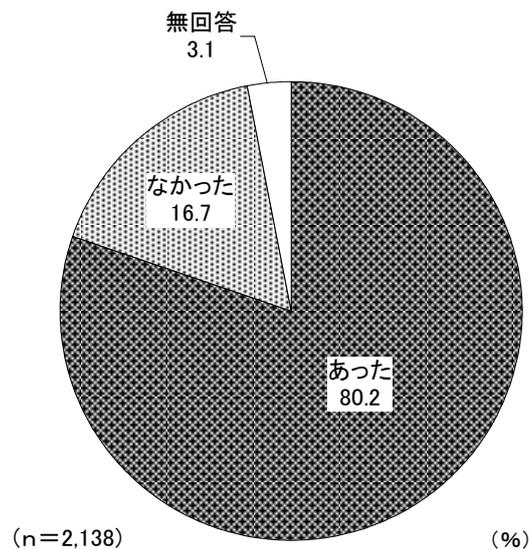
6. 子どもの病気の際の対応

(1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無

(問14で、「利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

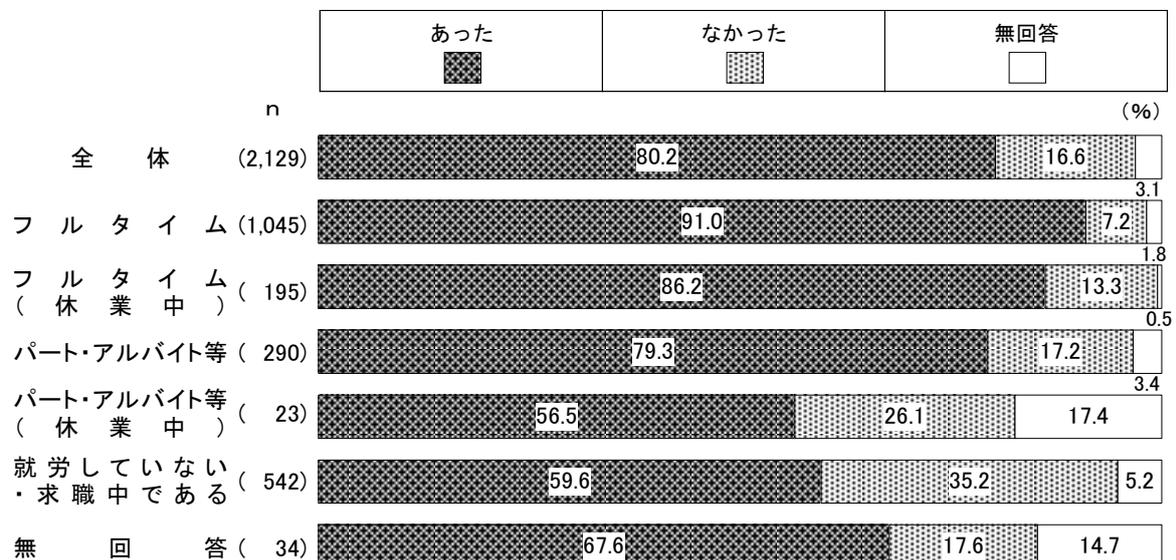
図6-1



子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が80.2%、「なかった」は16.7%となっている。(図6-1)

母親の就労状況別にみると、「あった」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で91.0%、“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である”で86.2%と多くなっている。(図6-2)

図6-2 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無 (母親の就労状況別)

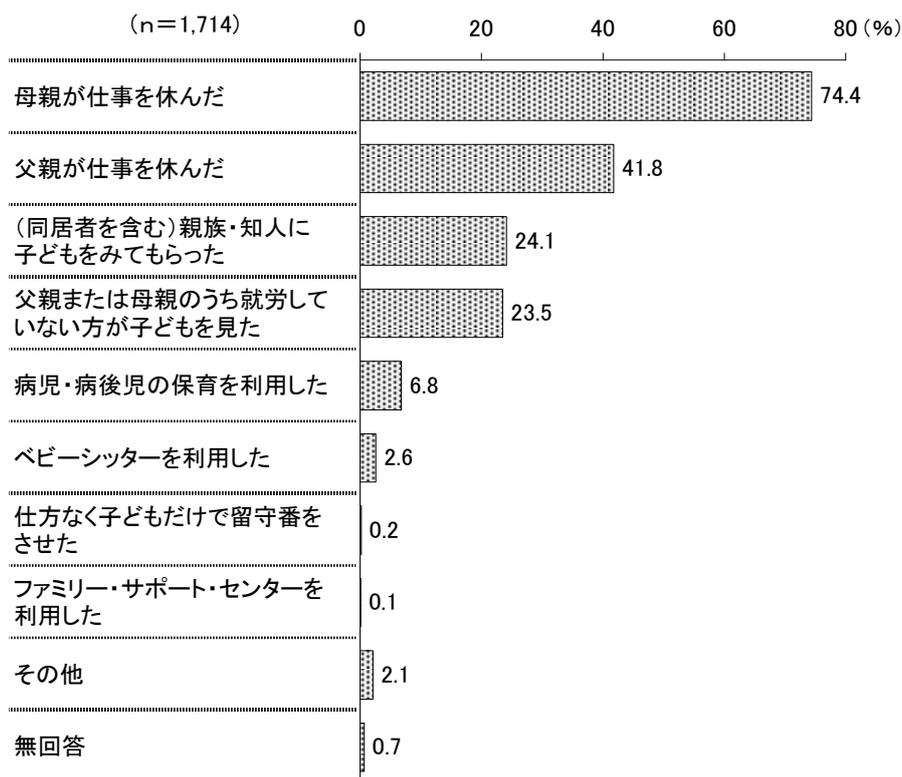


(1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応

(問18で、「あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、この1年間にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

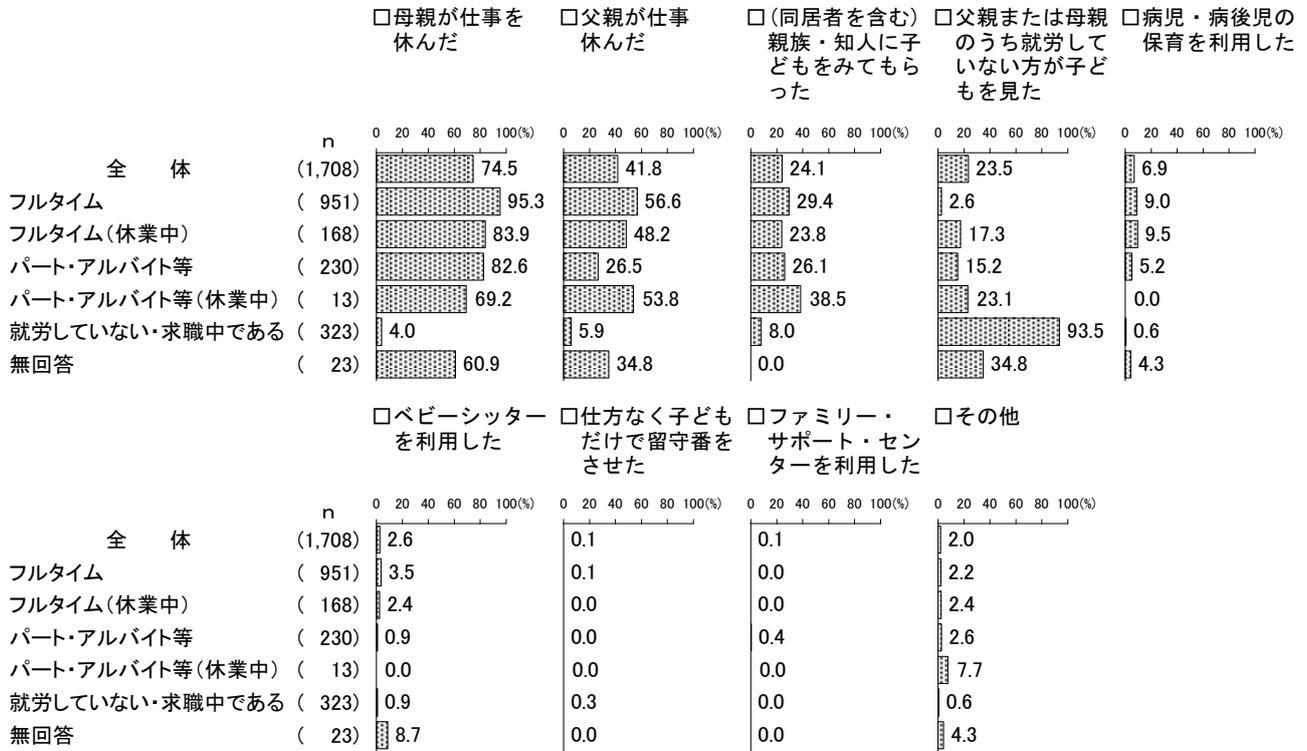
図6-3



施設・事業が利用できなかったときの対応は、「母親が仕事を休んだ」が74.4%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が41.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が24.1%と続いている。(図6-3)

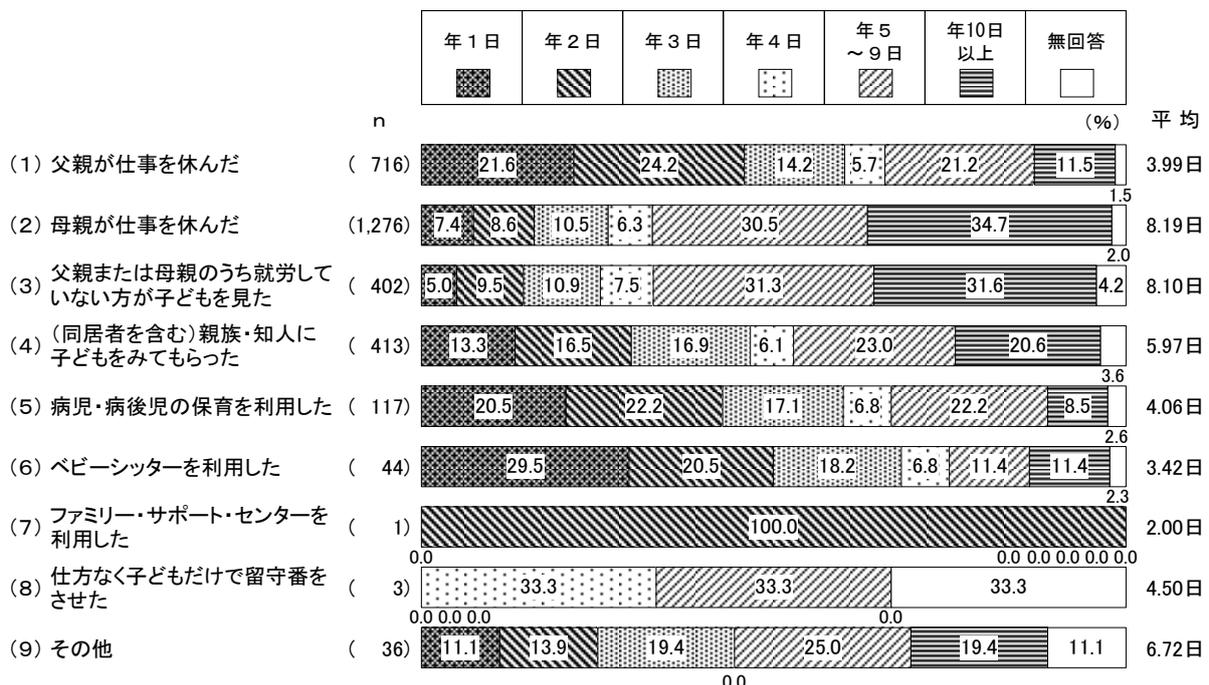
母親の就労状況別にみると、「母親が仕事を休んだ」は“フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない”で95.3%と多く、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は“就労していないまたは求職中である”で93.5%と多くなっている。(図6-4)

図6-4 施設・事業が利用できなかったときの対応（母親の就労状況別）



施設・事業が利用できなかったときの対応日数は、「年10日以上」は“母親が仕事を休んだ”で34.7%、“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”で31.6%と多くなっている。(図6-5)

図6-5 施設・事業が利用できなかったときの対応日数



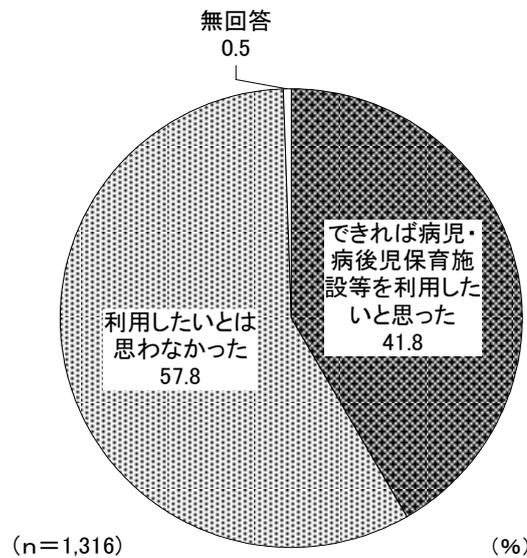
(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

(問 18-1 で、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にかがいます。)

問 18-2 子どもの病気やケガで父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

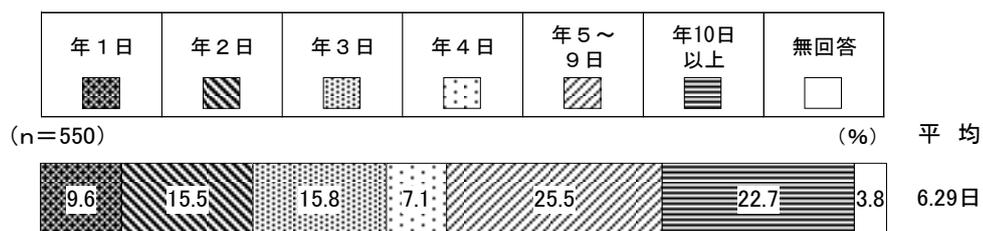
図 6-6



病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が41.8%、「利用したいとは思わなかった」は57.8%となっている。(図6-6)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」と答えた人の、利用希望日数は、「年5～9日」が25.5%で最も多く、次いで「年10日以上」が22.7%、「年3日」が15.8%と続いている。(図6-7)

図 6-7 病児・病後児のための保育施設等の利用希望日数

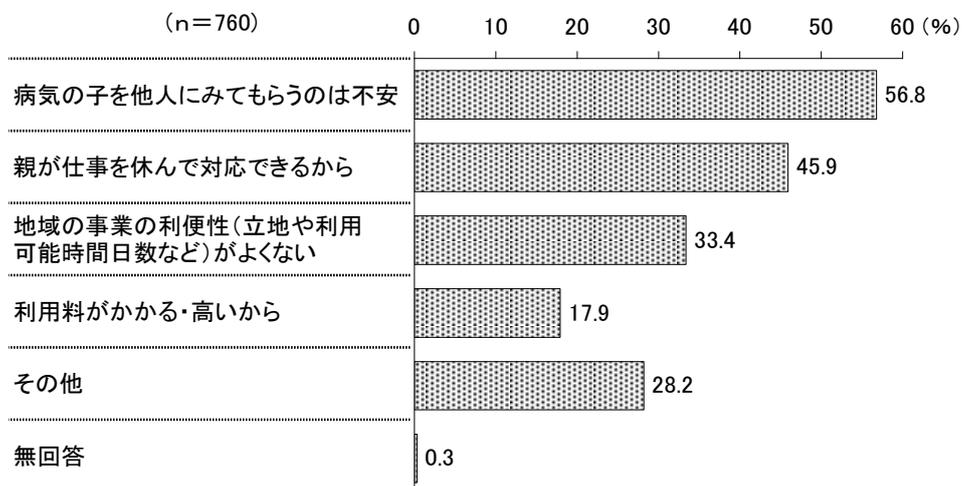


(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

(問18-2で、「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。)

問18-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

図6-8

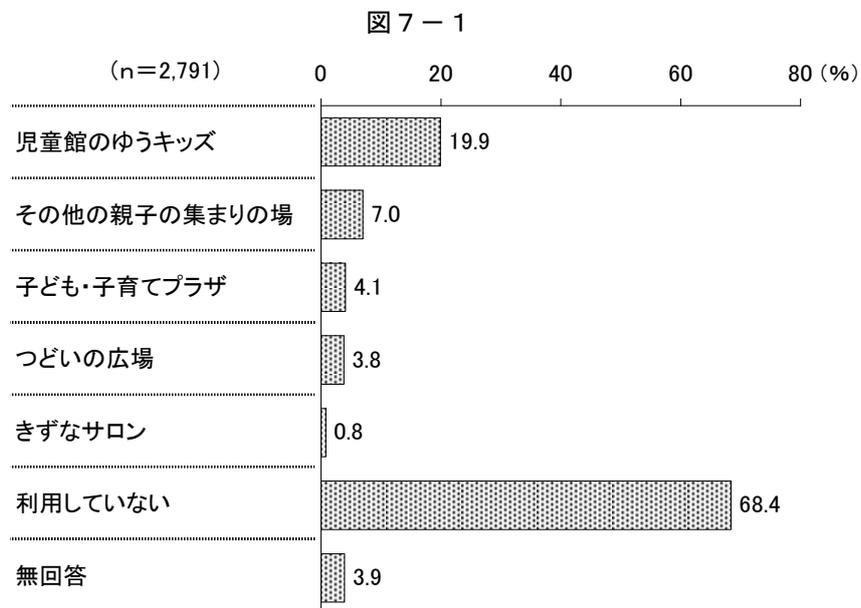


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病気の子を他人にみてもらうのは不安」が56.8%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応できるから」が45.9%、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない」が33.4%と続いている。(図6-8)

7. 地域での親子の集まりの利用状況

(1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況

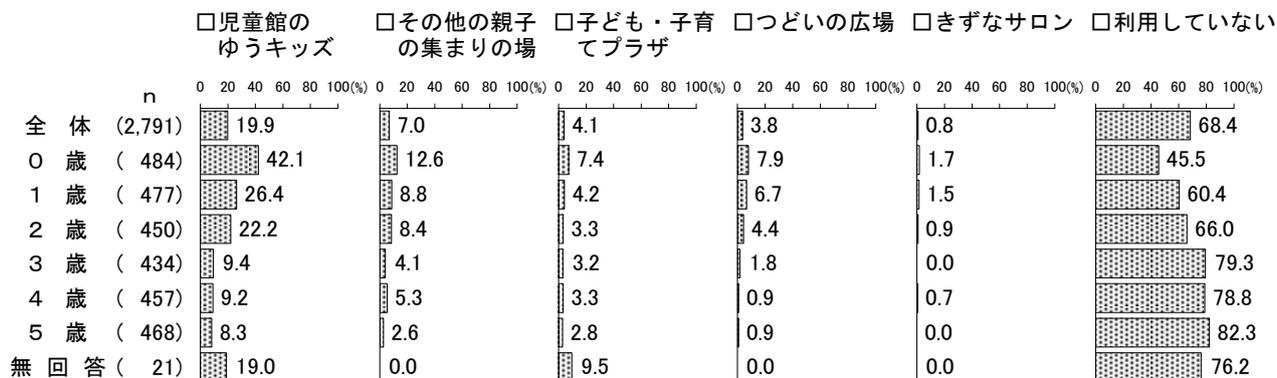
問19 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



親子が集まって過ごす事業の利用状況は、利用している中では「児童館のゆうキッズ」が19.9%で最も多く、次いで「その他の親子の集まりの場」が7.0%、「子ども・子育てプラザ」が4.1%と続いている。一方、「利用していない」は68.4%となっている。(図7-1)

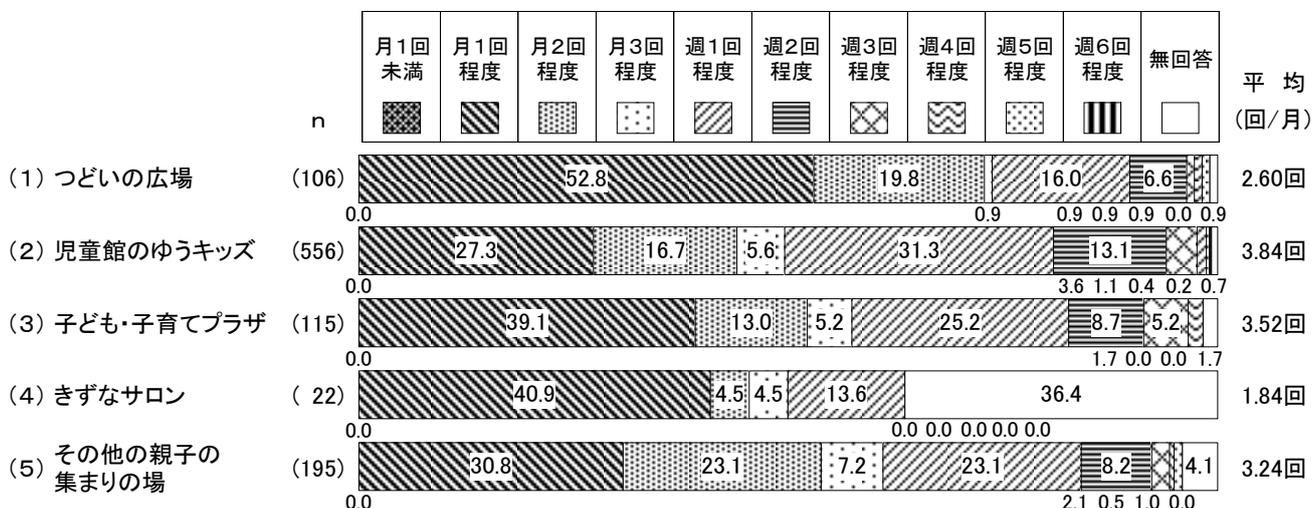
子どもの年齢別にみると、「児童館のゆうキッズ」は0歳で42.1%と多くなっている。(図7-2)

図7-2 親子が集まって過ごす事業の利用状況(子どもの年齢別)



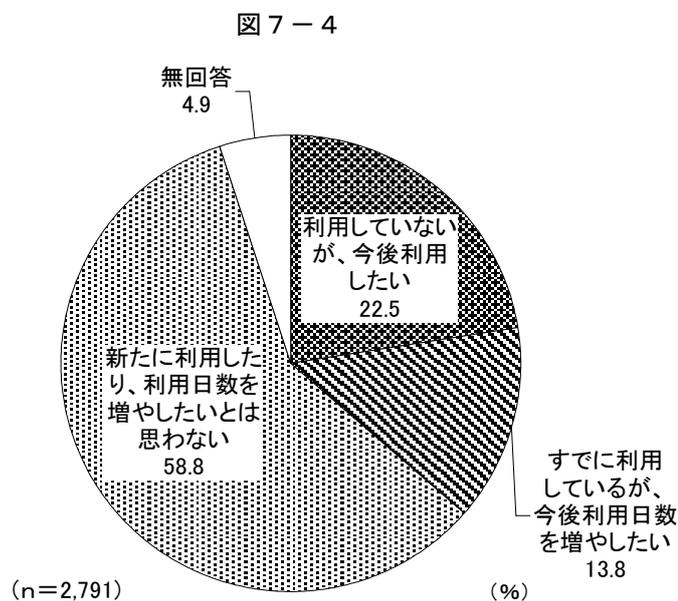
利用している人の利用頻度は、「月1回程度」は「つどいの広場」で52.8%と多くなっている。「月2回程度」は「その他の親子の集まりの場」で23.1%と多くなっている。また、「週1回程度」は「児童館のゆうキッズ」で31.3%と多くなっている。(図7-3)

図7-3 親子が集まって過ごす事業の利用頻度



(2) 乳幼児親子の集まりの場の今後の利用意向

問 20 問 19 のような乳幼児親子の集いの場について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。



乳幼児親子の集まりの場の今後の利用意向は、「利用していないが、今後利用したい」が 22.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 13.8%となっている。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は 58.8%となっている。（図 7-4）

子どもの年齢別にみると、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 0歳で 30.8%と多くなっている。また、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」はおおむね子どもの年齢が上がるにつれて多くなっており、4歳では 70.5%、5歳では 70.3%となっている。（図 7-5）

「利用していないが、今後利用したい」と答えた人の、今後利用したい日数は、「月 1 回程度」が 35.5%で最も多く、次いで「月 2 回程度」が 26.9%と続いている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた人の、増やしたい利用日数は、「週 1 回程度」が 32.8%で最も多く、次いで「週 2 回程度」が 15.4%と続いている。（図 7-6）

図7-5 乳幼児親子の集まりの場の今後の利用意向（子どもの年齢別）

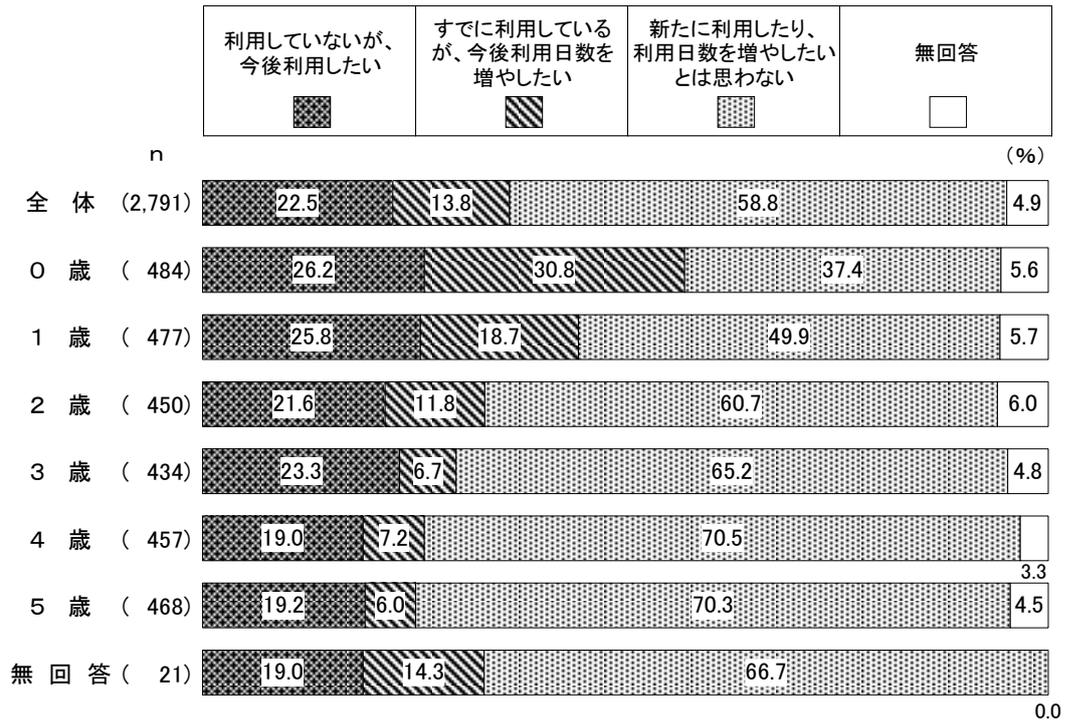
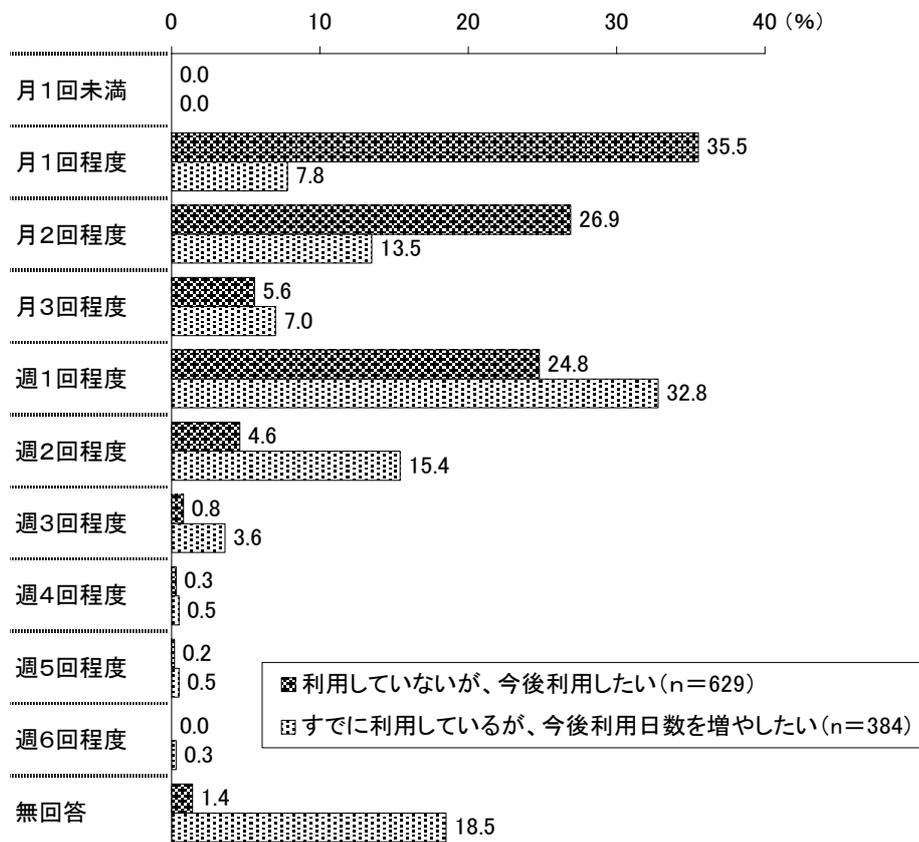
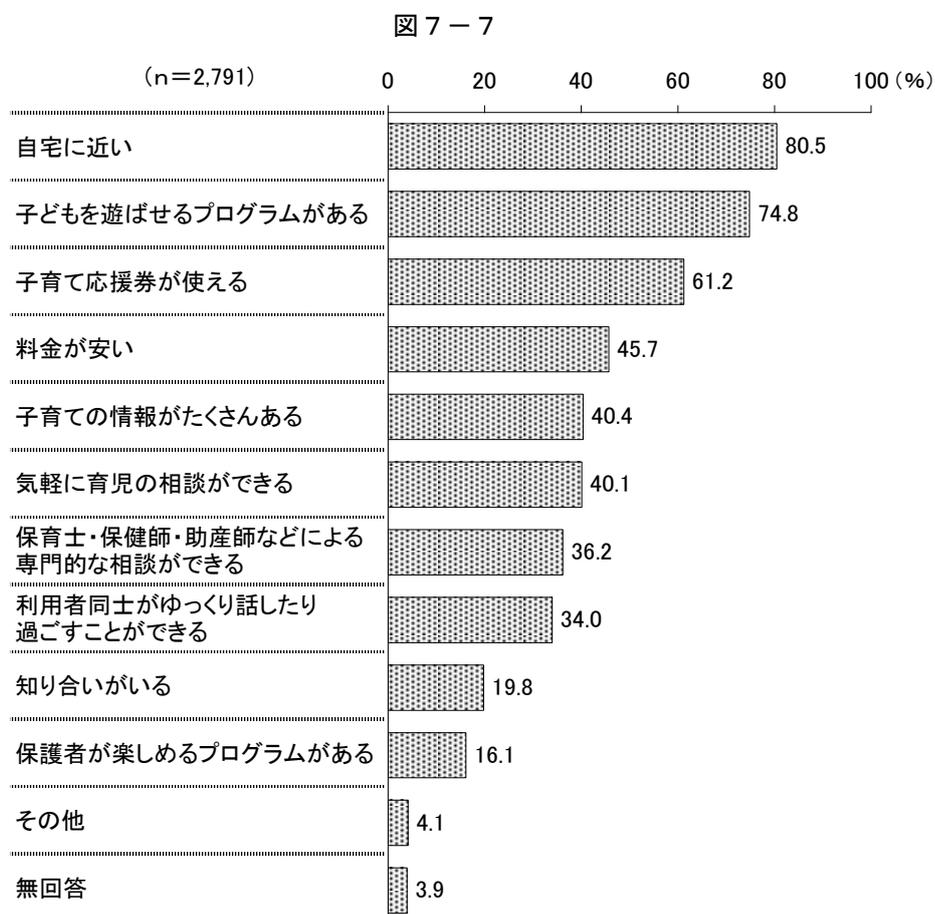


図7-6 今後利用したい日数と増やしたい利用日数



(3) 乳幼児親子の集まりを利用する際に大事なこと

問 21 乳幼児親子の集まりを利用する際に、大事だと思う点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

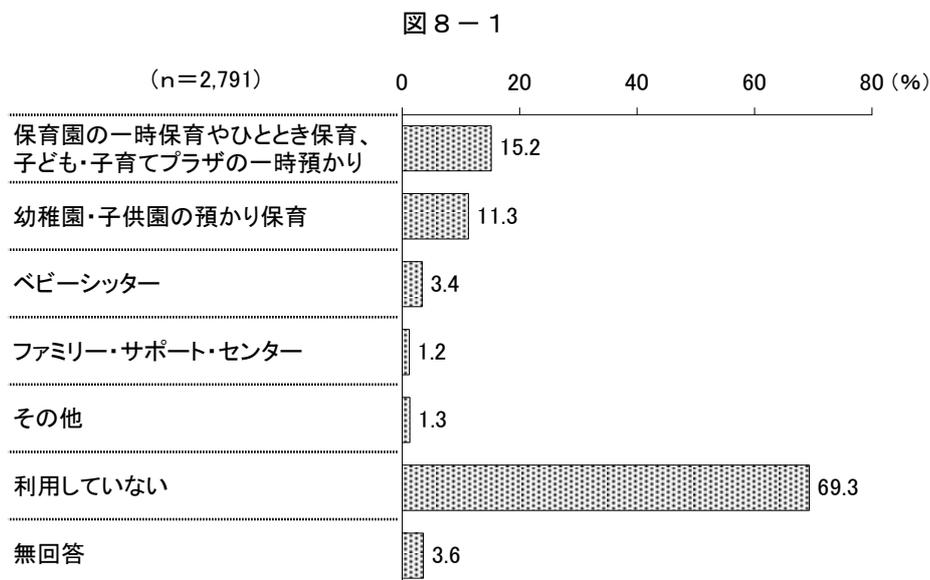


乳幼児親子の集まりを利用する際に大事なことは、「自宅に近い」が 80.5%で最も多く、次いで「子どもを遊ばせるプログラムがある」が 74.8%、「子育て応援券が使える」が 61.2%と続いている。(図 7-7)

8. 一時預かり等の利用状況

(1) 不定期に利用している預かり事業

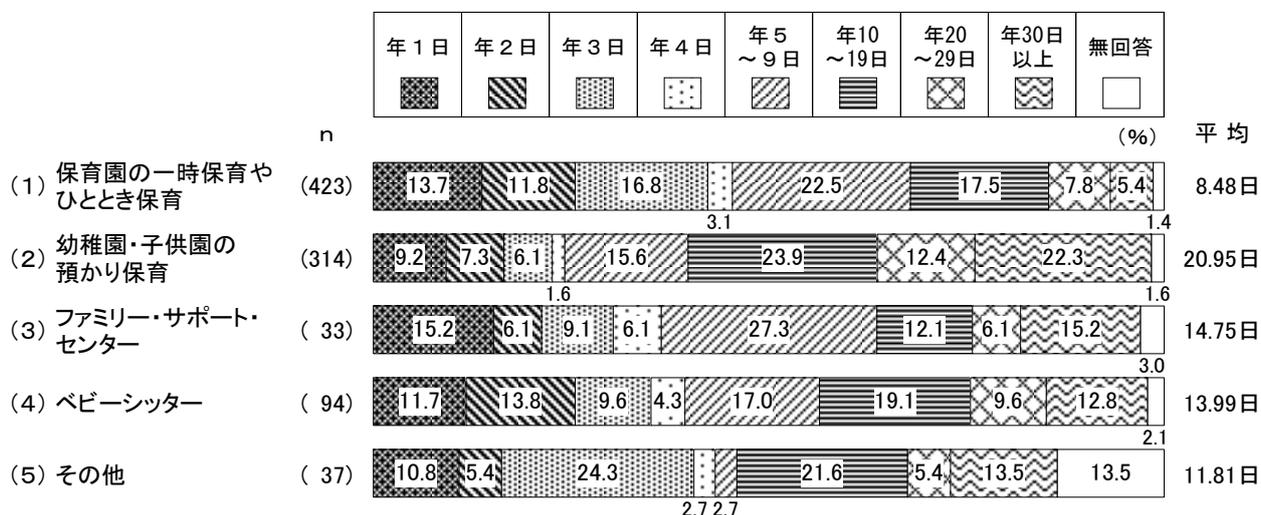
問 22 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。



不定期に利用している預かり事業は、利用している中では「保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」が15.2%で最も多く、次いで「幼稚園・子供園の預かり保育」が11.3%と続いている。一方、「利用していない」は69.3%となっている。（図8-1）

不定期に預かり事業を利用している人の1年間の利用日数は、「年30日以上」が“幼稚園・子供園の預かり保育”で22.3%と多くなっている。（図8-2）

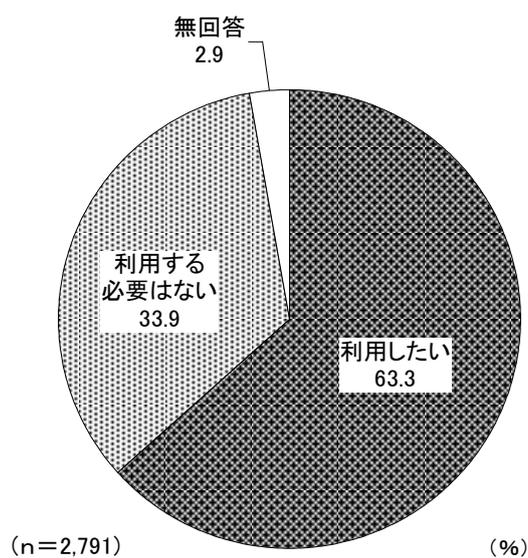
図 8-2 利用日数



(2) 不定期の預かり事業の利用希望

問 23 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください）。

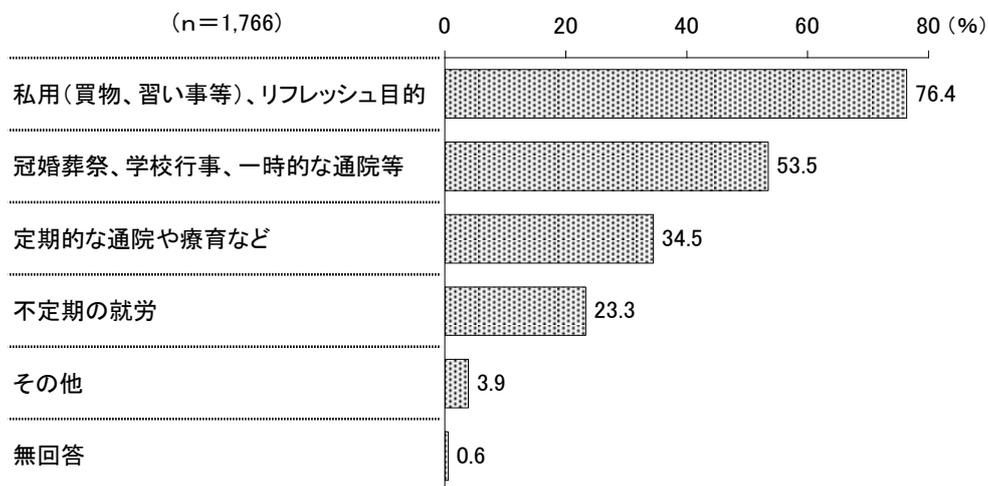
図 8 - 3



不定期の預かり事業の利用希望は、「利用したい」が 63.3%、「利用する必要はない」は 33.9% となっている。(図 8 - 3)

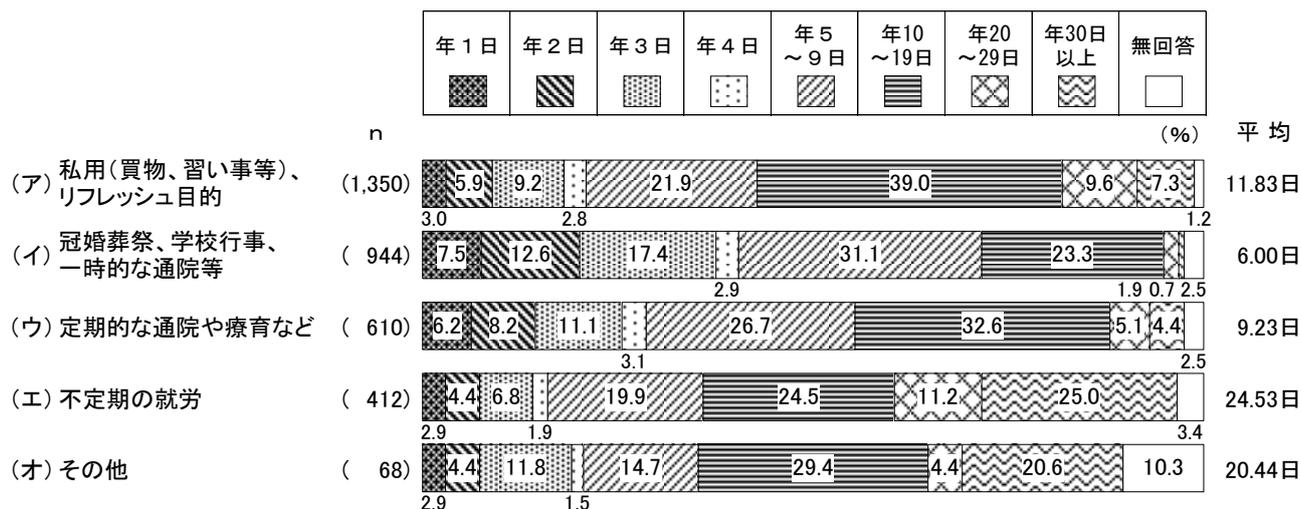
「利用したい」と答えた人の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が76.4%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等」が53.5%、「定期的な通院や療育など」が34.5%と続いている。（図8-4）

図8-4 利用目的



「利用したい」と答えた人の1年間の利用希望日数は、「年30日以上」が“不定期の就労”で25.0%と多く、「年10～19日」は“私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的”で39.0%と多くなっている。（図8-5）

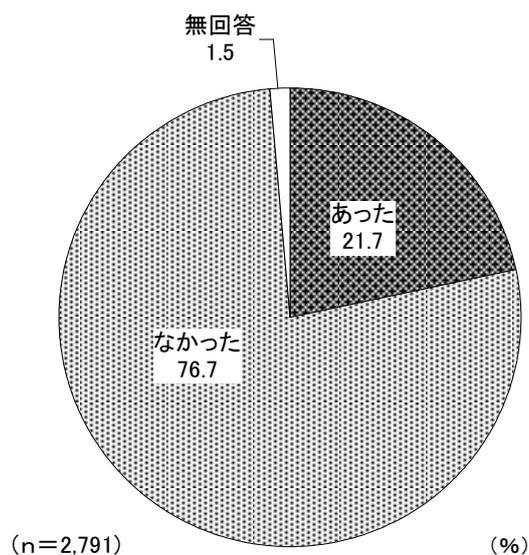
図8-5 利用希望日数



(3) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

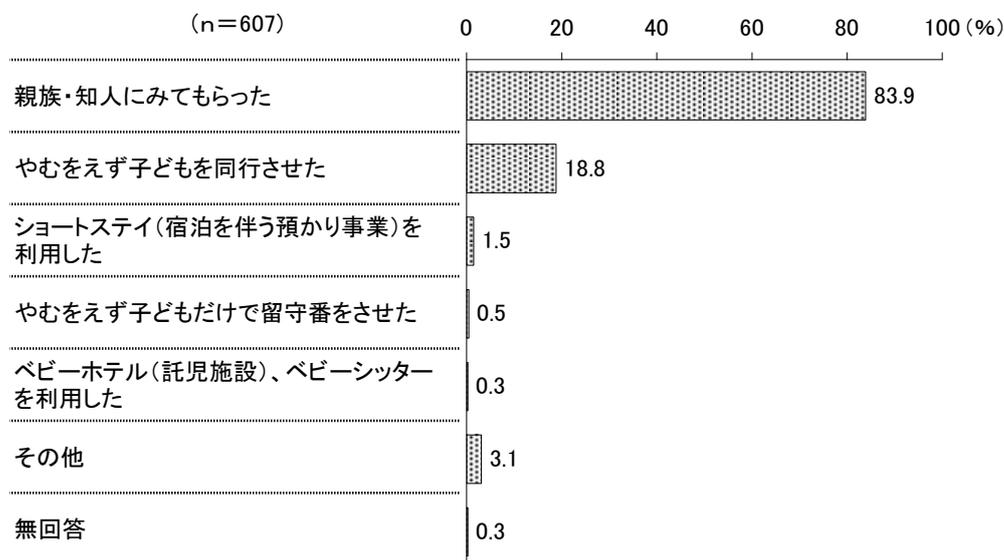
図 8 - 6



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が 21.7%、「なかった」は 76.7%となっている。(図 8 - 6)

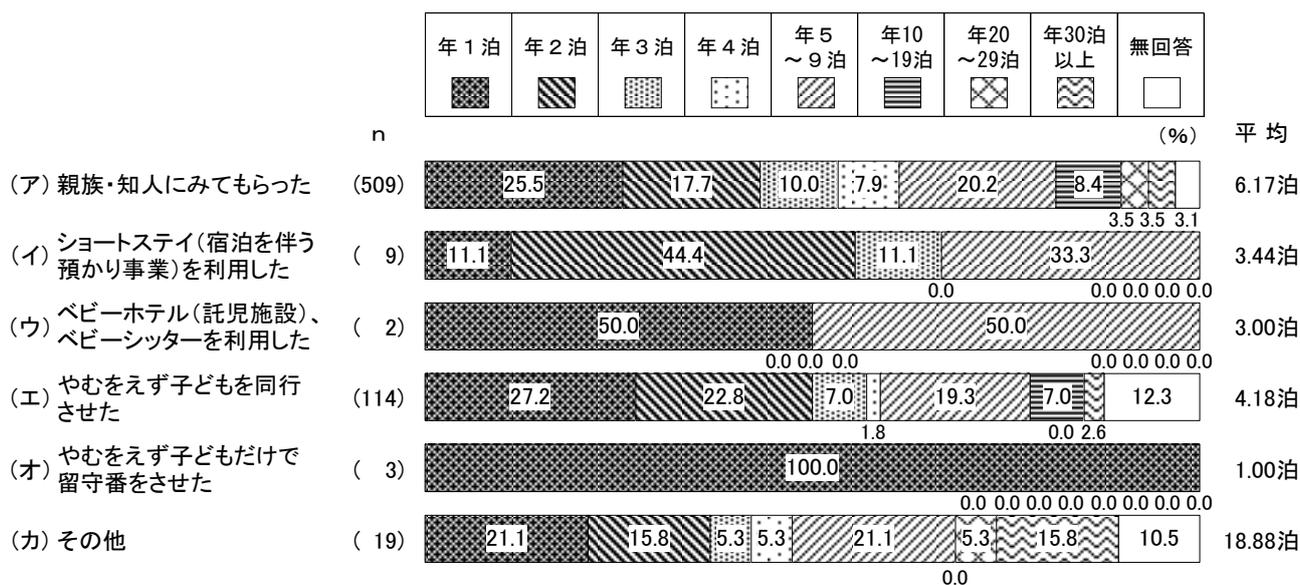
この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が83.9%で最も多く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が18.8%と続いている。(図8-7)

図8-7 この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた際の行動



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年5～9泊」は「親族・知人にみてもらった」で20.2%、「やむをえず子どもを同行させた」で19.3%となっている。(図8-8)

図8-8 子どもを預けた日数

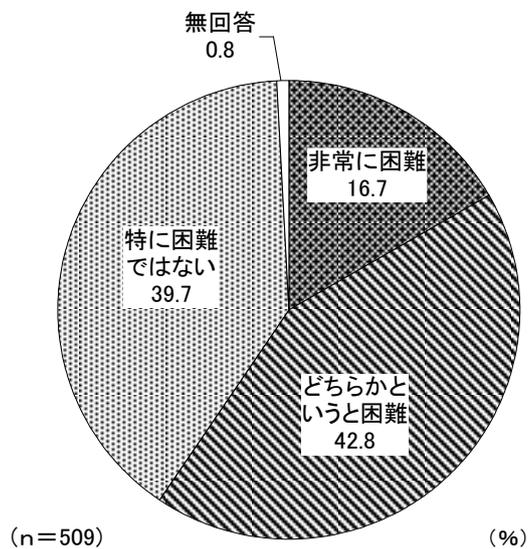


(3-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度

(問24で、「親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。)

問24-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図8-9



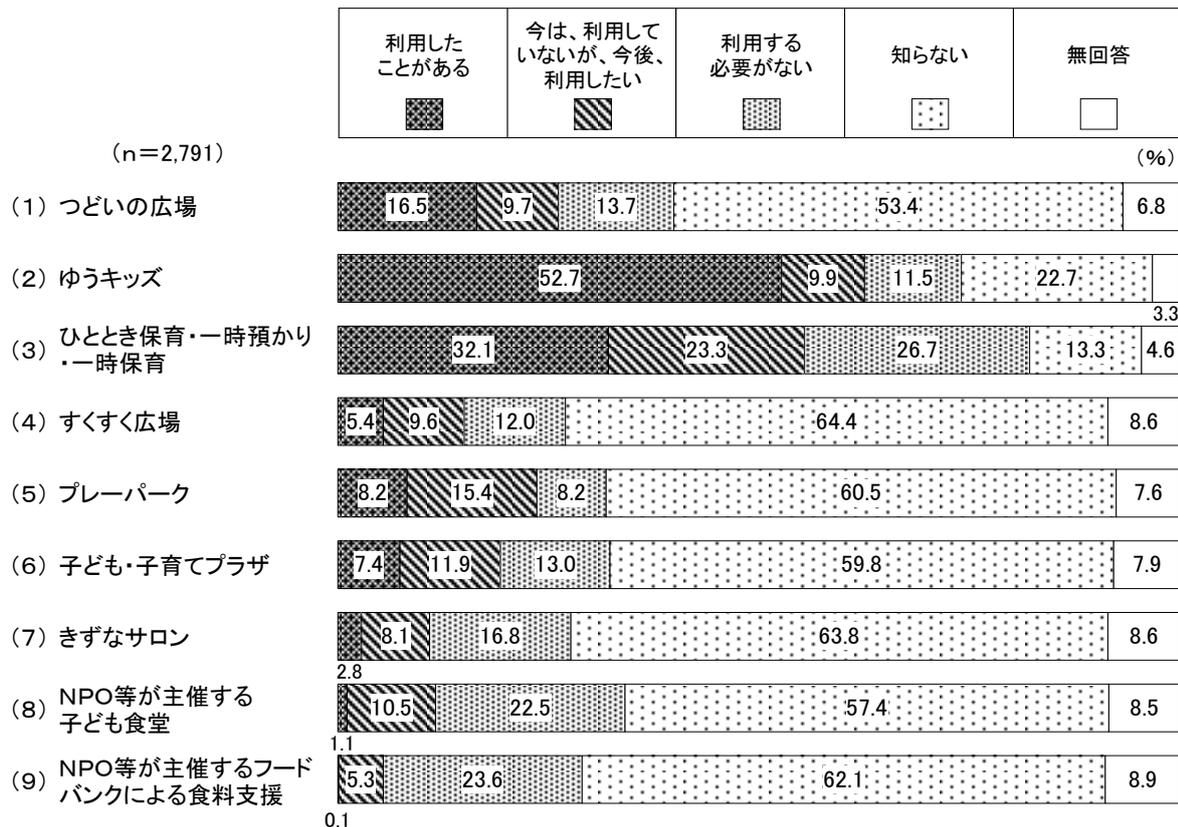
子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度は、「非常に困難」が16.7%、「どちらかという困難」は42.8%となっており、困難と感じる人は合わせて59.5%となっている。一方、「特に困難ではない」は39.7%となっている。(図8-9)

9. 公的・社会的サービスの利用状況

(1) 公的・社会的サービスの利用状況

問 25 宛名のお子さんについて、次の(1)～(9)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ○をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

図 9-1



公的・社会的サービスの利用状況は、「利用したことがある」は“ゆうキッズ”で52.7%と最も多く、次いで“ひととき保育・一時預かり・一時保育”で32.1%と続いている。また、「今は、利用していないが、今後、利用したい」は“ひととき保育・一時預かり・一時保育”で23.3%と最も多くなっている。一方、「利用する必要がある」は“ひととき保育・一時預かり・一時保育”で26.7%と最も多く、「知らない」は“すくすく広場”で64.4%と最も多くなっている。(図9-1)

“きずなサロン”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は150～200万円未満で30.4%と多くなっている。また、「知らない」は800万円以上で66.0%と多くなっている。(図9-2)

“NPO等が主催する子ども食堂”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「今は、利用していないが、今後、利用したい」は150～200万円未満で30.4%と多くなっている。「利用する必要がない」は100万円未満で29.0%と多くなっている。また、「知らない」は100～150万円未満で63.2%と多くなっている。(図9-3)

“NPO等が主催するフードバンクによる食料支援”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「今は、利用していないが、今後、利用したい」は150～200万円未満で21.7%と多くなっている。また、「知らない」は300～400万円未満で66.9%と多くなっている。(図9-4)

図9-2 (7) きずなサロンの利用状況 (家族全員の収入合計額別)

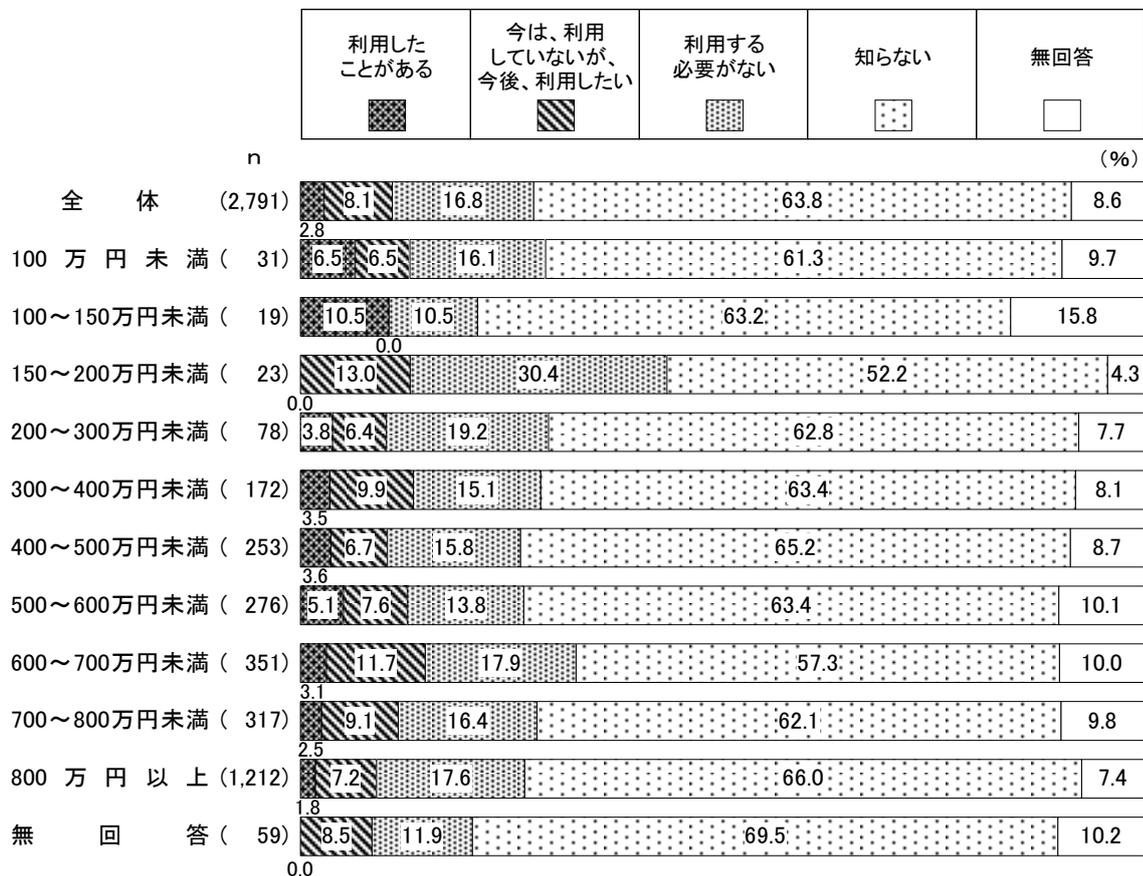


図9-3 (8) NPO等が主催する子ども食堂の利用状況（家族全員の収入合計額別）

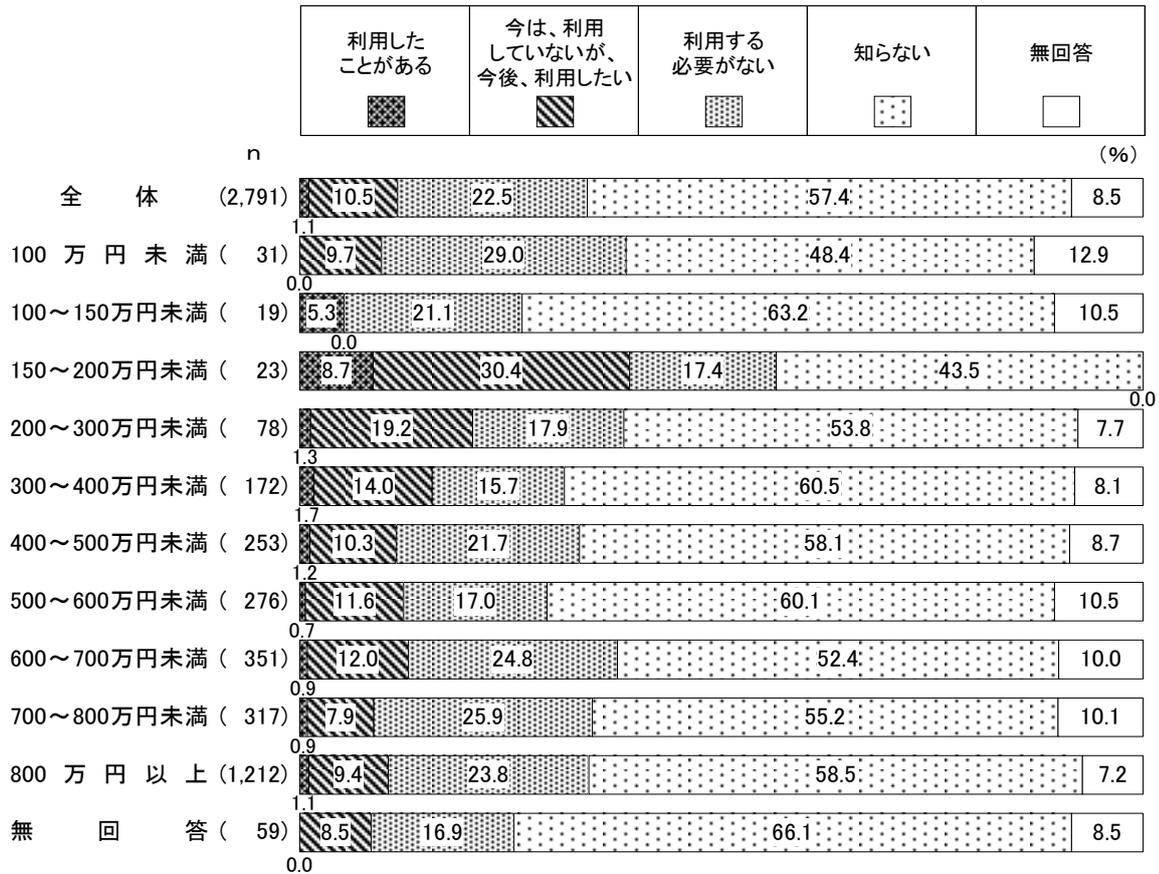
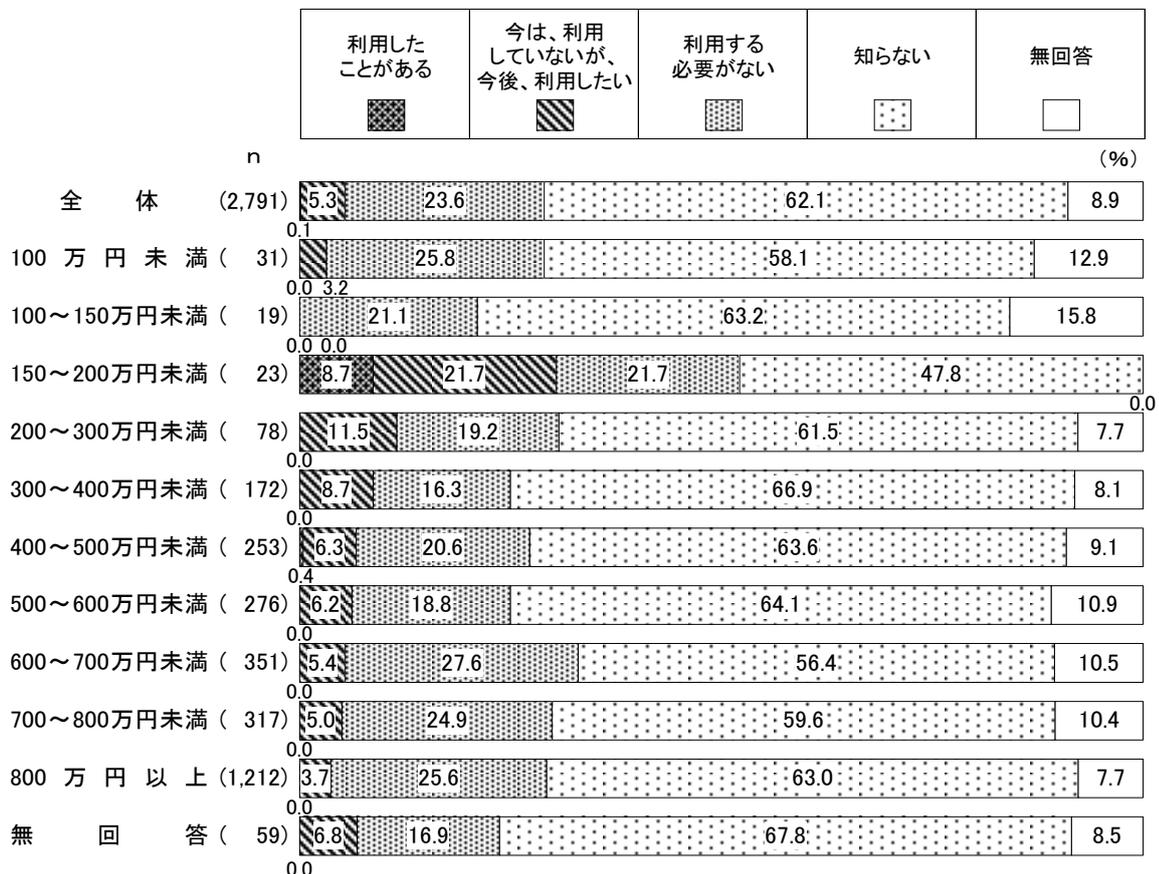


図9-4 (9) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援の利用状況（家族全員の収入合計額別）

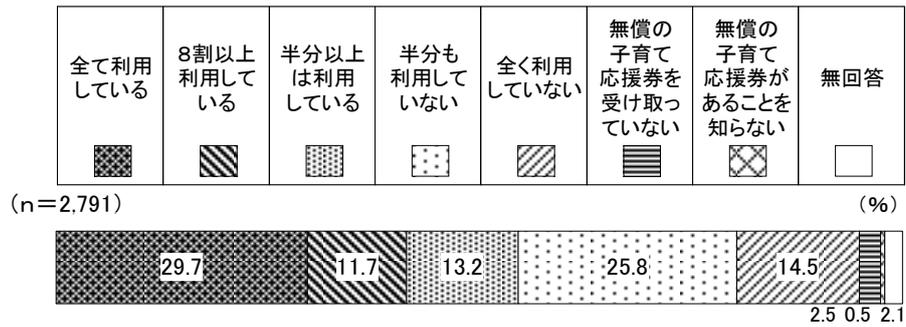


10. 子育て応援券

(1) 無償の子育て応援券の利用状況

問 26 平成27年8月の区の集計では、無償の子育て応援券の利用率が有償の応援券の利用率より少ない結果が出ています。そこで、無償の子育て応援券を受領された方にうかがいます。どの程度利用していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 10-1



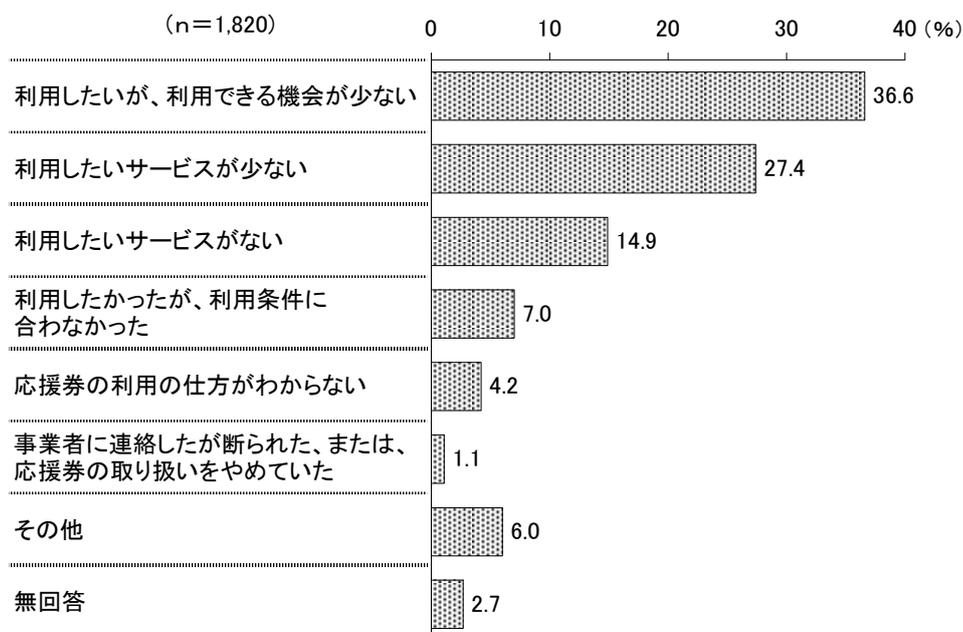
無償の子育て応援券の利用状況は、「全て利用している」が29.7%で最も多く、次いで「半分も利用していない」が25.8%、「全く利用していない」が14.5%と続いている。(図 10-1)

(1-1) 無償の子育て応援券を全て利用していない理由

(問 26 で、「8割以上利用している」「半分以上は利用している」「半分も利用していない」「全く利用していない」に○をつけた方にかがいます。)

問 26-1 無償の子育て応援券を全て利用していない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 10-2

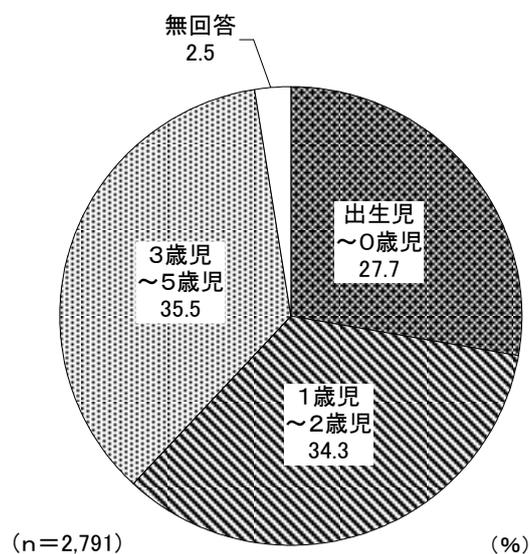


無償の子育て応援券を全て利用していない理由は、「利用したいが、利用できる機会が少ない」が 36.6%で最も多く、次いで「利用したいサービスが少ない」が 27.4%、「利用したいサービスがない」が 14.9%と続いている。(図 10-2)

(2) 子育て応援券を必要とする年齢

問 27 問 26 で示した集計では、出生時応援券の利用率が低い結果がでており、受領年齢等の見直しを検討しています。そこで、おうかがいします。子育て応援券をもっとも必要とする年齢はいつだと思えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 10-3

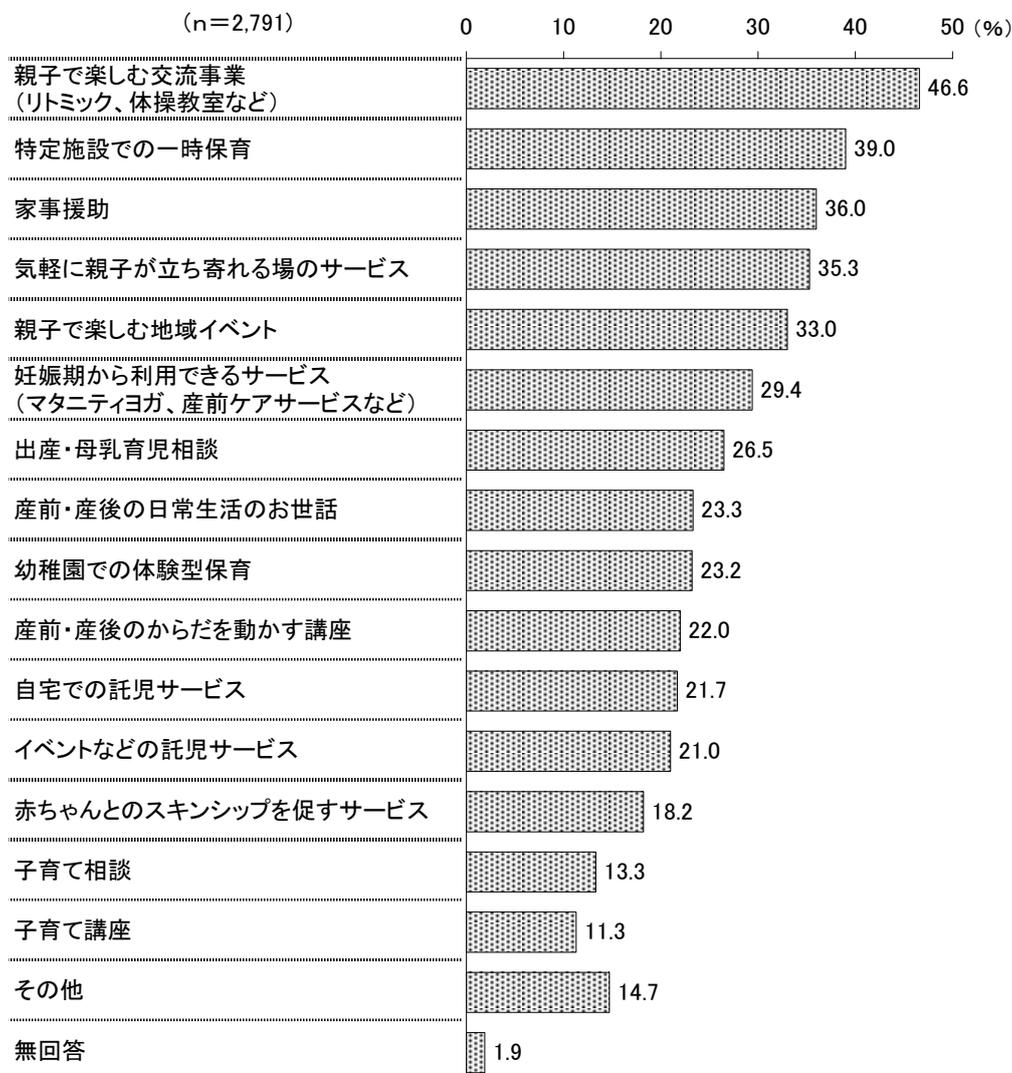


子育て応援券を必要とする年齢は、「3歳児～5歳児」が35.5%で最も多く、次いで「1歳児～2歳児」が34.3%、「出生児～0歳児」が27.7%と続いている。(図10-3)

(3) 充実したほうが良いと思うサービス

問 28 サービス提供をより充実したほうが良いと思うサービスはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図 10-4

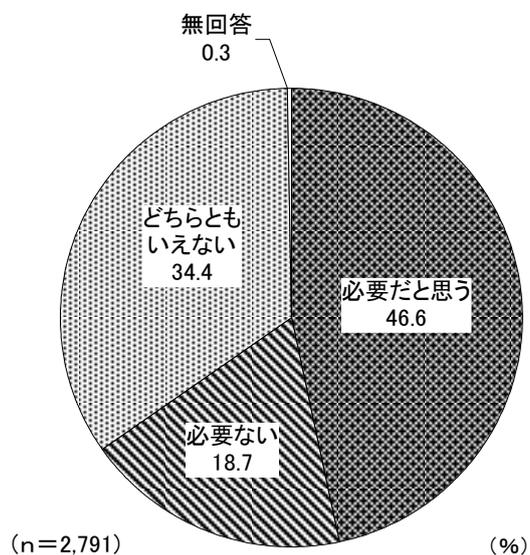


充実したほうが良いと思うサービスは、「親子で楽しむ交流事業(リトミック、体操教室など)」が46.6%で最も多く、次いで「特定施設での一時保育」が39.0%、「家事援助」が36.0%と続いている。(図10-4)

(4) 有償の子育て応援券の必要性

問 29 集計によると、有償応援券の購入者は、年々減少する傾向がみられます。有償の子育て応援券は、必要だと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 10-5



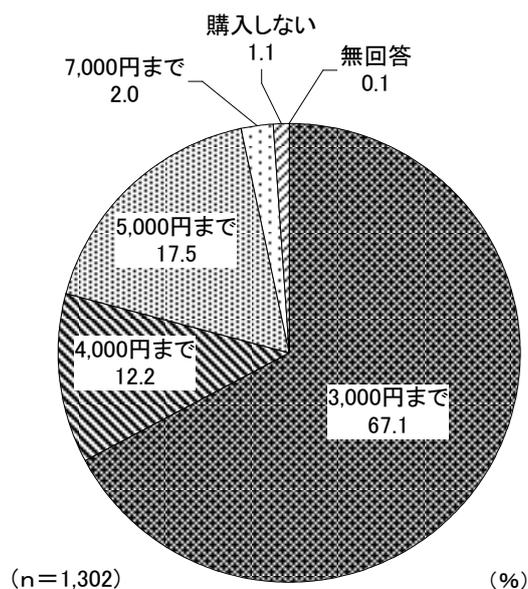
有償の子育て応援券の必要性は、「必要だと思う」が 46.6%、「必要ない」は 18.7%となっている。また、「どちらともいえない」は 34.4%となっている。(図 10-5)

(4-1) 有償の子育て応援券の自己負担額

(問 29 で、「必要だと思う」に○をつけた方にうかがいます。)

問 29-1 有償応援券は、平成 22 年の導入以来、自己負担額は 3,000 円を継続しており、今後、自己負担額の引上げを含めた見直しを検討しています。そこで、おうかがいします。有償の子育て応援券(10,000 円相当)を購入する場合の自己負担額はいくらまでなら購入しようと思いますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

図 10-6



有償の子育て応援券の自己負担額は、「3,000 円まで」が 67.1%で最も多く、次いで「5,000 円まで」が 17.5%、「4,000 円まで」が 12.2%と続いている。(図 10-6)

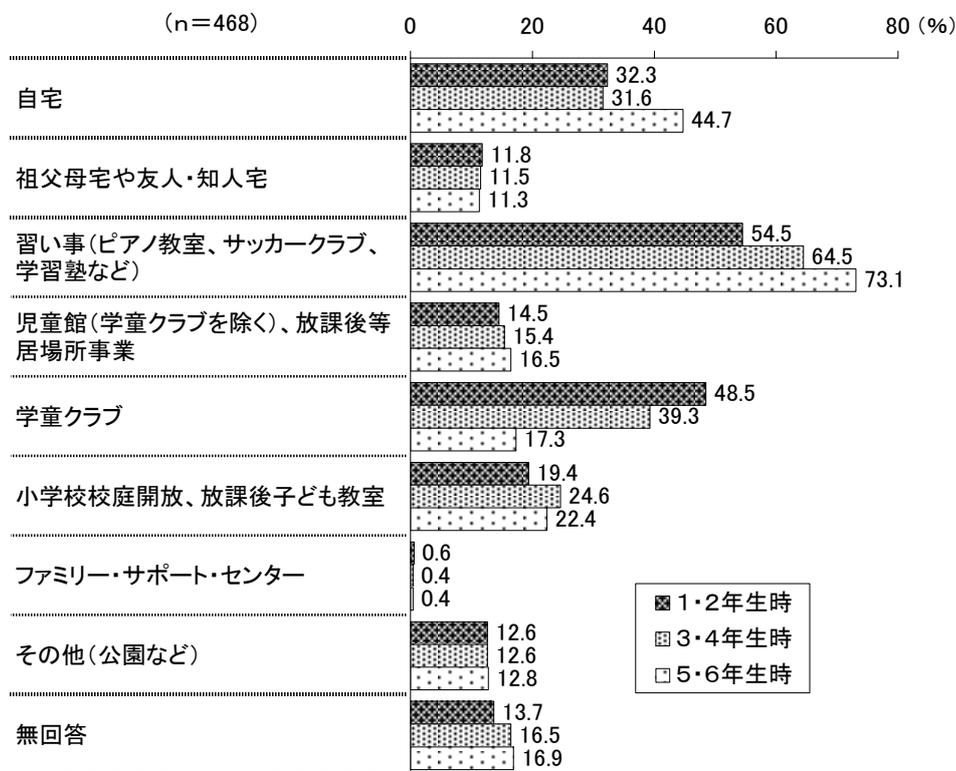
11. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 希望する放課後の過ごし方

(宛名のお子さんが5歳以上の方にうかがいます。)

問 30 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後からおおむね18時頃まで）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれで希望する「放課後の過ごし方」にすべて○をつけるとともに、週当たり日数をそれぞれご記入ください。（合計が5日になるようにご記入ください。）また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

図 11-1



希望する放課後の過ごし方は、1・2年生時では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.5%で最も多く、次いで「学童クラブ」が48.5%、「自宅」が32.3%と続いている。

3・4年生時では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.5%で最も多く、次いで「学童クラブ」が39.3%、「自宅」が31.6%と続いている。

5・6年生時では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が73.1%で最も多く、次いで「自宅」が44.7%、「小学校校庭開放、放課後子ども教室」が22.4%と続いている。

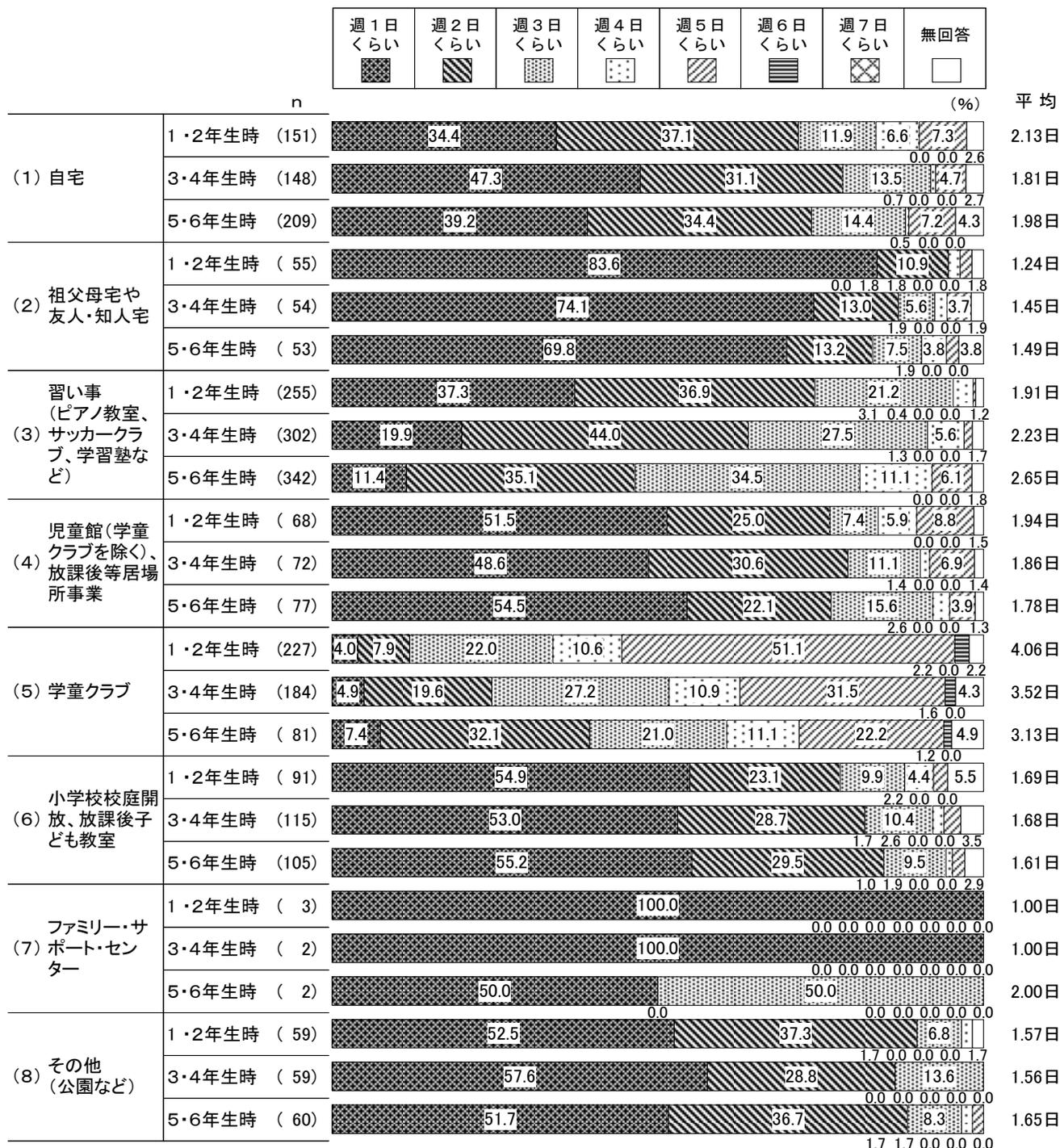
(図 11-1)

1週当たりの希望日数は、1・2年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅”で83.6%と多くなっている。また、「週5日くらい」は“学童クラブ”で51.1%と多くなっている。

3・4年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅”で74.1%と多くなっている。また、「週2日くらい」は“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で44.0%と多くなっている。

5・6年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅”で69.8%と多くなっている。また、「週2日くらい」は“習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で35.1%、「自宅」で34.4%、「学童クラブ」で32.1%と多くなっている。（図11-2）

図11-2 希望日数

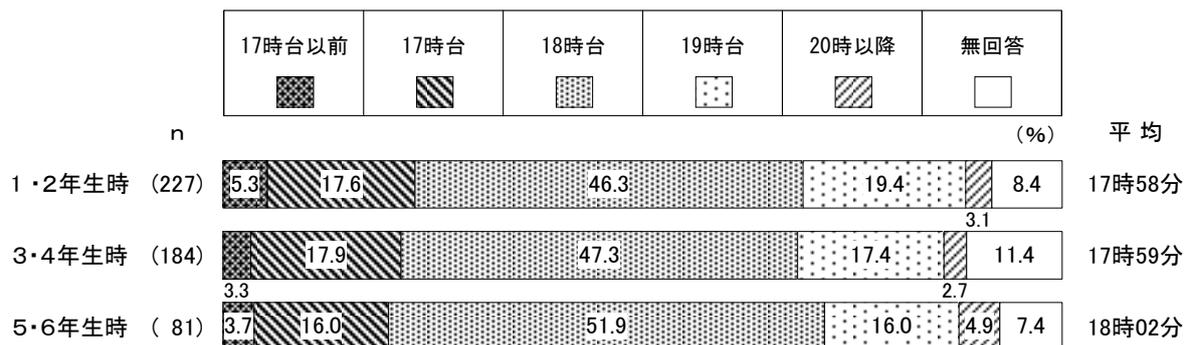


希望する放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用を希望するかは、1・2年生時では「18時台」が46.3%で最も多く、次いで「19時台」が19.4%、「17時台」が17.6%と続いている。

3・4年生時では「18時台」が47.3%で最も多く、次いで「17時台」が17.9%、「19時台」が17.4%と続いている。

5・6年生時では「18時台」が51.9%で最も多く、次いで「17時台」と「19時台」がともに16.0%と続いている。(図11-3)

図11-3 学童クラブの利用希望時間

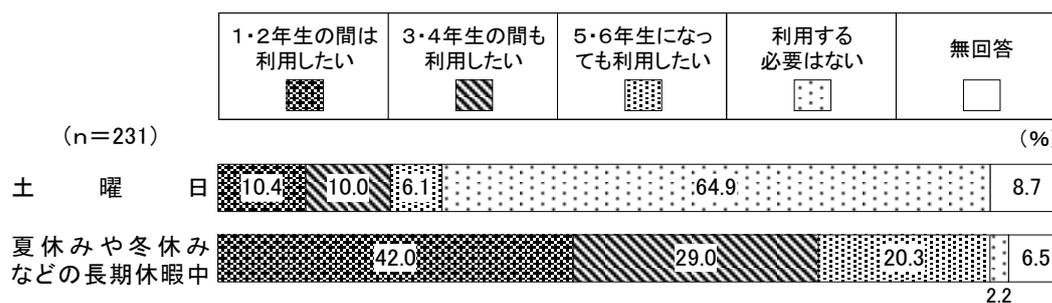


(1-1) 学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望

(問 30 の (1) (2) (3) のいずれかで、「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)

問 30-1 宛名のお子さんについて、土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に24時間制でご記入ください。

図 11-4



学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望は、土曜日では「利用する必要はない」が64.9%で最も多くなっている。

夏休みや冬休みなどの長期休暇中では「1・2年生の間は利用したい」が42.0%と最も多く、次いで「3・4年生の間も利用したい」が29.0%、「5・6年生になっても利用したい」が20.3%と続いている。(図 11-4)

「1・2年生の間は利用したい」、「3・4年生の間も利用したい」と答えた人の、希望する利用開始時間は、土曜日では「9時台」が38.3%で最も多く、次いで「8時台」が31.9%と続いている。

夏休みや冬休みなどの長期休暇中では「8時台」が58.5%で最も多く、次いで「9時台」が30.5%と続いている。(図11-5)

希望する利用終了時間は、「18時台」が土曜日で46.8%、夏休みや冬休みなどの長期休暇中で48.8%と最も多く、次いで「17時台」が土曜日で19.1%、夏休みや冬休みなどの長期休暇中で21.3%と続いている。(図11-6)

図11-5 希望する利用開始時間

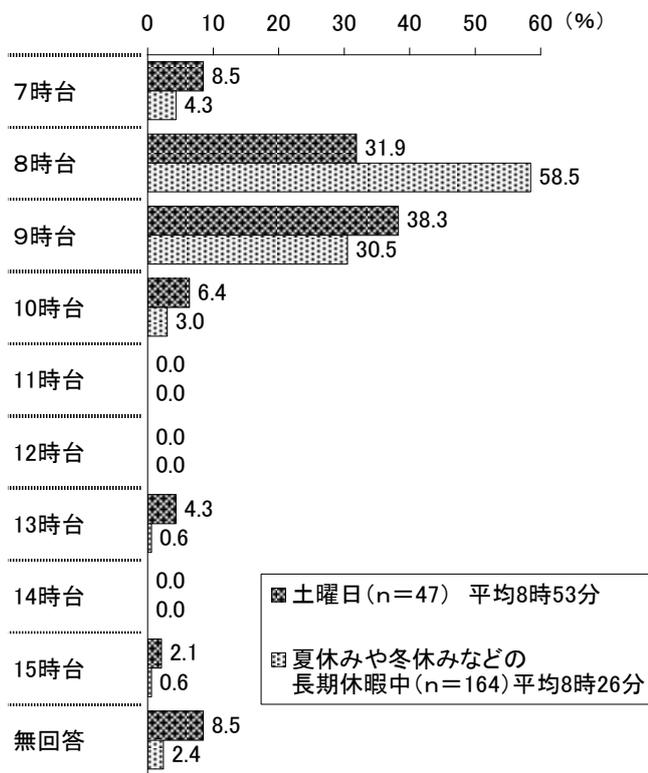
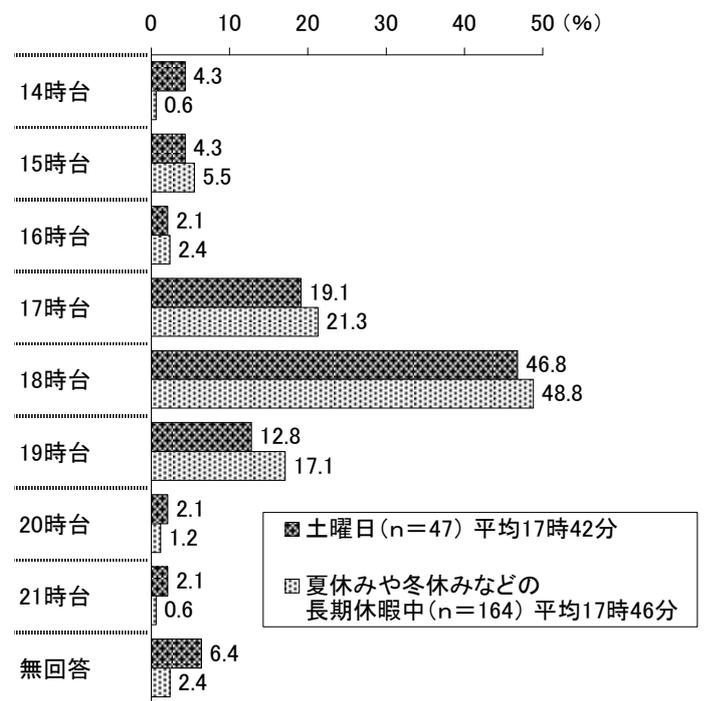


図11-6 希望する利用終了時間

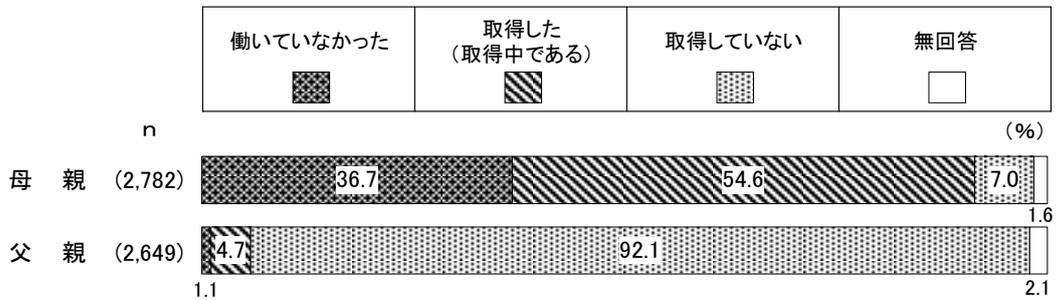


12. 育児休業や短時間勤務制度などの利用状況

(1) 育児休業の取得状況

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 12-1



育児休業の取得状況は、母親では「取得した（取得中である）」が54.6%、「取得していない」は7.0%となっている。また、「働いていなかった」は36.7%となっている。

父親では「取得した（取得中である）」が4.7%、「取得していない」は92.1%となっている。また、「働いていなかった」は1.1%となっている。（図12-1）

子どもの年齢別にみると、母親では「取得した（取得中である）」は子どもの年齢が下がるにつれて多くなっており、0歳では64.9%となっている。

父親では「取得していない」がすべての年齢で9割前後となっている。（図12-2・3）

図 12-2 育児休業の取得状況（子どもの年齢別）【母親】

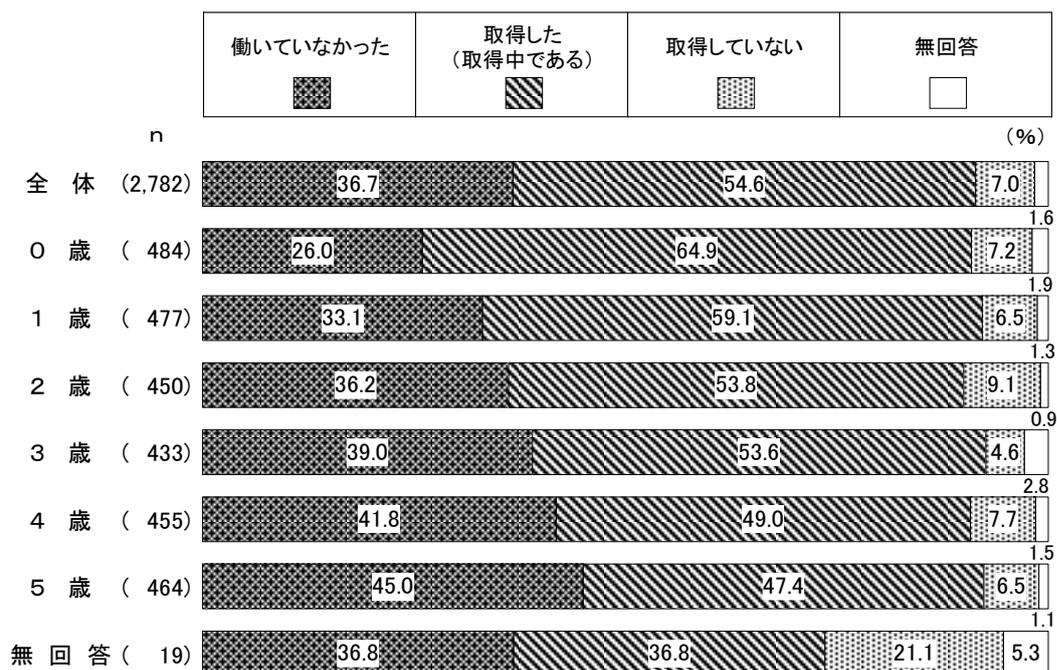
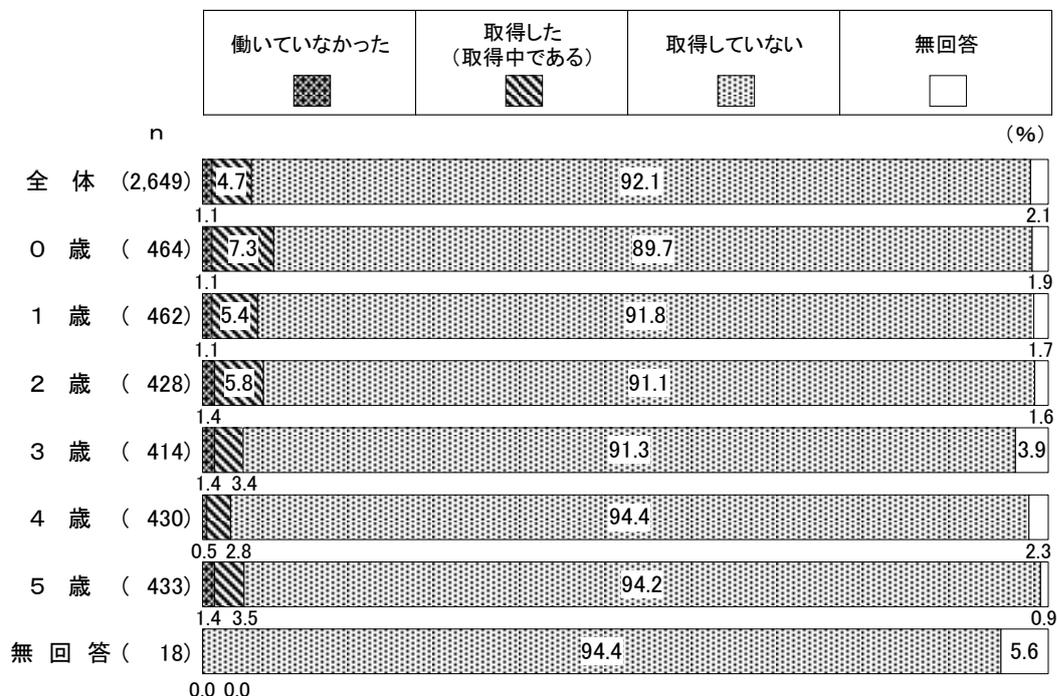


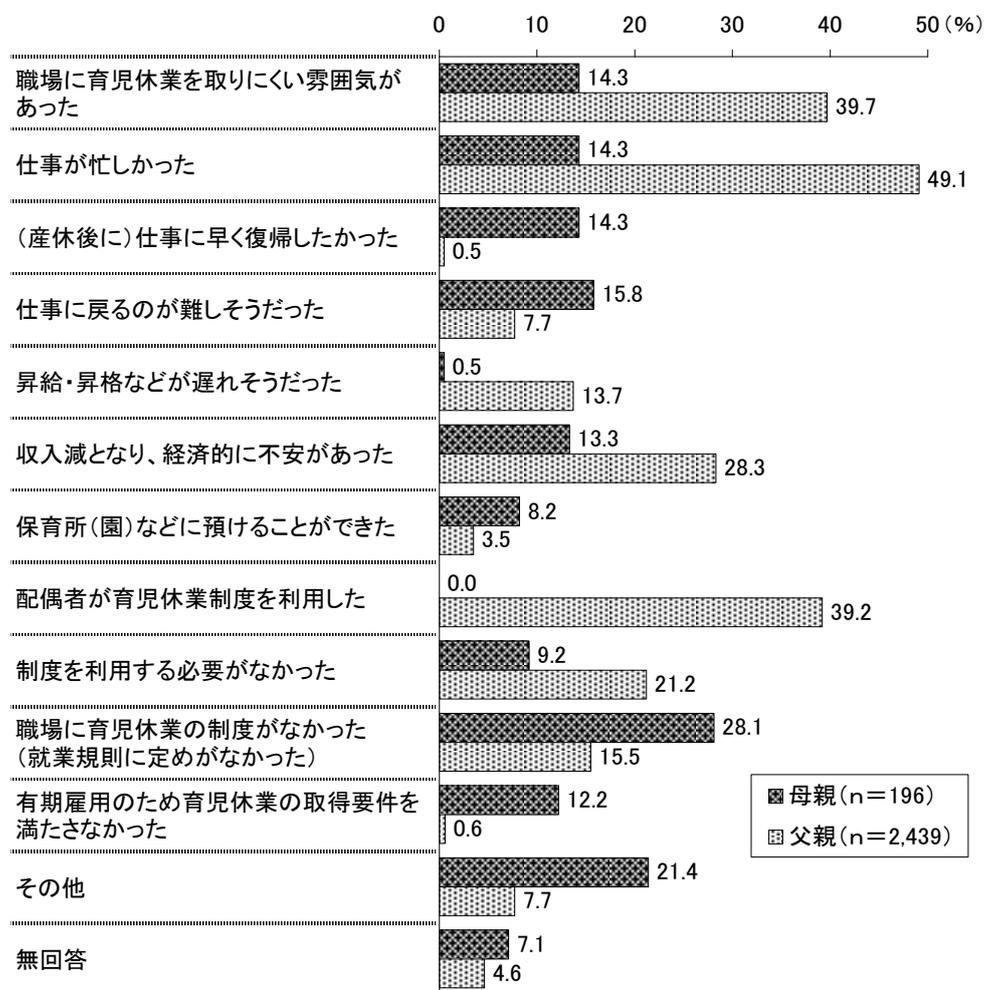
図 12-3 育児休業の取得状況（子どもの年齢別）【父親】



(1-1) 育児休業を取得しなかった理由

(問 31 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「取得していない」に○をつけた方にうかがいます。)
 問 31-1 取得しなかった理由は何ですか。当てはまる理由を「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

図 12-4



育児休業を取得しなかった理由は、母親では「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 28.1%で最も多くなっている。

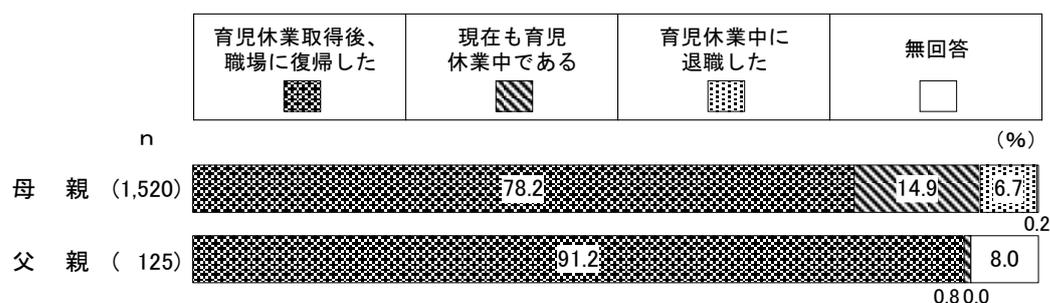
父親では「仕事が忙しかった」が 49.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 39.7%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 39.2%と続いている。(図 12-4)

(1-2) 育児休業取得後の職場復帰の有無

(問 31 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。「母親」「父親」の当てはまる欄 1 つに○をつけてください。

図 12-5



育児休業取得後の職場復帰の有無は、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 78.2%、「現在も育児休業中である」は 14.9%、「育児休業中に退職した」は 6.7%となっている。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が 91.2%、「現在も育児休業中である」は 0.8%となっている。(図 12-5)

子どもの年齢別にみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」は 1 歳から 5 歳で 9 割前後となっている。また、「現在も育児休業中である」は 0 歳で 55.7%と多くなっている。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」はすべての年齢で 9 割前後となっている。

(図 12-6・7)

図 12-6 育児休業取得後の職場復帰の有無（子どもの年齢別）【母親】

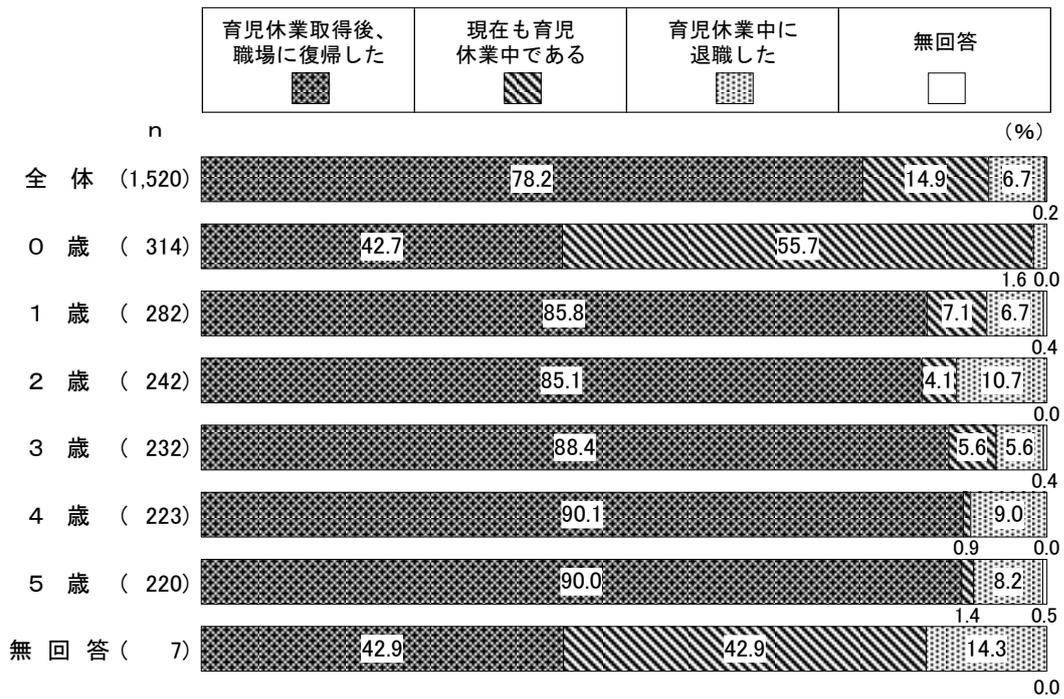
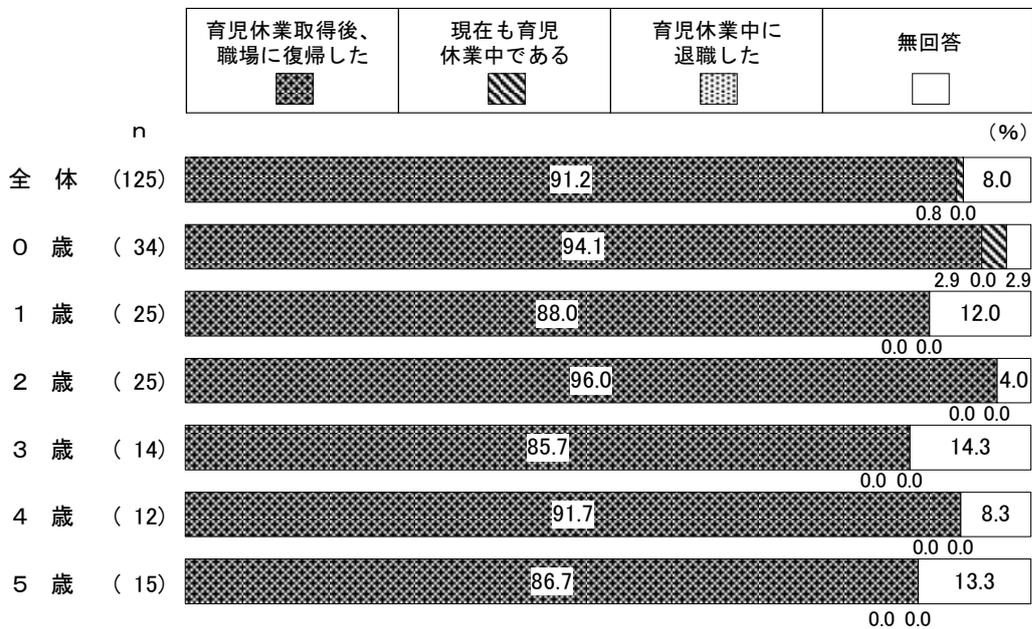


図 12-7 育児休業取得後の職場復帰の有無（子どもの年齢別）【父親】



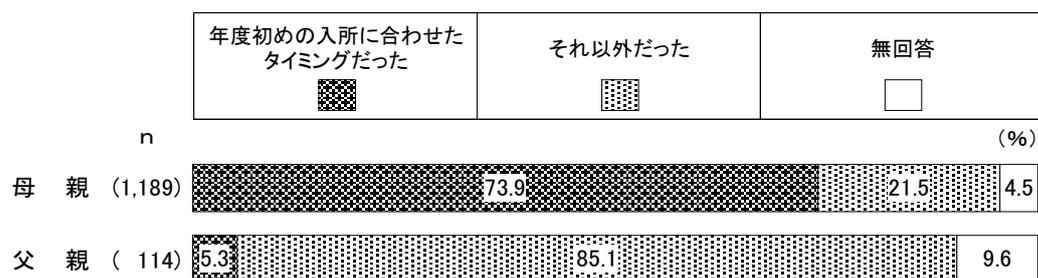
(1-3) 育児休業取得後の職場復帰の時期

(問 31-2 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-3 育児休業から職場に復帰したのは、いつでしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、育児休業を切り上げて一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

図 12-8



育児休業取得後の職場復帰の時期は、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が73.9%、「それ以外だった」は21.5%となっている。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が5.3%、「それ以外だった」は85.1%となっている。(図 12-8)

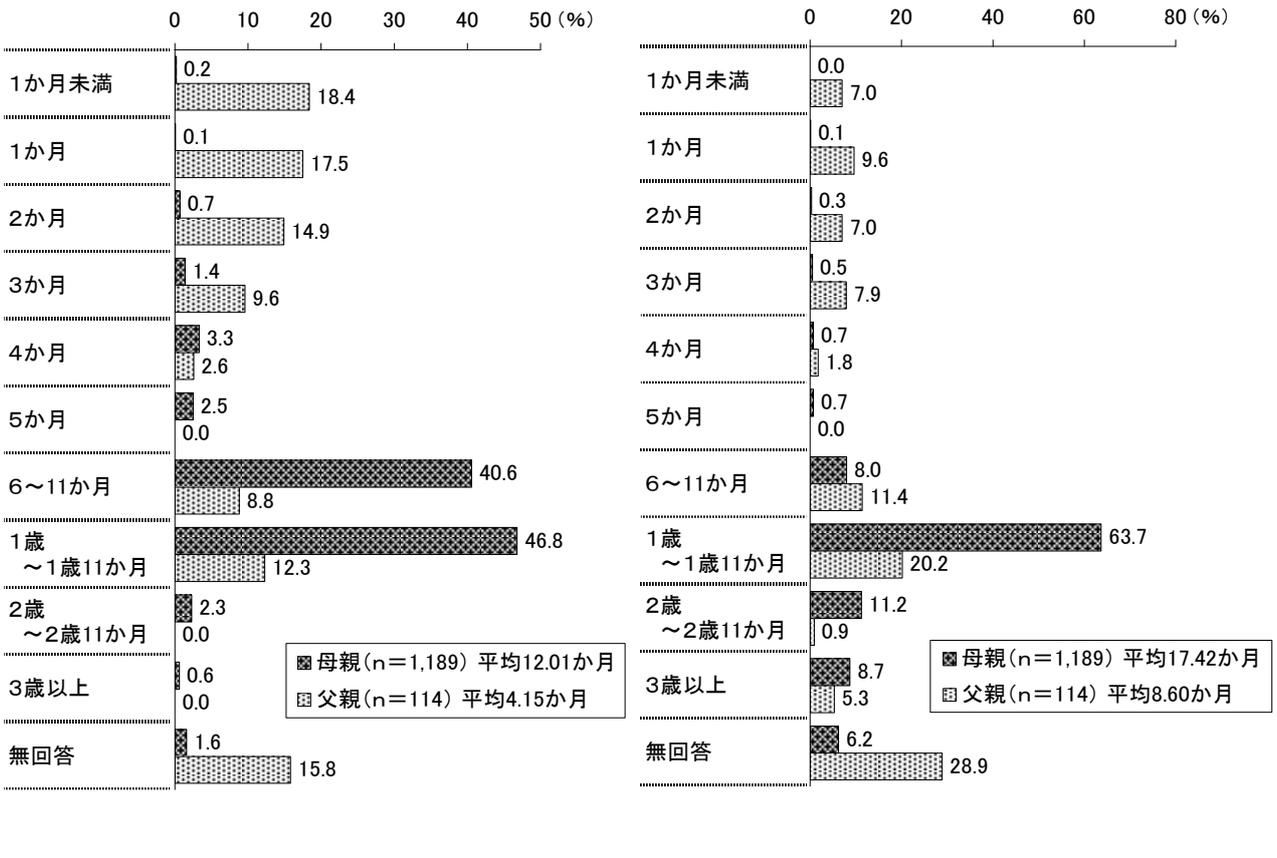
(1-4) 実際の職場復帰した時期と希望していた職場復帰の時期

(問 31-2 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-4 育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

図 12-9 実際の職場復帰した時期

図 12-10 希望していた職場復帰の時期



実際の職場復帰した時期は、母親では「1歳～1歳11か月」が46.8%で最も多く、次いで「6～11か月」が40.6%と続いている。

父親では「1か月未満」が18.4%で最も多く、次いで「1か月」が17.5%と続いている。

(図 12-9)

希望していた職場復帰の時期は、母親では「1歳～1歳11か月」が63.7%で最も多く、次いで「2歳～2歳11か月」が11.2%と続いている。

父親では「1歳～1歳11か月」が20.2%で最も多く、次いで「6～11か月」が11.4%と続いている。(図 12-10)

(1-5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

(問 31-4 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「実際の復帰と希望が異なる方」にうかがいます。)
 問 31-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。「母親」「父親」の
 当てはまる理由すべてに○をつけてください。

図 12-11 希望の時期に職場復帰しなかった理由 【「希望」より早く復帰した人】

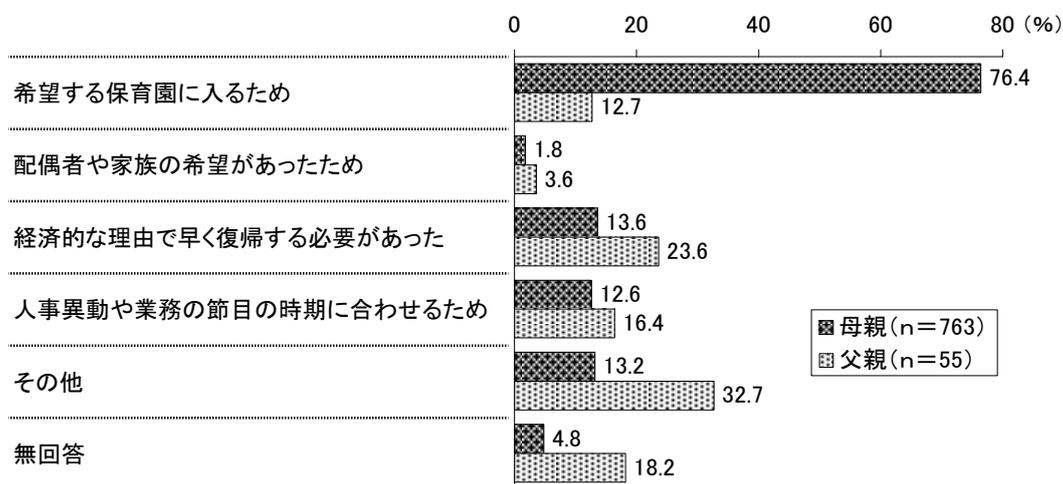
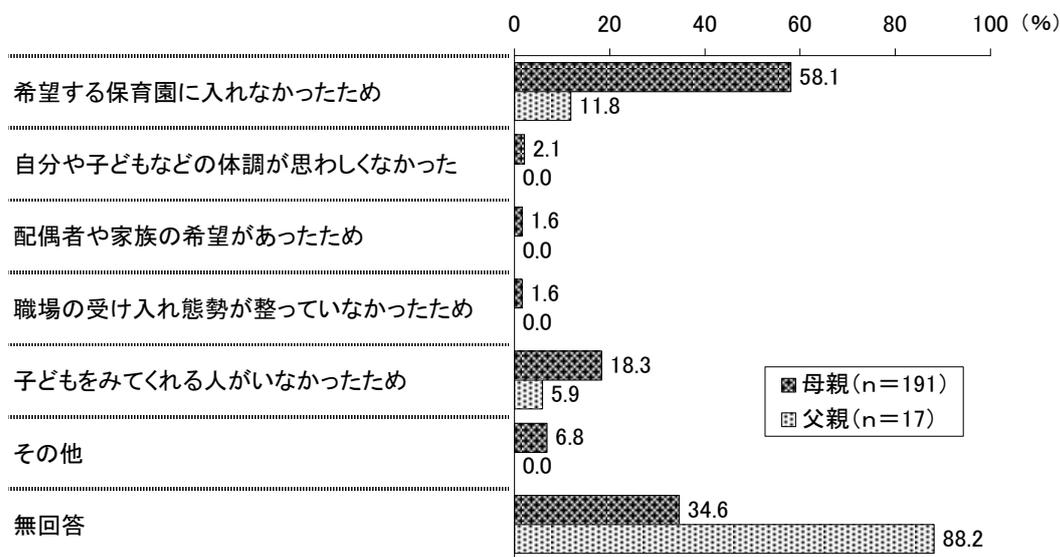


図 12-12 希望の時期に職場復帰しなかった理由 【「希望」より遅く復帰した人】



「希望」より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育園に入るため」が 76.4%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 13.6%と続いている。

父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 23.6%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 16.4%と続いている。(図 12-11)

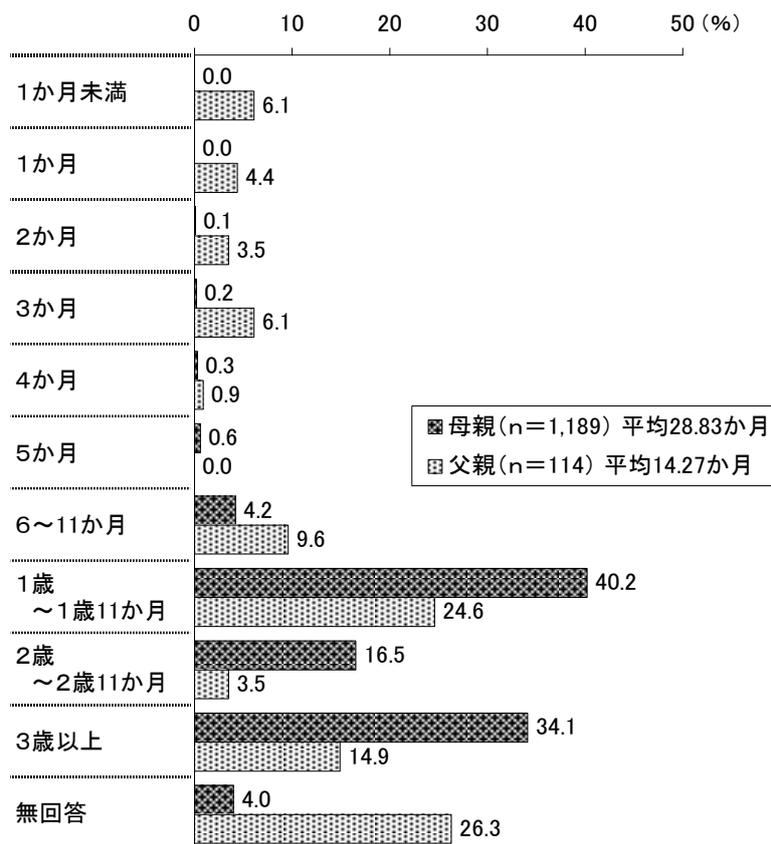
「希望」より遅く復帰した理由は、「希望する保育園に入れなかったため」が母親で 58.1%、父親で 11.8%と最も多く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が母親で 18.3%、父親で 5.9%と続いている。(図 12-12)

(1-6) 子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期

(問 31-2 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

図 12-13



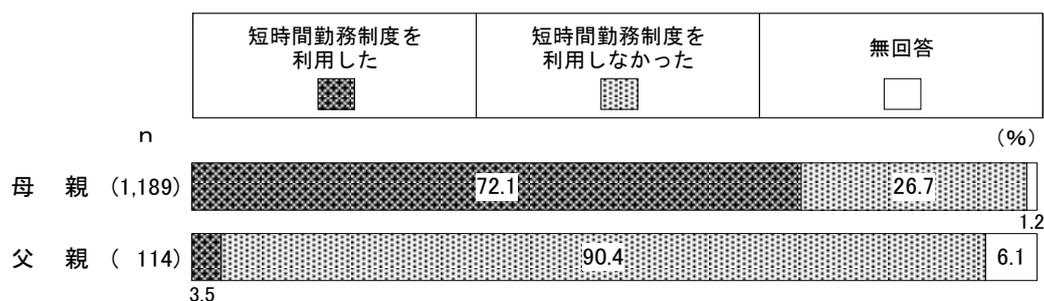
子どもが3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する職場復帰の時期は、「1歳～1歳11か月」が母親で40.2%、父親で24.6%と最も多く、次いで「3歳以上」が母親で34.1%、父親で14.9%と続いている。(図 12-13)

(1-7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

(問 31-2 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。「母親」「父親」それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 12-14



職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無は、母親では「短時間勤務制度を利用した」が72.1%、「短時間勤務制度を利用しなかった」は26.7%となっている。

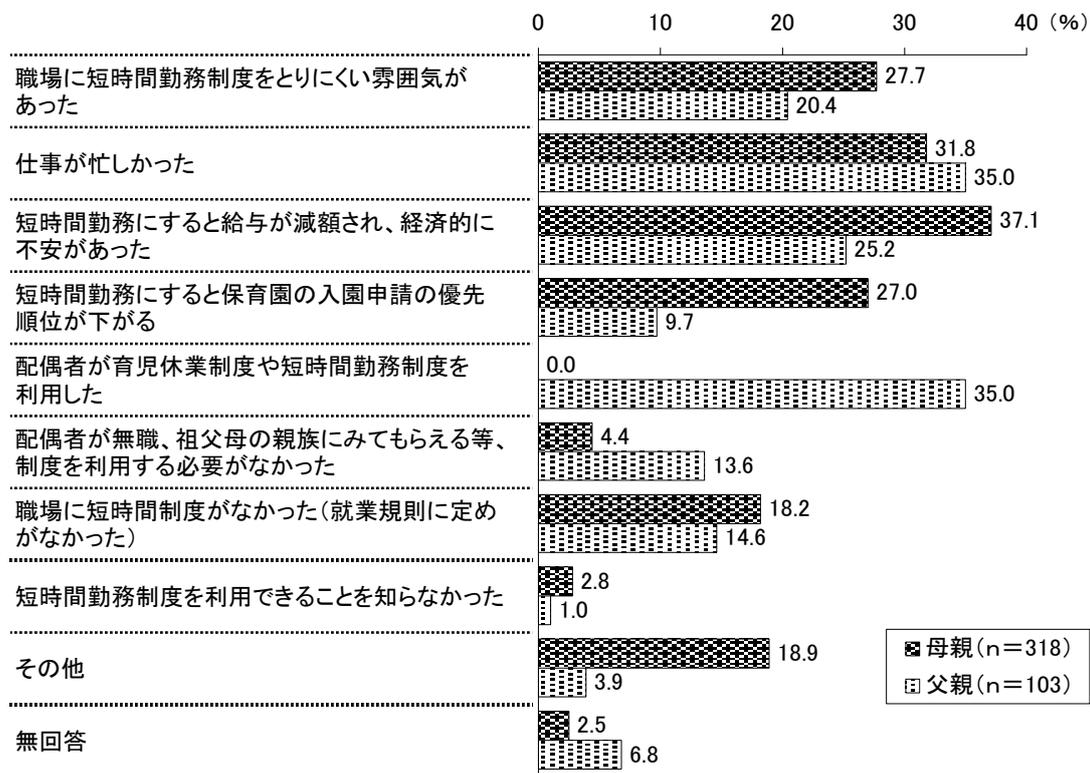
父親では「短時間勤務制度を利用した」が3.5%、「短時間勤務制度を利用しなかった」は90.4%となっている。(図 12-14)

(1-8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

(問 31-7 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

図 12-15



短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に不安があった」が37.1%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が31.8%、「職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」が27.7%と続いている。

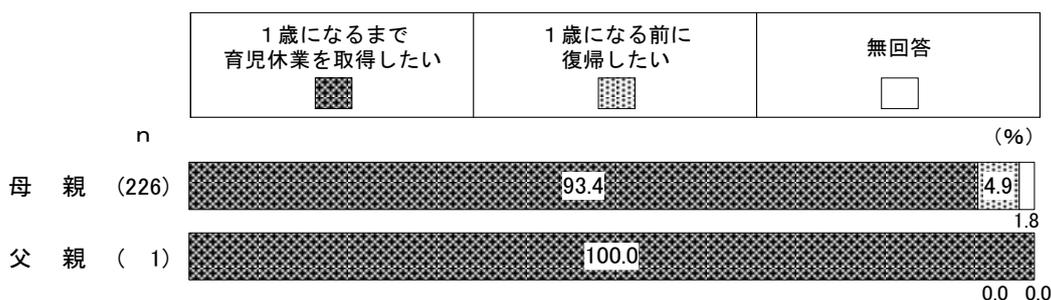
父親では「仕事が忙しかった」と「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」がともに35.0%と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に不安があった」が25.2%と続いている。(図 12-15)

(1-9) 子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の職場復帰の時期

(問 31-2 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。)

問 31-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる施設・事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。「母親」「父親」それぞれに当てはまるもの1つに○をつけてください。

図 12-16



子どもが1歳になったときに利用できる施設・事業がある場合の職場復帰の時期は、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.4%、「1歳になる前に復帰したい」は4.9%となっている。

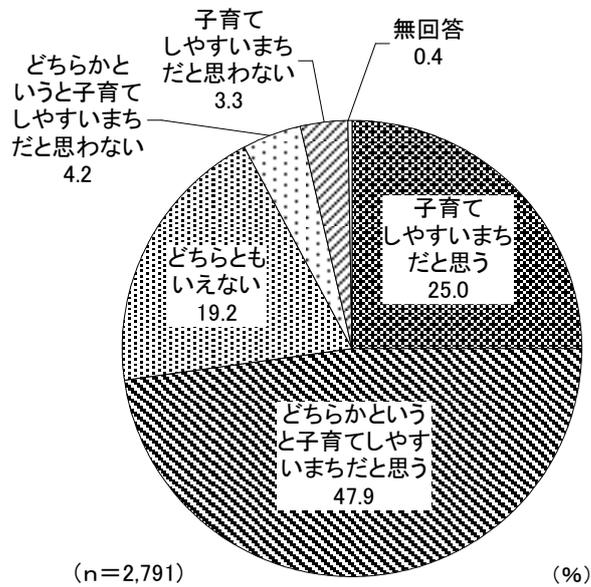
父親については、対象が1名と少ないため、参考までに図示する。(図 12-16)

13 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問 32 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

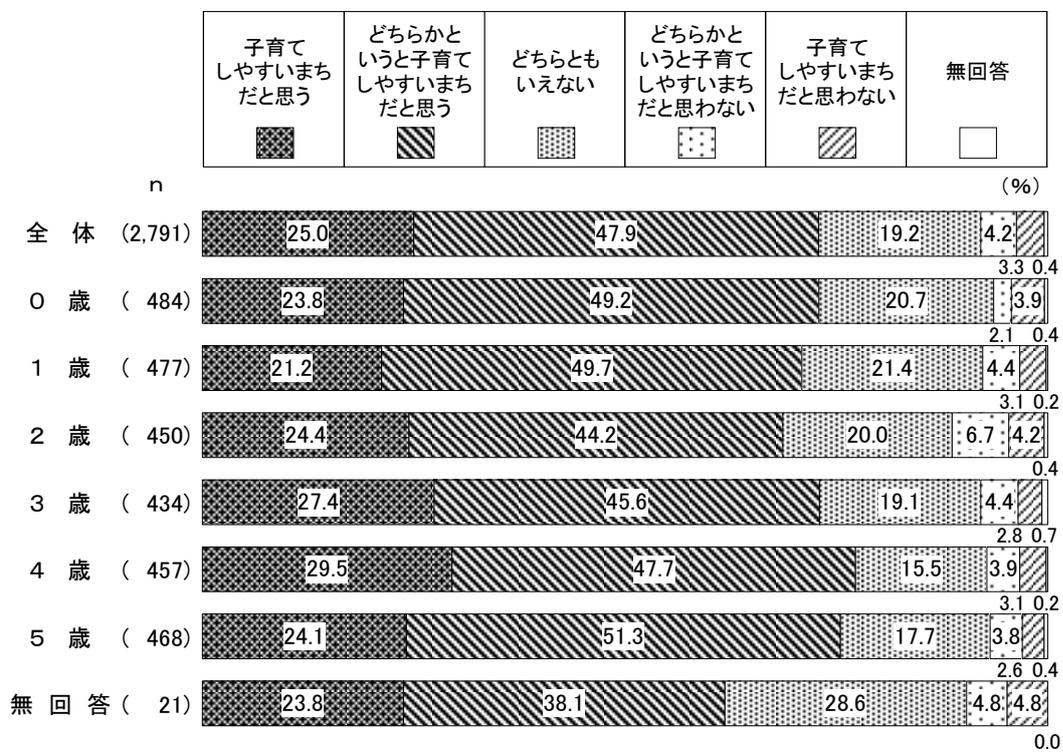
図 13-1



杉並区の子育てのしやすさは、「子育てしやすいまちだと思う」が 25.0%、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は 47.9%となっており、子育てしやすいまちだと思う人は合わせて 72.9%となっている。一方、「どちらかという子育てしやすいまちだと思わない」は 4.2%、「子育てしやすいまちだと思わない」は 3.3%となっている。(図 13-1)

子どもの年齢別にみると、「子育てしやすいまちだと思う」は4歳で29.5%と多く、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は5歳で51.3%と多くなっている。(図13-2)

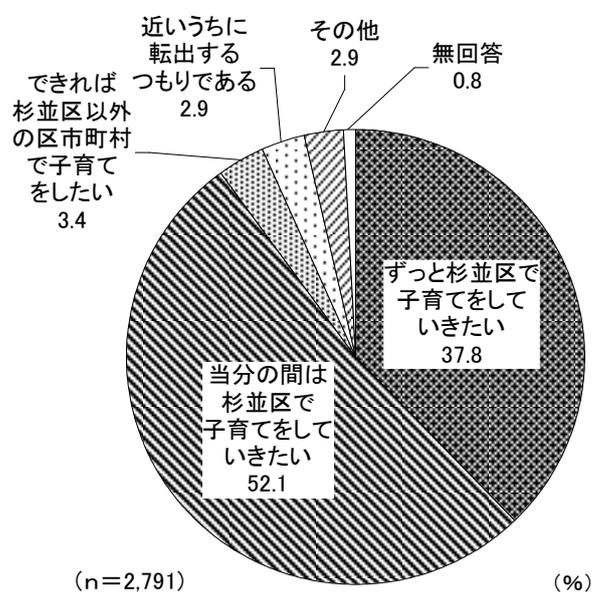
図13-2 杉並区の子育てのしやすさ(子どもの年齢別)



(2) 杉並区での子育ての継続意向

問 33 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

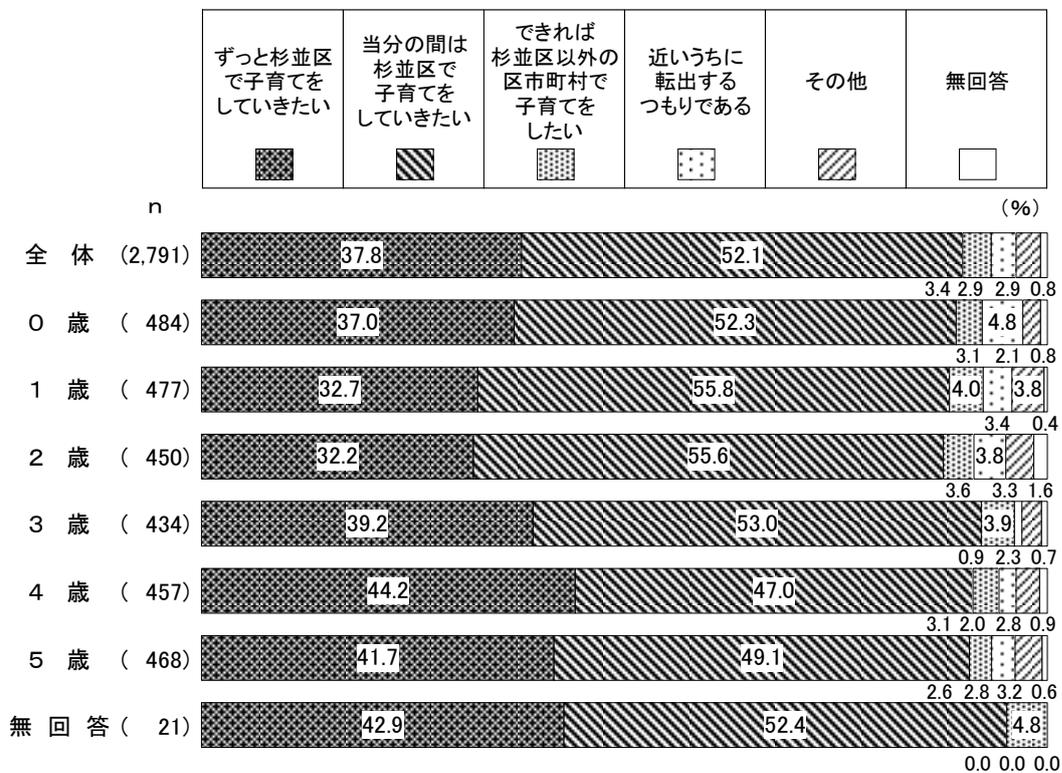
図 13-3



杉並区での子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が37.8%、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は52.1%となっており、杉並区で子育てをしていきたい人は合わせて89.9%となっている。一方、「できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい」は3.4%、「近いうちに転出するつもりである」は2.9%となっている。(図 13-3)

子どもの年齢別にみると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」は4歳で44.2%、5歳で41.7%と多くなっている。また、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は1歳で55.8%、2歳で55.6%と多くなっている。(図13-4)

図13-4 杉並区での子育ての継続意向(子どもの年齢別)



(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 34 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,752人から2,134件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類項目ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス・教育環境に関するご意見 (905件)

- ・ 保育園や学童クラブにもっとみんなが入れるような環境を作ってほしいです。保育園に何とか入れてもその後の学童クラブに入るのが大変というので。
- ・ 保育園が急速に増えてありがたいが、保育士の質が心配な面があるので、区として責任を持って確保、育成してもらいたいです。

2 子育て支援施策に関するご意見 (717件)

- ・ 応援券をととてもありがたく利用させていただいておりますが、年々利用を中止される事業があり利用する場が減少している。
- ・ もう少しホームページの情報をこまめに更新してほしい。学校説明会の日程などもホームページに載せてくれるとわかりやすいと思う。

3 子育て施設の整備に関するご意見 (303件)

- ・ 一時保育を格安で利用できる施設を増やしてほしい。いつも定員一杯で、一度も予約できなかったことがない。公園以外にも無料、格安で利用できる屋外、室内の遊び場が欲しい。(児童館は幼児が使えるスペースが狭い。)図書館のイベントルームなどはイベントがないときは幼児に開放してもよいのでは。
- ・ 天沼地域にはあまり緑地、広い公園がなく災害時などの避難場所も心配です。子どもたちが放課後に遊べる場所がもっとあると良いのと思います。

4 安心・安全な子育て環境に関するご意見 (75件)

- ・ 子育ての安心メールサービスを登録していますが、不審者の情報がとても多いです。その対策をしていますか。通学路に監視カメラを設置するなどやりようはいくらでもあると思います。四宮児童館はとても照明が暗いです。子どもが安心して過ごせるようにしてください。
- ・ まち自体が子育てしやすい環境になることを望みます。歩きタバコをしている人が多い。歩道を自転車でスピードを出して走る人が多い。午前中から公園でお酒を飲んでいる人が多い。治安が悪く感じます。安心して子どもが外で遊べるようなまちづくりを期待しています。

5 親、子どもの保険医療体制の充実に関するご意見 (41件)

- ・ 検診で1歳6か月の後が3歳まで間が空くので、2歳検診も実施して欲しい。
- ・ 近所に小児科専門の病院ができると嬉しいと思っています。(ひとつあるが古く、ベビーカー対応もしていない。)日曜・祝日にも診てもらえるとさらに安心です。

6 仕事と子育ての両立の推進に関するご意見 (22 件)

- ・ 保育園に預けないと転職活動は難しく、仕事をしていないと保育園に預けられない状況に葛藤しています。保育園に預けられ、転職活動ができる、バランスの取れた制度を希望します。
- ・ 日本の働き方が変わってほしい。イギリスや北欧のように、もうけ主義でなく、多少賃金は下がっても夫婦で子育てのできる環境になればよいと思う。

7 個別に支援を必要とする子どもへの支援に関するご意見 (15 件)

- ・ 子ども発達センターを利用しているとそのほかの療育を利用できないのは不便です。

8 その他 (56 件)

- ・ 環境的にはとても子育てしやすいと感じているが、育児用品の専門店などが近くになく、必要なものを揃えにくいのが不便だと感じている。特に井の頭線沿いにもう少し充実した施設を誘致できるととても助かる。

第3章 小学生調査の結果

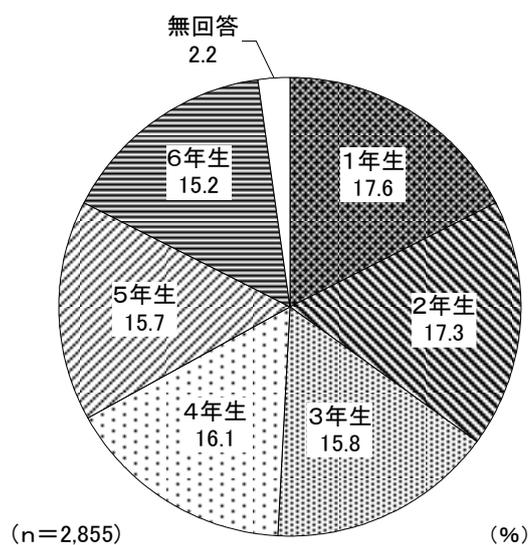
第3章 小学生調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの学年

問1 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

図1-1



子どもの学年は、「1年生」が17.6%、「2年生」が17.3%、「3年生」が15.8%、「4年生」が16.1%、「5年生」が15.7%、「6年生」が15.2%となっている。(図1-1)

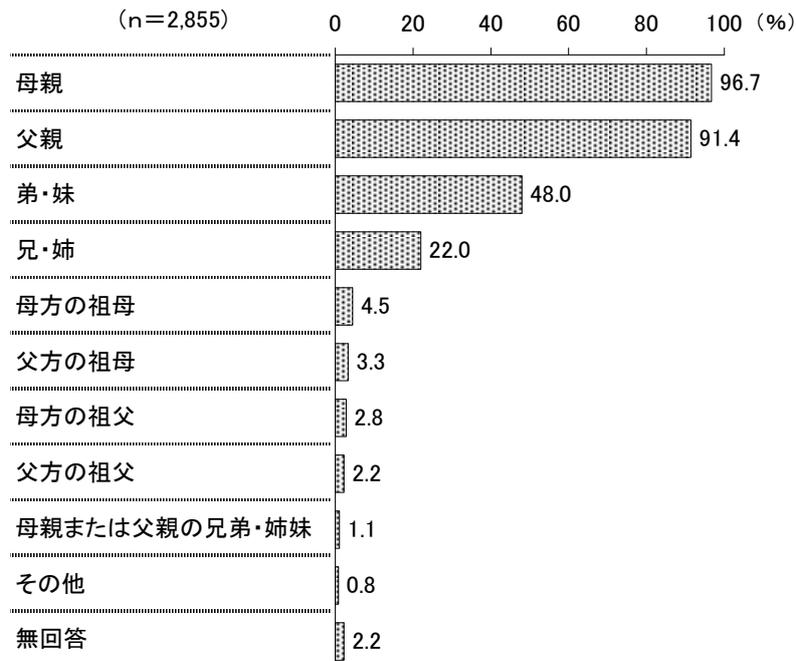
(2) 宛名の子どもの家族

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

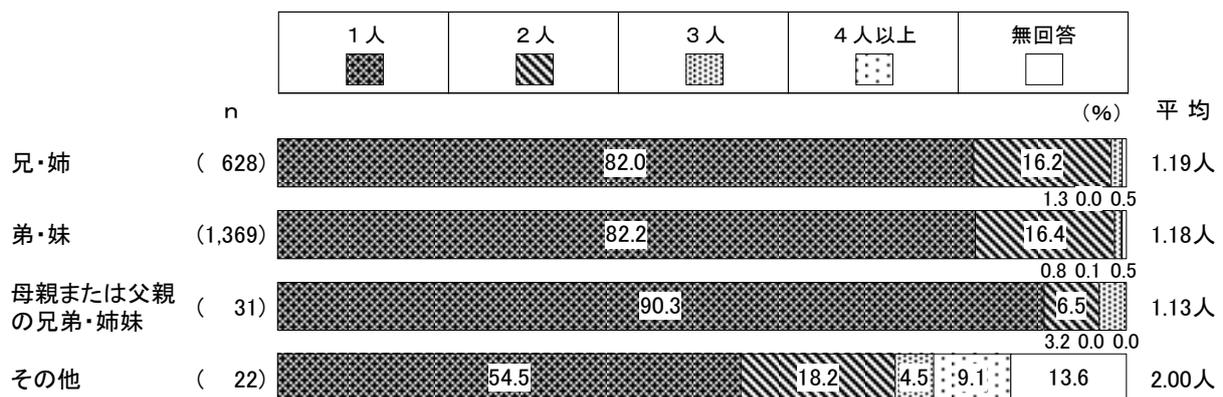
図1-2



宛名の子どもの家族は、「母親」が96.7%、「父親」が91.4%で多く、次いで「弟・妹」が48.0%、「兄・姉」が22.0%と続いている。(図1-2)

「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数は、それぞれ「1人」が最も多くなっている。(図1-3)

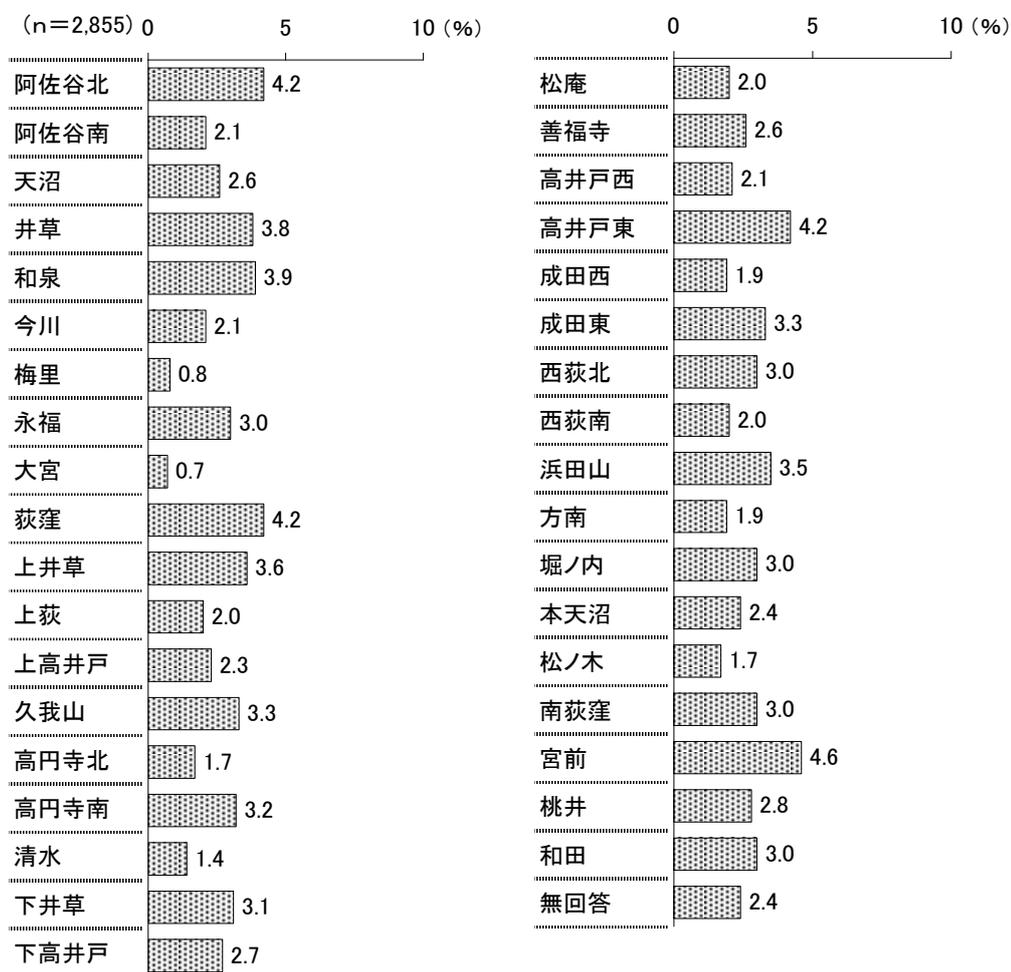
図1-3 「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数



(3) 居住地域

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

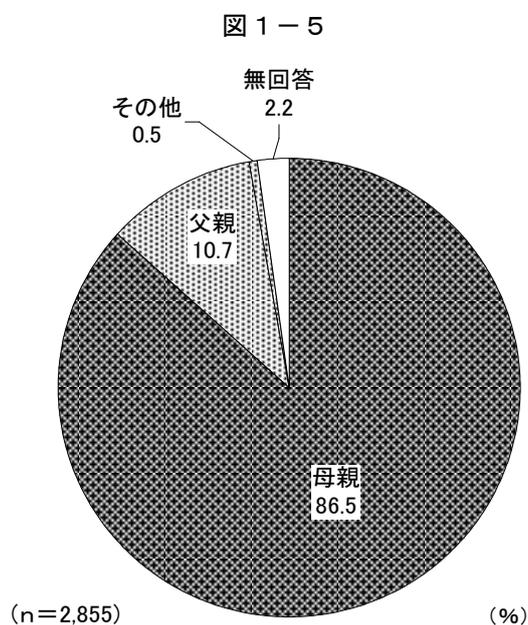
図1-4



居住地域は、「宮前」が4.6%で最も多く、次いで「阿佐谷北」、「荻窪」、「高井戸東」がいずれも4.2%と続いている。(図1-4)

(4) 記入者

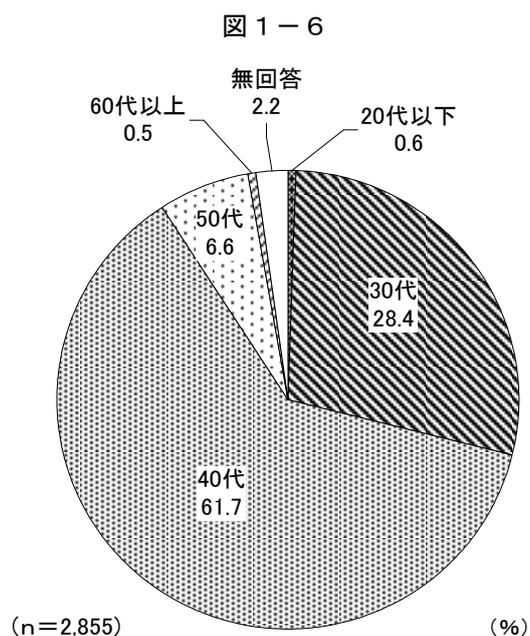
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。



記入者は、「母親」が86.5%、「父親」は10.7%となっている。(図1-5)

(4-1) 記入者の年齢

問4-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

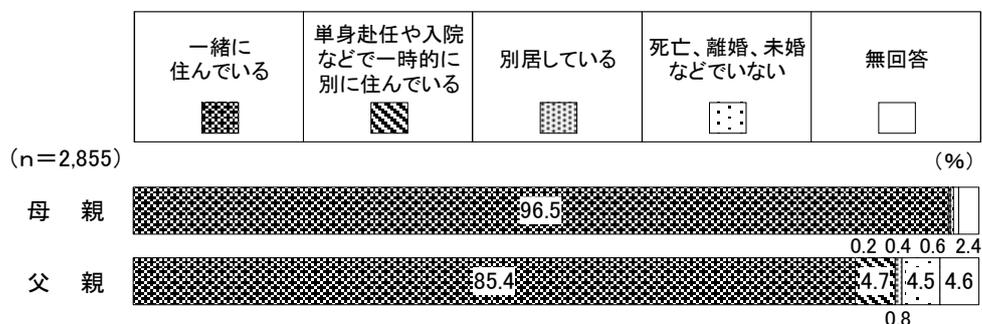


記入者の年齢は、「40代」が61.7%で最も多く、次いで「30代」が28.4%、「50代」が6.6%と続いている。(図1-6)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

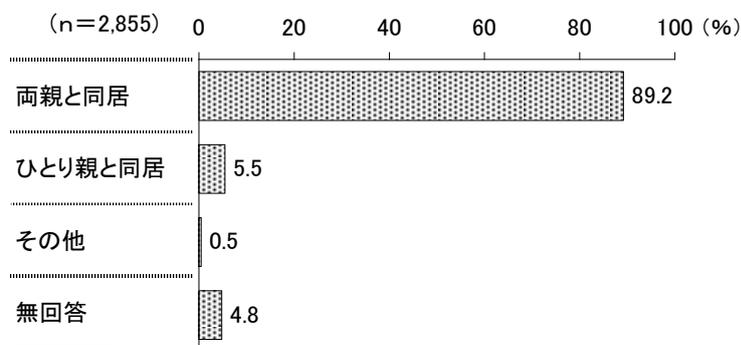
図1-7



保護者の状況については、「一緒に住んでいる」が母親で96.5%、父親で85.4%となっている。
(図1-7)

保護者との同居状況をみると、「両親と同居」が89.2%、「ひとり親と同居」は5.5%となっている。
(図1-8)

図1-8 保護者との同居状況

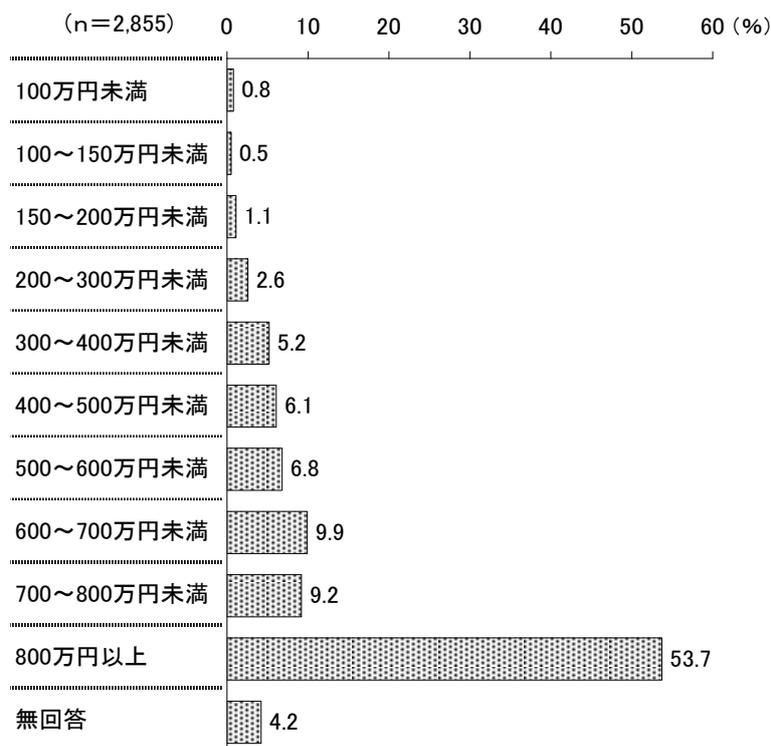


(6) 家族全員の収入合計額

問6 あなたの家計の経済的状况についてうかがいます。前年、平成28年(2016年)のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるものの1つに○をつけてください。

※家族とは、問2でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

図1-9



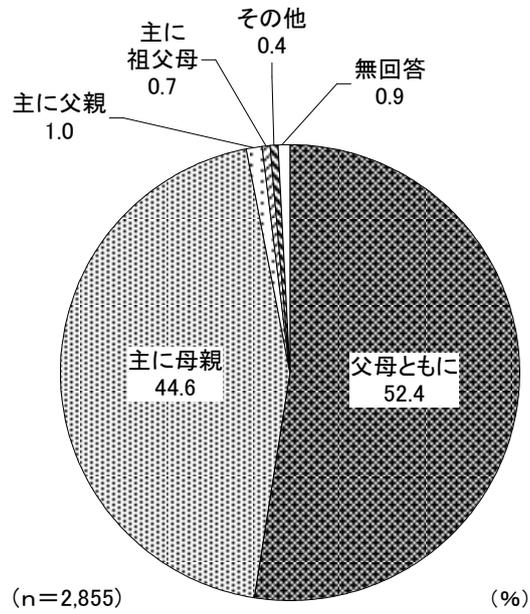
家族全員の収入合計額は、「800万円以上」が53.7%で最も多く、次いで「600～700万円未満」が9.9%、「700～800万円未満」が9.2%と続いている。(図1-9)

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図2-1



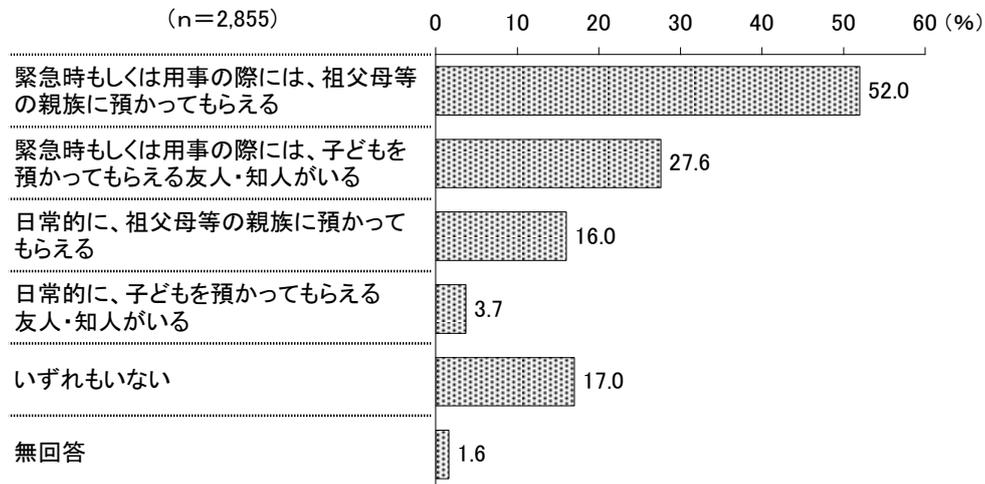
子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が52.4%、「主に母親」は44.6%となっている。

(図2-1)

(2) 日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無

問8 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

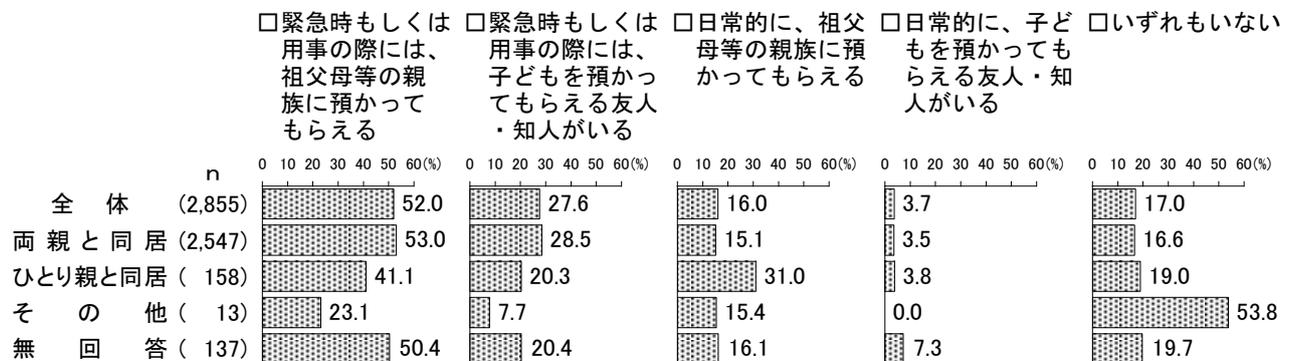
図2-2



日頃子どもを預かってもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が52.0%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」が27.6%と続いている。一方、「いずれもない」は17.0%となっている。(図2-2)

保護者の状況別にみると、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」は両親と同居で53.0%と多くなっている。また、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」はひとり親と同居で31.0%と多くなっている。(図2-3)

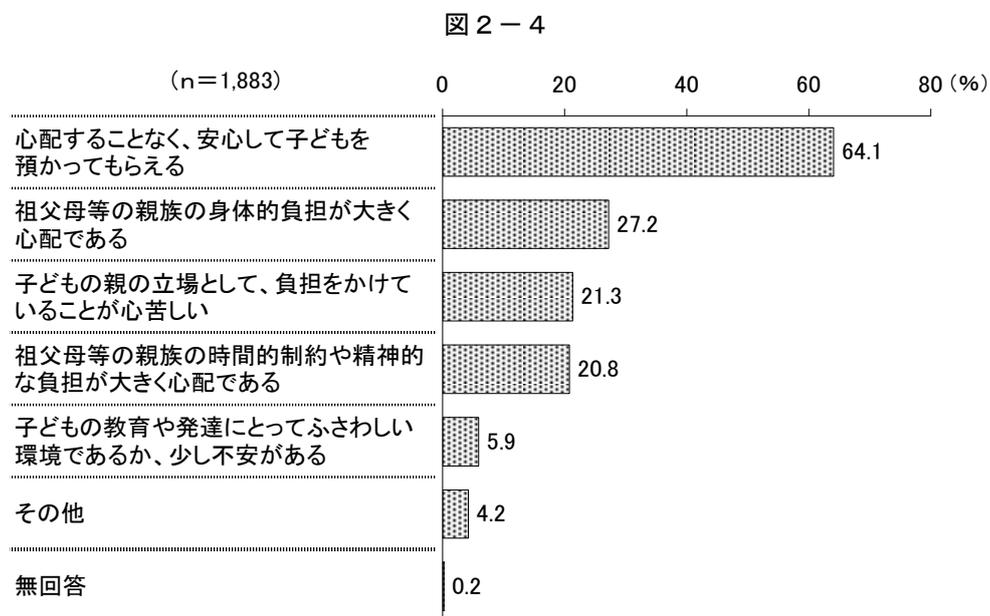
図2-3 子どもを預かってもらえる親族・知人の有無 (保護者の状況別)



(2-1) 子どもを親族に預かってもらっている状況

(問8で、「日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。



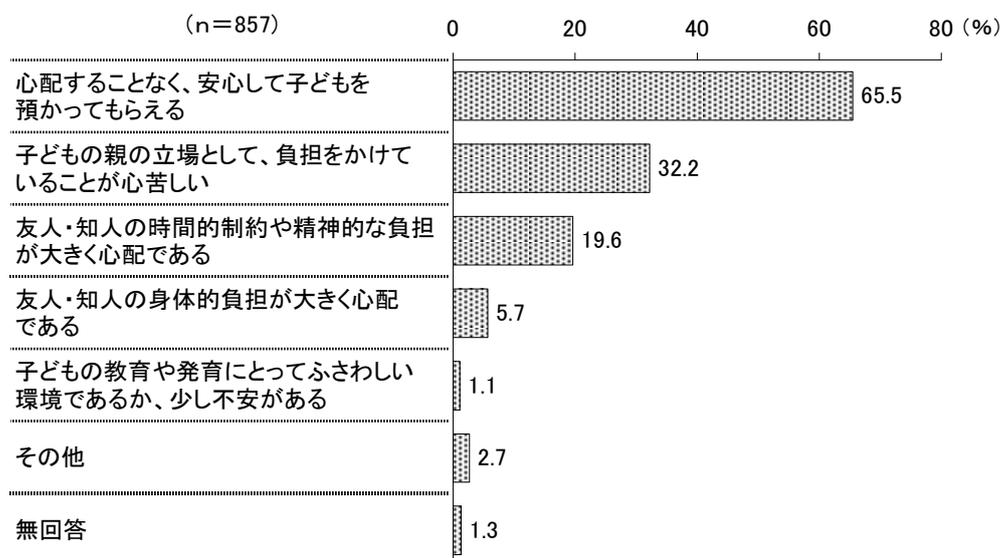
子どもを親族に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が64.1%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が27.2%、「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が21.3%と続いている。(図2-4)

(2-2) 子どもを友人・知人に預かってもらっている状況

(問8で、「日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-2 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図2-5

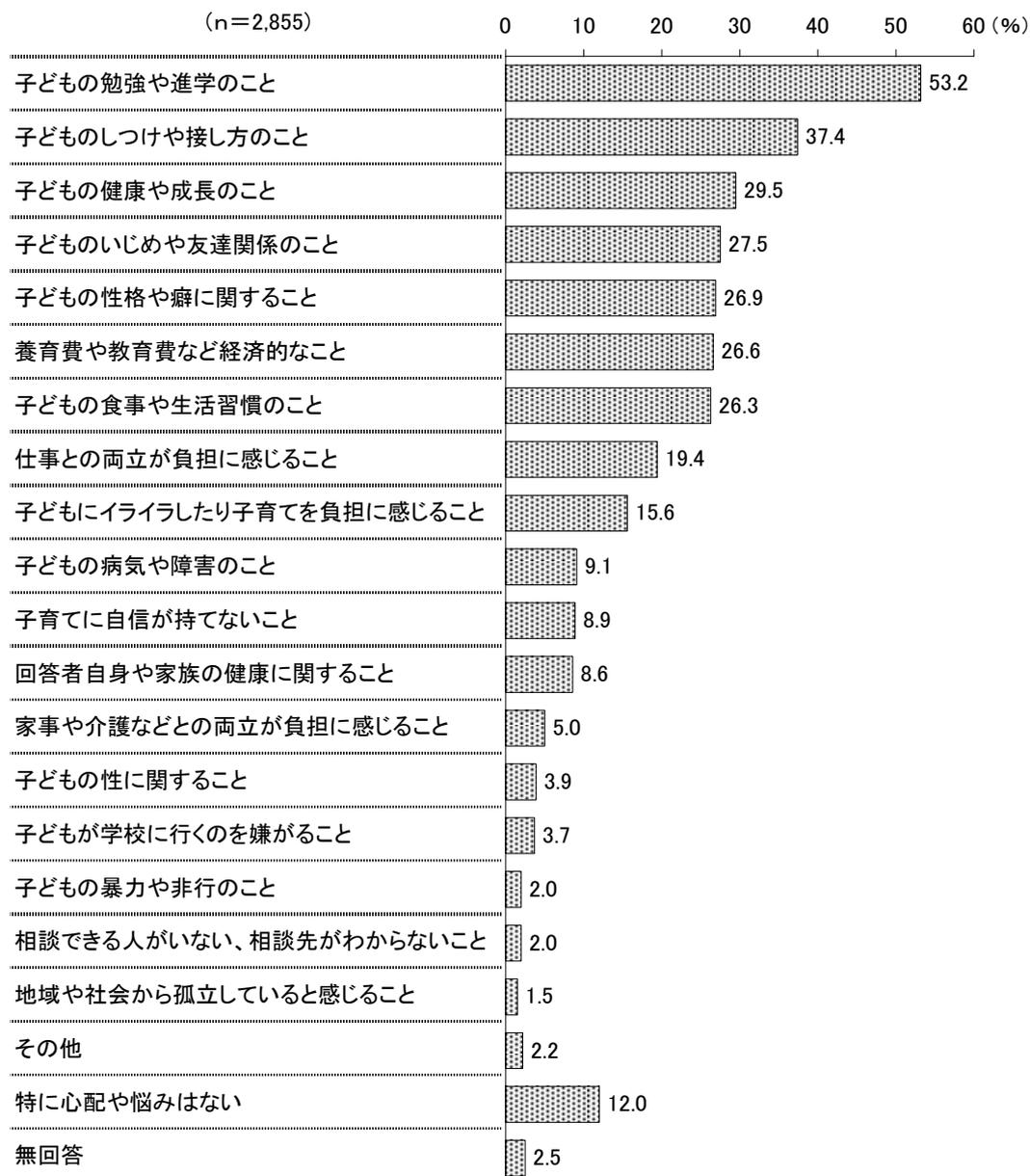


子どもを友人・知人に預かってもらっている状況については、「心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる」が65.5%で最も多く、次いで「子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が19.6%と続いている。(図2-5)

(3) 子育てをする上での心配や悩み

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図2-6

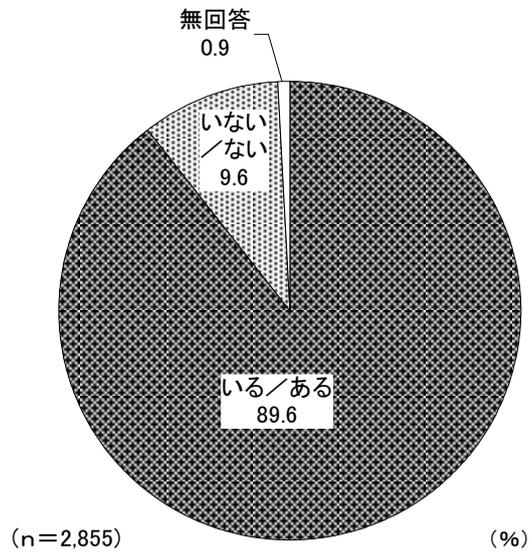


子育てをする上での心配や悩みは、「子どもの勉強や進学のこと」が53.2%で最も多く、次いで「子どものしつけや接し方のこと」が37.4%、「子どもの健康や成長のこと」が29.5%と続いている。一方、「特に心配や悩みはない」は12.0%となっている。(図2-6)

(4) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいですか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図2-7

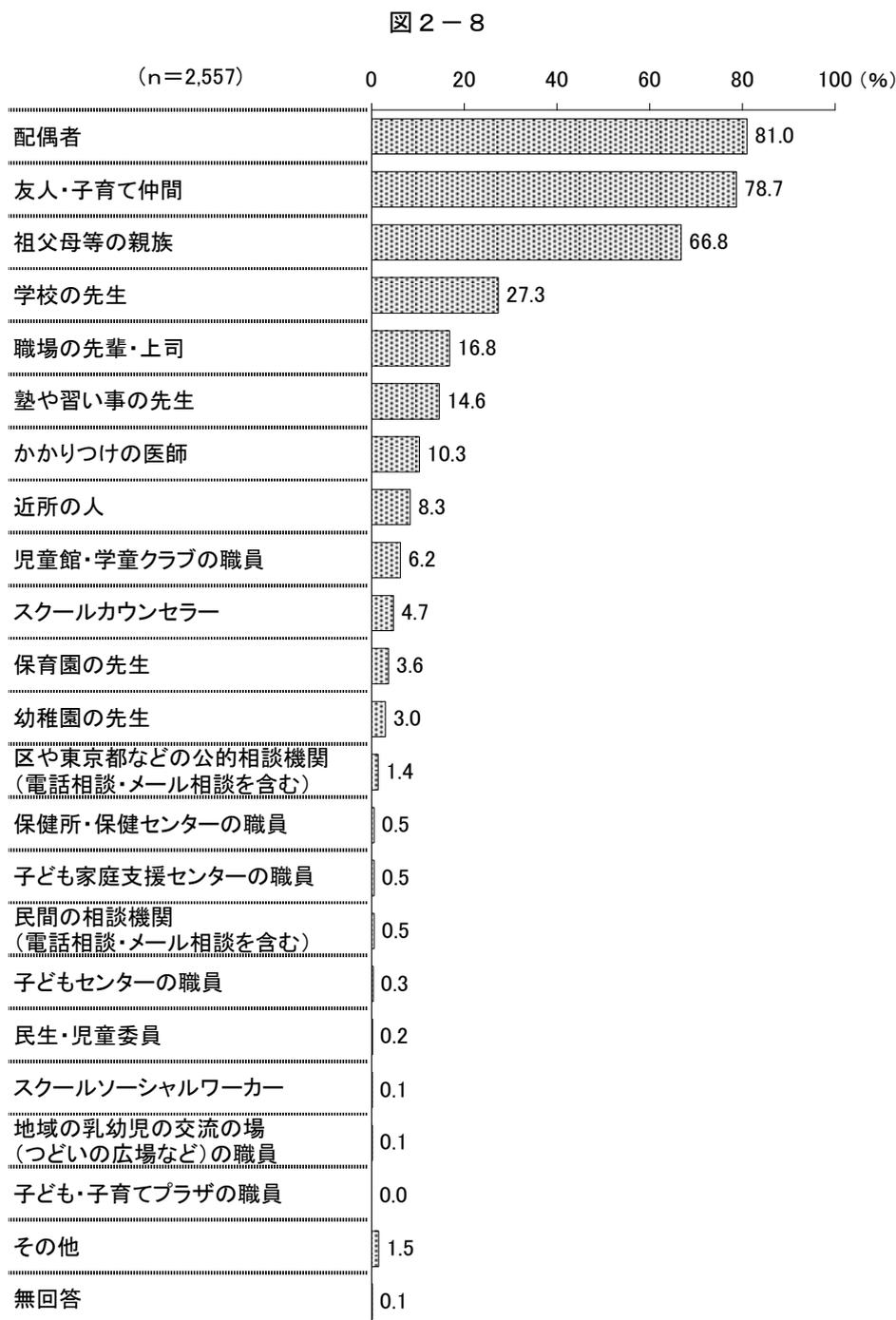


子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる/ある」が 89.6%、「いない/ない」は 9.6%となっている。(図2-7)

(4-1) 子育てに関する相談先

(問10で、「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。)

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

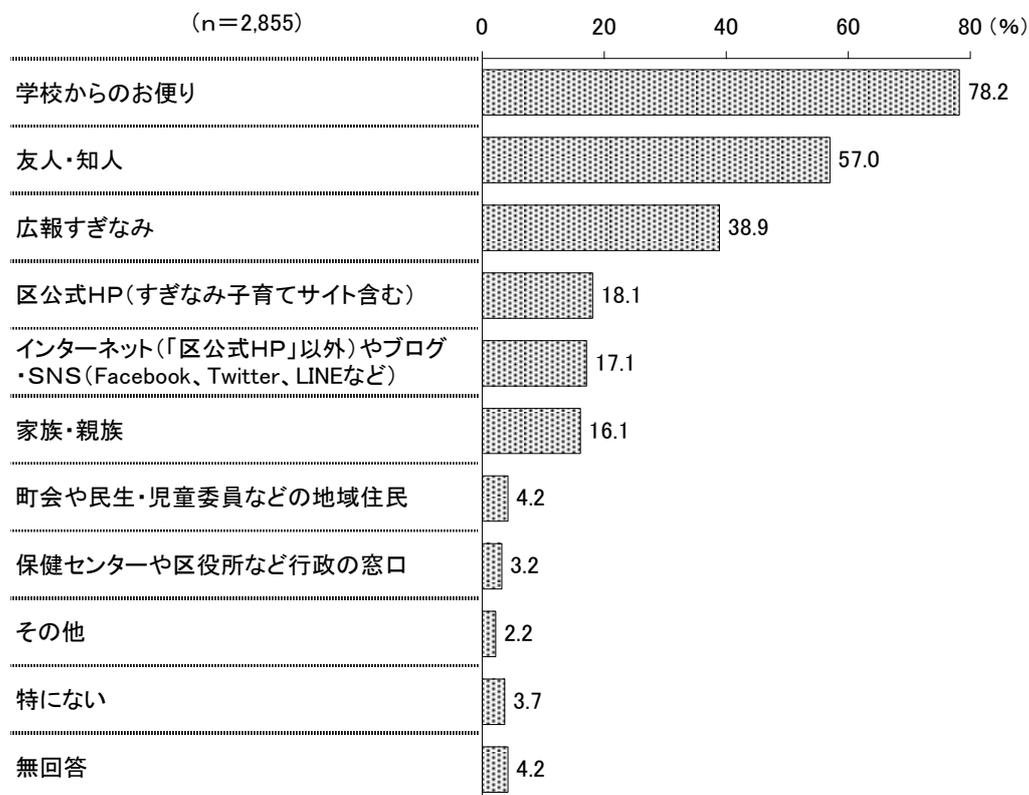


子育てに関する相談先は、「配偶者」が81.0%で最も多く、次いで「友人・子育て仲間」が78.7%、「祖父母等の親族」が66.8%と続いている。(図2-8)

(5) 子育てに関する区の情報の入手先

問 11 お子さんの子育てに関する区の情報を、現在、どこから（誰から）得ていますか。以下の項目から情報を多く得ている順に、回答欄に番号を記入してください。

図 2-9



※情報を多く得ている順の1番目から3番目までを累計した値

子育てに関する区の情報の入手先は、「学校からのお便り」が78.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が57.0%、「広報すぎなみ」が38.9%と続いている。(図2-9)

(6) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート

問 12 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要な周囲からのサポートを自由に記述していただいたところ、1,019 人から 1,095 件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス、教育環境の充実 (570 件)

- ・ 子どもが病気の時に預けられる施設が増えると良いと思います。
- ・ 仕事ではなく気分転換で気軽に利用できる預かってもらえる施設があると負担が軽くなる。

2 子どものことを気軽に相談できる専門家・窓口によるサポートの充実 (129 件)

- ・ 学校の先生やスクールカウンセラーの先生にメールで相談したり返答が欲しい。共働きなので、なかなか平日の日中に学校には行けず、今は、相談は電話と面談しか方法がないのでタイムリーに相談できない。相談できない状態が続いてストレスになっている。
- ・ 定期的な訪問によるサポート。(実生活の状況を見て助言していただきたい。)

3 子育てに関する情報提供によるサポートの充実 (72 件)

- ・ 地域の小学校に通っていないので情報を得にくい。全ての家庭に地域の情報が行きわたるよう、もう少し発信手段も含めて改善してほしい。
- ・ 自分から動けば色々な支援が受けられるとは思いますが、動かなければ何もわからない、できないような気がします。いろいろな子がいて、特に支援を必要としている子については、もっと働きかけてほしいです。(こんなものがあるがどうか等。)それぞれの機関がもっと連携して欲しいとも思います。

4 行政による金銭面のサポートの充実 (72 件)

- ・ 私学補助の年齢制限はなくしてもらいたい。年収高いと出ないのは不公平だと思う。
- ・ 子育て応援券で親がマッサージを受けられるように以前のようにもどしてください。

5 地域の方からの理解、安全面に関するサポートの充実 (61 件)

- ・ できればシルバー世代に地域の見回りをお願いしたい。
- ・ 街中に防犯カメラを設置して子どもたちを犯罪から守れる安全な街にしていきたい。

6 同世代の子どもを持つ方と交流できる場の提供によるサポート (40 件)

- ・ お子さんを育て上げた方からの話を聞く機会があれば良いと思います。学校生活、習い事、受験など経験者の話を参考にしたいと思いました。
- ・ 杉並であるイベントなどは荻窪中心だと思います。井の頭線からは行きにくく、同じ区内でも参加できない。渋谷区のかぞくのアトリエのようなワークショップなどが多数ある場所が欲しい。杉並区のもののはつまらなそう。子育て中の女性が楽しめそうなものはほとんどない。

7 個別に支援を必要とする子どもへのサポートの充実 (21件)

- ・ 特別支援学級に行っていますが、先生の数が足りません。もう少し介助の方でもよいので大人の手が欲しいです。障害があっても通えるスポーツ教室がもっと増えるとうれしい。
- ・ 学習障害など勉強面に問題がある子に対しての専門家によるサポート。東京都日野市が実施しているような教育面でのユニバーサルデザインの実施。

8 企業の子育てに対する理解によるサポート (12件)

- ・ 会社（仕事量）との調整がなかなか思い通りに行かず、両立が難しいと感じる時があります。子どもが小学生になっても両立しやすい環境を整えてもらえるるととてもありがたいです。
- ・ 働く母親の周囲の理解。協力はしなくてもよいので理解してほしい。

9 その他 (118件)

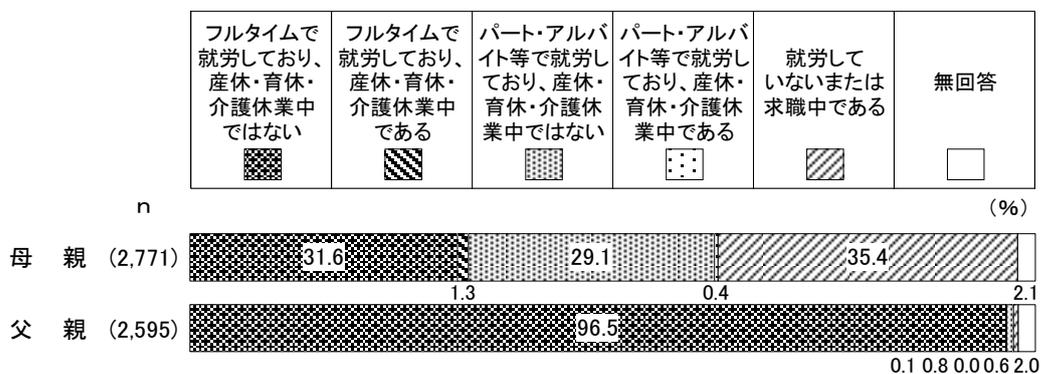
- ・ 食事サポート。平日仕事帰りに買い物、家事。簡単なものしか作れず、近所の時間のある主婦のおすそ分けサービスのようなものが欲しい。
- ・ 今、保育園を増やすことにばかり力が置かれ、幼稚園児や小学生（学童以外）の子どもたちが平日も休日も遊ぶ場が奪われている。公園（遊具のない空き地）がつぶされてしまった後の遊び場（外で体を動かせる所）を代替してもらわないとストレスがたまる。子どもは待機児童だけではないことを忘れている。

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問13 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図3-1



保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.6%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が1.3%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて32.9%となっている。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は29.1%、「就労していないまたは求職中である」は35.4%となっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.5%で最も多くなっている。(図3-1)

子どもの学年別にみると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」はおおむね子どもの学年が下がるにつれて多くなっており、1年生では38.6%となっている。一方、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は子どもの学年が上がるにつれて多くなっており、6年生では39.1%となっている。また、「就労していないまたは求職中である」は1年生で38.8%、2年生で39.0%、3年生で37.6%と、高学年と比べて多くなっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」がすべての学年で9割台となっている。(図3-2・3)

図3-2 保護者の就労状況（子どもの学年別）【母親】

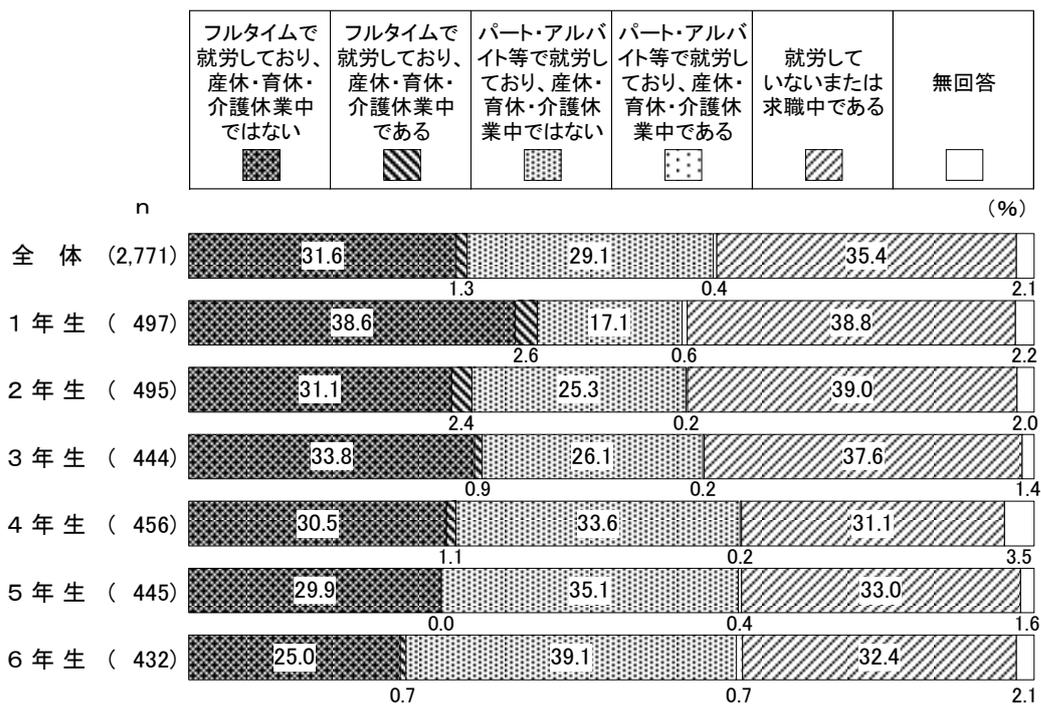
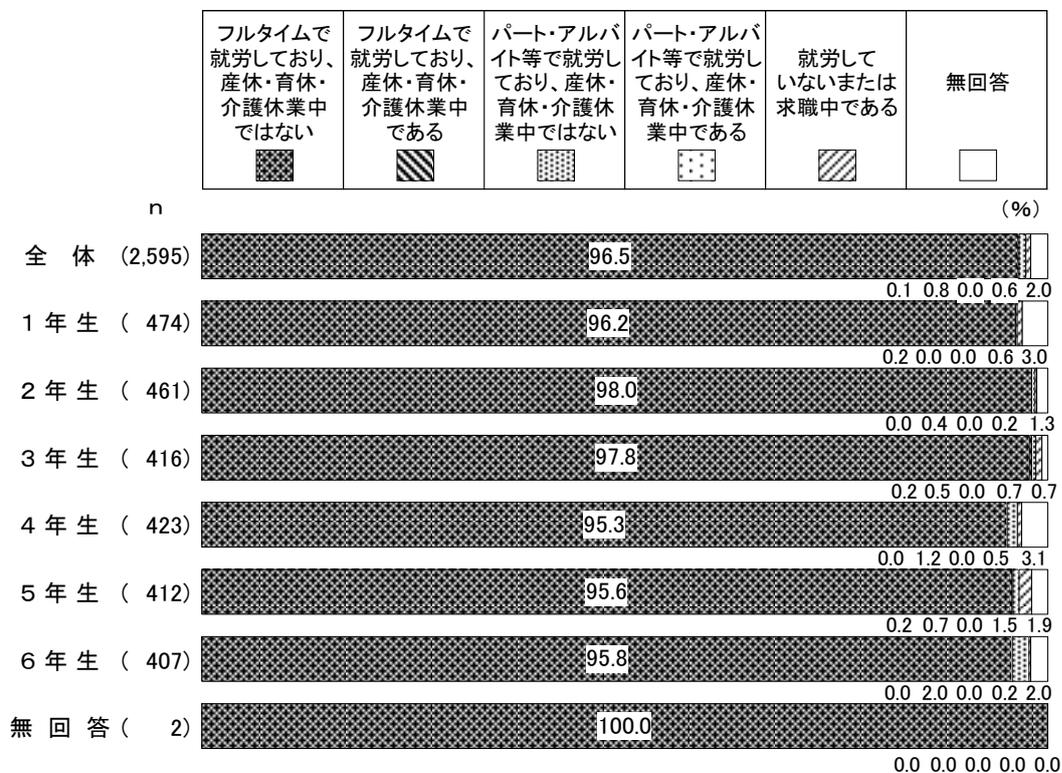


図3-3 保護者の就労状況（子どもの学年別）【父親】



(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-4 就労日数

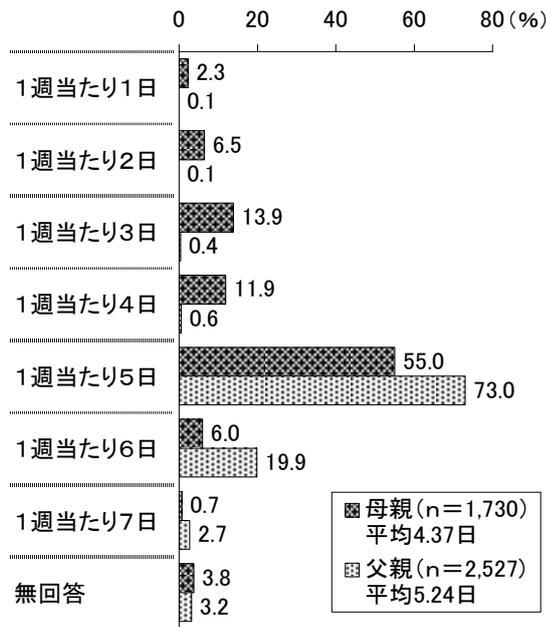
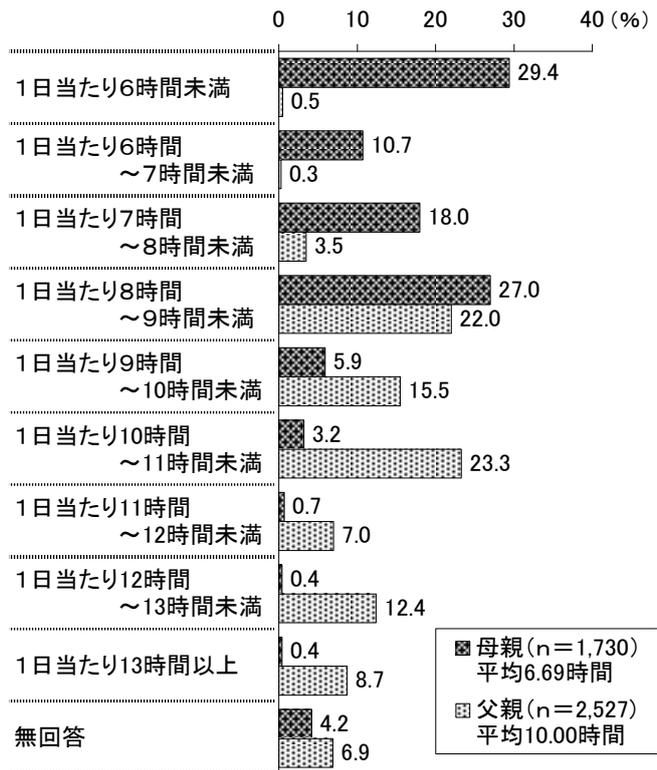


図3-5 就労時間



1週当たりの就労日数は、母親では「5日」が55.0%で最も多く、次いで「3日」が13.9%と続いている。

父親では「5日」が73.0%で最も多く、次いで「6日」が19.9%と続いている。(図3-4)

1日当たりの就労時間は、母親では「6時間未満」が29.4%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が27.0%と続いている。

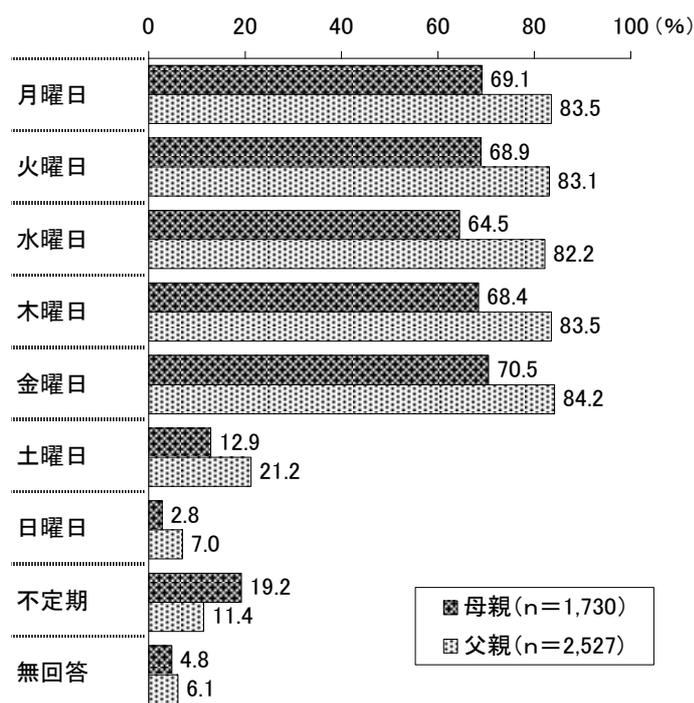
父親では「10時間～11時間未満」が23.3%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が22.0%と続いている。(図3-5)

(1-2) 働いている曜日

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-6 働いている曜日



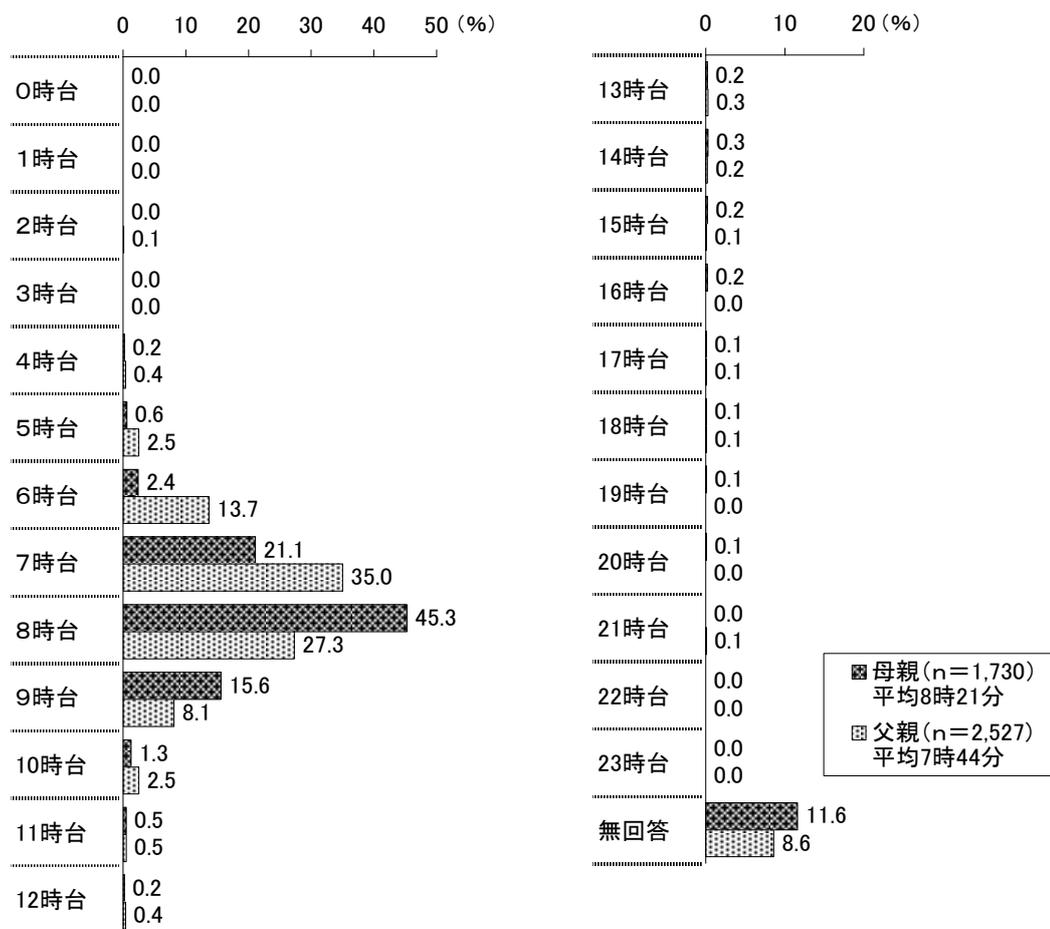
働いている曜日は、「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」が母親で7割前後、父親で8割台となっている。(図3-6)

(1-3) 出勤時間と帰宅時間

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

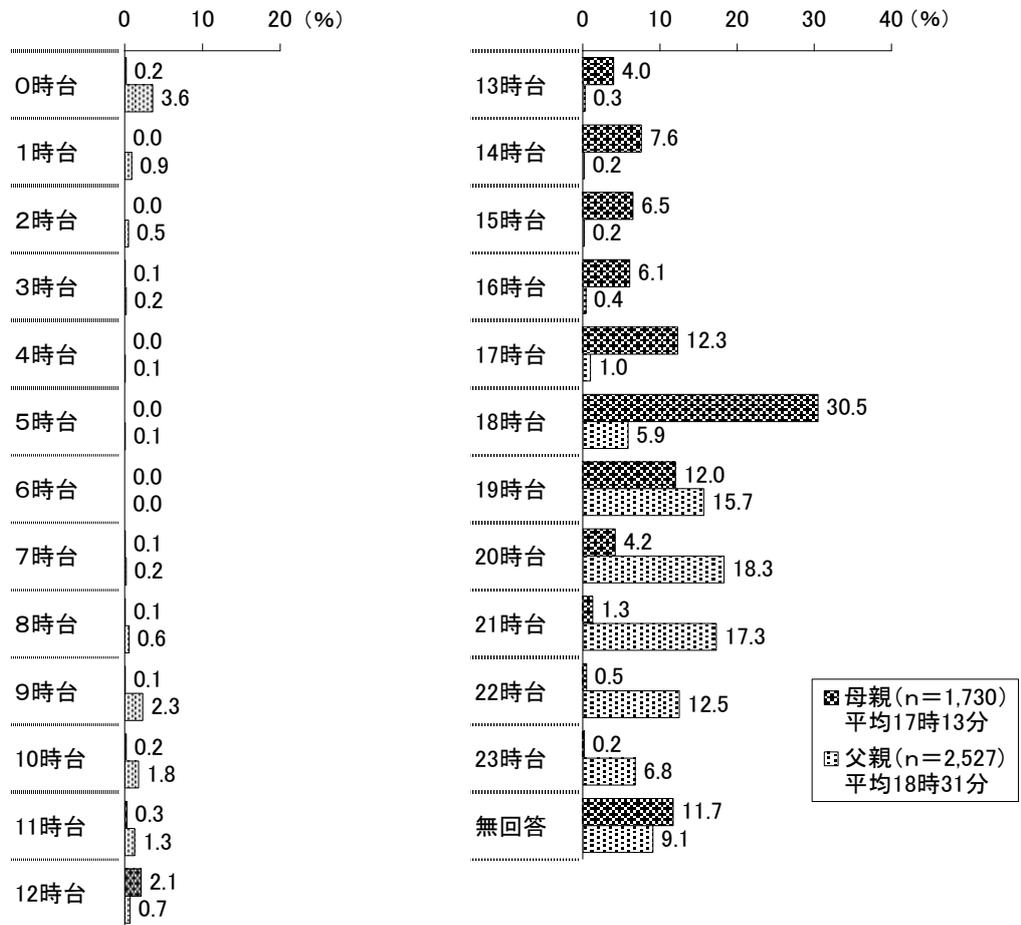
図3-7 出勤時間



出勤時間は、母親では「8時台」が45.3%で最も多く、次いで「7時台」が21.1%と続いている。

父親では「7時台」が35.0%で最も多く、次いで「8時台」が27.3%、「6時台」が13.7%と続いている。(図3-7)

図3-8 帰宅時間



帰宅時間は、母親では「18時台」が30.5%で最も多く、次いで「17時台」が12.3%、「19時台」が12.0%と続いている。

父親では「20時台」が18.3%で最も多く、次いで「21時台」が17.3%、「19時台」が15.7%と続いている。(図3-8)

在宅勤務の方の仕事開始時間は、母親では「9時台」が11.3%で最も多く、次いで「10時台」が4.5%と続いている。

父親では「9時台」が8.2%で最も多く、次いで「8時台」が6.3%と続いている。(図3-9)

在宅勤務の方の仕事終了時間は、母親では「17時台」が6.9%で最も多く、父親では「18時台」が5.0%で最も多くなっている。(図3-10)

図3-9 在宅勤務の方の仕事開始時間

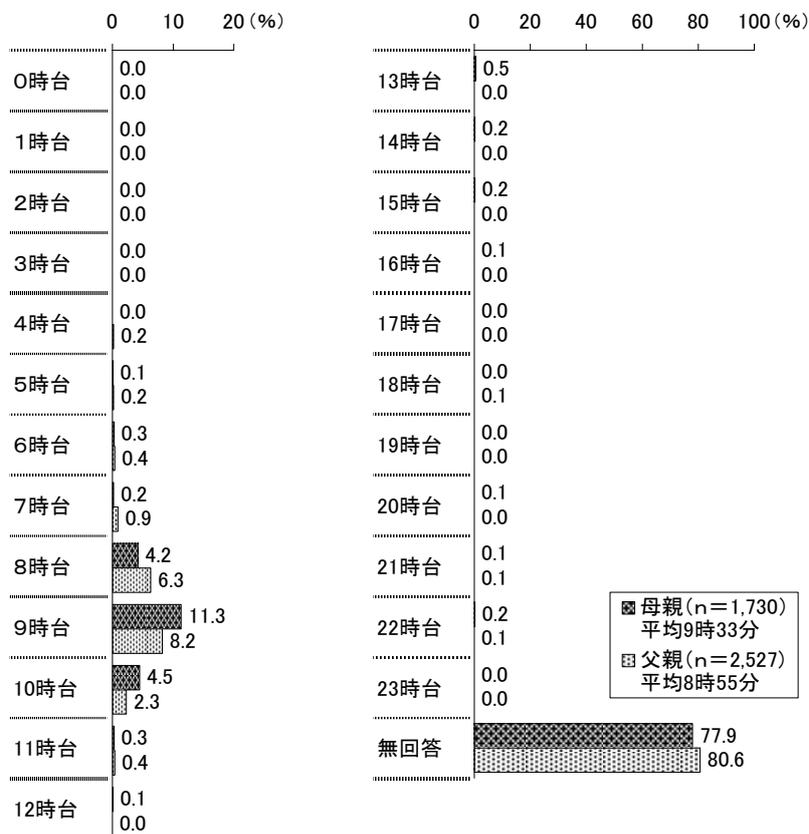
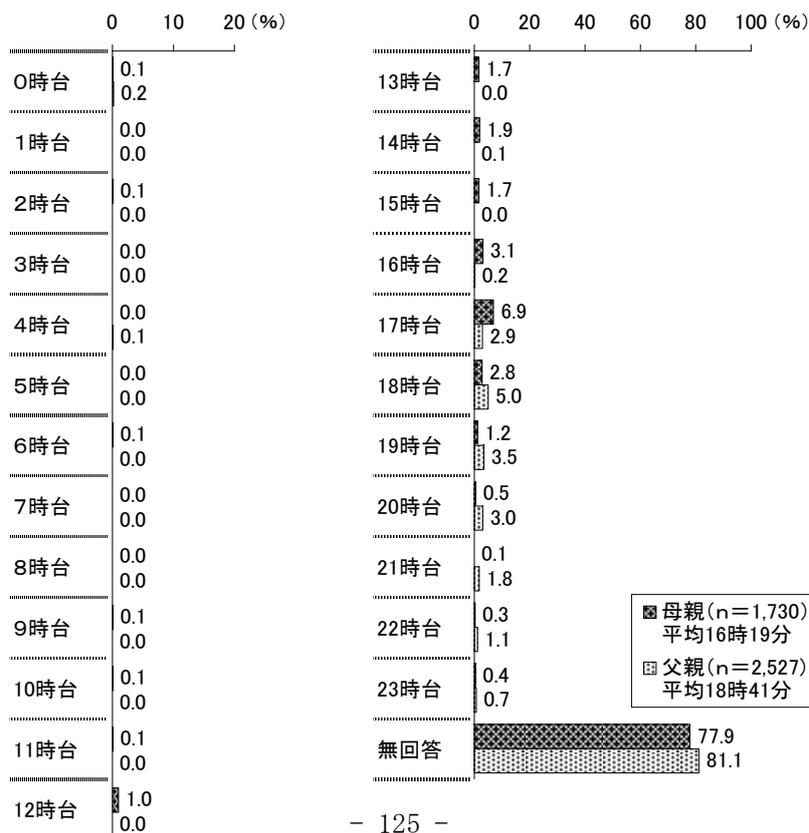


図3-10 在宅勤務の方の仕事終了時間

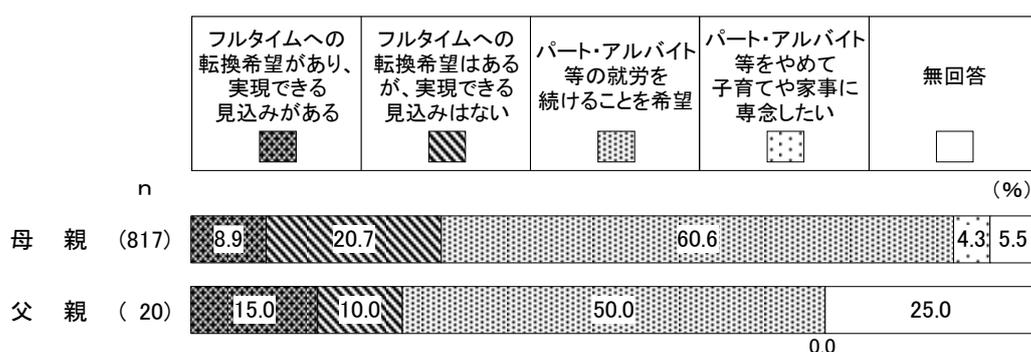


(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

図3-11



パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.6%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は20.7%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて29.6%となっている。

父親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.0%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が15.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は10.0%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて25.0%となっている。(図3-11)

子どもの学年別にみると、母親では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は1年生で28.4%、3年生で31.6%と多くなっている。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は4年生で62.3%、5年生で64.6%、6年生で65.7%と、低学年と比べて多くなっている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-12・13)

図3-12 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの学年別）【母親】

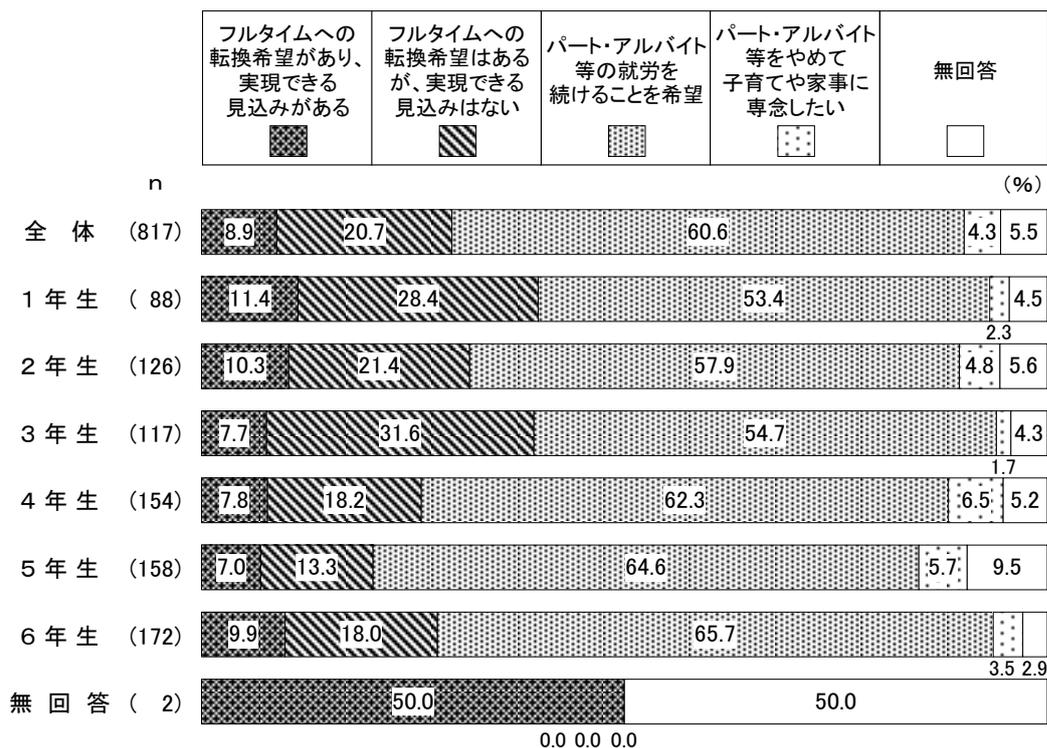
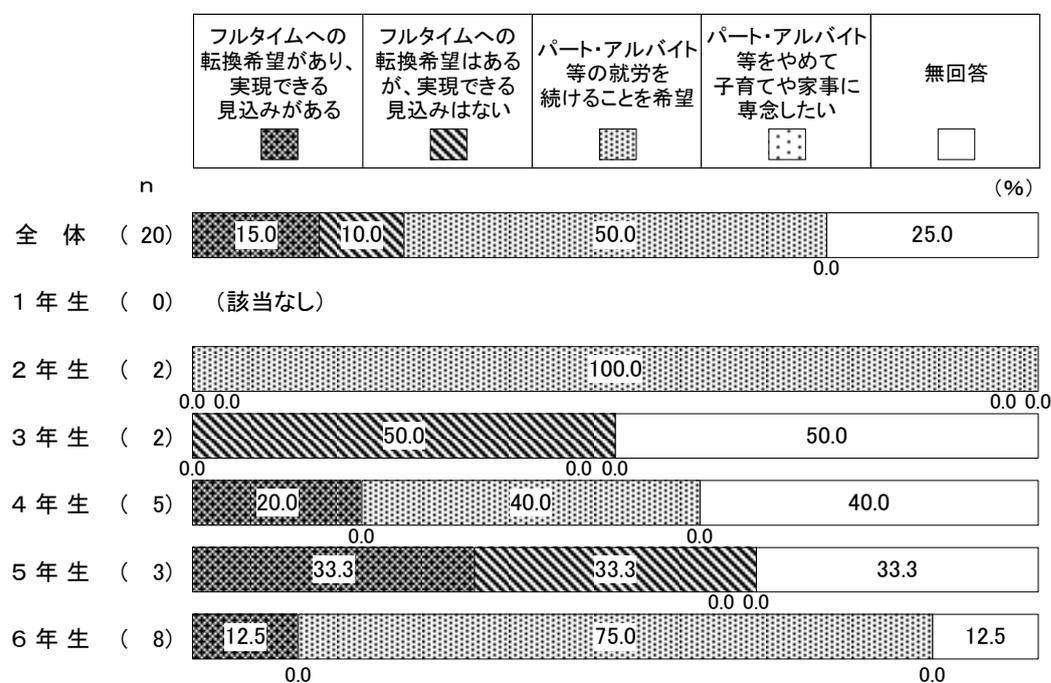


図3-13 パートタイムで就労している人の今後の就労意向（子どもの学年別）【父親】

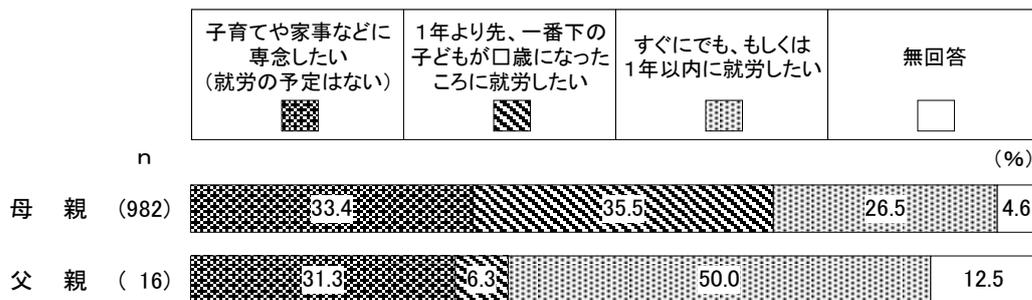


(3) 未就労者の今後の就労意向

(問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方
にうかがいます。)

問13-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する
口内には数字をご記入ください。

図3-14



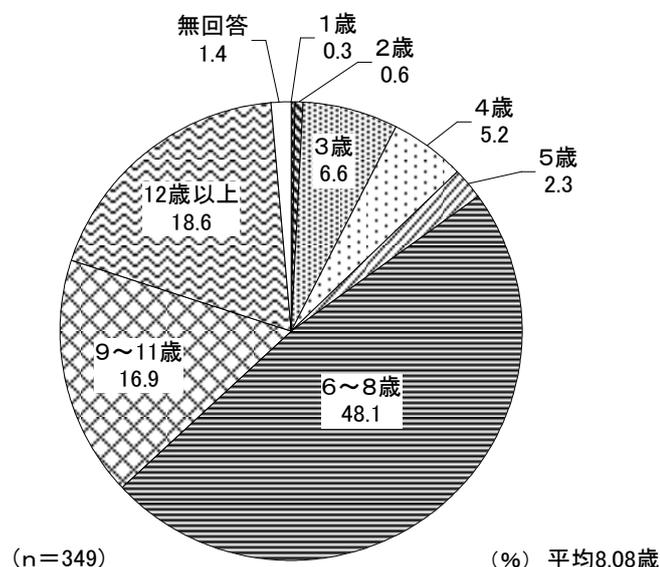
未就労者の今後の就労意向は、母親では「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就
労したい」が35.5%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」
が33.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.5%と続いている。

父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%で最も多く、次いで「子育て
や家事などに専念したい（就労の予定はない）」が31.3%と続いている。(図3-14)

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」と答えた人が、子どもが何歳
になったころに就労したいかは、母親では「6～8歳」が48.1%で最も多く、次いで「12歳以上」
が18.6%、「9～11歳」が16.9%と続いている。

父親については、対象が1名と少ないため割愛する。(図3-15)

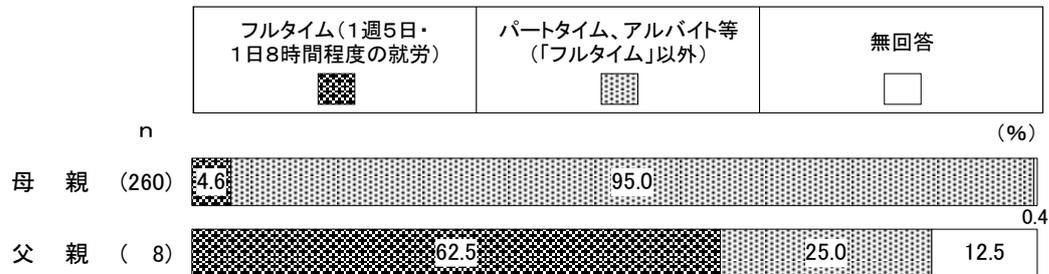
図3-15 子どもが何歳になったころに就労したいか【母親】



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の希望する就労形態は、母親では「フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）」が4.6%、「パートタイム、アルバイト等」（「フルタイム」以外）は95.0%となっている。

父親については、対象が8名と少ないため、参考までに図示する。（図3-16）

図3-16 希望する就労形態



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、1週当たりの希望就労日数は、母親では「3日」が56.3%で最も多く、次いで「4日」が22.3%、「2日」が13.8%と続いている。

父親については、対象が2名と少ないため割愛する。（図3-17）

1日当たりの希望就労時間は、母親では「5時間～6時間未満」が43.3%で最も多く、次いで「5時間未満」が36.0%、「6時間～7時間未満」が15.8%と続いている。

父親については、対象が2名と少ないため割愛する。（図3-18）

図3-17 希望就労日数【母親】

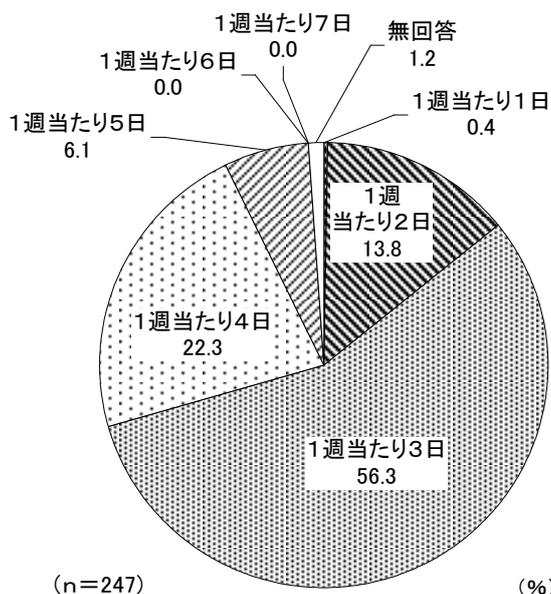
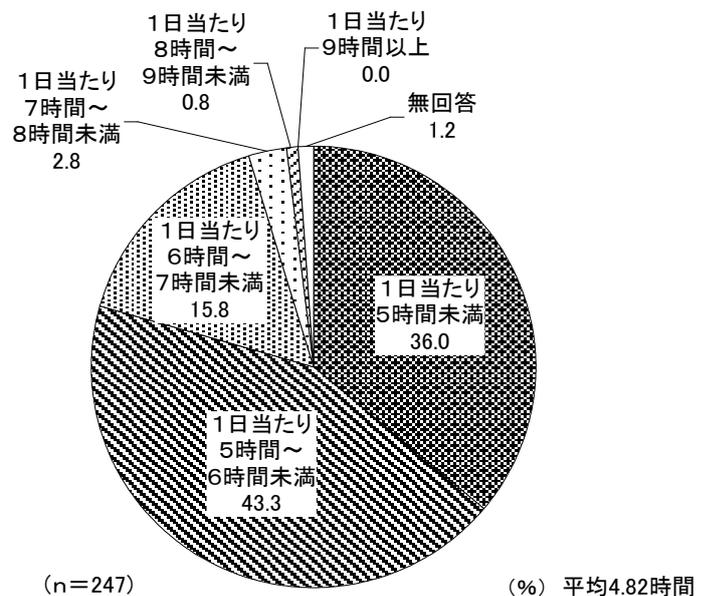


図3-18 希望就労時間【母親】

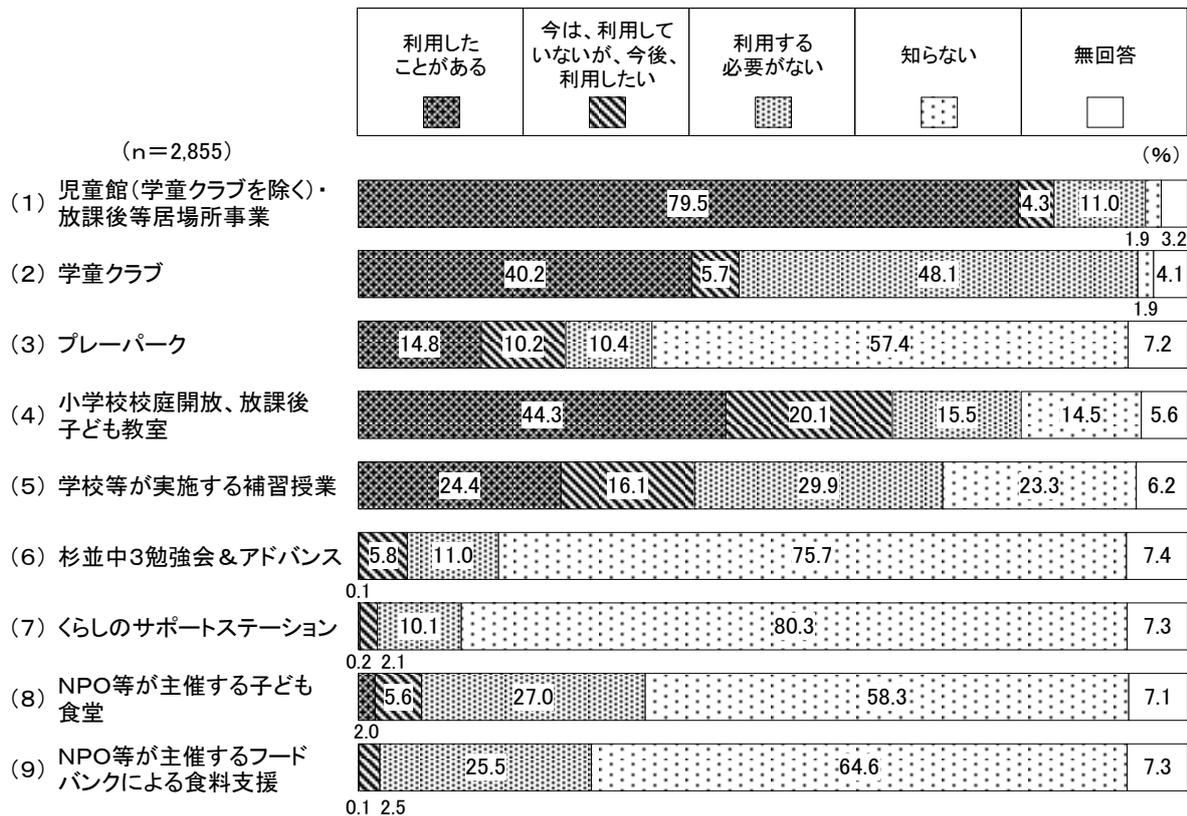


4. 公的・社会的サービスの利用状況

(1) 公的・社会的サービスの利用状況

問 14 宛名のお子さんについて、次の(1)～(9)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ○をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

図 4-1



公的・社会的サービスの利用状況は、「利用したことがある」は“児童館(学童クラブを除く)・放課後等居場所事業”で79.5%と最も多く、次いで“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で44.3%、“学童クラブ”で40.2%と続いている。一方、「利用する必要がない」は“学童クラブ”で48.1%と最も多く、「知らない」は“暮らしのサポートステーション”で80.3%、“杉並中3勉強会&アドバンス”で75.7%と多くなっている。(図4-1)

“学校等が実施する補習授業”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用したことがある」は100万円未満で40.9%、100～150万円未満で40.0%と多くなっている。また、「利用する必要がない」は800万円以上で35.1%と多くなっている。(図4-2)

“杉並中3勉強会&アドバンス”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「知らない」は100万円未満で81.8%、200～300万円未満で80.8%、500～600万円未満で80.4%と多くなっている。(図4-3)

“くらしのサポートステーション”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「知らない」は100万円未満で86.4%と多くなっている。(図4-4)

“NPO等が主催する子ども食堂”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は600～700万円未満で29.0%、700～800万円未満で26.0%、800万円以上で30.2%と多くなっている。また、「知らない」は100～150万円未満で66.7%、150～200万円未満で74.2%と多くなっている。(図4-5)

“NPO等が主催するフードバンクによる食料支援”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は600～700万円未満で25.4%、700～800万円未満で26.0%、800万円以上で28.8%と多くなっている。また、「知らない」は100万円未満で81.8%、100～150万円未満で80.0%と多くなっている。(図4-6)

図4-2 (5) 学校等が実施する補習授業の利用状況(家族全員の収入合計額別)

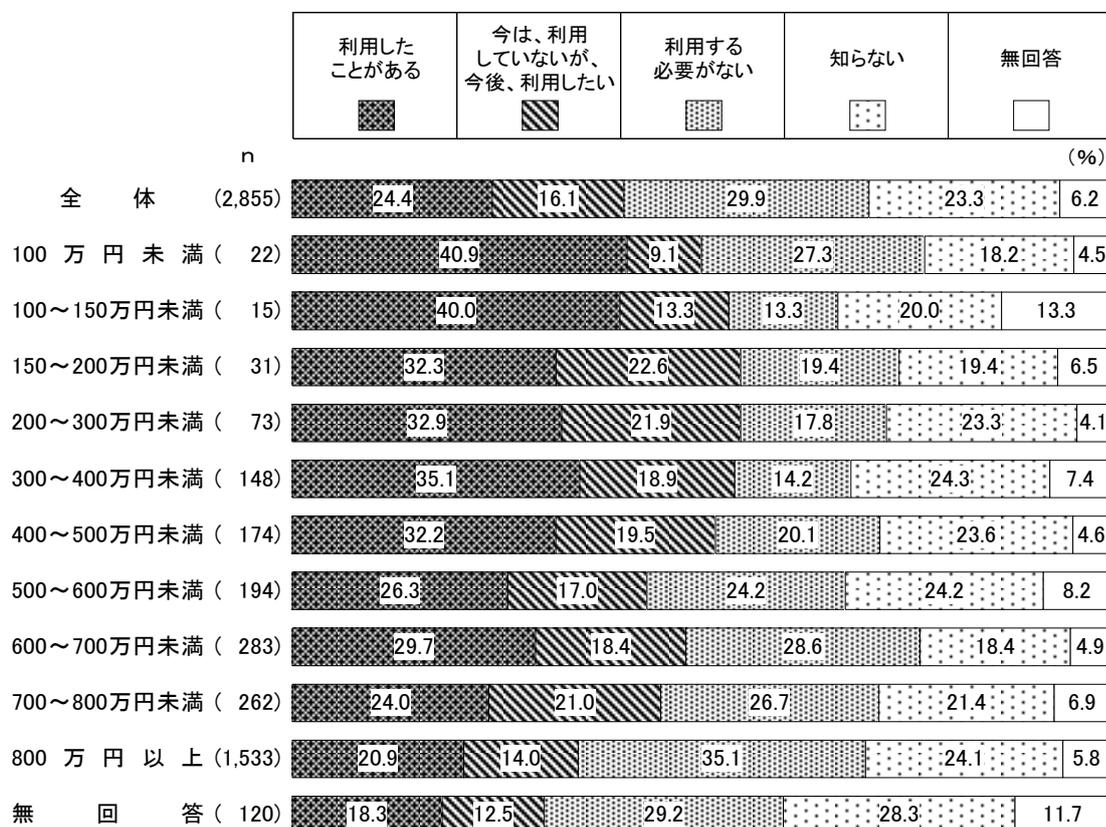


図4-3 (6) 杉並中3勉強会&アドバンスの利用状況(家族全員の収入合計額別)

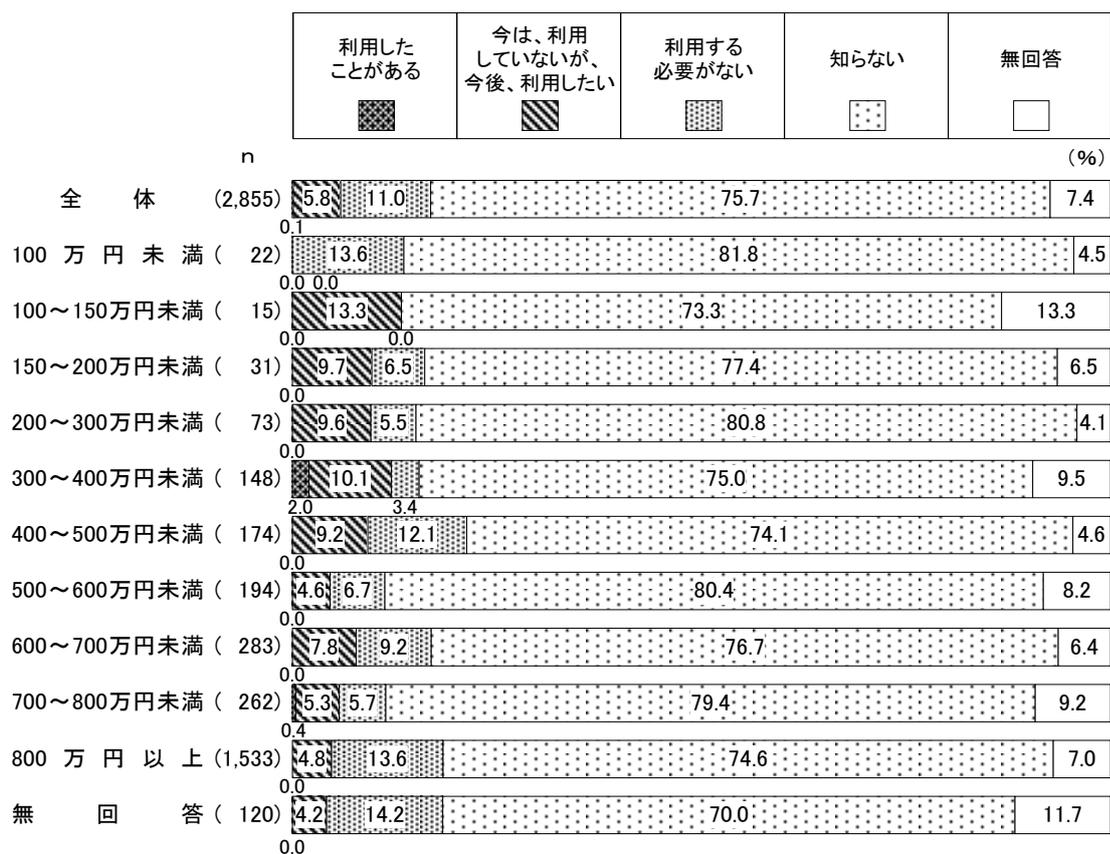


図4-4 (7) ぐらしのサポートステーションの利用状況(家族全員の収入合計額別)

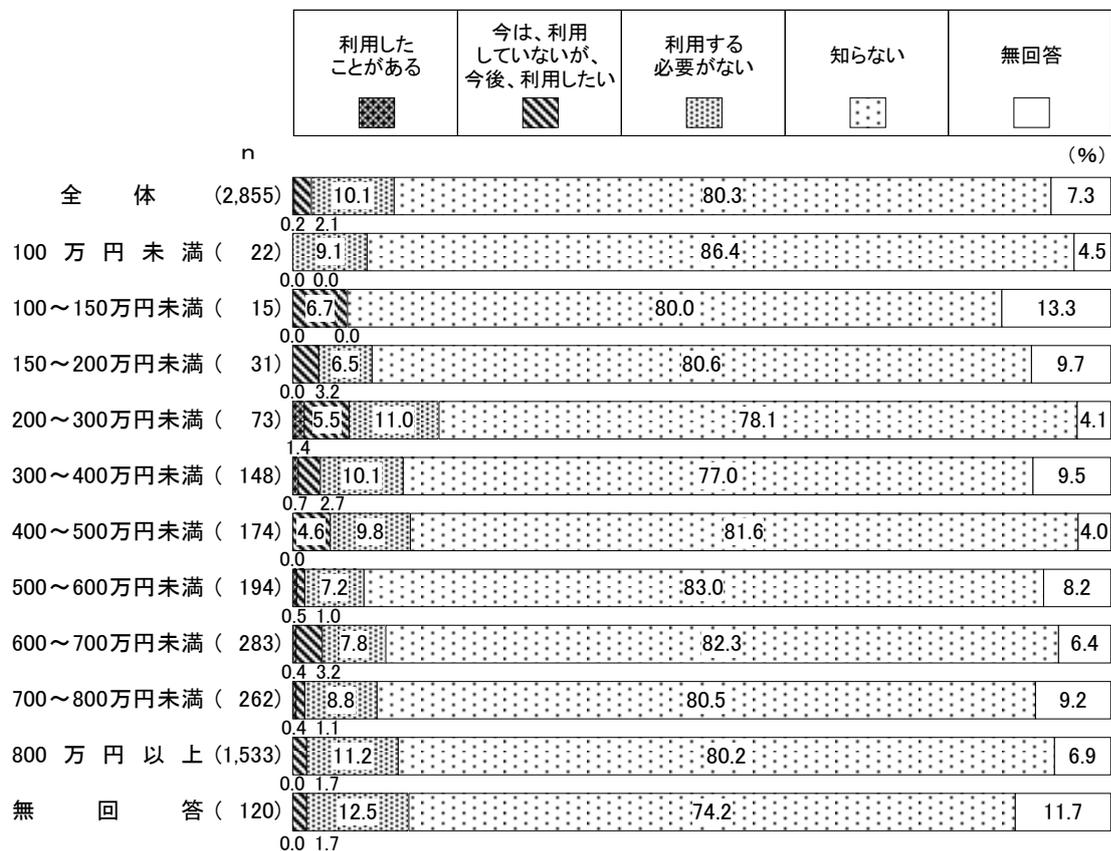


図4-5 (8) NPO等が主催する子ども食堂の利用状況（家族全員の収入合計額別）

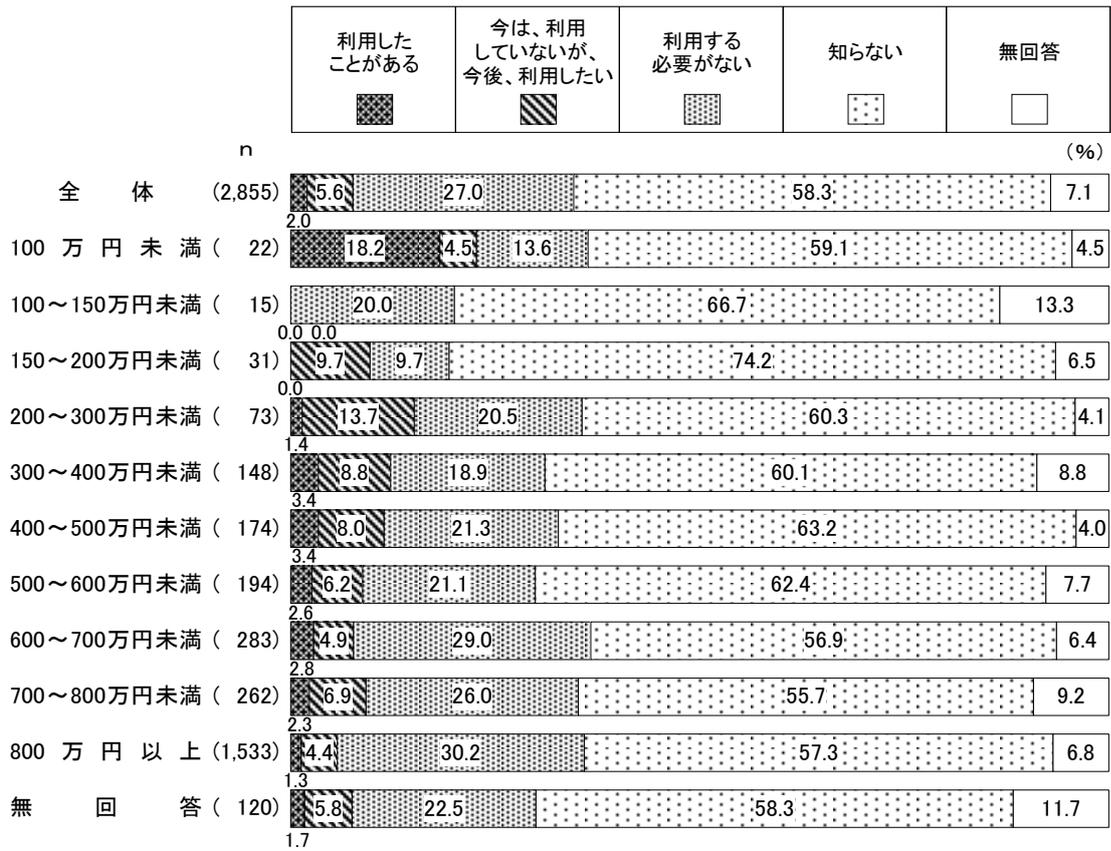
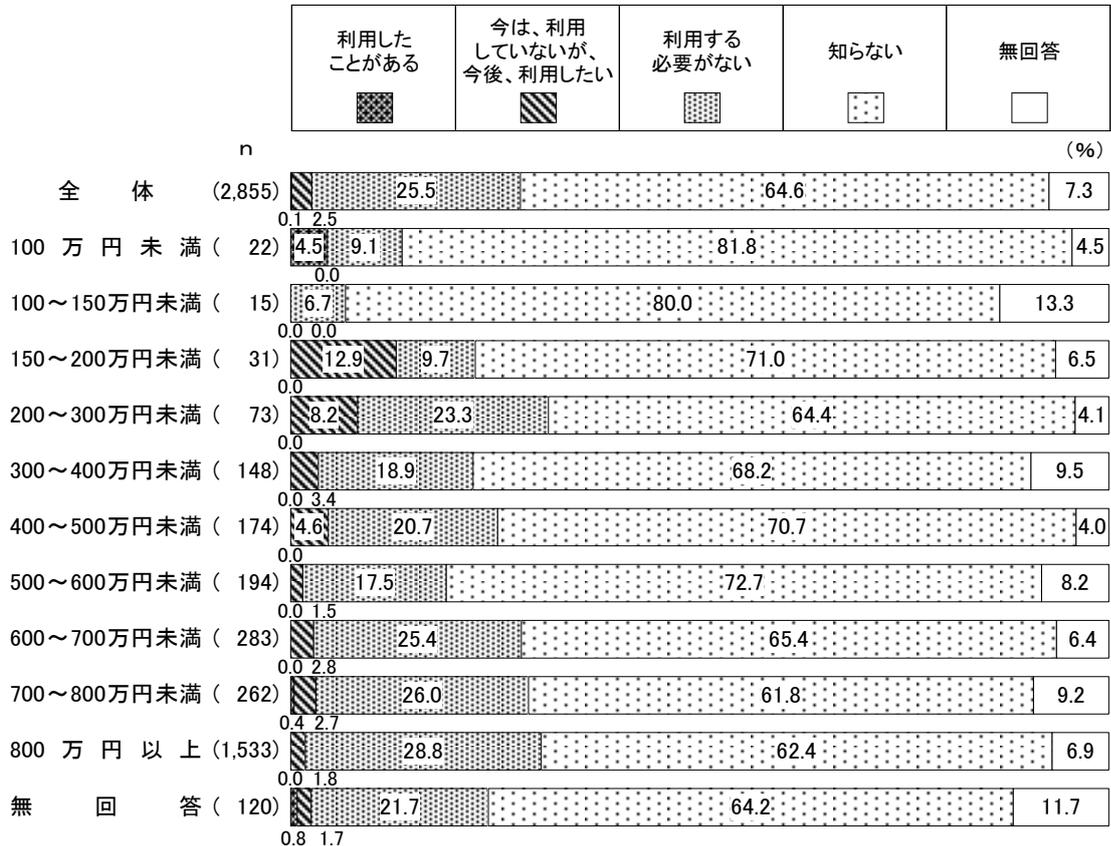


図4-6 (9) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援の利用状況（家族全員の収入合計額別）

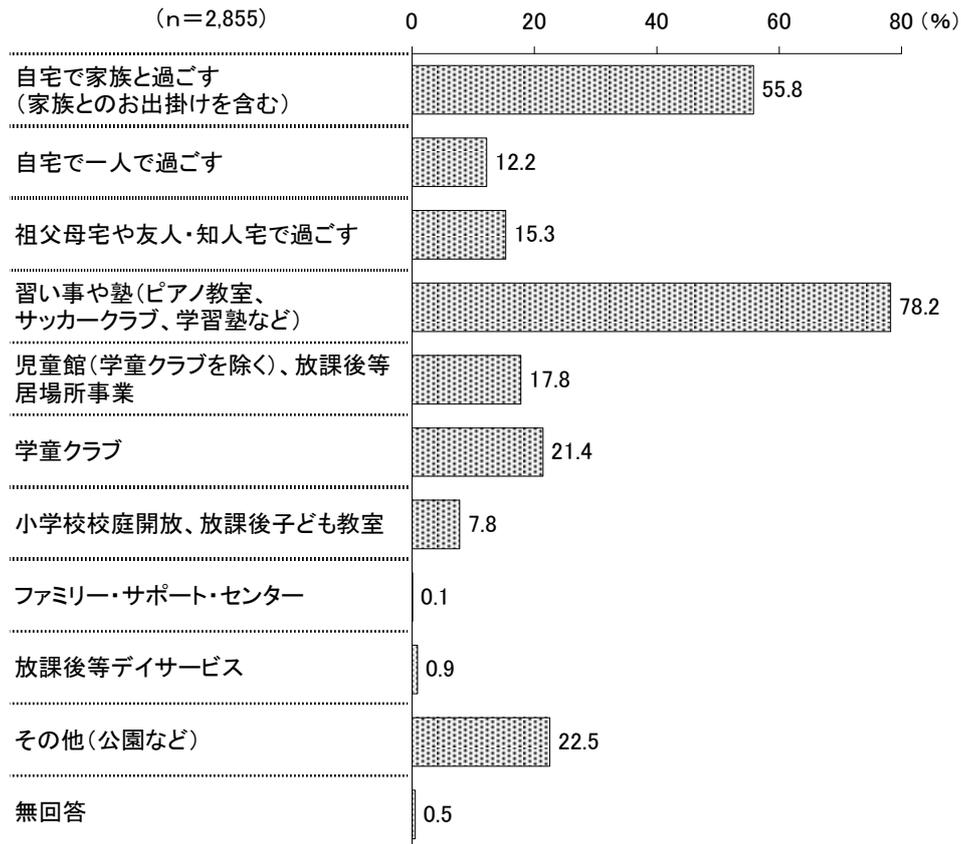


5. 子どもの放課後の過ごし方

(1) 現在の放課後の過ごし方

問 15 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりの日数を口内にご記入ください。（合計が5日になるようにご記入ください。）また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。

図 5 - 1

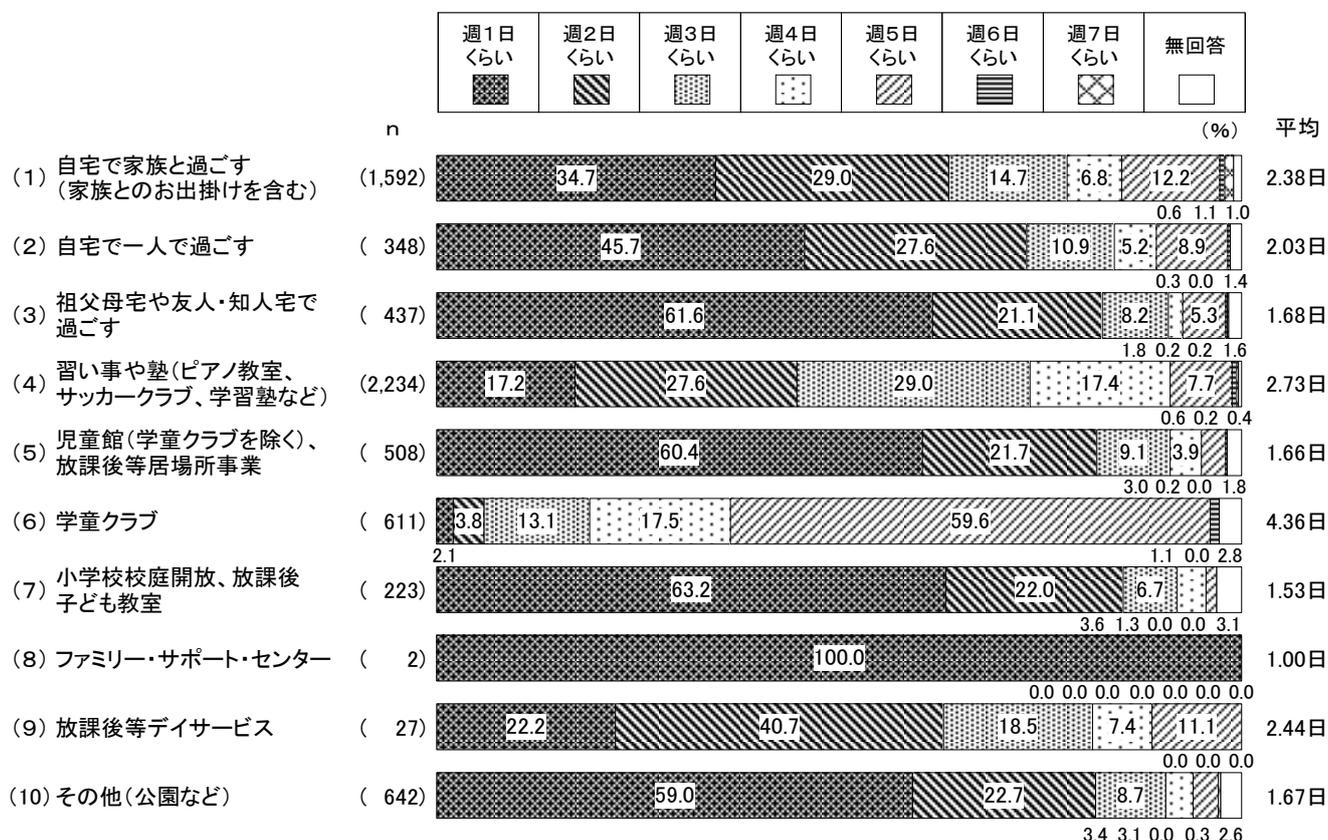


現在の放課後の過ごし方は、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 78.2% で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が 55.8%、「学童クラブ」が 21.4%と続いている。（図 5 - 1）

1週当たりの利用日数は、「週1日くらい」は“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で63.2%、“祖父母宅や友人・知人宅”で61.6%、“児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業”で60.4%と多くなっている。また、「週5日くらい」は“学童クラブ”で59.6%と多くなっている。

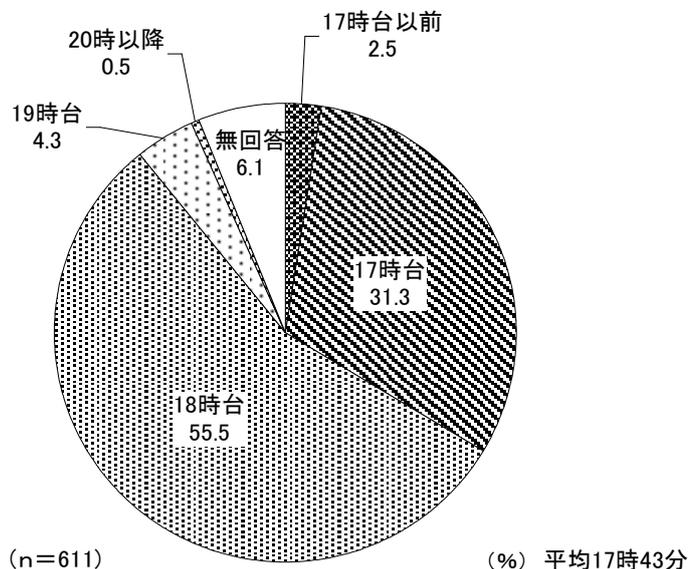
(図5-2)

図5-2 利用日数



現在の放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用しているかは、「18時台」が55.5%で最も多く、次いで「17時台」が31.3%と続いている。(図5-3)

図5-3 学童クラブの利用時間

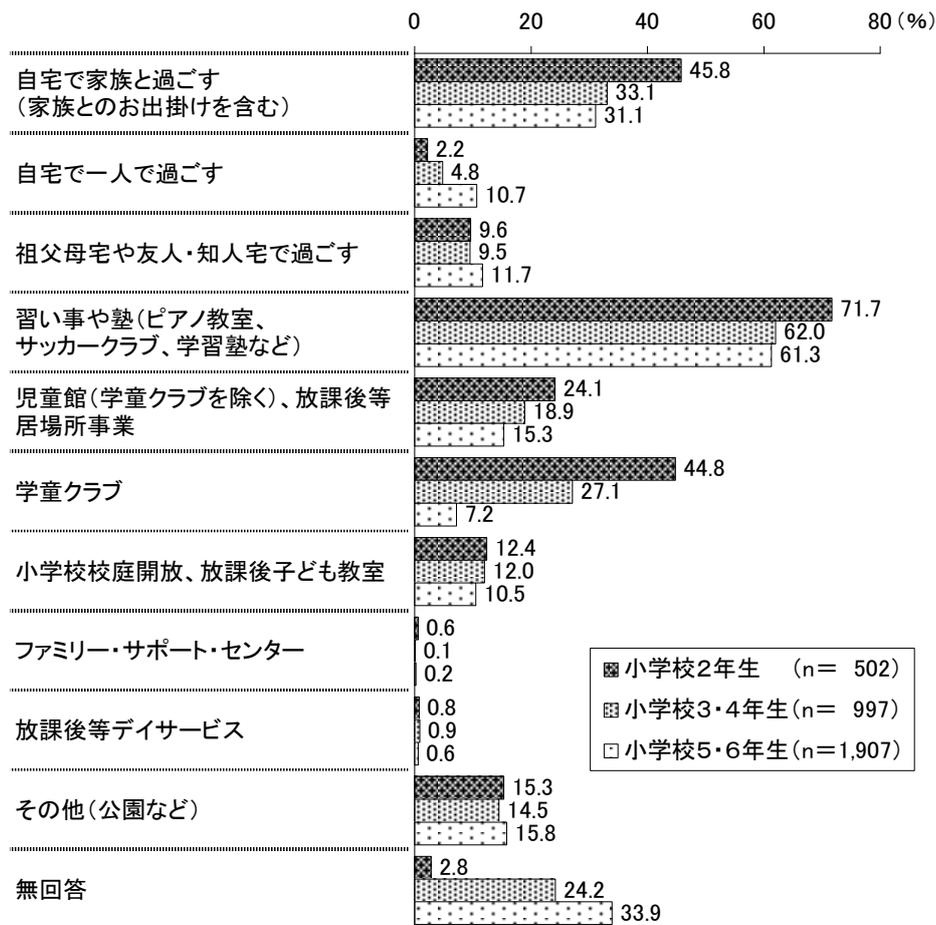


(2) 希望する放課後の過ごし方

(宛名のお子さんが小学校1年～4年生の保護者の方にうかがいます。)

問16 宛名のお子さんが今後進級して、「小学校2年生」、「小学校3・4年生」、「小学校5・6年生」のとき、放課後（平日の小学校終業後）の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりの日数を口内にご記入ください。（合計が5日になるようにご記入ください。）また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。

図5-4



希望する放課後の過ごし方は、小学校2年生時では「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が71.7%で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が45.8%、「学童クラブ」が44.8%と続いている。

小学校3・4年生時では「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が62.0%で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が33.1%、「学童クラブ」が27.1%と続いている。

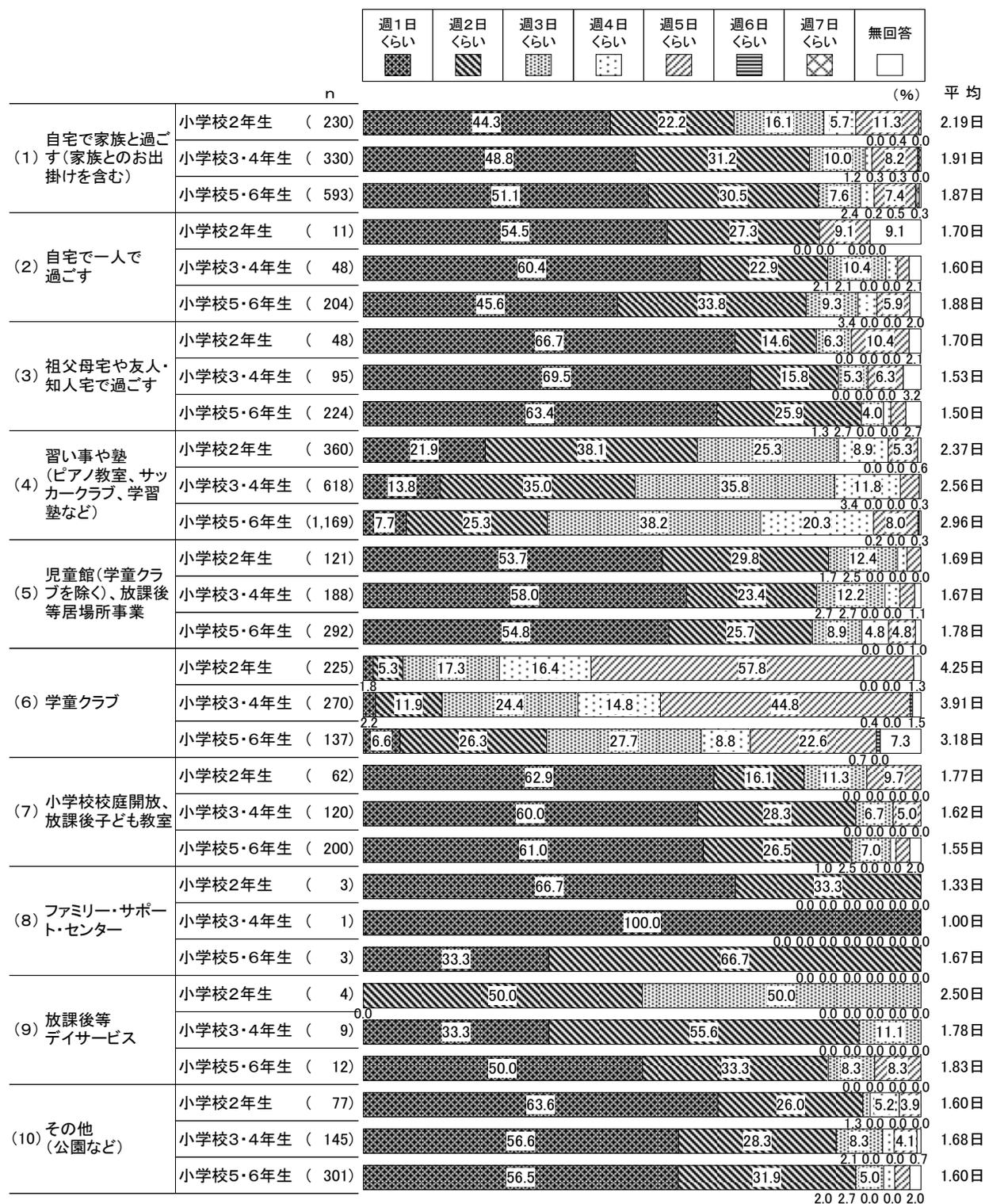
小学校5・6年生時では「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が61.3%で最も多く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」が31.1%、「児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業」が15.3%と続いている。(図5-4)

1週当たりの希望日数は、小学校2年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅で過ごす”で66.7%、“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で62.9%と多くなっている。また、「週5日くらい」は“学童クラブ”で57.8%と多くなっている。

小学校3・4年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅で過ごす”で69.5%、“自宅で一人で過ごす”で60.4%、“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で60.0%と多くなっている。また、「週5日くらい」は“学童クラブ”で44.8%と多くなっている。

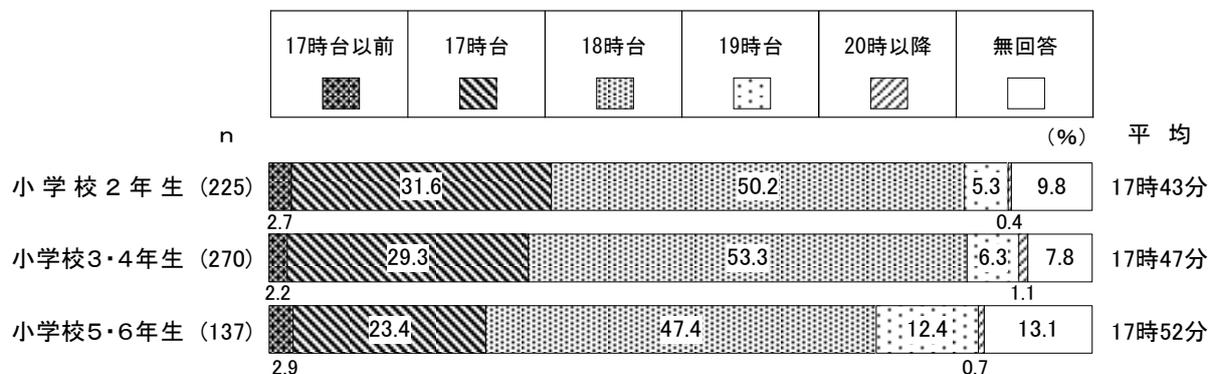
小学校5・6年生時では「週1日くらい」は“祖父母宅や友人・知人宅で過ごす”で63.4%、“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で61.0%と多くなっている。また、「週3日くらい」は“習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）”で38.2%と多くなっている。（図5-5）

図5-5 希望日数



希望する放課後の過ごし方で「学童クラブ」と答えた人が、下校時から何時まで利用を希望するかは、「18時台」が小学校2年生時で50.2%、小学校3・4年生時で53.3%、小学校5・6年生時で47.4%と最も多く、次いで「17時台」が小学校2年生時で31.6%、小学校3・4年生時で29.3%、小学校5・6年生時で23.4%と続いている。(図5-6)

図5-6 学童クラブの利用希望時間

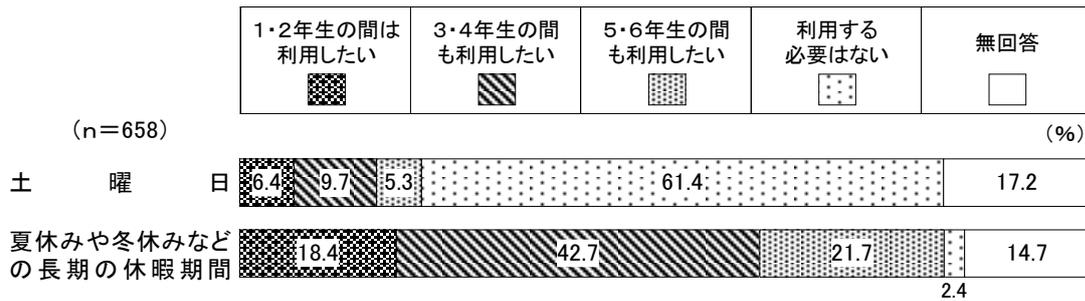


(3) 学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望

(問 15 または問 16 で、「学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。また利用したい日数を、□内にご記入ください。

図 5-7



学童クラブの土曜日、長期休暇中の利用希望は、土曜日では「利用する必要はない」が61.4%で最も多くなっている。

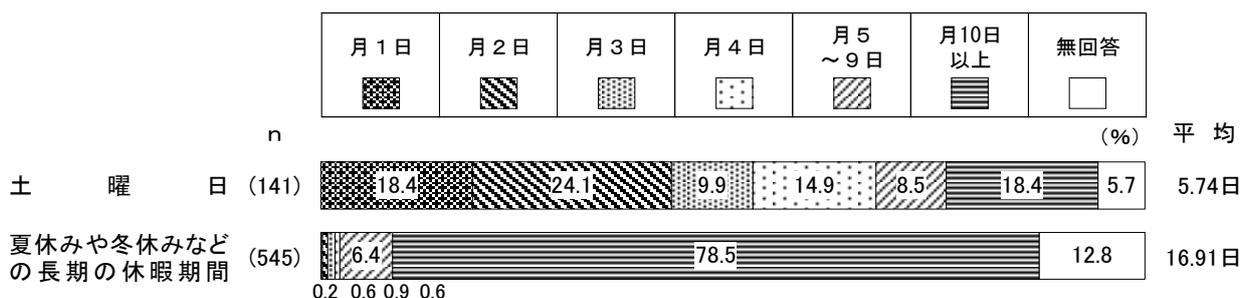
夏休みや冬休みなどの長期の休暇期間では「3・4年生の間も利用したい」が42.7%と最も多く、次いで「5・6年生の間も利用したい」が21.7%、「1・2年生の間は利用したい」が18.4%と続いている。(図5-7)

「1・2年生の間は利用したい」、「3・4年生の間も利用したい」、「5・6年生の間も利用したい」と答えた人の、利用希望日数は、土曜日では「月2日」が24.1%で最も多く、次いで「月1日」と「月10日以上」がともに18.4%と続いている。

夏休みや冬休みなどの長期の休暇期間では「月10日以上」が78.5%で最も多くなっている。

(図5-8)

図 5-8 土曜日、長期休暇中の利用希望日数

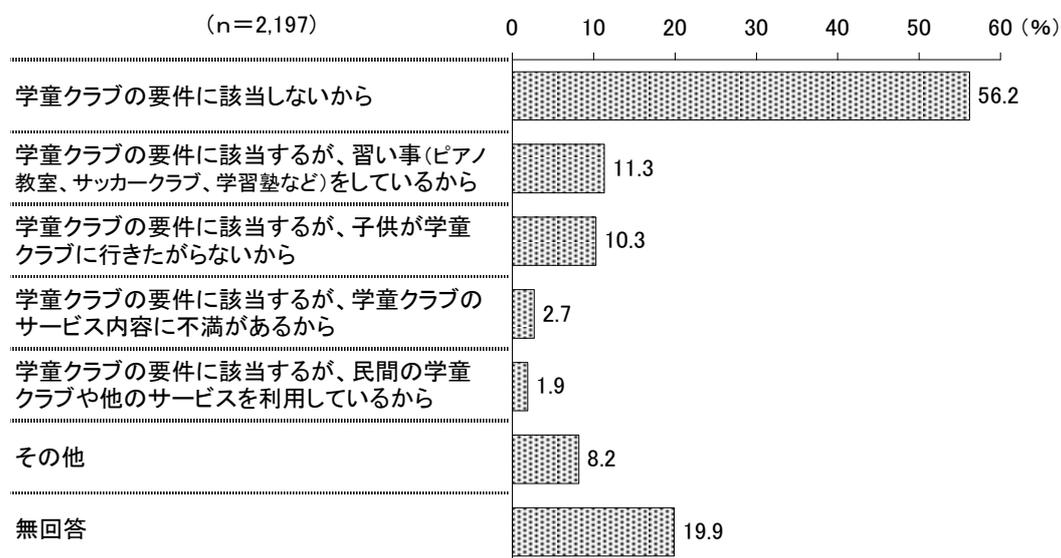


(4) 学童クラブを利用しない理由

(問 15 または問 16 で、「学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。)

問 18 学童クラブを利用していない(利用しない)理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

図 5-9



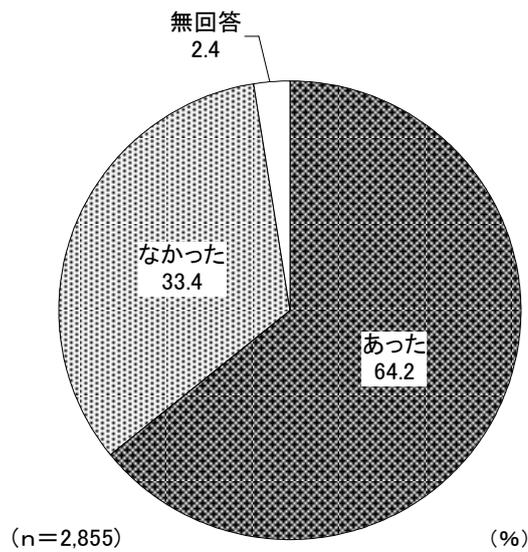
学童クラブを利用しない理由は、「学童クラブの要件に該当しないから」が 56.2%で最も多く、次いで「学童クラブの要件に該当するが、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)をしているから」が 11.3%、「学童クラブの要件に該当するが、子供が学童クラブに行きたがらないから」が 10.3%と続いている。(図 5-9)

6. 一時預かり等の利用状況

(1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無

問 19 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。ある場合は、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

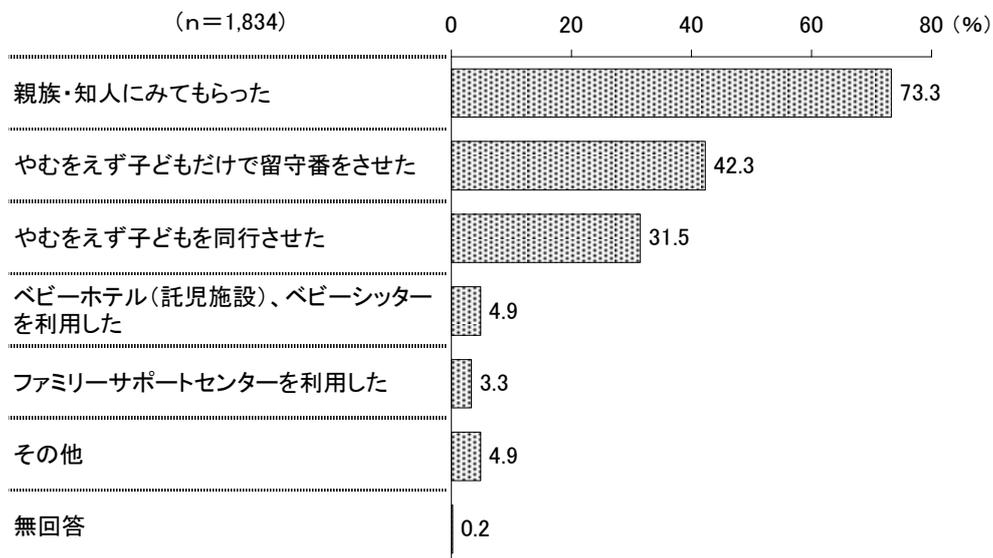
図 6-1



この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無は、「あった」が64.2%、「なかった」は33.4%となっている。(図6-1)

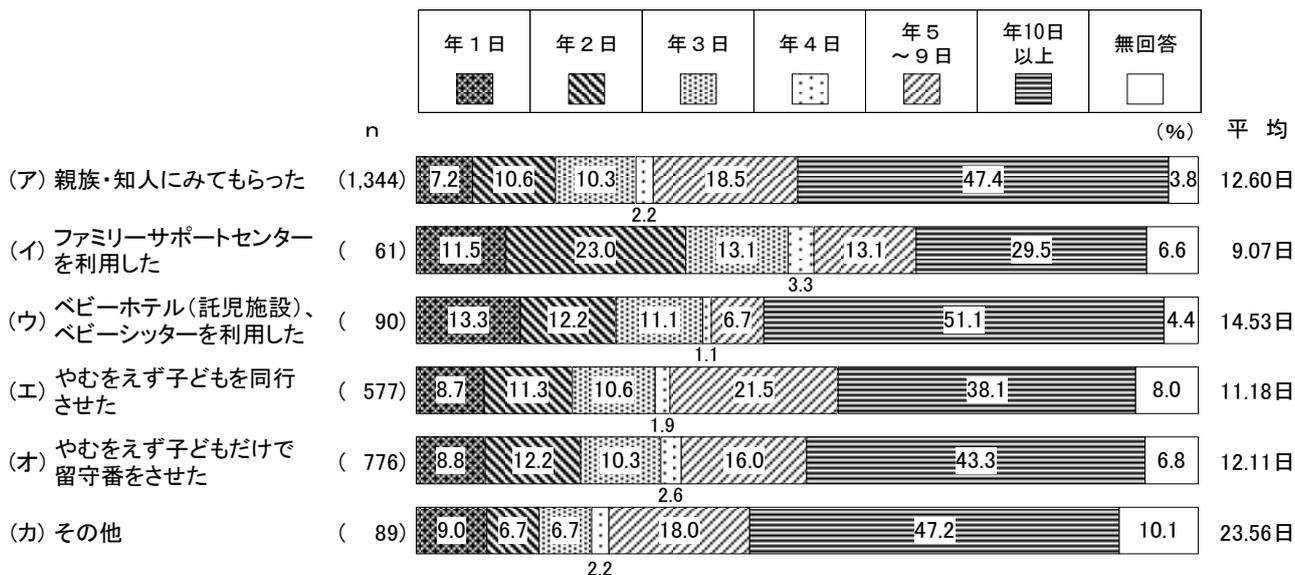
この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が73.3%で最も多く、次いで「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が42.3%、「やむをえず子どもを同行させた」が31.5%と続いている。(図6-2)

図6-2 この1年間に保護者の私用で子どもを預けた際の行動



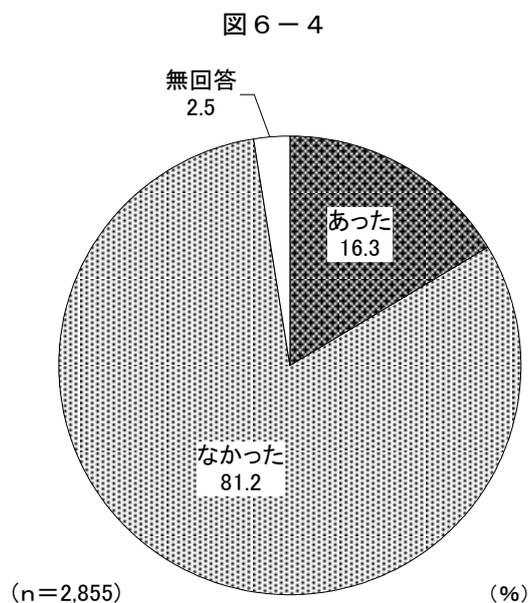
この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年10日以上」は“ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した”で51.1%と多くなっている。(図6-3)

図6-3 子どもを預けた日数



(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

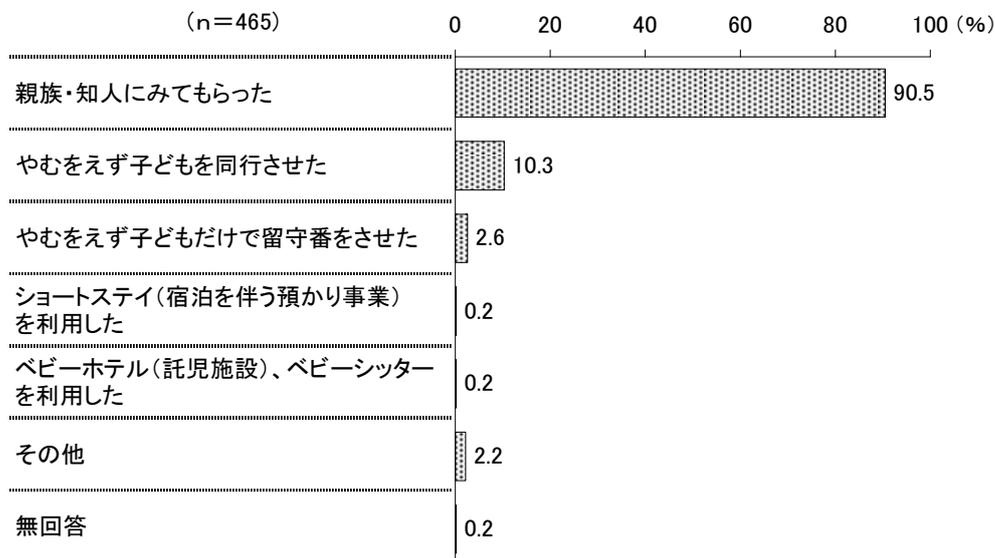
問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が16.3%、「なかった」は81.2%となっている。(図6-4)

この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、その際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が90.5%で最も多く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が10.3%と続いている。(図6-5)

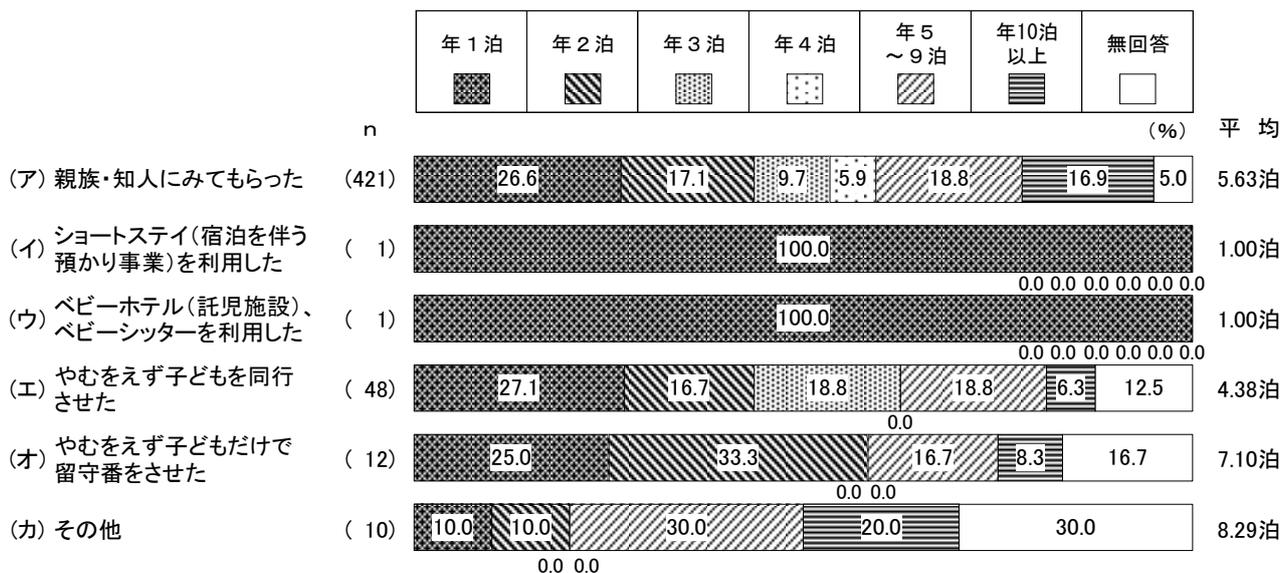
図6-5 この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた際の行動



この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験が「あった」と答えた人の、子どもを預けた日数は、「年2泊」は“やむをえず子どもだけで留守番をさせた”で33.3%と多くなっている。

(図6-6)

図6-6 子どもを預けた日数

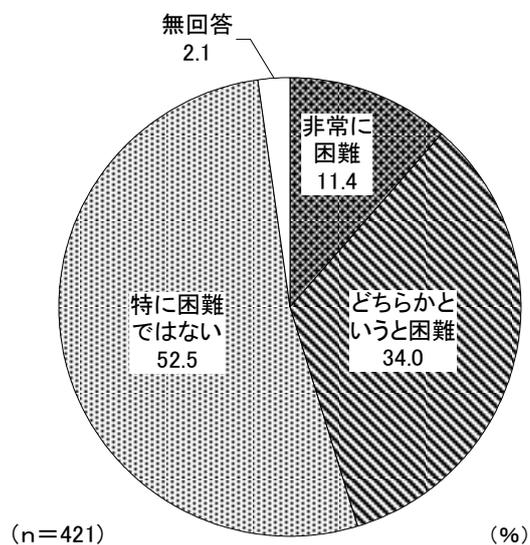


(2-1) 子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度

(問20で、「親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。)

問20-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図6-7



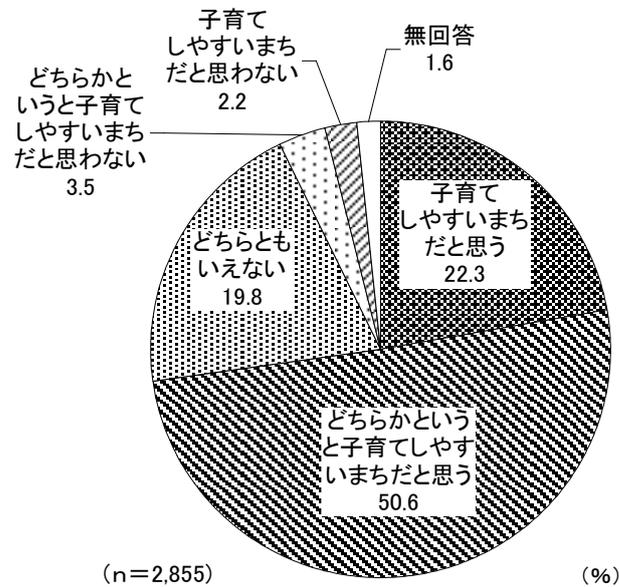
子どもを泊まりがけで親族・知人に預けた際の困難度は、「非常に困難」が11.4%、「どちらかという困難」は34.0%となっており、困難と感じる人は合わせて45.4%となっている。一方、「特に困難ではない」は52.5%となっている。(図6-7)

7 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問 21 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

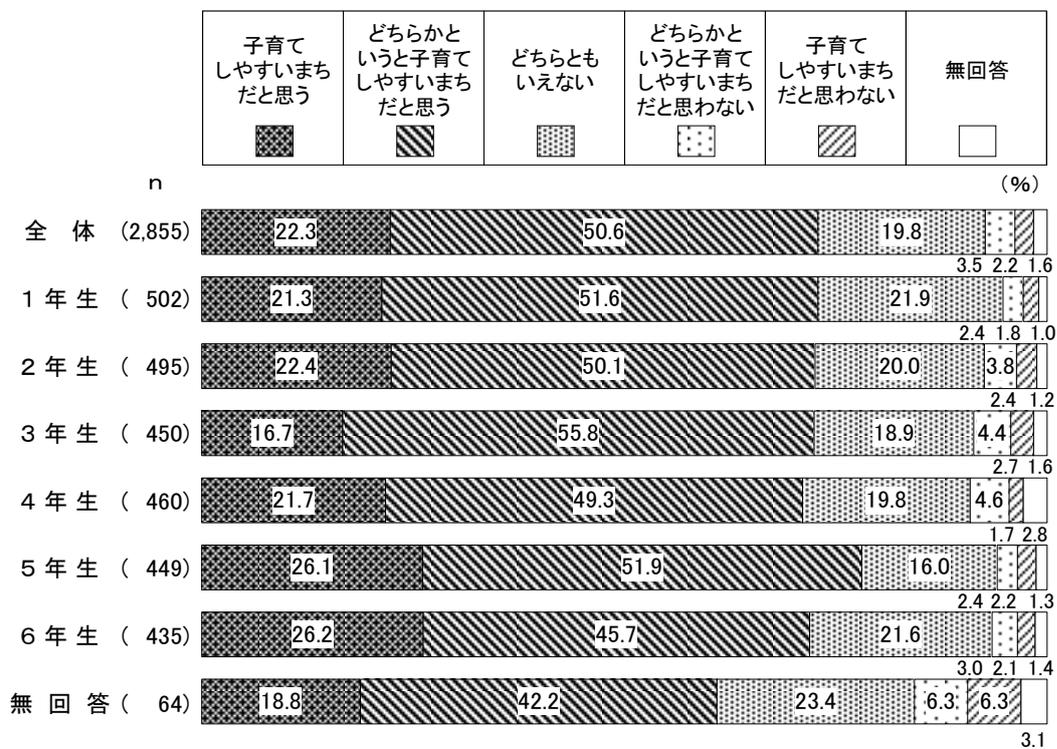
図 7-1



杉並区の子育てのしやすさは、「子育てしやすいまちだと思う」が 22.3%、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は 50.6%となっており、子育てしやすいまちだと思う人は合わせて 72.9%となっている。一方、「どちらかという子育てしやすいまちだと思わない」は 3.5%、「子育てしやすいまちだと思わない」は 2.2%となっている。(図 7-1)

子どもの学年別にみると、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は3年生で55.8%と多くなっている。(図7-2)

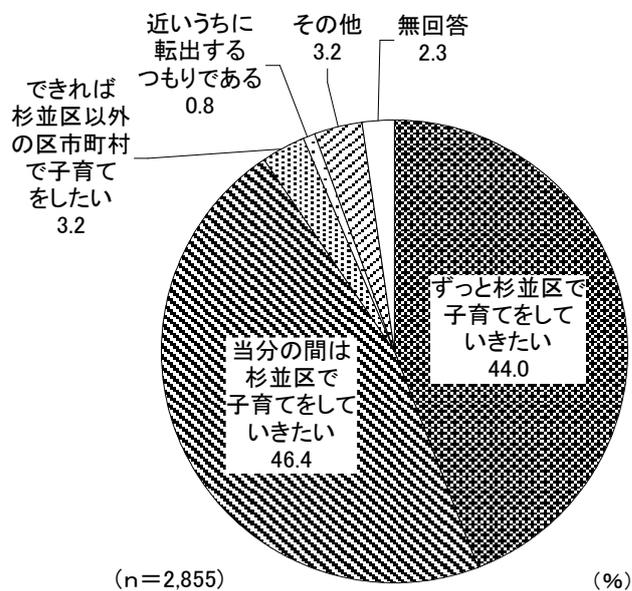
図7-2 杉並区の子育てのしやすさ(子どもの学年別)



(2) 杉並区での子育ての継続意向

問 22 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

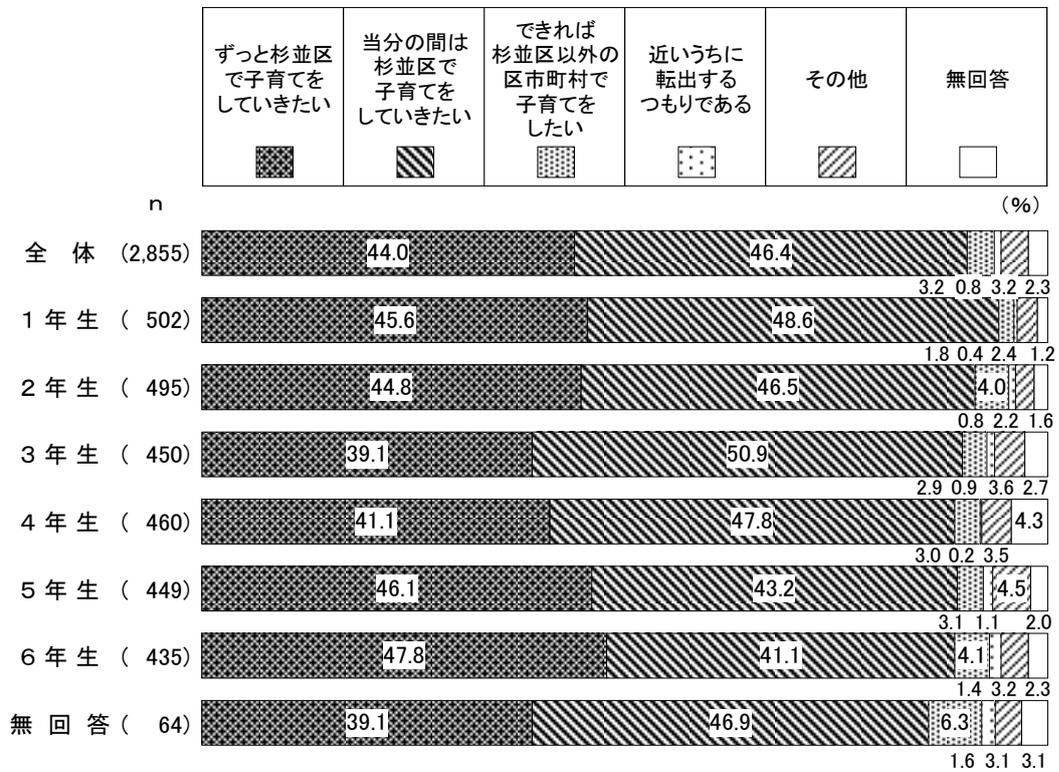
図 7-3



杉並区での子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が44.0%、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は46.4%となっており、杉並区で子育てをしていきたい人は合わせて90.4%となっている。一方、「できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい」は3.2%、「近いうちに転出するつもりである」は0.8%となっている。(図7-3)

子どもの学年別にみると、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は3年生で50.9%と多くなっている。(図7-4)

図7-4 杉並区での子育ての継続意向(子どもの学年別)



(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 23 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,344人から1,479件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類項目ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス・教育環境に関するご意見 (600件)

- ・ 保育園、学童クラブの拡充に力を入れてもらいたい。
- ・ 小・中・義務教育過程における学校間の格差、違いを平均化してほしい。越境制度が利用できなくなった以上、学校の選択権はないので。各学校特色があるのは良いけれど、学力、施設などの差は大きくないほうが良いと思う。

2 子育て施設の整備に関するご意見 (355件)

- ・ 子どもの遊び場の公園をつぶしてまで定員ギリギリの保育園を作らなくてもよかった。公園を返してほしいです。
- ・ 近所の公園が汚いので遊びたがらない。もっと公園をきれいに整備してほしい。

3 子育て支援施策に関するご意見 (340件)

- ・ 私学に通学していること、新聞を取っていないなどで近隣の情報（交流）に疎い状態なので、情報をどのように得ればよいのか知りたいです。
- ・ 子育て応援券は予防接種の際は非常に助かるが、それ以外の使い道がイマイチだと思う。いつもすべて使えず期限切れになってしまいます。

4 安心・安全な子育て環境に関するご意見 (85件)

- ・ 街中の分煙ができていないのが、子どもを連れていて心配です。
- ・ 公園、通学路などに防犯カメラの設置。狭い住宅街の十字路でのミラーの設置。スマホ自転車禁止の徹底。シルバー人材の見回りなど、1日1時間程。

5 個別に支援を必要とする子どもへの支援に関するご意見 (26件)

- ・ 学校の教員たちが特別支援を必要とする子どもたちへの配慮について学ぶチャンスをもっと提供して欲しい。
- ・ 健常者、障害者に関係なくユニバーサルでできるスポーツイベントの企画をしてほしい。障害児が普通に社会に溶けこめるように。

6 親、子どもの保険医療体制の充実に関するご意見 (13件)

- ・ 産前産後事業も下の子を妊娠した時からずっと大変なのに、産後8週目まで何時間までなど制約が多いと思います。それを民間で受けようとするとな大変な金額になってしまうのです。もっともっと気軽に頻繁に使えるように整えてもらえたらなと思います。
- ・ 持病のある小学生向けのサポートの充実を希望する。またWISC検査やその後のサポートについても、もう少しスピーディであってほしいと思います。

7 仕事と子育ての両立の推進に関するご意見 (2件)

- ・ 子どもを託児してくれる企業がもう少し欲しいなと思います。土曜日仕事が入ることもあり、会社、店舗の横などに託児スペースなどがあると安心して仕事ができるので。

8 その他 (58件)

- ・ 私見ですが、働いているお母さんは大変、エライといわれる風潮を大きく感じます。できるなら小さいうちは家で面倒を見たいと頑張っている専業主婦のほうが実は大変なことが多いこともあるかもしれないのに、少し軽くみられている気がしています。保育園が足りないというよりも、家で育てたいと思える主婦の位置づけを高くしてほしい気もしています。
- ・ 漠然と不安になる時などに区役所でなみすけのキーホルダーやお菓子の温かみを感じ、子どもと一緒に心強くなった記憶があります。学校や区役所で緊張しがちな時に、防犯ブザーやゴムで伸びる鍵のキーホルダーなど、細かい工夫のあるなみすけグッズは親子ともに心和むと思います。

第4章 中学生調査の結果

第4章 中学生調査の結果

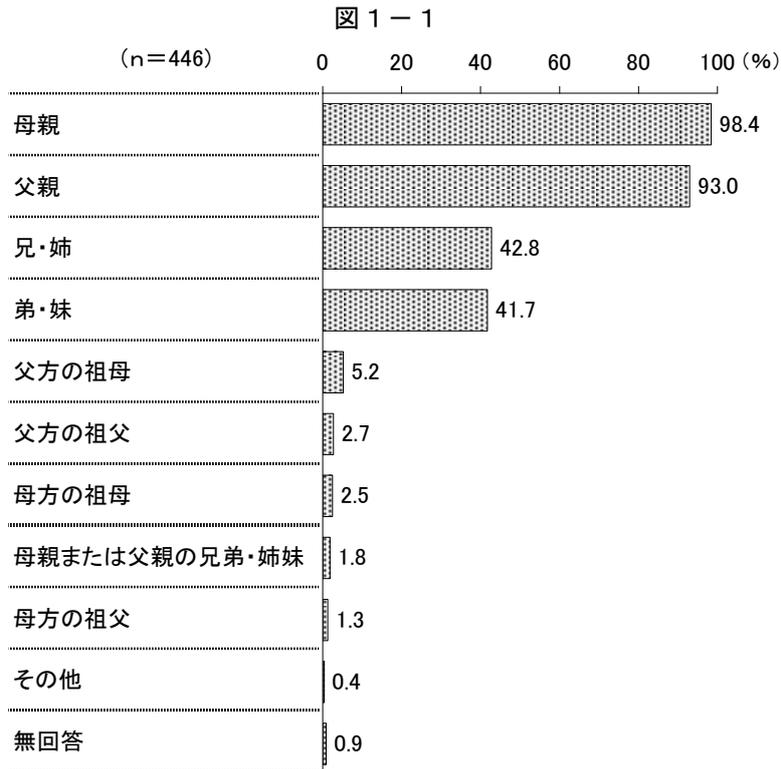
1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの家族

問1 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

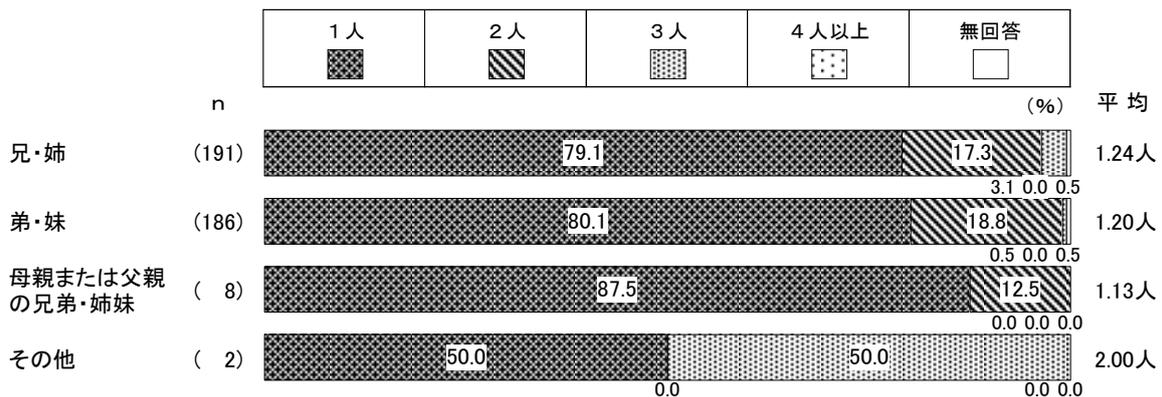
※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。



宛名の子どもの家族は、「母親」が98.4%、「父親」が93.0%で多く、次いで「兄・姉」が42.8%、「弟・妹」が41.7%と続いている。(図1-1)

「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数は、「1人」は兄・姉と弟・妹で8割前後となっている。(図1-2)

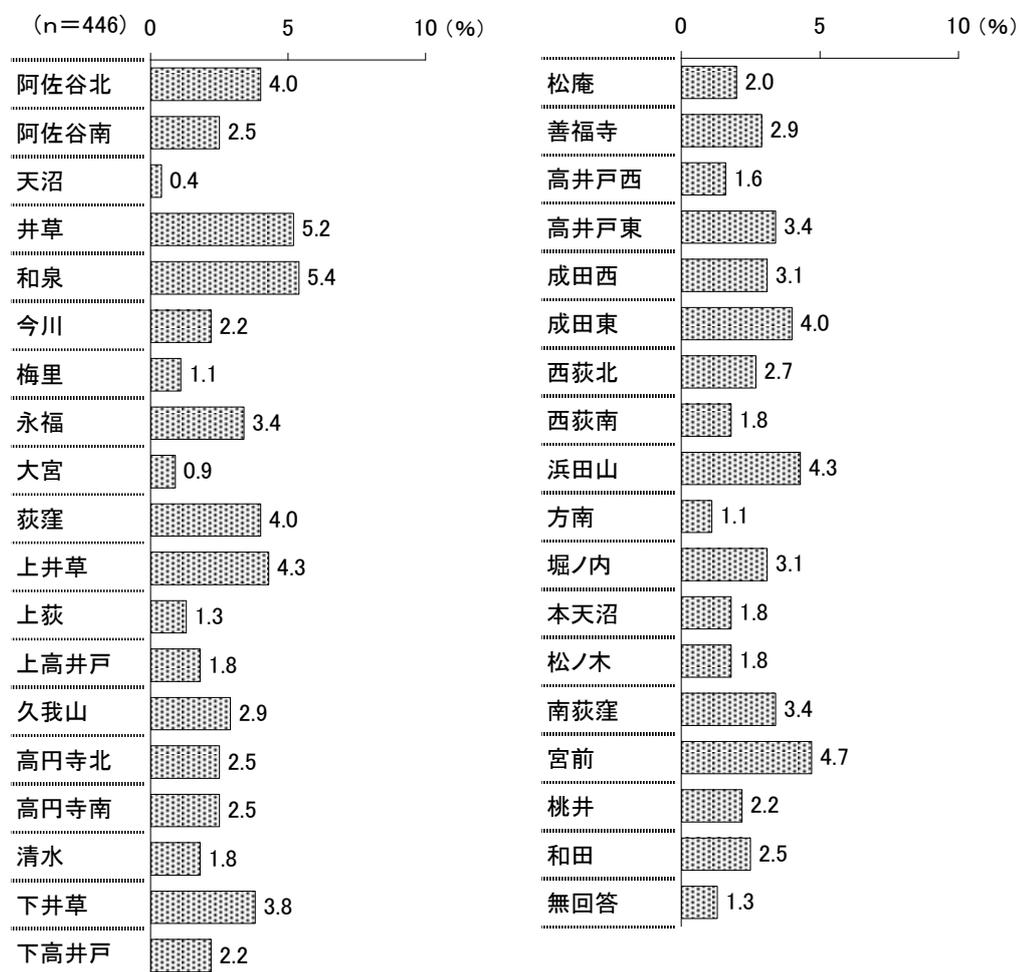
図1-2 「兄・姉」、「弟・妹」、「母親または父親の兄弟・姉妹」、「その他」の家族がいる場合の人数



(2) 居住地域

問2 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

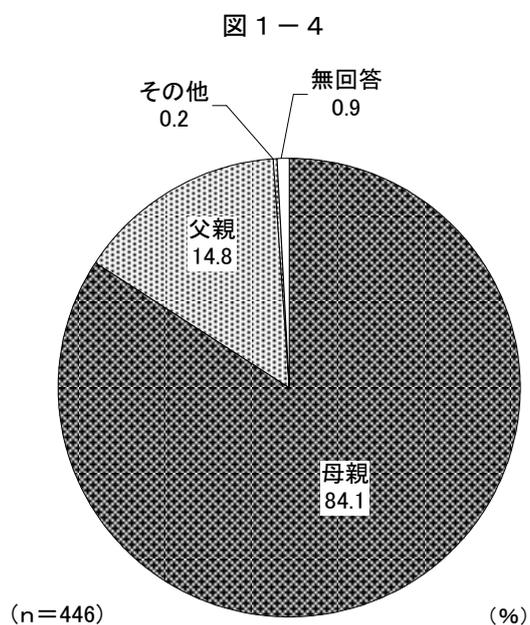
図1-3



居住地域は、「和泉」が5.4%で最も多く、次いで「井草」が5.2%、「宮前」が4.7%と続いている。(図1-3)

(3) 記入者

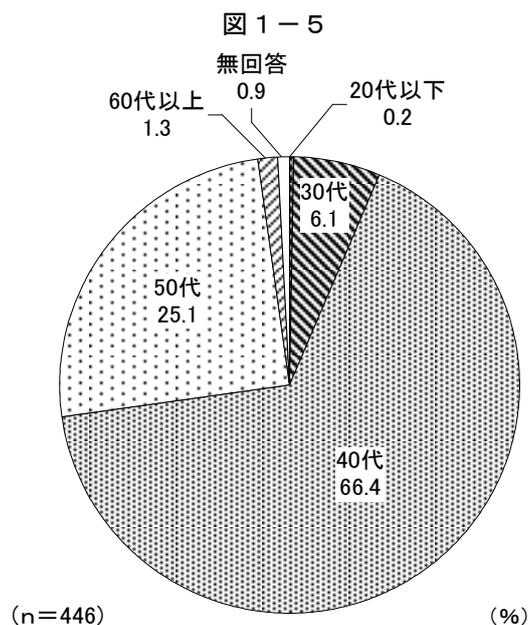
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。



記入者は、「母親」が84.1%、「父親」は14.8%となっている。(図1-4)

(3-1) 記入者の年齢

問3-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

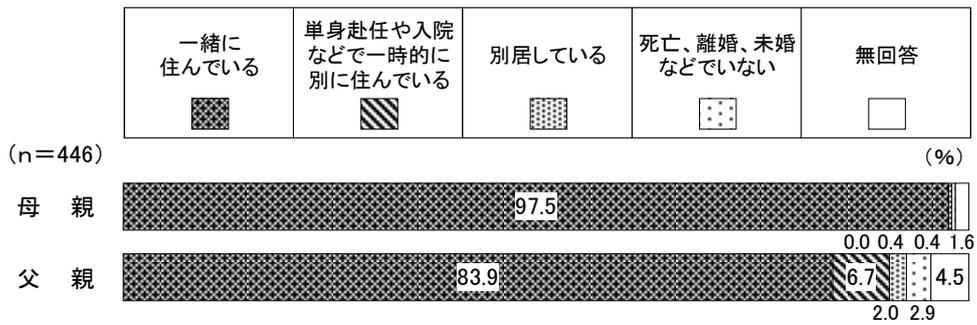


記入者の年齢は、「40代」が66.4%で最も多く、次いで「50代」が25.1%、「30代」が6.1%と続いている。(図1-5)

(4) 保護者の状況

問4 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

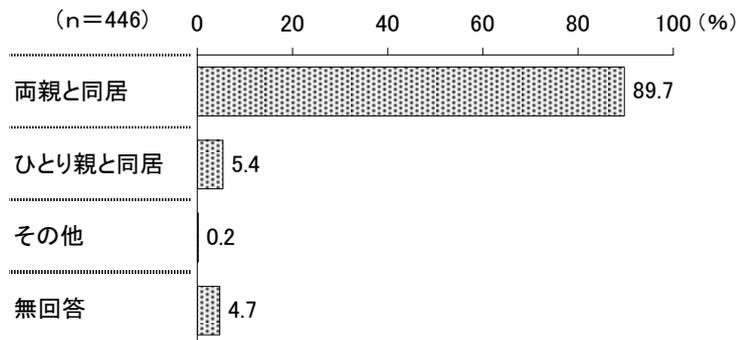
図1-6



保護者の状況については、「一緒に住んでいる」が母親で97.5%、父親で83.9%となっている。(図1-6)

保護者との同居状況を見ると、「両親と同居」が89.7%、「ひとり親と同居」は5.4%となっている。(図1-7)

図1-7 保護者との同居状況

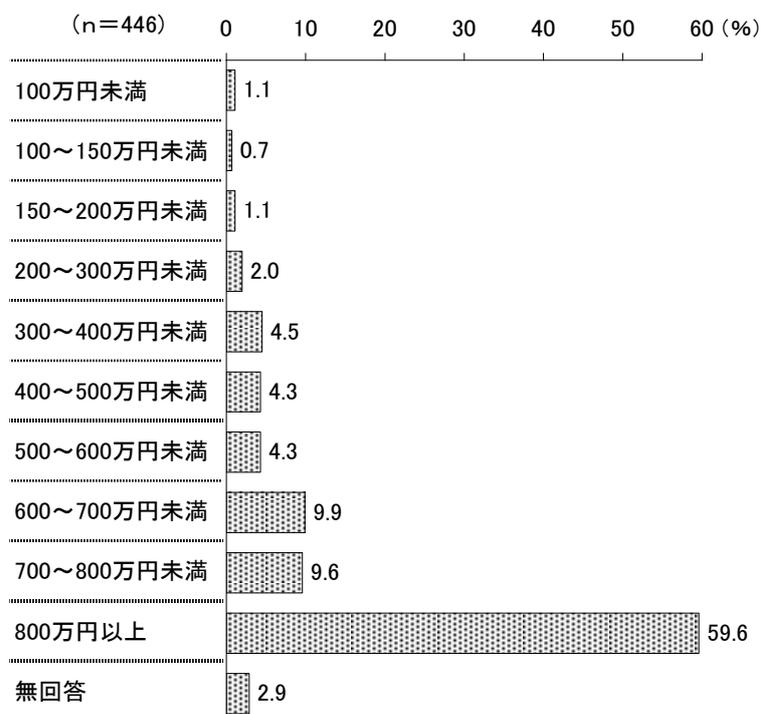


(5) 家族全員の収入合計額

問5 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。前年、平成28年(2016年)のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるものの1つに○をつけてください。

※家族とは、問1でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

図1-8

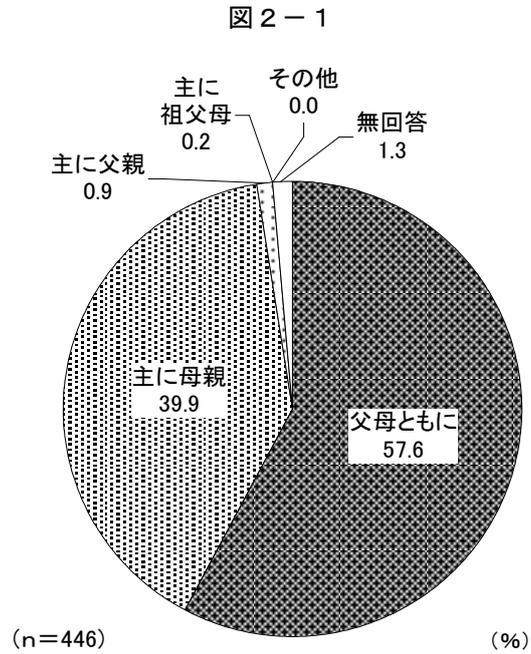


家族全員の収入合計額は、「800万円以上」が59.6%で最も多く、次いで「600～700万円未満」が9.9%、「700～800万円未満」が9.6%と続いている。(図1-8)

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

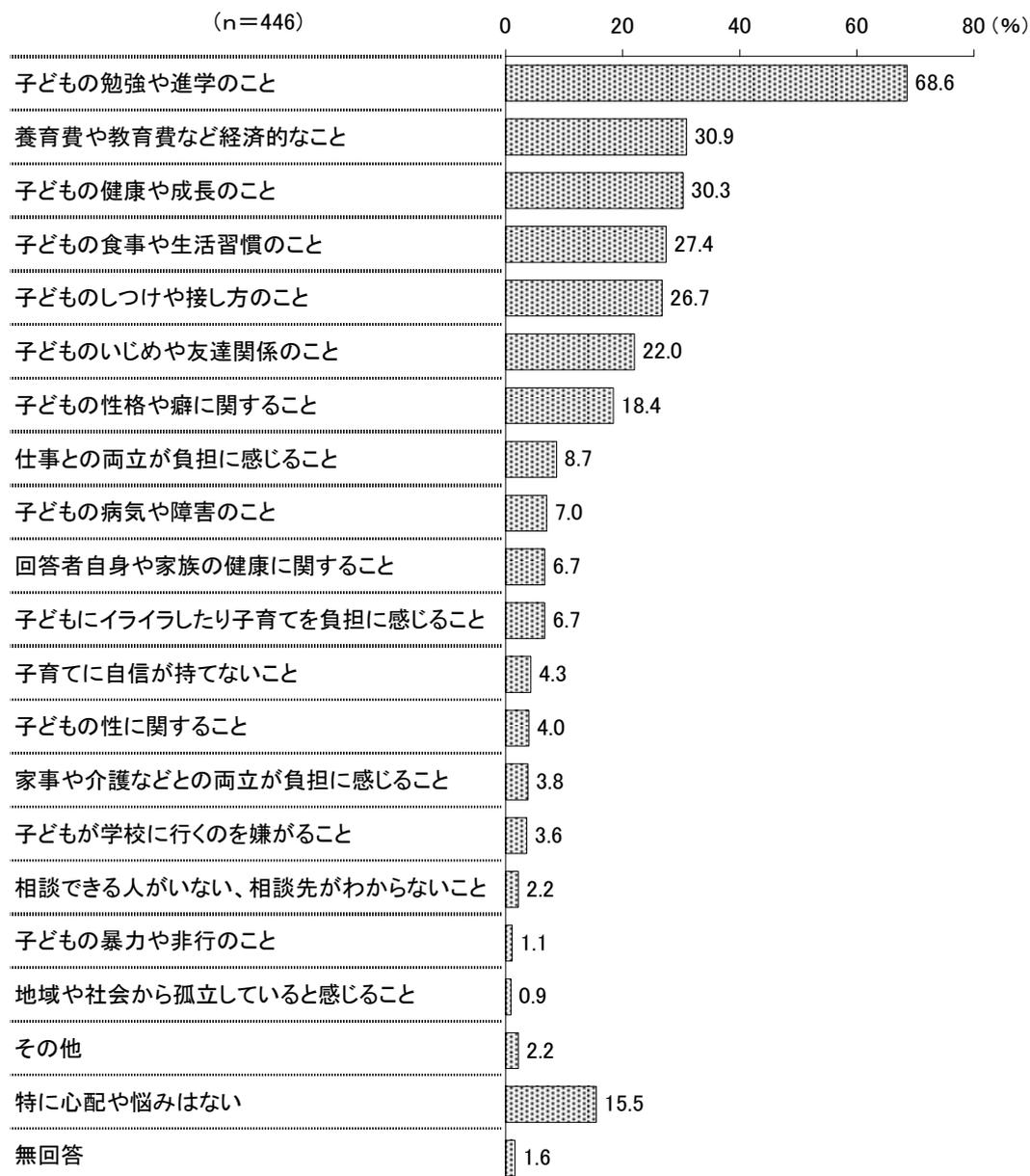


子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が57.6%、「主に母親」は39.9%となっている。
(図2-1)

(2) 子育てをする上での心配や悩み

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図2-2

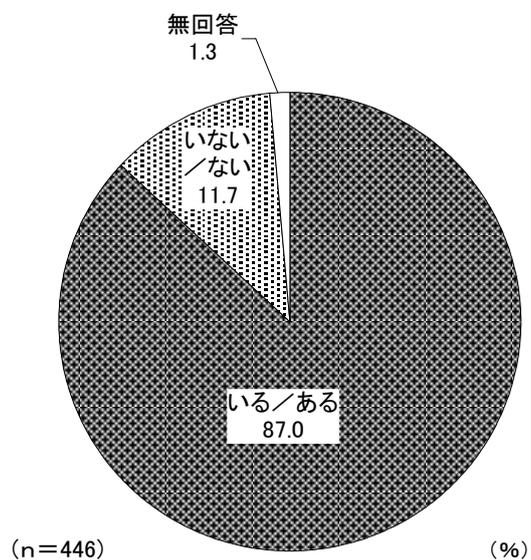


子育てをする上での心配や悩みは、「子どもの勉強や進学のこと」が68.6%で最も多く、次いで「養育費や教育費など経済的なこと」が30.9%、「子どもの健康や成長のこと」が30.3%と続いている。一方、「特に心配や悩みはない」は15.5%となっている。(図2-2)

(3) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図2-3

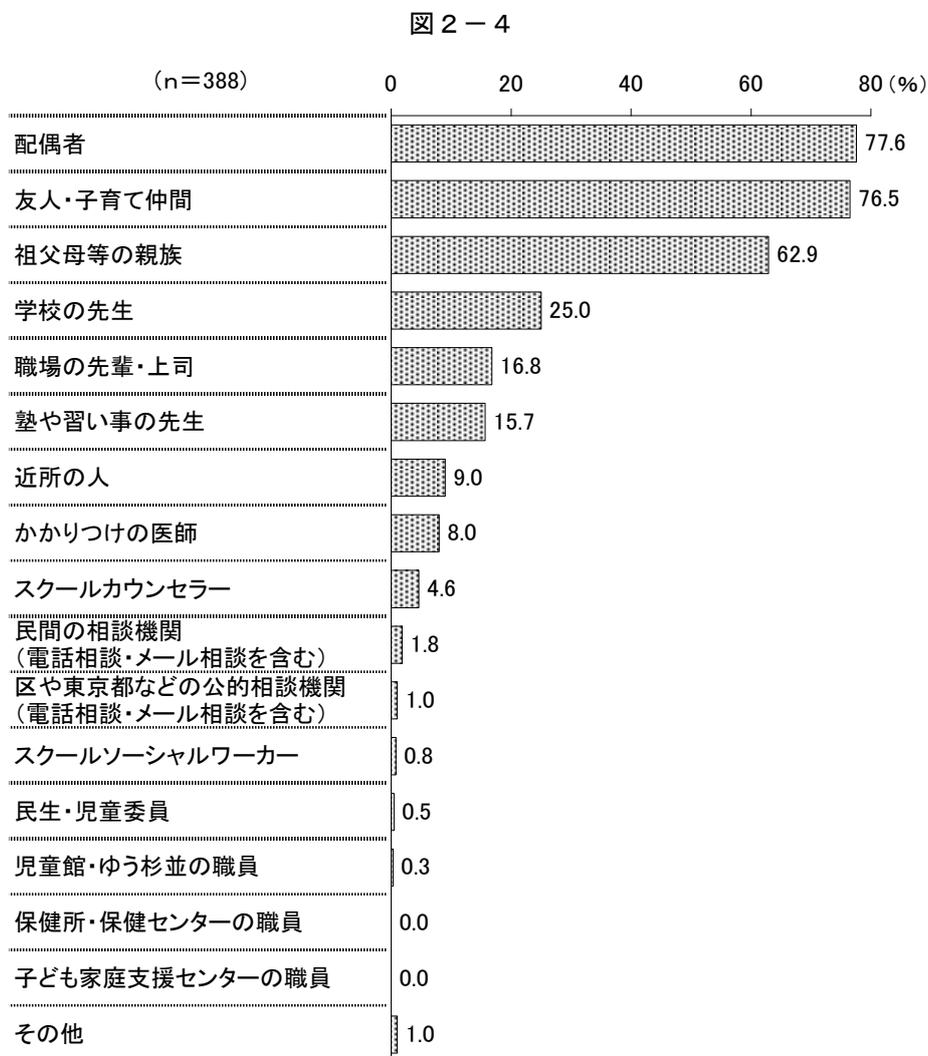


子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いる/ある」が 87.0%、「いない/ない」は 11.7%となっている。(図2-3)

(3-1) 子育てに関する相談先

(問8で、「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。)

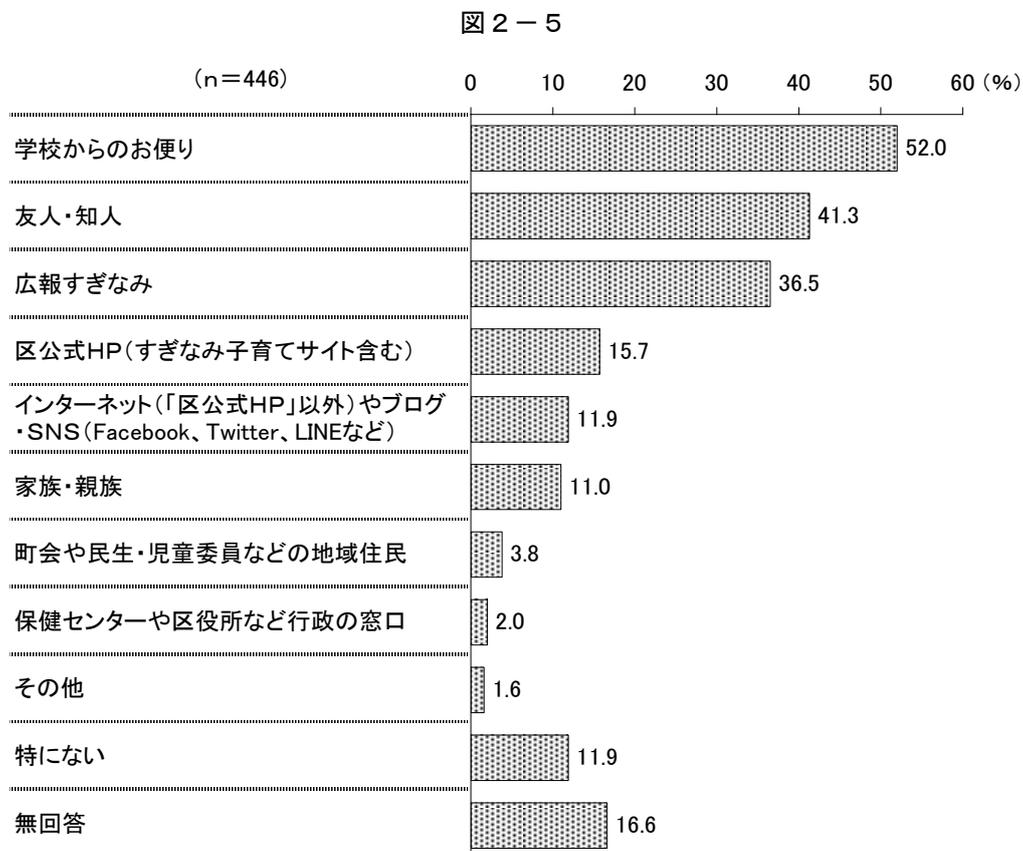
問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



子育てに関する相談先は、「配偶者」が77.6%で最も多く、次いで「友人・子育て仲間」が76.5%、「祖父母等の親族」が62.9%と続いている。(図2-4)

(4) 子育てに関する区の情報の入手先

問9 お子さんの子育てに関する区の情報を、現在、どこから（誰から）得ていますか。以下の項目から情報を多く得ている順に、回答欄に番号を記入してください。



※情報を多く得ている順の1番目から3番目までを累計した値

子育てに関する区の情報の入手先は、「学校からのお便り」が52.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が41.3%、「広報すぎなみ」が36.5%と続いている。(図2-5)

(5) 子育てをする上で必要な周囲からのサポート

問10 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上で必要な周囲からのサポートを自由に記述していただいたところ、142人から151件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス、教育環境の充実 (30件)

- ・ 無駄な作業、書類、報告、会議等無くし、先生が伸び伸びと仕事ができる保育園や学校の環境を作って欲しい。忙しさで子どもの接し方に影響が出るのは残念なので。現場をよく見て欲しい。書類ではわかりません。
- ・ 中学校の先生方が部活のために長い時間縛られているようで申し訳ない。部活にサポートが入っても良いと思う。

2 子どものことを気軽に相談できる専門家・窓口によるサポートの充実 (30件)

- ・ 学校の状況（いじめなど）について学校とは離れた機関に相談できると良かったです。
- ・ 学校でスクールカウンセラーに相談に行くのは友人の目があり難しいようです。学校終了後に心理士やカウンセラーにカウンセリングを受けることができるサポートがあると助かる。また、今まで杉並区にずっと住んでいますが、カウンセラーは女性の方ばかりで、自分の子は男の子なので、男性カウンセラーの設置もしてもらいたい。

3 子育てに関する情報提供によるサポートの充実 (22件)

- ・ 同封されていた子育て支援の施設、事業の中で知らないものも多かったし、どこで行われているのかもわからないものもあった。そういう機会や場所があることを広めたらよいのではと思う。サポートが充実しているのにもったいない。
- ・ ネット社会になり新聞なども不要で、広報すぎなみも家に入らないため、大変不便に思います。区の広報でメールマガジンなどを考えて欲しいです。

4 行政による金銭面のサポートの充実 (21件)

- ・ 給食費を無料にしてほしい。全員が利用する物での負担を減らしてほしい。授業料、修学旅行代など制限に係らない人でも苦しい生活の人はたくさんいるので。
- ・ 母子家庭への家賃補助。

5 同世代の子どもを持つ方と交流できる場の提供によるサポート (10件)

- ・ 中学生になると周囲のサポートはそれほど必要ではなくなったと感じています。もっと小さかったときは気軽に親子で参加できる習い事（工作・運動・音楽など）があったら良いなと思っていました。

6 地域の方からの理解、安全面に関するサポートの充実 (7件)

- ・ 昭和の頃のようなご近所の目は子育てしながら仕事をする家庭には非常にありがたいものです。

7 個別に支援を必要とする子どもへのサポートの充実 (4件)

- ・ 障害のある子どものライフステージに合わせ、療育や進学、利用可能なキャンプや塾など、考えられるすべての選択肢を一覧で家族宛に送ってもらえるとありがたいです。ホームページも必要な項目までなかなか辿り着けなかったりと時間がかかるので。

8 その他 (27件)

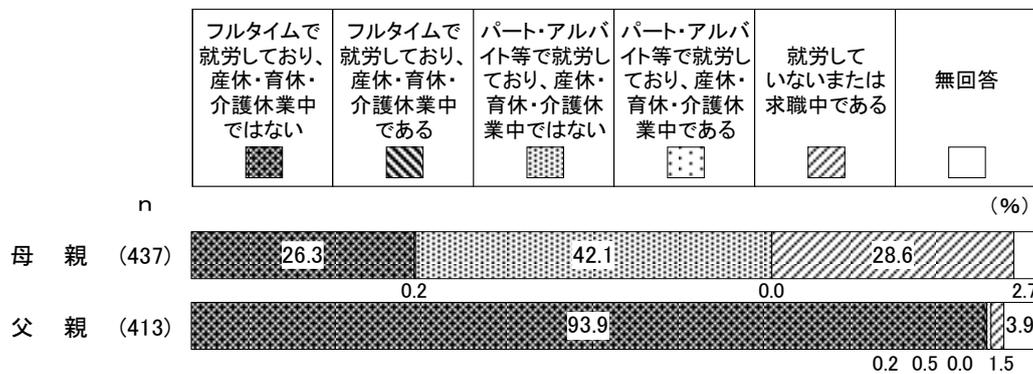
- ・ 児童精神科が杉並区内には少ないので増設するよう働きかけてほしい。また、児童精神科終了後、青少年が通える専門神経科の増設も働きかけてほしい。

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問11 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図3-1



保護者の就労状況は、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.3%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が0.2%となっており、フルタイムで就労している母親は合わせて26.5%となっている。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は42.1%、「就労していないまたは求職中である」は28.6%となっている。

父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.9%で最も多くなっている。(図3-1)

(1-1) 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間

(問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-2 就労日数

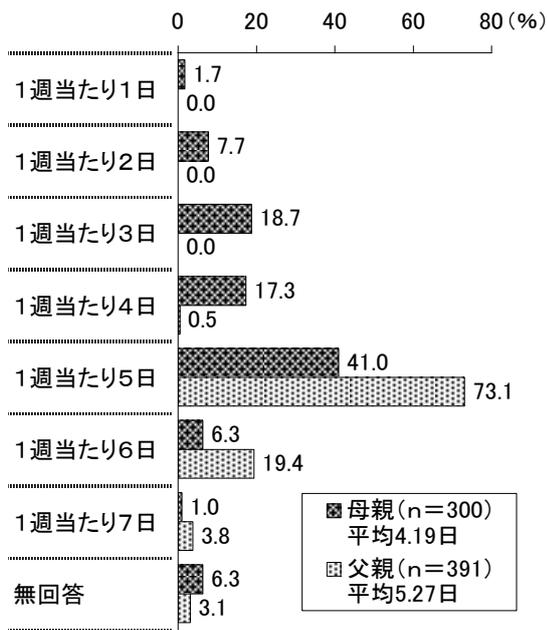
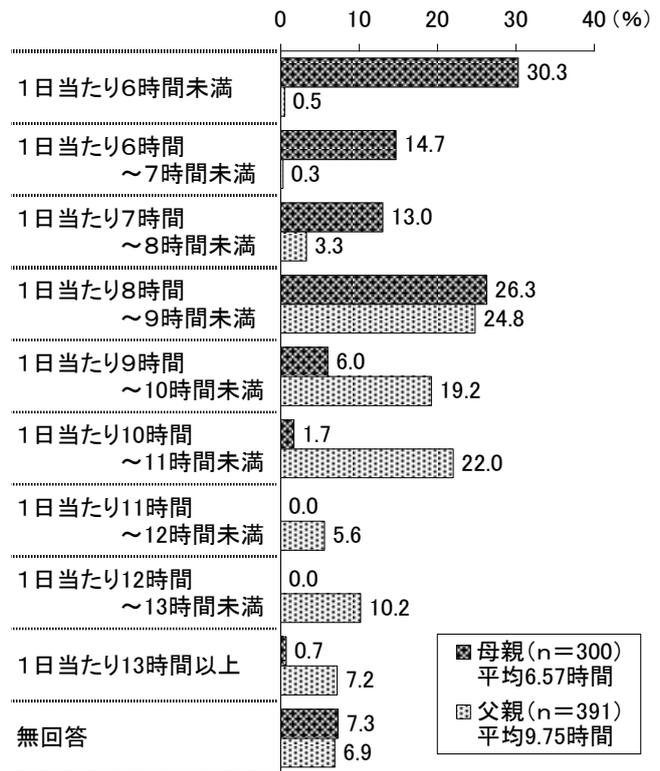


図3-3 就労時間



1週当たりの就労日数は、母親では「5日」が41.0%で最も多く、次いで「3日」が18.7%と続いている。

父親では「5日」が73.1%で最も多く、次いで「6日」が19.4%と続いている。(図3-2)

1日当たりの就労時間は、母親では「6時間未満」が30.3%で最も多く、次いで「8時間～9時間未満」が26.3%と続いている。

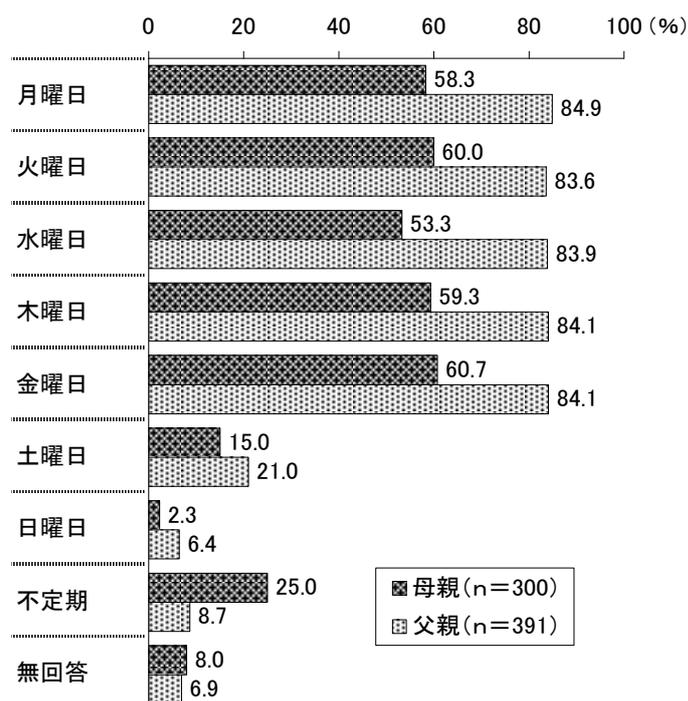
父親では「8時間～9時間未満」が24.8%で最も多く、次いで「10時間～11時間未満」が22.0%と続いている。(図3-3)

(1-2) 働いている曜日

(問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図3-4 働いている曜日



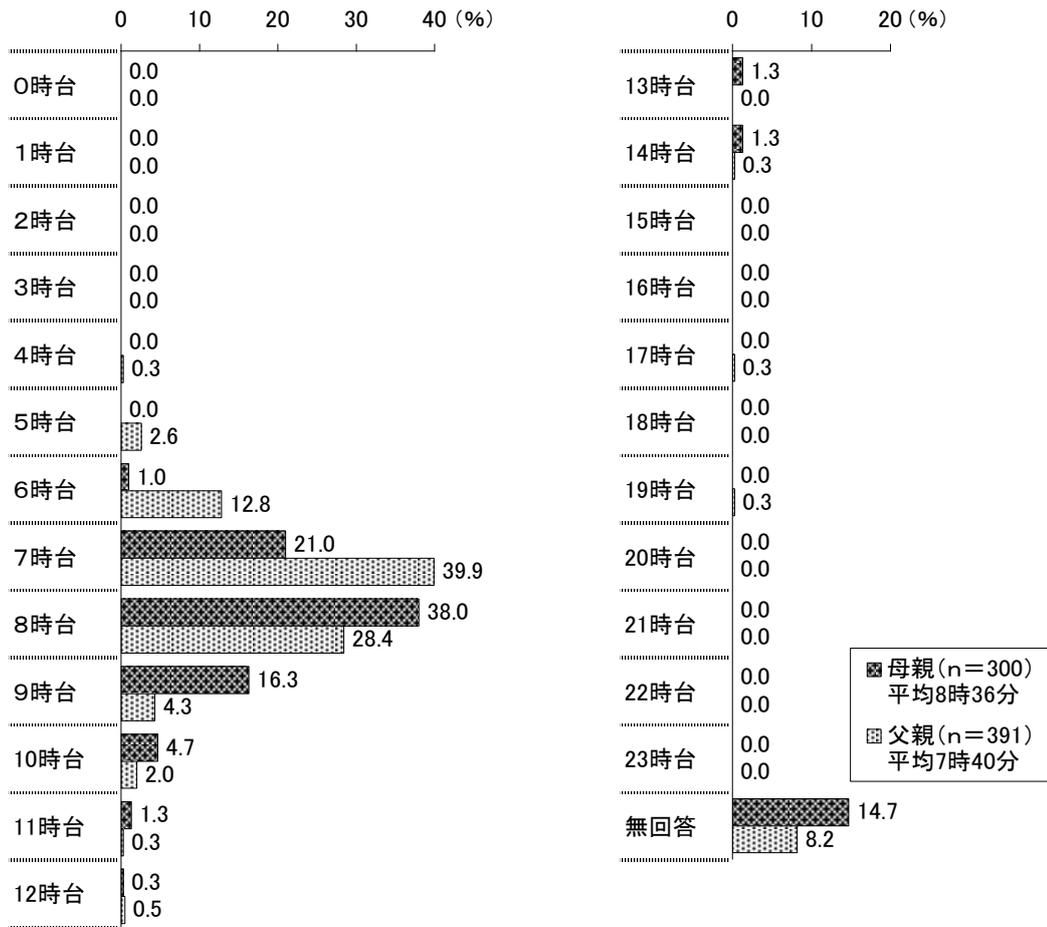
働いている曜日は、「月曜日」、「火曜日」、「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」が母親で6割前後、父親で8割台となっている。(図3-4)

(1-3) 出勤時間と帰宅時間

(問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

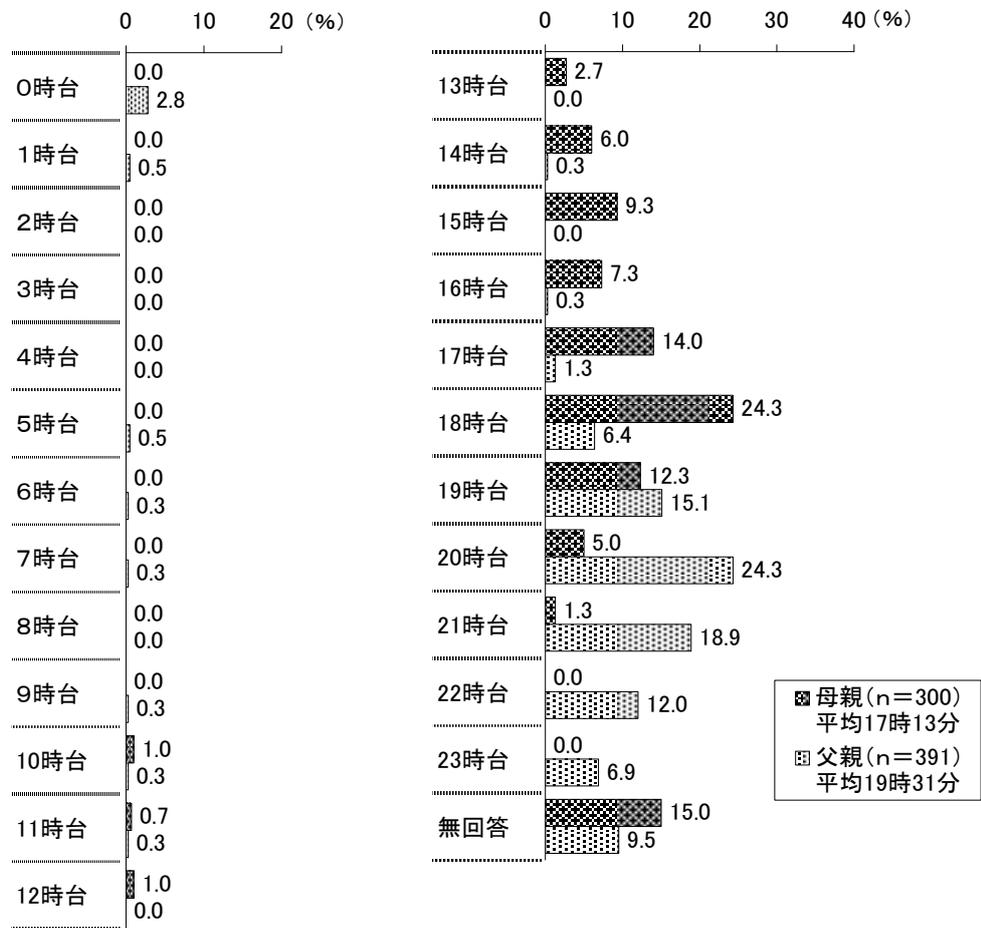
図3-5 出勤時間



出勤時間は、母親では「8時台」が38.0%で最も多く、次いで「7時台」が21.0%と続いている。

父親では「7時台」が39.9%で最も多く、次いで「8時台」が28.4%、「6時台」が12.8%と続いている。(図3-5)

図 3-6 帰宅時間



帰宅時間は、母親では「18時台」が24.3%で最も多く、次いで「17時台」が14.0%、「19時台」が12.3%と続いている。

父親では「20時台」が24.3%で最も多く、次いで「21時台」が18.9%、「19時台」が15.1%と続いている。(図3-6)

在宅勤務の方の仕事開始時間は、母親では「9時台」が9.3%で最も多く、次いで「10時台」が5.3%と続いている。

父親では「9時台」が9.0%で最も多く、次いで「8時台」が7.7%と続いている。(図3-7)
在宅勤務の方の仕事終了時間は、「17時台」が母親で6.0%、父親で5.1%と最も多くなっている。

(図3-8)

図3-7 在宅勤務の方の仕事開始時間

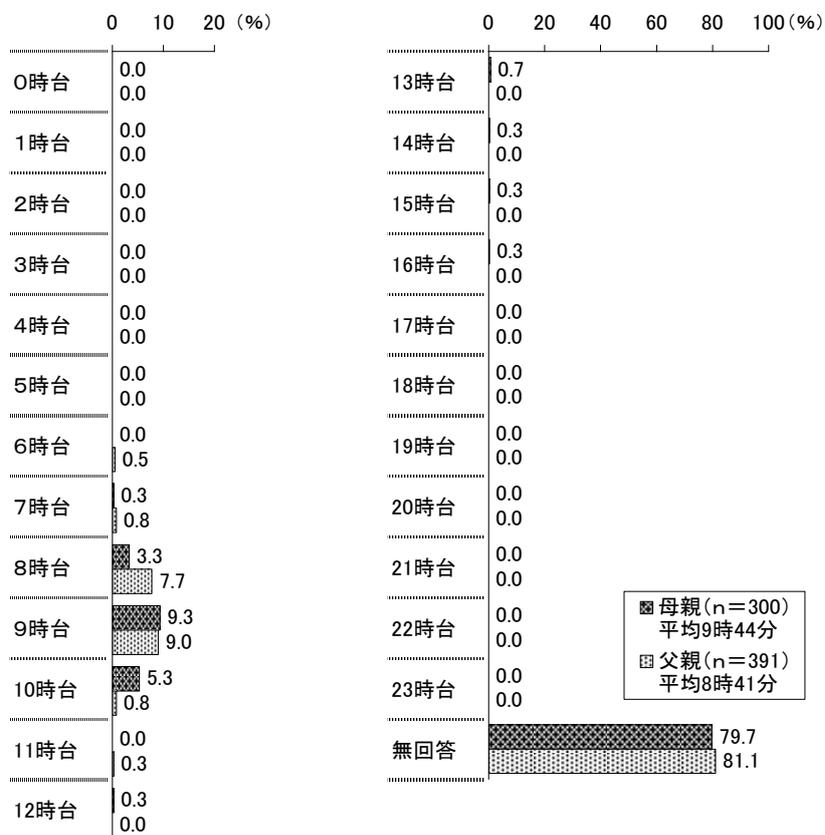
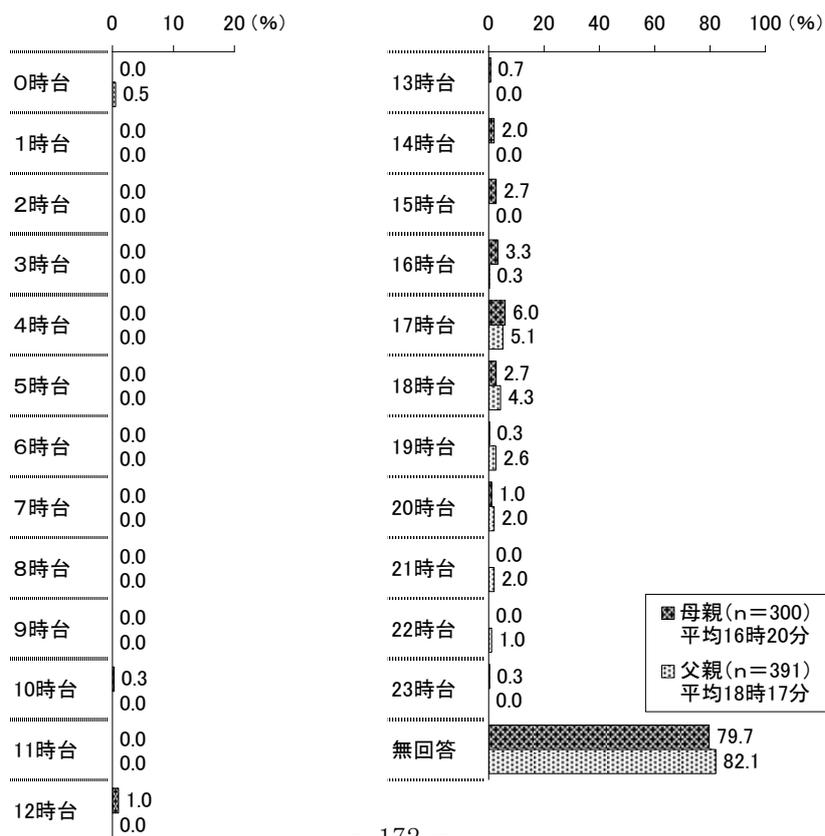


図3-8 在宅勤務の方の仕事終了時間

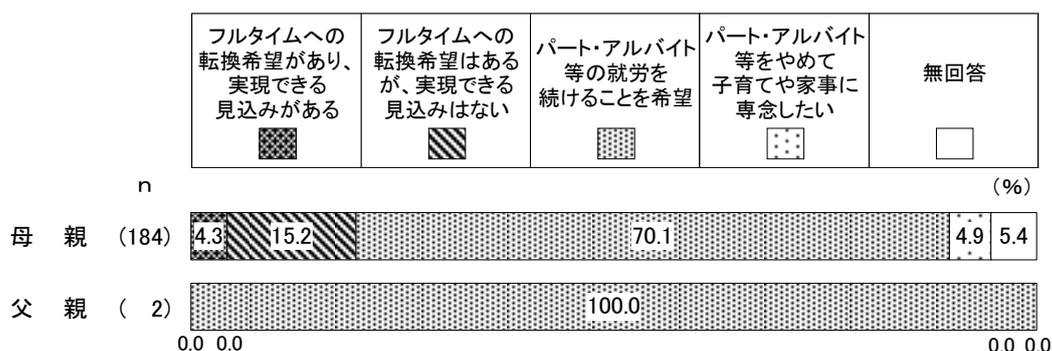


(2) パートタイムで就労している人の今後の就労意向

(問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

図3-9



パートタイムで就労している人の今後の就労意向は、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が70.1%で最も多くなっている。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が4.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は15.2%となっており、フルタイムへの転換希望は合わせて19.5%となっている。

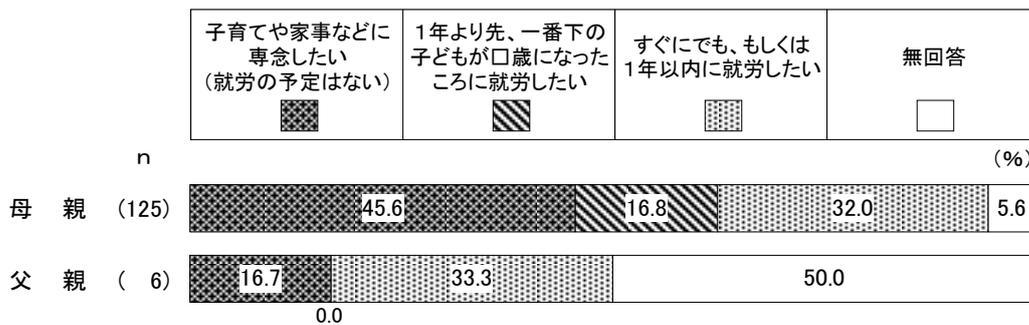
父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-9)

(3) 未就労者の今後の就労意向

(問 11 の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方
にうかがいます。)

問 11-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する
□内には数字をご記入ください。

図 3-10



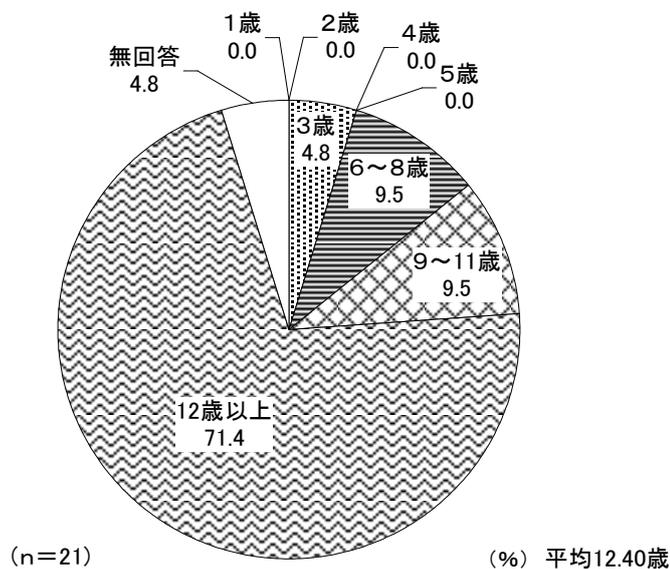
未就労者の今後の就労意向は、母親では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が45.6%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が32.0%、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」が16.8%と続いている。

父親については、対象数が少ないため、参考までに図示する。(図3-10)

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」と答えた人が、子どもが何歳になったころに就労したいかは、母親では「12歳以上」が71.4%で最も多く、次いで「6～8歳」と「9～11歳」がともに9.5%と続いている。

父親については対象がいなかった。(図3-11)

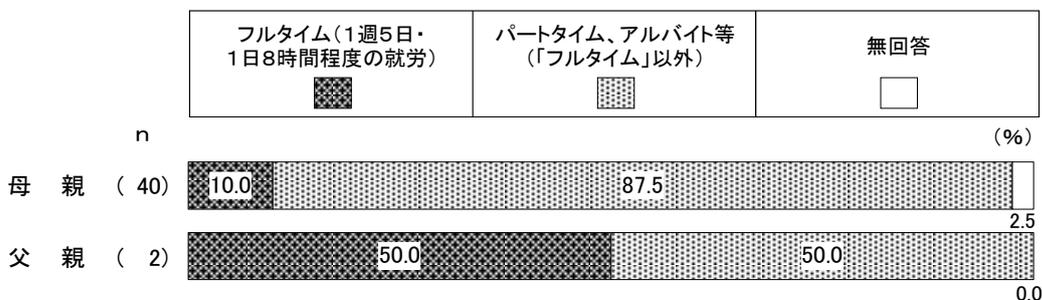
図 3-11 子どもが何歳になったころに就労したいか【母親】



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の希望する就労形態は、母親では「フルタイム(1週5日・1日8時間程度の就労)」が10.0%、「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)」は87.5%となっている。

父親については、対象が2名と少ないため、参考までに図示する。(図3-12)

図3-12 希望する就労形態



希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、1週当たりの希望就労日数は、母親では「3日」が51.4%で最も多く、次いで「4日」が25.7%、「2日」が17.1%と続いている。

父親については、対象が1名と少ないため割愛する。(図3-13)

1日当たりの希望就労時間は、母親では「5時間～6時間未満」が51.4%で最も多く、次いで「5時間未満」が31.4%、「6時間～7時間未満」が8.6%と続いている。

父親については、対象が1名と少ないため割愛する。(図3-14)

図3-13 希望就労日数【母親】

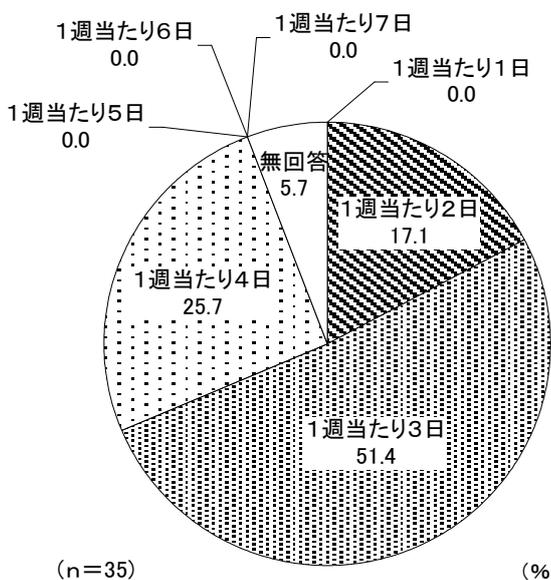
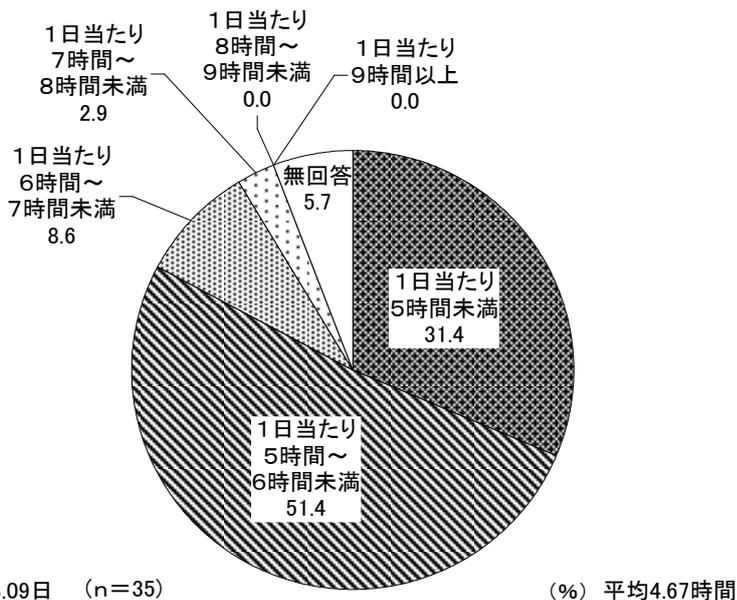


図3-14 希望就労時間【母親】

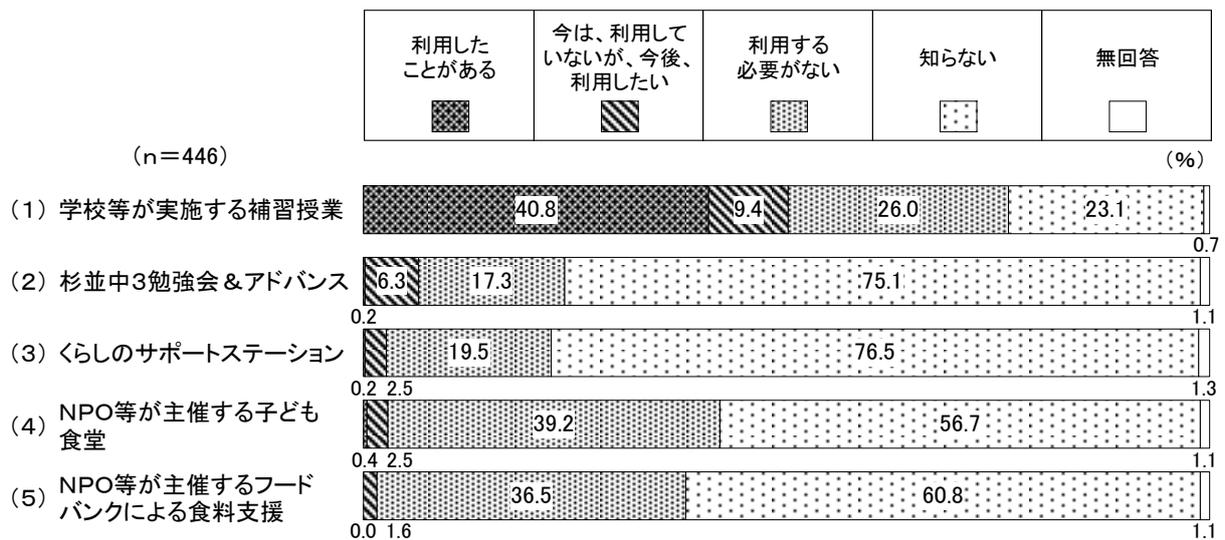


4. 公的・社会的サービスの利用状況

(1) 公的・社会的サービスの利用状況

問12 宛名のお子さんについて、次の(1)～(5)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ○をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

図4-1



公的・社会的サービスの利用状況は、「利用したことがある」は“学校等が実施する補習授業”で40.8%と最も多くなっている。一方、「今は、利用していないが、今後、利用したい」は“NPO等が主催する子ども食堂”で39.2%、“NPO等が主催するフードバンクによる食料支援”で36.5%と多く、「知らない」は“暮らしのサポートステーション”で76.5%、“杉並中3勉強会&アドバンス”で75.1%と多くなっている。(図4-1)

“学校等が実施する補習授業”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「今は、利用していないが、今後、利用したい」は500～600万円未満で26.3%と多くなっている。また、「利用する必要がない」は800万円以上で34.2%と多くなっている。(図4-2)

“杉並中3勉強会&アドバンス”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は800万円以上で20.3%と多くなっている。また、「知らない」は300～400万円未満で80.0%と多くなっている。(図4-3)

“くらしのサポートステーション”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は800万円以上で24.1%と多くなっている。また、「知らない」は600～700万円未満で88.6%と多くなっている。(図4-4)

“NPO等が主催する子ども食堂”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は800万円以上で45.9%と多くなっている。また、「知らない」は400～500万円未満で78.9%と多くなっている。(図4-5)

“NPO等が主催するフードバンクによる食料支援”の利用状況を家族全員の収入合計額別にみると、「利用する必要がない」は800万円以上で42.9%と多くなっている。また、「知らない」は400～500万円未満で84.2%と多くなっている。(図4-6)

図4-2 (1) 学校等が実施する補習授業の利用状況 (家族全員の収入合計額別)

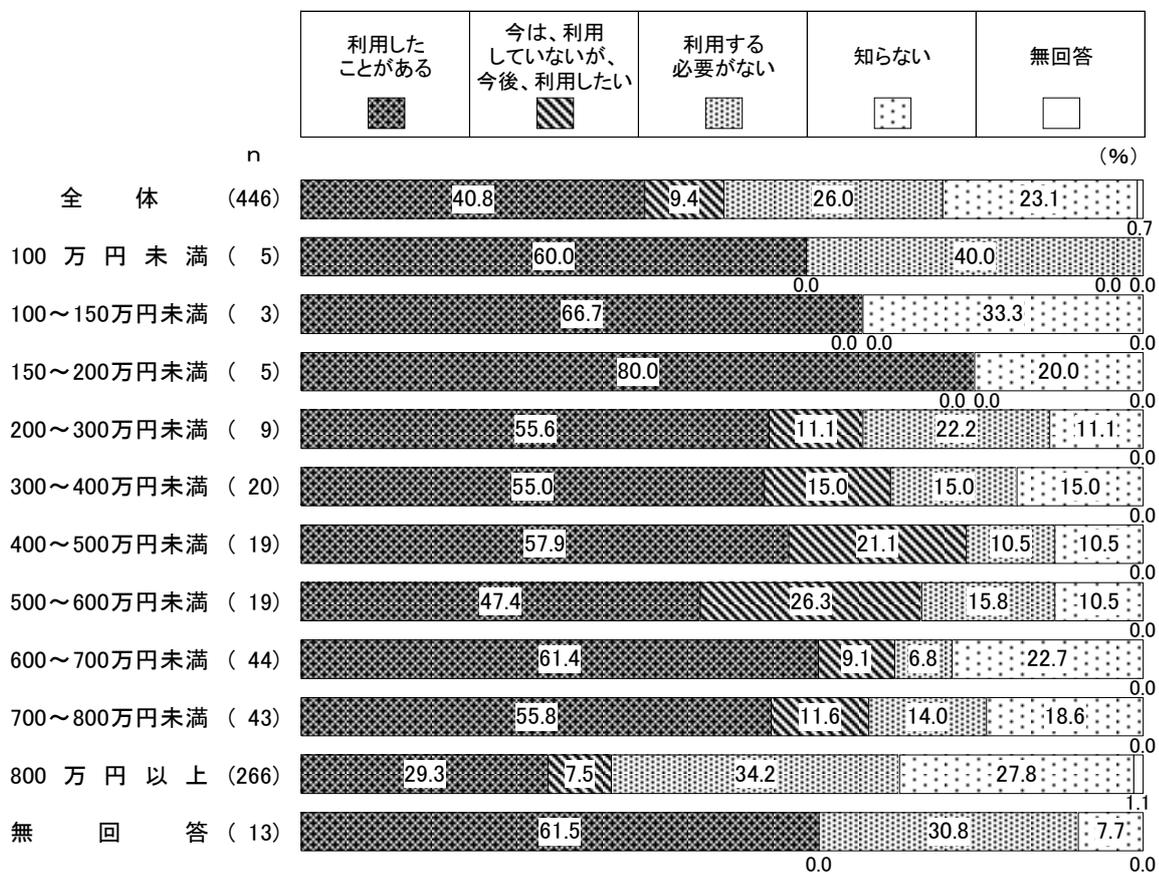


図4-3 (2) 杉並中3勉強会&アドバンスの利用状況(家族全員の収入合計額別)

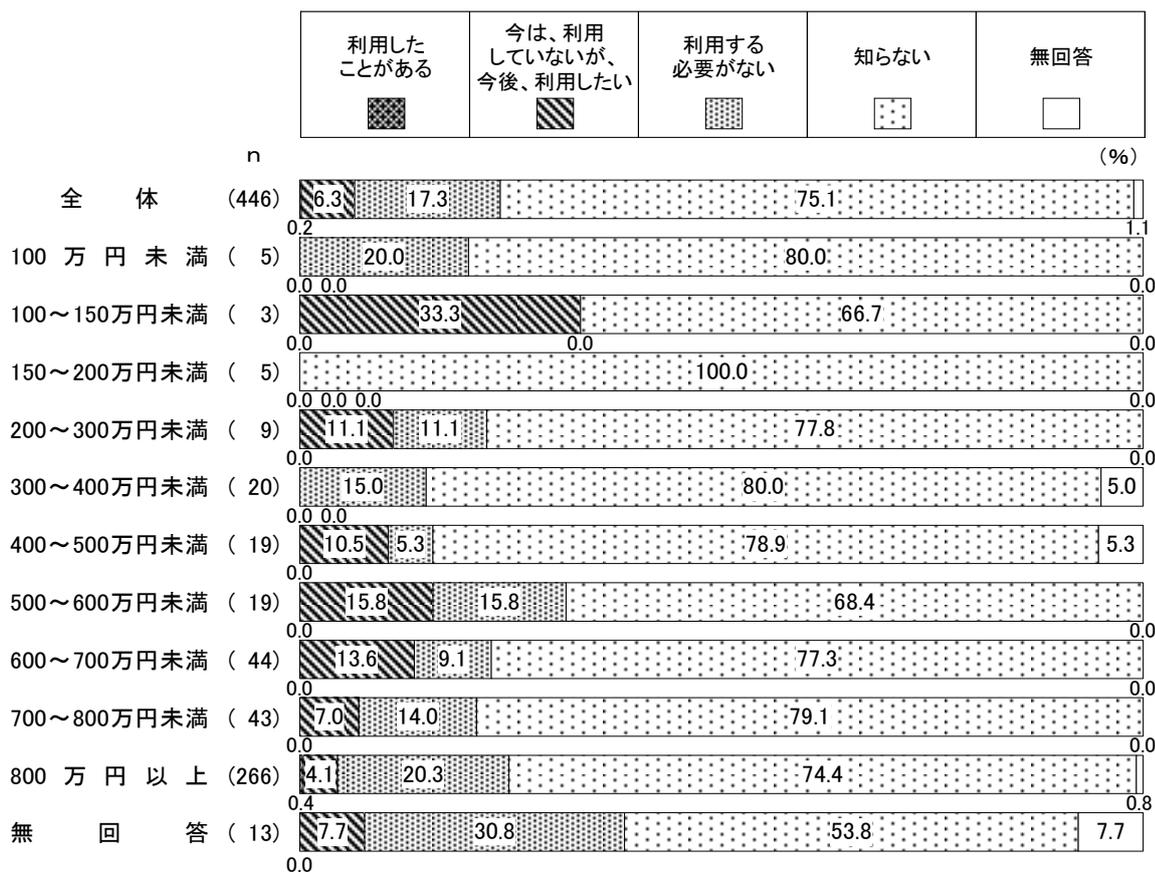


図4-4 (3) 暮らしのサポートステーションの利用状況(家族全員の収入合計額別)

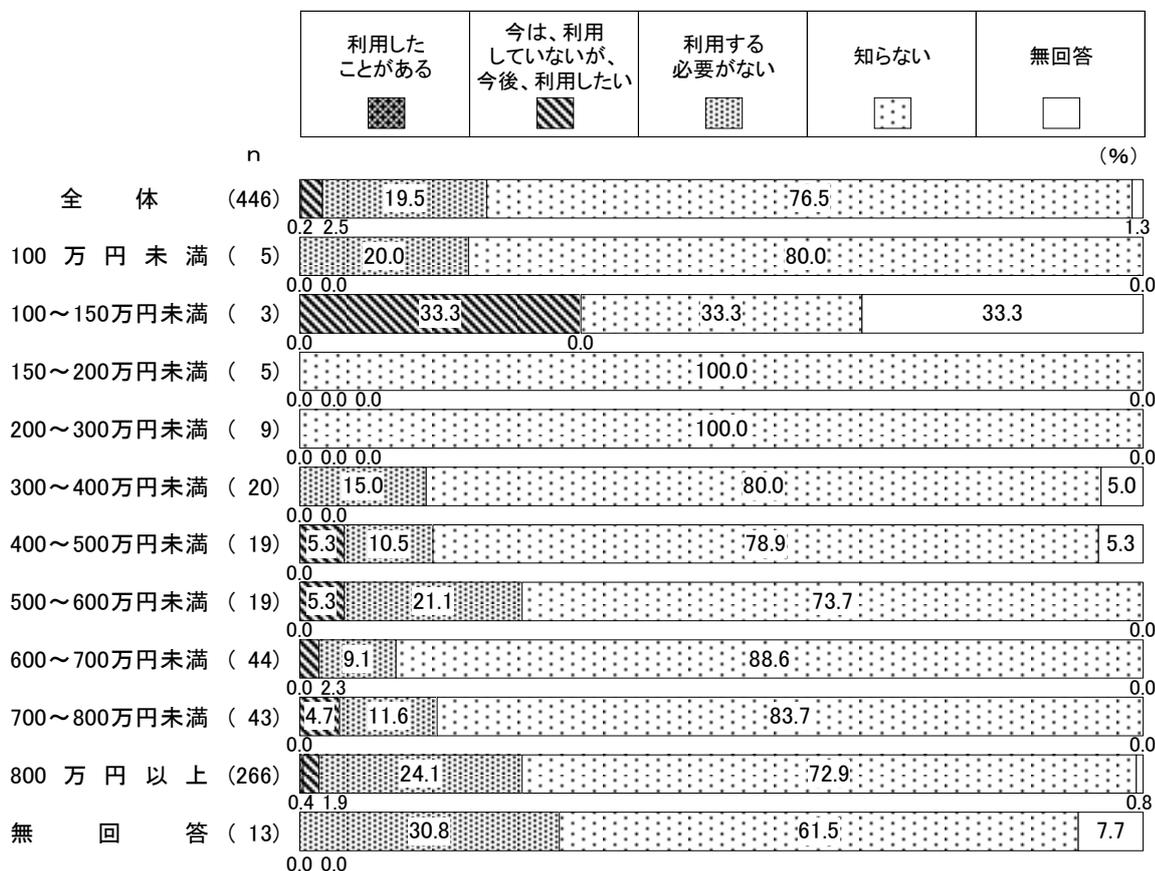


図 4-5 (4) NPO等が主催する子ども食堂の利用状況（家族全員の収入合計額別）

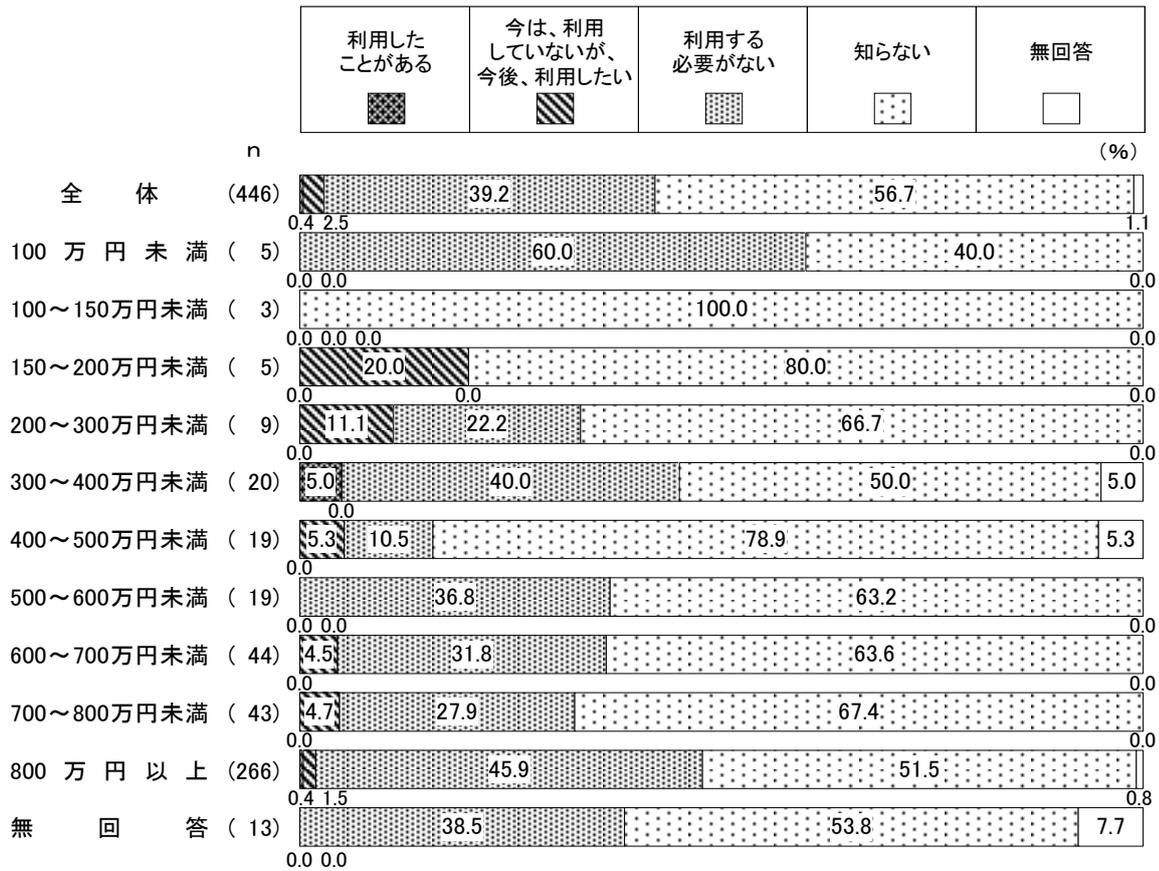
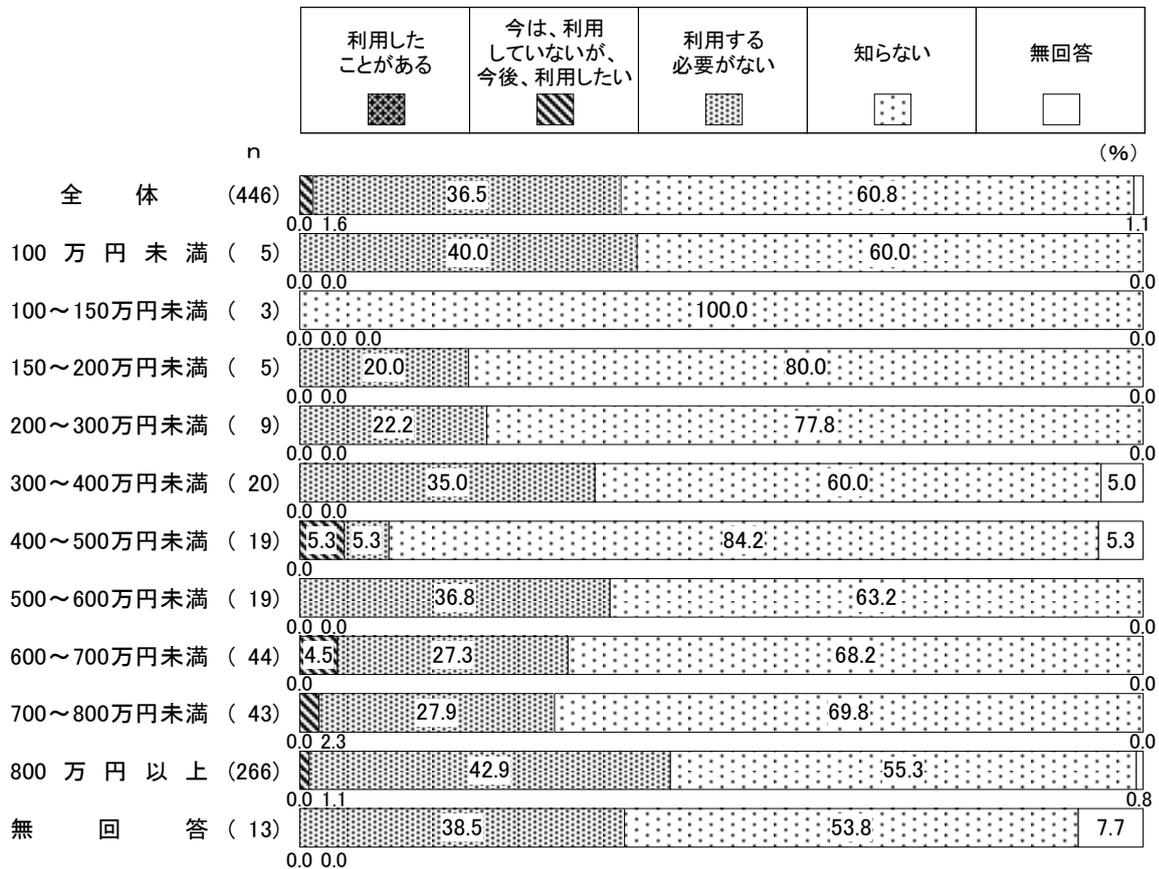


図 4-6 (5) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援の利用状況（家族全員の収入合計額別）

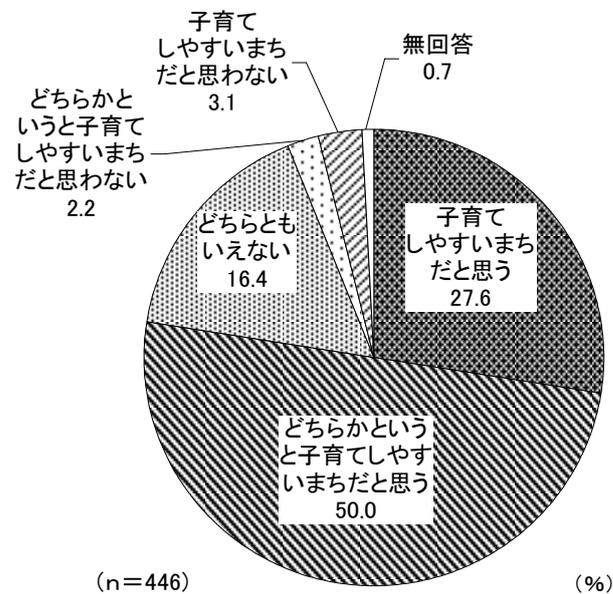


5 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図5-1

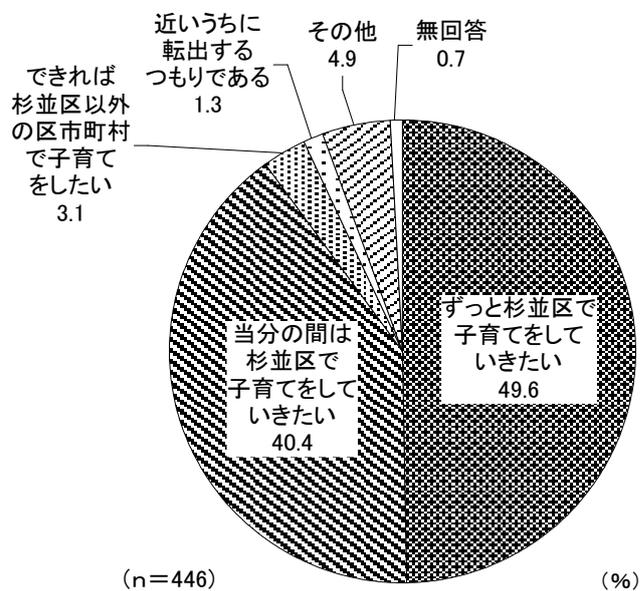


杉並区の子育てのしやすさは、「子育てしやすいまちだと思う」が27.6%、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」は50.0%となっており、子育てしやすいまちだと思う人は合わせて77.6%となっている。一方、「どちらかという子育てしやすいまちだと思わない」は2.2%、「子育てしやすいまちだと思わない」は3.1%となっている。(図5-1)

(2) 杉並区での子育ての継続意向

問14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図5-2



杉並区での子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が49.6%、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」は40.4%となっており、杉並区で子育てをしていきたい人は合わせて90.0%となっている。一方、「できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい」は3.1%、「近いうちに転出するつもりである」は1.3%となっている。(図5-2)

(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 15 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、177人から197件の回答が寄せられた。以下の分類項目で該当する意見を整理した。それぞれの分類項目ごとの主な意見を掲載する。

1 保育サービス・教育環境に関するご意見 (69件)

- ・ 中学校に講師の先生が多くいるようですが、教え方がわかりにくいとか、よく変わってしまうという声を聞きます。成績のつけ方も学校によって全然違うと聞くので、平等にとまではありませんが、同じ高校を受験する上で少し考えていただきたいです。
- ・ 中学校は制服を義務付けた方が良い。学校は学区域ではなく選べるように戻して欲しい。

2 子育て支援施策に関するご意見 (59件)

- ・ 学費の負担が大きいのので金銭的な面で支援があれば良いと思う。
- ・ 塾で使える優待券が欲しいです。私立学校へ通う奨学金制度が欲しいです。

3 子育て施設の整備に関するご意見 (47件)

- ・ ゆう杉並のような場所をもっと増やしてほしい。若いスタッフの方が子どもにとってお兄さんやお姉さんのような存在で、お手本になって良いと思う。基本的に小学生は入れないでほしい。見学に行った際にゲームをしている小学生が多く気になった。
- ・ 保育園のために公園をつぶす。子どものことを考えているとはとても思えません。自分の子どもは大きくなりましたが、これからの子どもたちがかわいそう。

4 安心・安全な子育て環境に関するご意見 (6件)

- ・ 自転車を利用しやすいインフラ整備。(現状は車・自転車・歩行者の全てに危険だと思う。)

5 個別に支援を必要とする子どもへの支援に関するご意見 (3件)

- ・ 特別支援クラスに入るまでもない発達障害(ADHD)の支援の強化をしてほしい。

6 親、子どもの保険医療体制の充実に関するご意見 (2件)

- ・ インフルエンザの予防接種の集団接種を再開してほしい。皆が接種しないとやはり広域に予防できず学校で流行してしまうように思います。

7 その他 (11件)

- ・ 中学生が参加できる国際交流の機会を増やして欲しいです。
- ・ 今後、成人式だけでなく集いの場(会)を増やして欲しい。私立中に通っているため、地域との密接な生活が薄くなっている。

第5章 調査票

杉並区子育て家庭実態調査

〔就学前児用〕

調査へのご協力をお願い

日頃より杉並区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
杉並区では、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう様々な子育て支援施策を実施しております。本調査は、平成27年3月に策定した「杉並区子ども・子育て支援事業計画」の見直しを主たる目的として、小学校入学前のお子さんへの、様々な子育てサービスの利用状況や今後の利用希望等に関する保護者の皆さまのご意見、並びに現在の生活実態や、区独自の子育て支援施策である子育て応援券の活用状況等を把握し、さらなる子育て支援施策の充実を図るために実施するものです。より正確な実態を把握するためにも、多くの皆さまからご回答いただくことが重要と考えています。

調査票は、区内にお住まいの小学校入学前のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の方にお送りしています（なお、別途小学生及び中学生のお子さんがある保護者の皆さまへも調査を行っています）。

またご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個々の内容やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成29年9月

杉並区長 田中良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の『施設』『事業』のあらましに、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。
- 6 設問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月5日(木)**までに

ご投函ください。（切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111（代表）
（内線1398）

はじめに封筒の宛名のお子さんをご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	---	----------------------	------

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	6 母方の祖父
2 父親	7 父方の祖母
3 兄・姉 → () 人	8 父方の祖父
4 弟・妹 → () 人	9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人
5 母方の祖母	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 阿佐谷北	7 梅里	13 上高井戸	19 下高井戸	25 成田東	31 本天沼
2 阿佐谷南	8 永福	14 久我山	20 松庵	26 西荻北	32 松ノ木
3 天沼	9 大宮	15 高円寺北	21 善福寺	27 西荻南	33 南荻窪
4 井草	10 荻窪	16 高円寺南	22 高井戸西	28 浜田山	34 宮前
5 和泉	11 上井草	17 清水	23 高井戸東	29 方南	35 桃井
6 今川	12 上荻	18 下井草	24 成田西	30 堀ノ内	36 和田

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問4-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 20代以下	2 30代	3 40代	4 50代	5 60代以上
---------	-------	-------	-------	---------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

問6 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。

前年、平成28年（2016年）のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※家族とは、問2でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

1 100万円未満	5 300～400万円未満	9 700～800万円未満
2 100～150万円未満	6 400～500万円未満	10 800万円以上
3 150～200万円未満	7 500～600万円未満	
4 200～300万円未満	8 600～700万円未満	

子育ての環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 父母ともに	3 主に父親	5 その他（ ）
2 主に母親	4 主に祖父母	

問8 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる	} ⇒ 問8-1へ
2 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる	
3 日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる	} ⇒ 問8-2へ
4 緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる	
5 いずれもない ⇒ 問9へ	

問8で、「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる
- 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6 その他 ()

問8で、「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる
- 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 6 その他 ()

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 子どもの健康や発育成長のこと | 11 養育費や教育費など経済的なこと |
| 2 子どもの栄養や生活習慣のこと | 12 仕事との両立が負担に感じる |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 13 家事や介護などとの両立が負担に感じる |
| 4 遊ばせ方や友達の | 14 地域や社会から孤立していると感じる |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 15 回答者自身や家族の健康に関する |
| 6 子どもの進学や将来のこと | 16 配偶者や親族などの人間関係の |
| 7 子育てを助けてくれる人がいない | 17 子どもの親同士の人間関係の |
| 8 相談できる人がいない、相談先が分からない | 18 その他 |
| 9 子育てに自信が持てない | () |
| 10 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる | 19 特に心配や悩みはない |

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 いる/ある ⇒問10-1へ | 2 いない/ない ⇒問11へ |
|-----------------|----------------|

問10で、「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1 配偶者 | 11 子どもセンターの職員 |
| 2 祖父母等の親族 | 12 子ども・子育てプラザの職員 |
| 3 友人・子育て仲間 | 13 子ども家庭支援センターの職員 |
| 4 職場の先輩・上司 | 14 かかりつけの医師 |
| 5 近所の人 | 15 地域の乳幼児の交流の場（つどいの広場など）の職員 |
| 6 保育園の先生 | 16 塾や習い事の先生 |
| 7 幼稚園の先生 | 17 区や東京都などの公的相談機関（電話相談・メール相談を含む） |
| 8 児童館・学童クラブの職員 | 18 民間の相談機関（電話相談・メール相談を含む） |
| 9 民生・児童委員 | 19 その他（ ） |
| 10 保健所・保健センターの職員 | |

問11 お子さんの子育てに関する区の情報、現在、どこから（誰から）得ていますか。以下の項目から情報を多く得ている順に、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1 家族・親族 | 7 区公式HP（すぎなみ子育てサイト含む） |
| 2 友人・知人 | 8 インターネット（「7」以外）やブログ・SNS
(Facebook、Twitter、LINE など) |
| 3 町会や民生・児童委員などの地域住民 | 9 その他（ ） |
| 4 保育園や幼稚園からのお便り | 10 特になし |
| 5 保健センターや区役所など行政の窓口 | |
| 6 広報すぎなみ | |

【回答欄】

1 番目	2 番目	3 番目

問12 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問 13 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ ○をつけてください。

就労状況	母 親	父 親
(1) フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2) フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である		
(3) パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
(4) パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である		
(5) 就労していないまたは求職中である	5	5

⇒問 13-1へ

⇒問 13-1、問 13-2へ

⇒問 13-3へ

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母 親	父 親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日
	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
働いている曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
	帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
	終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方に
うかがいます。

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

今後の希望	母 親	父 親
(1) フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
(2) フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
(3) パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
(4) パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方にう
かがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

問13-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する□内には数字
をご記入ください。

【母 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

【父 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの平日の保育園・幼稚園等の利用状況についてうかがいます

問14 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問14-1に示した施設・事業を、平日定期的に利用されていますか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

※ここでいう「定期的」とは、月単位で定期的に利用している場合をさします。

1 利用している ⇒問14-1、2、3、4へ 2 利用していない ⇒問14-5へ

問14で、「1 利用している」に〇をつけた方にうかがいます。

問14-1 宛名のお子さんは、平日どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに〇をつけてください。

「1」～「11」に〇をつけた方は、施設の名称もお書きください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

- | | | | |
|----|------------------------|-------------------|---|
| 1 | 認可保育園 | → (施設名 |) |
| 2 | 認証保育所 | → (施設名 |) |
| 3 | 杉並区保育室 | → (施設名 |) |
| 4 | グループ保育室 | → (施設名 |) |
| 5 | 小規模保育所 | → (施設名 |) |
| 6 | 定期利用保育 | → (施設名 |) |
| 7 | 幼稚園 | → (施設名 |) |
| 8 | 幼稚園の預かり保育 | → (施設名 |) |
| 9 | 区立子供園 | → (施設名 |) |
| 10 | 認定こども園 | → (施設名 |) |
| 11 | 家庭福祉員 (保育ママ) 、家庭福祉グループ | → (福祉員の氏名またはグループ名 |) |
| 12 | その他の認可外の保育施設 (ベビーホテル等) | | |
| 13 | 事業所内保育施設 | | |
| 14 | ベビーシッター | | |
| 15 | ファミリー・サポート・センター | | |
| 16 | その他 (| |) |

問14で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問14-2 問14-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□に数字（24時間制）でご記入ください。複数の施設・事業を利用または希望している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時~	<input type="text"/>	時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	時~	<input type="text"/>	時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---	----------------------	----	----------------------	----

問14で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問14-3 現在、利用している施設・事業の実施場所（町名）すべてに○をつけてください。

1 阿佐谷北	9 大宮	17 清水	25 成田東	33 南荻窪
2 阿佐谷南	10 荻窪	18 下井草	26 西荻北	34 宮前
3 天沼	11 上井草	19 下高井戸	27 西荻南	35 桃井
4 井草	12 上荻	20 松庵	28 浜田山	36 和田
5 和泉	13 上高井戸	21 善福寺	29 方南	37 杉並区以外
6 今川	14 久我山	22 高井戸西	30 堀ノ内	
7 梅里	15 高円寺北	23 高井戸東	31 本天沼	
8 永福	16 高円寺南	24 成田西	32 松ノ木	

問14で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問14-4 平日に定期的に施設・事業を利用されている理由についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 子どもの教育や発達のため
2 子育てをしている方が現在就労している
3 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5 子育てをしている方に病気や障害がある
6 子育てをしている方が学生である
7 その他 ()

⇒問15へお進みください

問14で、「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問14-5 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 母親または父親がみている
- 2 子どもの祖父母や親族の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、施設や事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる施設・事業がない
- 8 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
- 9 利用したいが、利用資格がない（就労していないなど）
- 10 子どもがまだ小さいため → (歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 11 その他 ()

すべての方にうかがいます。

問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、今後平日に、「定期的に」利用したいと考える施設・事業をお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 認可保育園 | 10 認定こども園 |
| 2 認証保育所 | 11 家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉グループ |
| 3 杉並区保育室 | 12 その他の認可外の保育施設（ベビーホテル等） |
| 4 グループ保育室 | 13 事業所内保育施設 |
| 5 小規模保育所 | 14 ベビーシッター |
| 6 定期利用保育 | 15 ファミリー・サポート・センター |
| 7 幼稚園 | 16 その他 () |
| 8 幼稚園の預かり保育 | 17 特にない ⇒問16へ |
| 9 区立子供園 | |

問15で、「1」～「16」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 利用したい施設・事業の場所についてうかがいます。希望の町名すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|--------|----------|
| 1 阿佐谷北 | 9 大宮 | 17 清水 | 25 成田東 | 33 南荻窪 |
| 2 阿佐谷南 | 10 荻窪 | 18 下井草 | 26 西荻北 | 34 宮前 |
| 3 天沼 | 11 上井草 | 19 下高井戸 | 27 西荻南 | 35 桃井 |
| 4 井草 | 12 上荻 | 20 松庵 | 28 浜田山 | 36 和田 |
| 5 和泉 | 13 上高井戸 | 21 善福寺 | 29 方南 | 37 杉並区以外 |
| 6 今川 | 14 久我山 | 22 高井戸西 | 30 堀ノ内 | |
| 7 梅里 | 15 高円寺北 | 23 高井戸東 | 31 本天沼 | |
| 8 永福 | 16 高円寺南 | 24 成田西 | 32 松ノ木 | |

宛名のお子さんが土曜・休日や長期休暇中に「定期的に」利用したい施設・事業等の希望についてうかがいます

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に利用したい施設・事業の希望はありますか（一時的な利用は除きます）。土曜日と日曜日・祝日それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を□に24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

(1) 土曜日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
--	-----	-------------------------

(2) 日曜日・祝日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
--	-----	-------------------------

問16の(1)または(2)で、「3 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 月に数回仕事が入るため	4 リフレッシュのため
2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5 その他
3 親族の介護や手伝いが必要なため	()

問14-1で、「幼稚園」「区立子供園」を利用されている方にうかがいます。

問17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の施設・事業の利用を希望しますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を□に24時間制でご記入ください。

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎日利用したい 3 週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □ 時から □ 時まで
---	-----	-------------------------

問17で、「3 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 週に数回仕事が入るため	4 リフレッシュのため
2 買い物等の用事をまとめて済ませるため	5 その他
3 親族の介護や手伝いが必要なため	()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
(平日の施設・保育を利用する方のみ)

平日に定期的に施設・事業を利用していると答えた保護者の方（問14で、「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問19へお進みください。

問18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 あった ⇒問18-1へ

2 なかった ⇒問19へ

問18で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、この1年間にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法	日数
1 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/> 日
2 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/> 日
3 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	<input type="text"/> 日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日
5 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> 日
6 ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
9 その他 ()	<input type="text"/> 日

⇒問18-2へ

問18-1で、「1」「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問18-2 子どもの病気やケガで父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った → 日 ⇒問19へ

2 利用したいとは思わなかった ⇒問18-3へ

問18-2で、「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問18-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病気の子を他人にみてもらうのは不安
- 2 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
- 3 利用料がかかる・高いから
- 4 親が仕事を休んで対応できるから
- 5 その他（ ）

宛名のお子さんの地域での親子の集りの利用状況についてうかがいます

問19 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらし」をご覧ください。

- 1 つどいの広場
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 2 児童館のゆうキッズ
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 3 子ども・子育てプラザ
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 4 きずなサロン
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 5 その他の親子の集まりの場（具体名： ）
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 6 利用していない

問20 問19のような乳幼児親子の集いの場について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1 利用していないが、今後利用したい
└─→ 1週当たり □ 回 もしくは 1か月当たり □ 回程度
- 2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
└─→ 1週当たり 更に □ 回 もしくは 1か月当たり 更に □ 回程度
- 3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問21 乳幼児親子の集まりを利用する際に、大事だと思う点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

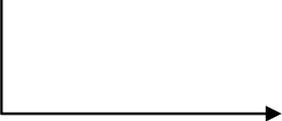
1 自宅に近い	7 保育士・保健師・助産師などによる 専門的な相談ができる
2 子どもを遊ばせるプログラムがある	8 気軽に育児の相談ができる
3 保護者が楽しめるプログラムがある	9 料金が安い
4 知り合いがいる	10 子育て応援券が使える
5 子育ての情報がたくさんある	11 その他 ()
6 利用者同士がゆっくり話したり過ごすことができる	

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます

問22 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

不定期に利用している預かり事業	日 数
1 保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり	□ □ 日
2 幼稚園・子供園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3 ファミリー・サポート・センター	□ □ 日
4 ベビーシッター	□ □ 日
5 その他 ()	□ □ 日
6 利用していない	

問23 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに〇をつけ、必要な日数をご記入ください（目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください）。

希 望	目 的	日 数
1 利用したい 	ア 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
	イ 冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等	<input type="text"/> 日
	ウ 定期的な通院や療育など	<input type="text"/> 日
	エ 不定期の就労	<input type="text"/> 日
	オ その他（ ）	<input type="text"/> 日
2 利用する必要はない		

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに〇をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

有 無	行 動	日 数
1 あった 	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊 
	イ ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
	ウ ベビーホテル（託児施設）、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ その他（ ）	<input type="text"/> 泊
2 なかった		

問24で、「ア 親族・知人にみてもらった」に〇をつけた方にうかがいます。

問24-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

1 非常に困難	2 どちらかという困難	3 特に困難ではない
---------	-------------	------------

公的・社会的サービスの利用状況についてうかがいます

問 25 宛名のお子さんについて、次の(1)～(9)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ○をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

	利用したことがある	今は、利用していないが、 今後、利用したい	利用する必要がない	知らない
(1) つどいの広場	1	2	3	4
(2) ゆうキッズ	1	2	3	4
(3) ひととき保育・一時預かり・一時保育	1	2	3	4
(4) すくすく広場	1	2	3	4
(5) プレーパーク	1	2	3	4
(6) 子ども・子育てプラザ	1	2	3	4
(7) きずなサロン	1	2	3	4
(8) NPO等が主催する子ども食堂	1	2	3	4
(9) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援	1	2	3	4

子育て応援券についてうかがいます

問26 平成27年8月の区の集計では、無償の子育て応援券の利用率が有償の応援券の利用率より少ない結果が出ています。そこで、無償の子育て応援券を受領された方にうかがいます。どの程度利用していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 全て利用している | 5 全く利用していない |
| 2 8割以上利用している | 6 無償の子育て応援券を受け取っていない |
| 3 半分以上は利用している | 7 無償の子育て応援券があることを知らない |
| 4 半分も利用していない | |

問26で、「2」～「5」に○をつけた方にうかがいます。

問26-1 無償の子育て応援券を全て利用していない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| 1 応援券の利用の仕方がわからない | 5 利用したかったが、利用条件に合わなかった |
| 2 利用したいサービスがない | 6 事業者に連絡したが断られた、または、応援券の取り扱いをやめていた |
| 3 利用したいサービスが少ない | 7 その他 () |
| 4 利用したいが、利用できる機会が少ない | |

すべての方にうかがいます。

問27 問26で示した集計では、出生時応援券の利用率が低い結果がでており、受領年齢等の見直しを検討しています。そこで、おうかがいします。子育て応援券をもっとも必要とする年齢はいつだと思えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1 出生児～0歳児 | 2 1歳児から2歳児 | 3 3歳児～5歳児 |
|-----------|------------|-----------|

問28 サービス提供をより充実したほうが良いと思うサービスはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1 妊娠期から利用できるサービス(マタニティヨガ、産前ケアサービスなど) | 9 家事援助 |
| 2 気軽に親子が立ち寄れる場のサービス | 10 子育て相談 |
| 3 産前・産後のからだを動かす講座 | 11 子育て講座 |
| 4 産前・産後の日常生活のお世話 | 12 特定施設での一時保育 |
| 5 出産・母乳育児相談 | 13 幼稚園での体験型保育 |
| 6 赤ちゃんとのスキンシップを促すサービス | 14 イベントなどの託児サービス |
| 7 親子で楽しむ交流事業(リズム、体操教室など) | 15 自宅での託児サービス |
| 8 親子で楽しむ地域イベント | 16 その他 () |

問29 集計によると、有償応援券の購入者は、年々減少する傾向がみられます。有償の子育て応援券は、必要だと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 必要だと思う ⇒問29-1へ 2 必要ない ⇒問30へ 3 どちらともいえない ⇒問30へ

問29で、「1 必要だと思う」に○をつけた方にうかがいます。

問29-1 有償応援券は、平成22年の導入以来、自己負担額は3,000円を継続しており、今後、自己負担額の引上げを含めた見直しを検討しています。そこで、おうかがいします。有償の子育て応援券（10,000円相当）を購入する場合の自己負担額はいくらまでなら購入しようと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 3,000円まで 2 4,000円まで 3 5,000円まで 4 7,000円まで 5 購入しない

宛名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

宛名のお子さんが5歳未満の方は、問31へ進んでください。

問30 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後からおおむね18時頃まで）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれで希望する「放課後の過ごし方」にすべて○をつけるとともに、週当たり日数をそれぞれご記入ください。（合計が5日になるようにご記入ください。）

また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

(1) 小学校1・2年生時

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4 児童館（学童クラブを除く）、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
5 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
6 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8 その他（公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

(2) 小学校3・4年生時

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4 児童館 (学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
5 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
6 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8 その他 (公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

(3) 小学校5・6年生時

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4 児童館 (学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
5 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
6 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8 その他 (公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

問30の(1)(2)(3)のいずれかで、「5 学童クラブ」に○をつけた方にかがいます。

問30-1 宛名のお子さんについて、土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1 1・2年生の間は利用したい 2 3・4年生の間も利用したい 3 5・6年生になっても利用したい 4 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
--	-----	---

(2) 夏休みや冬休みなどの長期休暇中

1 1・2年生の間は利用したい 2 3・4年生の間も利用したい 3 5・6年生になっても利用したい 4 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
--	-----	---

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度などの利用についてうかがいます

問31 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。

母 親	父 親
1 働いていなかった	1 働いていなかった
2 取得した(取得中である)	2 取得した(取得中である)
3 取得していない	3 取得していない

問31の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「3 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問31-1 取得しなかった理由は何ですか。当てはまる理由を「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

理 由	母 親	父 親
(1) 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
(2) 仕事が忙しかった	2	2
(3) (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
(4) 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
(5) 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
(6) 収入減となり、経済的に不安があった	6	6
(7) 保育所(園)などに預けることができた	7	7
(8) 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
(9) 制度を利用する必要がなかった	9	9
(10) 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10	10
(11) 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	11	11
(12) その他()	12	12

問31の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「2 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。「母親」「父親」の当てはまる欄1つに○をつけてください。

	母 親	父 親	
(1) 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1	⇒ 問31-3へ
(2) 現在も育児休業中である	2	2	⇒ 問31-9へ
(3) 育児休業中に退職した	3	3	⇒ 問32へ

問31-2の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問31-3 育児休業から職場に復帰したのは、いつでしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、育児休業を切り上げて一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

	母 親	父 親
(1) 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
(2) それ以外だった	2	2

問31-2の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方がいます。

問 31-4 育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

	母 親		父 親	
(1) 実際の育児休業取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月
(2) 希望の育児休業期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月

問31-4の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「実際の復帰と希望が異なる方」にうかがいます。

問 31-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。「母親」「父親」の当てはまる理由 すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

	母 親	父 親
(1) 希望する保育園に入るため	1	1
(2) 配偶者や家族の希望があったため	2	2
(3) 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
(4) 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
(5) その他 ()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方

	母 親	父 親
(1) 希望する保育園に入れなかったため	1	1
(2) 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった	2	2
(3) 配偶者や家族の希望があったため	3	3
(4) 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
(5) 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
(6) その他 ()	6	6

問31-2の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方がいます。

問 31-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

母 親		父 親	
<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> か月

問31-2の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方がいます。

問31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。「母親」「父親」それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

	母親	父親
(1) 短時間勤務制度を利用した	1	1
(2) 短時間勤務制度を利用しなかった	2	2

⇒ 問31-8へ

問31-7の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方がいます。

問31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。「母親」「父親」それぞれの欄の当てはまるものすべてに○をつけてください。

	母親	父親
(1) 職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった	1	1
(2) 仕事が忙しかった	2	2
(3) 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に不安があった	3	3
(4) 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4	4
(5) 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
(6) 配偶者が無職、祖父母の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった	6	6
(7) 職場に短時間制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	7	7
(8) 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8	8
(9) その他()	9	9

問31-2の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「現在も育児休業中である」に○をつけた方がいます。

問31-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる施設・事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。「母親」「父親」それぞれに当てはまるもの1つに○をつけてください。

	母親	父親
(1) 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
(2) 1歳になる前に復帰したい	2	2

杉並区の子育てについてうかがいます

問32 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問33 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問34 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、**10月5日(木)まで**にご投函ください。

子育て家庭実態調査票に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子育て家庭実態調査」の調査票に書かれている施設・事業の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・時間や料金等は平成29年4月現在の数字です。
- ・料金については一部の事業を除き、補助や免除の制度があります。制度の利用には一定の条件があります。
- ・年齢は、該当年度の4月1日時点の年齢です。

【索引】

読み	施設・事業	No.	読み	施設・事業	No.
い	一時保育	12	そ	その他の認可外保育施設（ベビーホテルなど）	9
	一時預かり事業	14	つ	つどいの広場	34
か	学童クラブ	23	て	定期利用保育事業	8
	家庭福祉員（保育ママ）、家庭福祉員グループ	5	に	認可保育園（認可保育所）	1
き	きずなサロン	35		認証保育所	2
	区立子供園	21		認定こども園	20
く	グループ保育室	4	ひ	ひととき保育	13
	校庭開放（小学校）	25	ふ	ファミリーサポートセンター	11
こ	子ども家庭支援センター	28		プレーパーク	17
	子ども・子育てプラザ	31		フードバンク	33
	子ども食堂	32	へ	ベビーシッター	10
	子どもセンター	30	ほ	保健所・保健センター	29
し	事業所内保育事業所	7		放課後子ども教室	26
	児童館	24		放課後等居場所事業	27
	小規模保育事業所	6	ゆ	ゆうキッズ	15
	ショートステイ	16	よ	幼稚園	18
す	杉並区保育室	3		幼稚園の預かり保育	19
	すくすくひろば	22			

【保育施設・保育事業等】

保育施設とは、保護者が仕事や病気などで子どもの保育ができない、0歳から小学校就学前までのお子さんが対象です。施設によってお預かりできる年齢が違います。それぞれの施設のあらまきは以下の通りです。記載されている保育料金は1か月あたりの料金です。

No.	施設・事業	内容	対象	利用時間帯等	保育料・利用料
1	認可保育園 （認可保育所）	国の基準を満たした保育所のことで、区立と私立があります。	0歳児から預かる園、1歳児から預かる園、また0～2歳を預かる園などがあります。	区立は7時30分～18時30分で、理由に応じて19時30分まで延長できます。私立はそれぞれの施設により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
2	認証保育所	都の基準を満たした保育施設で、すべての園で0歳児から預けることができます。また、13時間以上（例：7時30分～20時30分）開所しています。	0歳から小学校入学前まで預かる園と、0歳から2歳まで預かる園があります。	施設により異なります。	施設により異なります。
3	杉並区保育室	杉並区が独自に整備した保育施設で、定員が15～70人程度の施設です。	施設によりお預かりするお子さんの年齢が限られています。	7時30分～18時30分	7,000円～54,000円の範囲で、子の年齢、保育時間、親の収入などにより異なります。
4	グループ保育室	保育士・教員などの資格を有する区民のグループに委託している、区独自の保育室です。	0歳～3歳未満	7時30分～18時30分	45,000円～54,000円の範囲で、保育時間により異なります。
5	家庭福祉員 （保育ママ）、 家庭福祉員グループ	一定の資格を持ち、区長の認定を受けた家庭福祉員が、自宅等で家庭的に保育します。一人の福祉員さんが3～5人預かります。また、複数の福祉員さんがグループで6～9人預かることもあります。	0歳～3歳未満	原則として、8時30分～17時	月～金曜日で21,000円です。
6	小規模保育事業所	杉並区の基準を満たした施設で、6～19人の定員で保育をする施設です。	0歳～2歳	施設により異なります。	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。

No.	施設・事業	内容	対象	利用時間帯等	保育料・利用料
7	事業所内保育事業所	自社の従業員の子どもを保育するとともに、地域の保育が必要な子どもを保育する施設です。	0歳～2歳	7時30分～18時30分	0円～68,500円の範囲で、子どもの年齢、親の収入などにより異なります。
8	定期利用保育事業	定期利用保育事業とは、お子さんの一時預かりを1月単位で継続的に行う事業です。区直営、委託型施設、認可保育所（私立園）等でおこなっています。	0歳～2歳まで（施設により異なります。）	施設により異なります。	利用時間により異なります。
9	その他の認可外保育施設（ベビーホテルなど）	民間の事業者が独自に設置する保育施設で、保育時間や利用料や対象者などはそれぞれの施設で異なります。			
10	ベビーシッター	民間の事業所が、保育者を子どもの自宅に派遣して預かる事業。対象者や利用料は事業者によりさまざまです。			
11	ファミリーサポートセンター	区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協会員）が子どもの一時預かりや送迎などを行います。事前に登録が必要です。	おおむね10歳まで	6時～22時	9時～20時までは、1時間800円 6時～9時と20時～22時は1000円
12	一時保育	区の子育てサポートセンターや一部の認可保育所（私立園）でおこなっている、一時的にお子さんを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、子育てサポートセンターでは1時間単位で預かります。予約が必要です。			子育てサポートセンターの利用料は1時間500円。給食200円。それ以外は施設により料金が異なります。
13	ひととき保育	地域のNPOや民間事業者が一時的にお子さんを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、1時間単位で預かります。			1時間800円（一部600円）。食費が別途かかる場合があります。
14	一時預かり事業	区立子ども・子育てプラザ内でおこなっている、一時的にお子さんを預かる事業です。保護者の私用など理由を問わず、1時間単位で預かります。		月～金曜日 9時～17時、 土曜日 9時～16時（但し施設の休館日を除く）	1時間800円（食事が必要な場合は、利用者が用意します。）
15	ゆうキッズ	区立の児童館でおこなっている、乳幼児親子の集りの場です。			無料です（材料費等がかかる場合があります）
16	ショートステイ	保護者が病気、出産などで一時的にお子さんを養育できない時に、区内の施設で宿泊してお子さんをお預かりする事業です。	0歳～12歳まで		2歳未満は1泊2日5,000円（1日増えるごとに2,500円） 2歳以上は1泊2日4,300円（1日増えるごとに2,150円）
17	プレーパーク	既存の公園施設とは異なり、子どもたちが自分の責任で自由に遊べる場のことと、丸太や廃材、ロープなどを利用した手作りの遊具が置かれていたり、火遊びや木工作等を行うことができます。また、実施にあたっては、子どもたちの見守りや自由な発想を引き出すために、プレーリーダーと呼ばれる専門スタッフを配置しています。			

【幼稚園・認定こども園・区立子供園】

満3歳から小学校就学前までのお子さんを対象に、幼児教育を行う施設です。（施設によって対象年齢が異なります。）

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	保育料・利用料
18	幼稚園	小学校就学前の教育施設です。区内には私立幼稚園が39園あります。定員や保育料等は園により異なります。		保育料等は園により異なります。
19	幼稚園の預かり保育	幼稚園が、在園児を対象に、通常の教育時間の前後や夏休み等の長期休暇中に、お子さんを一時的に預かり保育する事業です。実施の有無や利用時間、利用料等は園によって異なります。	利用時間は園によって異なります。	利用料は園によって異なります。
20	認定こども園	東京都から認定こども園として認定を受け、小学校就学前の幼児を対象に教育と保育を一体的に行う施設です。		利用料等は施設により異なります。
21	区立子供園	保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育と保育を一体的におこなう杉並区独自の幼保一体化施設です。従来の区立幼稚園を発展的に転換し、現在区内に6園あります。また、在園児を対象に一時保育を行っています。	短時間保育9時～14時。長時間保育7時30分～18時30分。	保育料は保護者の所得に応じた応能負担による金額となります。一時保育は1時間当たり500円
22	すくすくひろば	公園などの公共施設内に乳幼児専用の遊び場として、設けられているものです。		

【小学生のお子さんが放課後利用できる施設、事業】

（料金の記載のない事業は原則無料ですが、保険料・材料費等がかかる場合があります）

No.	施設・事業	内容	対象	利用時間帯・保育料・利用料
23	学童クラブ	保護者が就労で昼間留守等になるお子さんの、放課後の生活の場です。区立学童クラブは区内に49か所あり、子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心にした運営を行っています。	小学1年生～6年生まで	平日（月～金曜日）放課後（学校休業日は8時30分）～18時（延長利用は18時30分まで） 土曜日 8時30分～17時 *利用料 月額4,000円 おやつ代 月額1,800円
24	児童館	0歳から18歳未満の子どもが、いつでも気軽に遊ぶことができる児童福祉施設です。子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、遊びや自主活動などを支援しています。区内に40の児童館があります。	0歳～18歳未満	平日（月～金曜日） 10時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時（児童館により開館日や利用時間が異なる場合があります。）
25	校庭開放（小学校）	小学校の校庭を、水曜日の午後、土曜日、日曜日、祝日、学校休業日に、子どもの遊び場として開放しています。（小学校により開放日が異なる場合があります。）		
26	放課後子ども教室	放課後の学校で、子どもたちが地域の中でさまざまなことに挑戦・体験できるよう、保護者や地域の方々を中心となって、学習・スポーツや体験・交流活動の機会を提供しています。平成25年度は11校が実施しています。		
27	放課後等居場所事業	小学校施設を活用した小学生の放課後等の居場所づくりを行う事業です。保護者や地域住民の参画を得ながら、遊びや学習、スポーツ、文化・創作活動、交流活動などの取組を行います。現在、1校で実施し、今後、実施小学校を拡大していく予定です。		月～金曜日 放課後（学校休業日は午前10時）～18時 土曜日 9時～17時

【その他、子育てに関する相談事業等】

No.	施設・事業	内容	利用時間帯	休業日
28	子ども家庭支援センター	子どもと家庭を応援するために、「子どもと家庭の相談」、「子育て支援サービス」、「児童虐待への対応」、「ひとり親家庭への支援サービス」など、いろいろな事業を行っています。	8時30分～ 19時	日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
29	保健所・保健センター	妊婦や乳幼児、家族の身体や心の相談を専門職が訪問や来所、電話等でお受けするとともに、ゆりかご面接（妊娠届出時に母子健康手帳を交付するほか助産師・保健師等が面接）や母親学級・パパママ学級、赤ちゃん訪問、乳幼児健診等、母子保健に関するいろいろな事業を行っています。	8時30分～ 17時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
30	子どもセンター	区内に5か所ある保健センター内に設置されており、保育の入園相談や子育て支援サービスの利用相談・情報提供を行う「身近な地域の子育て拠点」です。各家庭のニーズに応じて「どのようなサービスがあるか」「どう利用すればよいか」等、きめ細やかにサポートします。	8時30分～ 17時	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
31	子ども・子育てプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に利用することができる施設です。親子で遊んだり、くつろいだりすることができます。子育てに関する講座やイベントなどの実施、子育て支援サービスの利用相談、一時預かり事業なども行っています。	平日（月～金曜日）9時～18時 土曜日・日曜日 9時～17時	毎月第1日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）

【その他、民間団体の支援等】

No.	施設・事業	内容
32	子ども食堂	現在、全国で展開されている子ども食堂は、貧困家庭の子どもへの対策としてスタートをしましたが、最近では核家族化が進み、地域での関係性の希薄化により、子どもだけでなく高齢者も孤食を強いられている現状を何とかしたいとの思いから、地域の団体や個人が取り組んでいます。区内では、9カ所でそれぞれ月に1・2回実施されています。どの子ども食堂も、利用者の負担は子どもが0～300円、大人が0円～500円という低料金になっています。子ども食堂は、その思いに共感した人の定期的な寄付やコメや野菜などの提供と、ボランティアスタッフの協力によって運営されています。
33	フードバンク	フードバンクとは、「食料銀行」を意味する社会福祉活動です。まだ食べられるのにさまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のことを言います。
34	つどいの広場	NPO法人等が運営する乳幼児親子が集り交流する場で、区内に4か所（八成、上荻、馬橋、宮前）があります。利用料は1回100円です。
35	きずなサロン	社会福祉協議会に登録して、地域の方々の交流のために自宅や施設などの場を提供する事業です。利用料は1回100～200円程度です。

杉並区子育て家庭実態調査

[小学生用]

調査へのご協力をお願い

日頃より杉並区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

杉並区では、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう様々な子育て支援施策を実施しております。本調査は、平成27年3月に策定した「杉並区子ども・子育て支援事業計画」の見直しを主たる目的として、小学生のお子さんへの、様々な子育てサービスの利用状況や今後の利用希望等に関する保護者の皆さまのご意見、並びに現在の生活実態等を把握し、さらなる子育て支援施策の充実を図るために実施するものです。より正確な実態を把握するためにも、多くの皆さまからご回答いただくことが重要と考えています。

調査票は、区内にお住まいの小学生のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の方にお送りしています（なお、別途就学前及び中学生のお子さんのいる保護者の皆様へも調査を行っています）。

また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個々の内容やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成29年9月

杉並区長 田 中 良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、()内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の「『施設』『事業』のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。
- 6 設問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月5日(木)**までに

ご投函ください。（切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111（代表）
（内線1398）

はじめに、封筒宛名のお子さんご家族についておうかがいします

問1 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

小学	<input type="text"/>	年生
----	----------------------	----

問2 宛名のお子さんご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	6 母方の祖父
2 父親	7 父方の祖母
3 兄・姉 → () 人	8 父方の祖父
4 弟・妹 → () 人	9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人
5 母方の祖母	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 阿佐谷北	7 梅里	13 上高井戸	19 下高井戸	25 成田東	31 本天沼
2 阿佐谷南	8 永福	14 久我山	20 松庵	26 西荻北	32 松ノ木
3 天沼	9 大宮	15 高円寺北	21 善福寺	27 西荻南	33 南荻窪
4 井草	10 荻窪	16 高円寺南	22 高井戸西	28 浜田山	34 宮前
5 和泉	11 上井草	17 清水	23 高井戸東	29 方南	35 桃井
6 今川	12 上荻	18 下井草	24 成田西	30 堀ノ内	36 和田

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問4-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 20代以下	2 30代	3 40代	4 50代	5 60代以上
---------	-------	-------	-------	---------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

問6 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。

前年、平成28年（2016年）のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※家族とは、問2でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

1 100万円未満	5 300～400万円未満	9 700～800万円未満
2 100～150万円未満	6 400～500万円未満	10 800万円以上
3 150～200万円未満	7 500～600万円未満	
4 200～300万円未満	8 600～700万円未満	

子育ての環境についておうかがいします

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問8 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1 日常的に、祖父母等の親族に預かってもらえる | } ⇒ 問8-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる | |
| 3 日常的に、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問8-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には、子どもを預かってもらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない ⇒ 問9へ | |

問8で、「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他 () |

問8で、「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 心配することなく、安心して子どもを預かってもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 子どもの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他 () |

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 子どもの健康や成長のこと | 11 子育てに自信が持てないこと |
| 2 子どもの食事や生活習慣のこと | 12 養育費や教育費など経済的なこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 13 仕事との両立が負担に感じる |
| 4 子どものいじめや友達関係のこと | 14 家事や介護などとの両立が負担に感じる |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 15 地域や社会から孤立していると感じる |
| 6 子どもの勉強や進学のこと | 16 回答者自身や家族の健康に関する |
| 7 子どもの性格や癖に関する | 17 相談できる人がいない、相談先がわからない |
| 8 子どもの性に関する | 18 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる |
| 9 子どもの暴力や非行のこと | 19 その他 () |
| 10 子どもが学校に行くのを嫌がる | 20 特に心配や悩みはない |

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 いる／ある ⇒問10-1へ | 2 いない／ない ⇒問11へ |
|-----------------|----------------|

問10で、「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1 配偶者 | 12 民生・児童委員 |
| 2 祖父母等の親族 | 13 保健所・保健センターの職員 |
| 3 友人・子育て仲間 | 14 子どもセンターの職員 |
| 4 職場の先輩・上司 | 15 子ども・子育てプラザの職員 |
| 5 近所の人 | 16 子ども家庭支援センターの職員 |
| 6 学校の先生 | 17 かかりつけの医師 |
| 7 スクールカウンセラー | 18 地域の乳幼児の交流の場(つどいの広場など)の職員 |
| 8 スクールソーシャル
ワーカー | 19 塾や習い事の先生 |
| 9 保育園の先生 | 20 区や東京都などの公的相談機関(電話相談・メール相談を含む) |
| 10 幼稚園の先生 | 21 民間の相談機関(電話相談・メール相談を含む) |
| 11 児童館・学童クラブの職員 | 22 その他 () |

問11 お子さんの子育てに関する区の情報、現在、どこから（誰から）得ていますか。以下の項目から情報を多く得ている順に、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1 家族・親族 | 7 区公式HP（すぎなみ子育てサイト含む） |
| 2 友人・知人 | 8 インターネット（「7」以外）やブログ・SNS
（Facebook、Twitter、LINE など） |
| 3 町会や民生・児童委員などの地域住民 | 9 その他（ ） |
| 4 学校からのお便り | 10 特にな |
| 5 保健センターや区役所など行政の窓口 | |
| 6 広報すぎなみ | |

【回答欄】

1 番目	2 番目	3 番目

問12 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

保護者の就労状況についておうかがいします

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問 13 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である		
(3)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
(4)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である		
(5)就労していないまたは求職中である	5	5

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
働いている曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

今後の希望	母 親	父 親
(1) フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
(2) フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
(3) パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
(4) パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問13の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

問13-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

【母 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

【父 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり 日 1日当たり 時間

公的・社会的サービスの利用状況についてうかがいます

問 14 宛名のお子さんについて、次の(1)～(9)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ〇をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

	利用したことがある	今は、利用していないが、今後、利用したい	利用する必要がない	知らない
(1) 児童館（学童クラブを除く）・放課後等居場所事業	1	2	3	4
(2) 学童クラブ	1	2	3	4
(3) プレーパーク	1	2	3	4
(4) 小学校校庭開放、放課後子ども教室	1	2	3	4
(5) 学校等が実施する補習授業	1	2	3	4
(6) 杉並中3勉強会&アドバンス	1	2	3	4
(7) 暮らしのサポートステーション	1	2	3	4
(8) NPO等が主催する子ども食堂	1	2	3	4
(9) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援	1	2	3	4

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問15 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。
 当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりの日数を□内にご記入ください。
 （合計が5日になるようにご記入ください。）

また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

【現 在】

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他（公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

宛名のお子さんが小学校1年～4年生の保護者の方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。

問16 宛名のお子さんが今後進級して、「小学校2年生」、「小学校3・4年生」、「小学校5・6年生」のとき、放課後（平日の小学校終業後）の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。当てはまる過ごし方にすべて〇をつけるとともに、週当たりの日数を□内にご記入ください。

（合計が5日になるようにご記入ください。）

また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（24時間制）もご記入ください。

*宛名のお子さんが現在「小学校1年生」の方は、(1)～(3)のすべてに、「小学校2年生」の方は、「(2) 小学校3・4年生」、「(3) 小学校5・6年生」の両方をご記入ください。

*宛名のお子さんが現在「小学校3・4年生」の方は、「(3) 小学校5・6年生」のみをご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

(1) 小学校2年生

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅で家族と過ごす (家族とのお出掛けを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他 (公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

(2) 小学校3・4年生

放課後の過ごし方	週あたり日数 (合計5日間)
1 自宅で家族と過ごす (家族とのお出掛けを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他 (公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

(3) 小学校5・6年生

放課後の過ごし方	週あたり日数 (合計5日間)
1 自宅で家族と過ごす (家族とのお出掛けを含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館(学童クラブを除く)、放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
6 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
7 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
8 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
9 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
10 その他 (公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい

問15または問16で、「6 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください

問17 宛名のお子さんについて、土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の、学童クラブの利用希望はありますか。土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。また利用したい日数を、□内にご記入ください。

(1) 土曜日

1	1・2年生の間は利用したい	}	⇒	月	<input type="text"/>	日程度
2	3・4年生の間も利用したい					
3	5・6年生の間も利用したい					
4	利用する必要はない					

(2) 夏休みや冬休みなどの長期の休暇期間

1	1・2年生の間は利用したい	}	⇒	月	<input type="text"/>	日程度
2	3・4年生の間も利用したい					
3	5・6年生の間も利用したい					
4	利用する必要はない					

問15または問16で、「6 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。該当しない方は、問19へお進みください

問18 学童クラブを利用していない（利用しない）理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1	学童クラブの要件に該当しないから（要件については「『施設』『事業』のあらまし」参照）
2	学童クラブの要件に該当するが、学童クラブのサービス内容に不満があるから
3	学童クラブの要件に該当するが、子供が学童クラブに行きたがらないから
4	学童クラブの要件に該当するが、民間の学童クラブや他のサービスを利用しているから
5	学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから
6	その他（ <input type="text"/> ）

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についておうかがいします

問19 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。ある場合は、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

有 無	行 動	日 数
1 あった →	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 日
	イ ファミリーサポートセンターを利用した	<input type="text"/> 日
	ウ ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 日
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
	カ その他 ()	<input type="text"/> 日
2 なかった		

問20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間にとった行動として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

有 無	行 動	日 数
1 あった →	ア 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
	イ ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
	ウ ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
	エ やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
	オ やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
	カ その他 ()	<input type="text"/> 泊
2 なかった		

⇒問20-1へ

問20で、「ア 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 非常に困難

2 どちらかという困難

3 特に困難ではない

杉並区の子育てについておうかがいします

問21 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問22 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問23 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、10月5日(木)までにご投函ください。

子育て家庭実態調査票に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子育て家庭実態調査」の調査票に書かれている施設・事業等の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・時間や料金等は平成29年4月現在の数字です。
- ・料金について記載のないものは原則無料ですが、保険料や材料費等がかかる場合があります。

読み	施設・事業	No.	読み	施設・事業	No.
か	学童クラブ	3	す	杉並中3勉強会&アドバンス	16
く	くらしのサポートステーション	19		スクールカウンセラー	14
こ	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	4		スクールソーシャルワーカー	15
	子ども家庭支援センター	11	ふ	ファミリーサポートセンター	7
	子ども・子育てプラザ	10		プレーパーク	13
	子ども食堂	17		フードバンク	18
	子どもセンター	12	ほ	放課後子ども教室	5
し	児童館	1		放課後等居場所事業	6
	児童青少年センター（ゆう杉並）	2		放課後等デイサービス	9
	ショートステイ	8			

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	備考
1	児童館	0歳から18歳未満の子どもが、いつでも気軽に遊ぶことができる児童福祉施設です。子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、遊びや自主活動などを支援しています。区内に40の児童館があります。	・平日（月～金曜日） 10時～18時 ・土曜日・日曜日 9時～17時	*児童館により開館日や利用時間が異なる場合があります
2	児童青少年センター（ゆう杉並）	中学生・高校生のための大型の児童館です。広い体育室や完全防音のスタジオなどを備えています。中学生・高校生が施設運営に参画する「中・高校生運営委員会」の設置や自主企画事業の支援なども行っています。	・火～土曜日 9時～21時 ・日曜日・祝日 9時～17時	
3	学童クラブ	保護者が就労で昼間留守等になるお子さんの、放課後の生活の場です。区立学童クラブは区内に49か所あり、子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心にした運営を行っています。 *対象：小学1～6年生 *入会要件：保護者の就労が、週3日以上・1日4時間以上あること、またはそれに準じる疾病・介護等の理由があること。	・平日（月～金曜日） 放課後（学校休業日は8時30分）～18時 （延長利用は18時30分まで） ・土曜日 8時30分から17時	*利用料：月額4,000円 おやつ代：月額1,800円
4	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	小学校の校庭を、水曜日の午後、土曜日・日曜日、祝日、学校休業日に、子どもの遊び場として開放しています。（小学校により実施日等が異なる場合があります。）		
5	放課後子ども教室	放課後の小学校で、子どもたちが地域の中で広くさまざまなことに挑戦・体験できるよう、保護者や地域の方々を中心となって、学習や遊び、スポーツの機会等を提供しています。（実施していない小学校もあります。）		*平成25年度実施小学校数 11校
6	放課後等居場所事業	小学校施設を活用した小学生の放課後等の居場所づくりを行う事業です。保護者や地域住民の参画を得ながら、遊びや学習、スポーツ、文化・創作活動、交流活動などの取組を行います。現在、1校で実施し、今後、実施小学校を拡大していく予定です。	・平日（月～金曜日） 放課後（学校休業日は10時）～18時 ・土曜日 9時～17時	
7	ファミリーサポートセンター	区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協会員）が子どもの一時預かりや送迎などを行います。おおむね10歳までのお子さんが利用できます。		*利用料：9時～20時まで、1時間800円 6時～9時と20時～22時は1時間1,000円
8	ショートステイ	保護者が、病気、出産などで一時的に子どもを養育できない時に、区内の施設で宿泊してお子さんを預かる事業です。*対象：0歳から12歳までの子ども		*利用料：2歳以上4,300円（1泊2日料金、1日増えるごとに2,150円）

No.	施設・事業	内容	利用時間帯	備考
9	放課後等デイサービス	学校通学中の障害があるお子さんを対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、自立の促進とともに、放課後等の居場所づくりを行います。 *対象：学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害のある子ども		*利用料：世帯の所得に応じた負担があります。
10	子ども・子育てプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に利用することができる施設です。親子で遊んだり、くつろいだりすることができます。子育てに関する講座やイベントなどの実施、子育て支援サービスの利用相談、一時預かり事業なども行っています。	・月～金曜日 9時～18時、土曜日・日曜日 9時～17時	*休館日：毎月第1日曜日、12月29日～1月3日、祝日
11	子ども家庭支援センター	子どもと家庭を応援するために、「子どもと家庭の相談」、「子育て支援サービス」、「児童虐待への対応」、「ひとり親家庭への支援サービス」など、いろいろな事業を行っています。	・8時30分～19時	*休業日：日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
12	子どもセンター	区内に5か所ある保健センター内に設置されており、保育の入園相談や子育て支援サービスの利用相談・情報提供を行う「身近な地域の子育て拠点」です。各家庭のニーズに応じて「どのようなサービスがあるか」「どう利用すればよいか」等、きめ細やかにサポートします。	・8時30分～17時	*休業日：土曜日・日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
13	プレーパーク	既存の公園施設とは異なり、子どもたちが自分の責任で自由に遊べる場の中で、丸太や廃材、ロープなどを利用した手作りの遊具が置かれていたり、火遊びや木工等を行うことができます。また、実施にあたっては、子どもたちの見守りや自由な発想を引き出すために、プレーリーダーと呼ばれる専門スタッフを配置しています。		
14	スクールカウンセラー	いじめや不登校、問題行動等の未然防止・解消のため、スクールカウンセラーを全小・中学校に配置し、相談機能の充実を図っています。スクールカウンセラーは、児童・生徒、保護者との相談活動、校内支援に関わる学校内の連携や学校外専門機関との連携を行うほか、児童・生徒の健全な育ちに役立つ研修を行います。		
15	スクールソーシャルワーカー	支援を要する児童・生徒が安心して生活できるように学校、家庭、地域の関係機関をつなぎます。また、より専門的な観点から学校を支援します。		
16	杉並中3勉強会 & アドバンス	学習環境が整っていない子どもに対し、自ら学ぶ習慣を身に付けるための支援を行います。子どもの状況に合わせて授業の補習や高校の受験指導を行っています。		

【その他、民間団体の支援等】

	施設・事業	内容
17	子ども食堂	現在、全国で展開されている子ども食堂は、貧困家庭の子どもへの対策としてスタートをしましたが、最近では核家族化が進み、地域での関係性の希薄化により、子どもだけでなく高齢者も孤食を強いられている現状を何とかしたいとの思いから、地域の団体や個人が取り組んでいます。区内では、9か所でそれぞれ月に1・2回実施されています。どの子ども食堂も、利用者の負担は子どもが0～300円、大人が0円～500円という低料金になっています。子ども食堂は、その思いに共感した人の定期的な寄付やコメや野菜などの提供と、ボランティアスタッフの協力によって運営されています。
18	フードバンク	フードバンクとは、「食料銀行」を意味する社会福祉活動です。まだ食べられるのにさまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のことを言います。
19	くらしのサポートステーション	杉並区が設置し、社会福祉協議会が運営を受託している相談窓口です。経済的な困りごとと合わせて、生活上でさまざまな不安や課題を抱えた方の相談窓口です。相談員と一緒に課題を整理し、利用できる制度のご案内や解決に向けた支援を関係機関と連携しながら行います。

杉並区子育て家庭実態調査

[中学生用]

調査へのご協力のお願い

日頃より杉並区の子育て支援施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

杉並区では、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう様々な子育て支援施策を実施しております。

本調査は、中学生のお子さんをもつ家庭の生活実態を把握し、子育て支援施策の見直し等の参考にするために実施するものです。

調査票は、区内にお住まいの中学2年生のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の方にお送りしています（別途、就学前・小学生のお子さんのいる保護者の皆様へも調査を行っています）。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個々の内容やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

より正確な実態を把握するためにも、多くの皆さまからご回答いただくことが重要と考えております。

お忙しい中ご負担をおかけしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年9月

杉並区長 田 中 良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の「『施設』『事業』のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。
- 6 設問によって回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**10月5日(木)**までに

ご投函ください。（切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。）

【問い合わせ先】 杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当

電話 03-3312-2111（代表）（内線1398）

はじめに、封筒宛名のお子さんご家族についておうかがいします

問1 宛名のお子さんご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。
ご家族とは、家計を一緒にし、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 母親 | 6 母方の祖父 |
| 2 父親 | 7 父方の祖母 |
| 3 兄・姉 → () 人 | 8 父方の祖父 |
| 4 弟・妹 → () 人 | 9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人 |
| 5 母方の祖母 | 10 その他 → () 人 |

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問2 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 1 阿佐谷北 | 7 梅里 | 13 上高井戸 | 19 下高井戸 | 25 成田東 | 31 本天沼 |
| 2 阿佐谷南 | 8 永福 | 14 久我山 | 20 松庵 | 26 西荻北 | 32 松ノ木 |
| 3 天沼 | 9 大宮 | 15 高円寺北 | 21 善福寺 | 27 西荻南 | 33 南荻窪 |
| 4 井草 | 10 荻窪 | 16 高円寺南 | 22 高井戸西 | 28 浜田山 | 34 宮前 |
| 5 和泉 | 11 上井草 | 17 清水 | 23 高井戸東 | 29 方南 | 35 桃井 |
| 6 今川 | 12 上荻 | 18 下井草 | 24 成田西 | 30 堀ノ内 | 36 和田 |

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問3-1 この調査票にご回答いただく方の年齢について、下記の当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|---------|
| 1 20代以下 | 2 30代 | 3 40代 | 4 50代 | 5 60代以上 |
|---------|-------|-------|-------|---------|

問4 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親		父 親	
1	一緒に住んでいる	1	一緒に住んでいる
2	単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2	単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3	別居している	3	別居している
4	死亡、離婚、未婚などでいない	4	死亡、離婚、未婚などでいない

問5 あなたの家計の経済的状況についてうかがいます。

前年、平成28年（2016年）のあなたの家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※家族とは、問1でお聞きした【家計を一緒にし、ふだんひとつの家屋で生活している方】のことです。

1	100万円未満	5	300～400万円未満	9	700～800万円未満
2	100～150万円未満	6	400～500万円未満	10	800万円以上
3	150～200万円未満	7	500～600万円未満		
4	200～300万円未満	8	600～700万円未満		

子育ての環境についておうかがいします

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 3 主に父親 | 5 その他 () |
| 2 主に母親 | 4 主に祖父母 | |

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 子どもの健康や成長のこと | 11 子育てに自信が持てないこと |
| 2 子どもの食事や生活習慣のこと | 12 養育費や教育費など経済的なこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 13 仕事との両立が負担に感じる |
| 4 子どものいじめや友達関係のこと | 14 家事や介護などとの両立が負担に感じる |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 15 地域や社会から孤立していると感じる |
| 6 子どもの勉強や進学のこと | 16 回答者自身や家族の健康に関する |
| 7 子どもの性格や癖に関する | 17 相談できる人がいない、相談先がわからない |
| 8 子どもの性に関する | 18 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じる |
| 9 子どもの暴力や非行のこと | 19 その他 () |
| 10 子どもが学校に行くのを嫌がる | 20 特に心配や悩みはない |

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 いる／ある ⇒問8-1へ | 2 いない／ない ⇒問9へ |
|----------------|---------------|

問8で、「1 いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 1 配偶者 | 10 保健所・保健センターの職員 |
| 2 祖父母等の親族 | 11 児童館・ゆう杉並の職員 |
| 3 友人・子育て仲間 | 12 子ども家庭支援センターの職員 |
| 4 職場の先輩・上司 | 13 かかりつけの医師 |
| 5 近所の人 | 14 塾や習い事の先生 |
| 6 学校の先生 | 15 区や東京都などの公的相談機関
(電話相談・メール相談を含む) |
| 7 スクールカウンセラー | 16 民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む) |
| 8 スクールソーシャルワーカー | 17 その他 () |
| 9 民生・児童委員 | |

保護者の就労状況についておうかがいします

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問 11 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない } ⇒問 11-1へ	1	1
(2)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である }	2	2
(3)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない } ⇒問 11-1、	3	3
(4)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である } 問 11-2へ	4	4
(5)就労していないまたは求職中である ⇒問 11-3へ	5	5

問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
働いている曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	家を出る時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方に
うかがいます。

問11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。

今後の希望	母 親	父 親
(1) フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
(2) フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
(3) パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
(4) パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問11の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「就労していないまたは求職中である」に○をつけた方にう
かがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

問11-3 就労したいという希望はありますか。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する□内には数字
をご記入ください。

【母 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

【父 親】

1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったところに就労したい

3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

↳ 希望する就労形態（当てはまるもの1つに○をつけてください）

ア フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）

イ パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

↳ 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間

公的・社会的サービスの利用状況についてうかがいます

問 12 宛名のお子さんについて、次の(1)～(5)の公的・社会的サービスをこれまでに利用したことがありますか。当てはまるものそれぞれ1つずつ○をつけてください。(利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。)

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

	利用したことがある	今は、利用していないが、今後、利用したい	利用する必要がない	知らない
(1) 学校等が実施する補習授業	1	2	3	4
(2) 杉並中3勉強会&アドバンス	1	2	3	4
(3) 暮らしのサポートステーション	1	2	3	4
(4) NPO等が主催する子ども食堂	1	2	3	4
(5) NPO等が主催するフードバンクによる食料支援	1	2	3	4

杉並区の子育てについておうかがいします

問13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問15 最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、**10月5日(木)まで**にご投函ください。

子育て家庭実態調査票に記載されている「施設」「事業」のあらまし

「杉並区子育て家庭実態調査」の調査票に書かれている施設・事業等の概要は以下のとおりです。回答の参考にしてください。

- ・時間や料金等は平成29年4月現在の数字です。
- ・料金について記載のないものは原則無料ですが、保険料や材料費等がかかる場合があります。

読み	施設・事業	No.	読み	施設・事業	No.
か	学童クラブ	3	す	杉並中3勉強会&アドバンス	16
く	くらしのサポートステーション	19		スクールカウンセラー	14
こ	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	4		スクールソーシャルワーカー	15
	子ども家庭支援センター	11	ふ	ファミリーサポートセンター	7
	子ども・子育てプラザ	10		プレーパーク	13
	子ども食堂	17		フードバンク	18
	子どもセンター	12	ほ	放課後子ども教室	5
し	児童館	1		放課後等居場所事業	6
	児童青少年センター（ゆう杉並）	2		放課後等デイサービス	9
	ショートステイ	8			

No.	施設・事業	内容	利用時間帯等	備考
1	児童館	0歳から18歳未満の子どもが、いつでも気軽に遊ぶことができる児童福祉施設です。子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、遊びや自主活動などを支援しています。区内に40の児童館があります。	・平日（月～金曜日） 10時～18時 ・土曜日・日曜日 9時～17時	*児童館により開館日や利用時間が異なる場合があります
2	児童青少年センター（ゆう杉並）	中学生・高校生のための大型の児童館です。広い体育室や完全防音のスタジオなどを備えています。中学生・高校生が施設運営に参画する「中・高校生運営委員会」の設置や自主企画事業の支援なども行っています。	・火～土曜日 9時～21時 ・日曜日・祝日 9時～17時	
3	学童クラブ	保護者が就労で昼間留守等になるお子さんの、放課後の生活の場です。区立学童クラブは区内に49か所あり、子どもが安心して楽しく過ごせるよう、遊びや集団活動を中心とした運営を行っています。 *対象：小学1～6年生 *入会要件：保護者の就労が、週3日以上・1日4時間以上あること、またはそれに準じる疾病・介護等の理由があること。	・平日（月～金曜日） 放課後（学校休業日は8時30分）～18時 （延長利用は18時30分まで） ・土曜日 8時30分から17時	*利用料：月額4,000円 おやつ代：月額1,800円
4	校庭開放（遊びと憩いの場開放）	小学校の校庭を、水曜日の午後、土曜日・日曜日、祝日、学校休業日に、子どもの遊び場として開放しています。（小学校により実施日等が異なる場合があります。）		
5	放課後子ども教室	放課後の小学校で、子どもたちが地域の中で広くさまざまなことに挑戦・体験できるように、保護者や地域の方々を中心となって、学習や遊び、スポーツの機会等を提供しています。（実施していない小学校もあります。）		*平成25年度実施小学校数 11校
6	放課後等居場所事業	小学校施設を活用した小学生の放課後等の居場所づくりを行う事業です。保護者や地域住民の参画を得ながら、遊びや学習、スポーツ、文化・創作活動、交流活動などの取組を行います。現在、1校で実施し、今後、実施小学校を拡大していく予定です。	・平日（月～金曜日） 放課後（学校休業日は10時）～18時 ・土曜日 9時～17時	
7	ファミリーサポートセンター	区が社会福祉協議会に委託している事業で、研修を受けた区民（協力会員）が子どもの一時預かりや送迎などを行います。おおむね10歳までのお子さんが利用できます。		*利用料：9時～20時まで、1時間800円 6時～9時と20時～22時は1時間1,000円
8	ショートステイ	保護者が、病気、出産などで一時的に子どもを養育できない時に、区内の施設で宿泊してお子さんを預かる事業です。*対象：0歳から12歳までの子ども		*利用料：2歳以上4,300円（1泊2日料金、1日増えるごとに2,150円）

No.	施設・事業	内容	利用時間帯	備考
9	放課後等デイサービス	学校通学中の障害があるお子さんを対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、自立の促進とともに、放課後等の居場所づくりを行います。 *対象：学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害のある子ども		*利用料：世帯の所得に応じた負担があります。
10	子ども・子育てプラザ	乳幼児親子がいつでも気軽に利用することができる施設です。親子で遊んだり、くつろいだりすることができます。子育てに関する講座やイベントなどの実施、子育て支援サービスの利用相談、一時預かり事業なども行っています。	・月～金曜日 9時～18時、土曜日・日曜日 9時～17時	*休館日：毎月第1日曜日、12月29日～1月3日、祝日
11	子ども家庭支援センター	子どもと家庭を応援するために、「子どもと家庭の相談」、「子育て支援サービス」、「児童虐待への対応」、「ひとり親家庭への支援サービス」など、いろいろな事業を行っています。	・8時30分～19時	*休業日：日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
12	子どもセンター	区内に5か所ある保健センター内に設置されており、保育の入園相談や子育て支援サービスの利用相談・情報提供を行う「身近な地域の子育て拠点」です。各家庭のニーズに応じて「どのようなサービスがあるか」「どう利用すればよいか」等、きめ細やかにサポートします。	・8時30分～17時	*休業日：土曜日・日曜日、祝日、年末年始（12月29日から1月3日）
13	プレーパーク	既存の公園施設とは異なり、子どもたちが自分の責任で自由に遊べる場のことで、丸太や廃材、ロープなどを利用した手作りの遊具が置かれていたり、火遊びや木工等を行うことができます。また、実施にあたっては、子どもたちの見守りや自由な発想を引き出すために、プレーリーダーと呼ばれる専門スタッフを配置しています。		
14	スクールカウンセラー	いじめや不登校、問題行動等の未然防止・解消のため、スクールカウンセラーを全小・中学校に配置し、相談機能の充実を図っています。スクールカウンセラーは、児童・生徒、保護者との相談活動、校内支援に関わる学校内の連携や学校外専門機関との連携を行うほか、児童・生徒の健やかな育ちに役立つ研修を行います。		
15	スクールソーシャルワーカー	支援を要する児童・生徒が安心して生活できるように学校、家庭、地域の関係機関をつなぎます。また、より専門的な観点から学校を支援します。		
16	杉並中3勉強会 & アドバンス	学習環境が整っていない子どもに対し、自ら学ぶ習慣を身に付けるための支援を行います。子どもの状況に合わせて授業の補習や高校の受験指導を行っています。		

【その他、民間団体の支援等】

	施設・事業	内容
17	子ども食堂	現在、全国で展開されている子ども食堂は、貧困家庭の子どもへの対策としてスタートをしましたが、最近では核家族化が進み、地域での関係性の希薄化により、子どもだけでなく高齢者も孤食を強いられている現状を何とかしたいとの思いから、地域の団体や個人が取り組んでいます。区内では、9カ所でそれぞれ月に1・2回実施されています。どの子ども食堂も、利用者の負担は子どもが0～300円、大人が0円～500円という低料金になっています。子ども食堂は、その思いに共感した人の定期的な寄付やコメや野菜などの提供と、ボランティアスタッフの協力によって運営されています。
18	フードバンク	フードバンクとは、「食料銀行」を意味する社会福祉活動です。まだ食べられるのにさまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける活動のことを言います。
19	くらしのサポートステーション	杉並区が設置し、社会福祉協議会が運営を受託している相談窓口です。経済的な困りごとと合わせて、生活上でさまざまな不安や課題を抱えた方の相談窓口です。相談員と一緒に課題を整理し、利用できる制度のご案内や解決に向けた支援を関係機関と連携しながら行います。

杉並区子育て家庭実態調査

平成30年3月発行

登録印刷物番号

29-0105



発行 杉並区 保健福祉部 子育て支援課

東京都杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111（代）

実施 株式会社エスピー研

東京都千代田区飯田橋3-11-20 SPビル

電話：03-3239-0071

・この印刷物は、無線とじ製本したものです。
